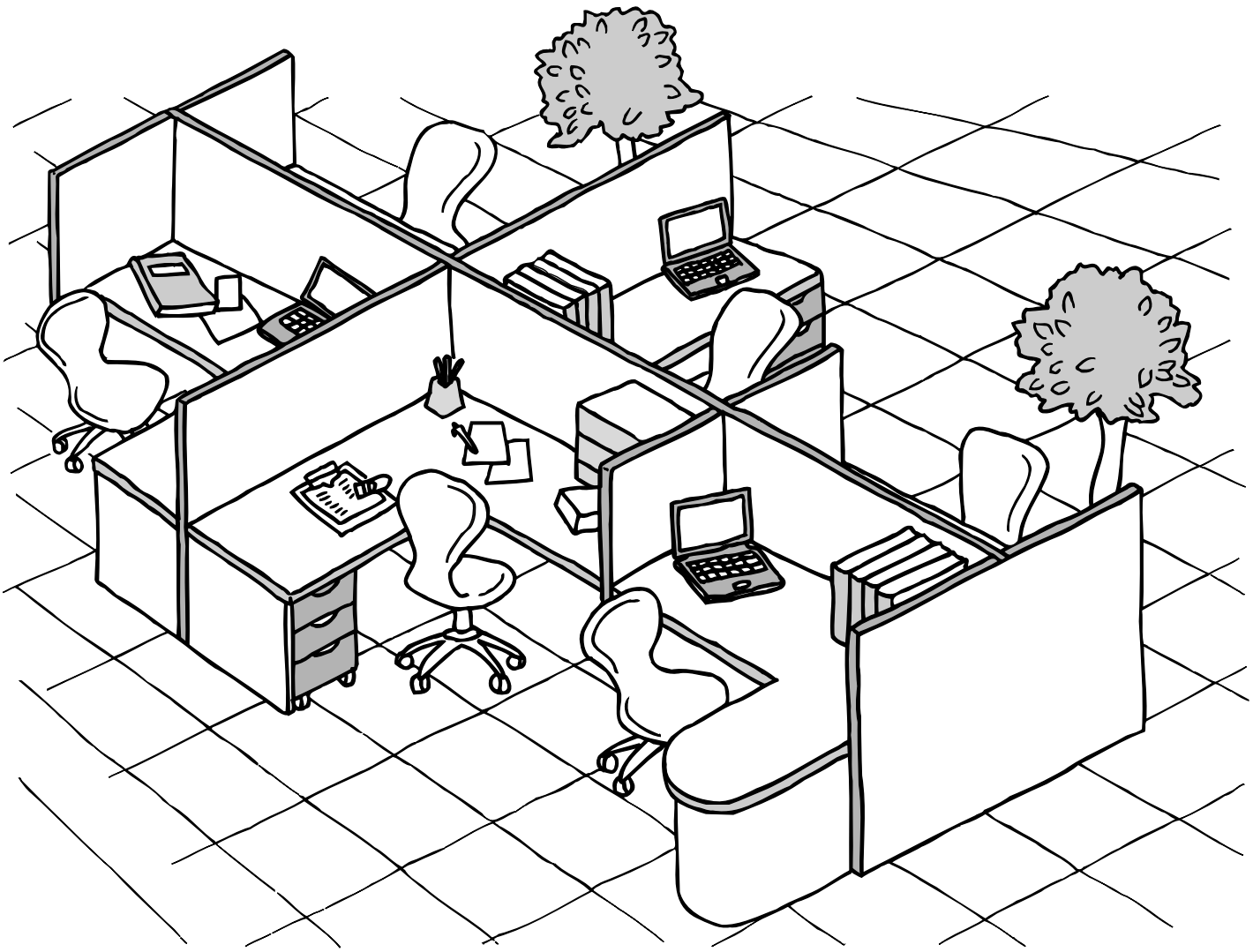
NTT

OFISTAR

技術基準適合認証品

OFISTAR S3100
取扱説明書



このたびは OFISTAR S3100 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP **お願い**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や知っておくと便利な内容を示しています。

注　意

● 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品と一般電話回線の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが一般電話回線の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 当社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 外付け電話機端子は、一般電話回線の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品は、お買い求めの時には国内の相手の方と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認してください。正常に通信できないときは、本商品の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、当社のサービス取扱所へご相談ください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

本取扱説明書は、従来の一般加入回線等での通信に加え、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクスについての取扱説明書です。

※ネットワークとの接続および使用に際しては、本商品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

本書の説明は Microsoft® Windows® 98 日本語版、Microsoft® Windows® Me 日本語版、Microsoft® Windows® 2000 日本語版、Microsoft® Windows NT® 4.0 日本語版、Microsoft® Windows® XP 日本語版および Microsoft® Windows Server™ 2003 日本語版を前提として表記しています。
本書中で使用している次の用語は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、PowerPoint、Outlook
: 米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe および Adobe Acrobat、Adobe PhotoShop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他の本書に記載されている会社名および製品名はそれぞれの各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや電話機モジュラプラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグや電話機モジュラプラグをそれぞれ電源コンセントや電話機モジュラジャックから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。
●本商品のキャビネットを外さないでください。感電や故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所へ依頼してください。
●本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
●本商品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
●電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機モジュラプラグを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から１年に１回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

- ●ぬれた手で本商品の操作や電源プラグおよび電話機モジュラプラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。
- ●電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- ●本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置および近くで使用しないでください。
  - 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
  - 使用を制限された場所では使用しないでください。
    例：医療用電子機器など
- ●本商品を構内交換機（PBX）等に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- ●本商品を直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- ●本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●近くに雷が発生したときは、電源プラグ、電話機モジュラプラグを電源コンセント、電話機モジュラジャックから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品や電源コード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ●トナーカートリッジは、火の中へ絶対に投じないでください。破裂したり、着火したトナーが飛び散ると火災ややけどの原因となることがあります。
- ●本商品内部の接点部には触れないでください。感電の原因となることがあります。
- ●済スタンプヘッドは、幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ●湿気の多い場所では、アース線を取り付けて使用してください。万一、漏電した場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ●アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しないでください。接地が不十分だったり、落雷などにより感電したり、火災の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠注意

お使いになる前に

- ●本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- ●本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- ●本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- ●本商品の右側面部には通風孔がありますので、必ず壁から 1 cm 以上離してください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠注意

お使いのとき

- ●本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ●トナーカートリッジの交換や紙づまりなどで開閉部などを開けるときには、突起物に手を引っかけたり、開閉部で手を挟むなど、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- ●記録紙をセットするときや紙づまりの処理をするときは、紙の端で手を切ったりしないようにご注意ください。
- ●紙づまりの処理などで本商品内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が本商品内部に触れないようにしてください。やけど・感電の原因となることがあります。
- ●熱定着器とその周辺は高温になっていますので、手を触れないようにご注意ください。やけどの原因となることがあります。
- ●本商品を移動するときは、電源プラグや電話機モジュラプラグを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電話機モジュラプラグが電源コンセント、電話機モジュラジャックに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ●本商品に乗らないでください、特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- ●動作中の紙づまり（記録紙・原稿づまり）はそのまま放置しないでください。高温部の紙づまりを放置すると、紙が発火し、火災の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

置き場所について

●本商品が正常に動作しなかったり、故障の原因となることがありますので、以下のようなところには置かないでください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がる場所
- 塵、ほこり、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
- クーラー、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所
- 振動が多い場所
- 温度が急激に変化する場所

●本商品の背面は、壁から 15 cm 以上離してください。

●本商品の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。このような現象が本商品の影響と思われましたら、本商品の電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以下のような方法を試みてください。
- 本商品をテレビなどから遠ざける。
- 本商品またはテレビなどの向きを変える。

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

取り扱いについて

- ●本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- ●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- ●通信やコピーなどの動作中に電源プラグを抜いたり、本商品の開閉部を開けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ●記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙をお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますのでご了承ください。
  推奨品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- ●しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- ●残った記録紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらないところに保管してください。
- ●紙づまりのとき、記録紙は破れないように慎重に取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を本商品の中に残さずにすべて取り除いてください。
- ●本商品から微弱の磁気が出ています。心臓ペースメーカをご使用の方で、異常を感じた場合は、本商品から離れ、その後、医師にご相談ください。
- ●トナーカートリッジは当社指定品をご使用ください。指定品以外のトナーカートリッジをお使いになった場合のトラブルにつきましては、当社では保証いたしかねますので、ご了承ください。
  指定品につきましては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- ●本商品を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や、大量にコピーをとる場合には、快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めします。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

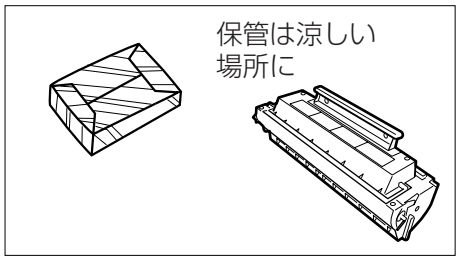
本商品は、お客様固有の情報を登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持された情報を消去する必要があります。当社のサービス取扱所にご相談ください。

操作時のお願い

■ 誤通信を未然に防ぎ、確実に相手と通信するためには、次の点に注意してご使用いただくことをお勧めいたします。

- 相手先のファクス番号、ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録番号をご確認いただくとともに、取扱説明書をよくご確認のうえご使用ください。
- 大切な情報を送る場合には、「手動送信」により相手を確認したうえで通信されることをお勧めします。
  1. まず受話器を上げて（または受話器がない場合は、モニターボタンを押して）、発信音（ツー音）を確認してから、ファクス番号をダイヤルしてください。
  2. 相手先からファクス応答信号（ピーヒョロロ音）が聞こえたらスタートボタンを押してください。

記録紙・トナーカートリッジに関するお願い



■ 記録紙、トナーカートリッジなどは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

- 記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、記録紙は当社推奨品をお使いください。
- トナーカートリッジは当社指定品をお使いください。

■ 法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの

1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
2. 未使用の郵便切手、官製はがき
3. 政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類

●注意を要するもの

1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■ トナーカートリッジに関するお願い

●トナーカートリッジは直射日光を避ける
コピー画像に異常が出ることがあります。

●トナーカートリッジを寒い場所から暑い場所へ急に移動させない
トナーカートリッジに結露が発生し、故障の原因となります。

●使用済みのトナーカートリッジは捨てない
回収にご協力ください。

●トナーカートリッジは上を向けて保存する（箱に上向きの表示があります。）
コピー画像に異常が出ることがあります。

OFISTAR S3100 を使う

送信する

- とりあえず送りたい
  ..... ファクスを送る （☛ 28 ページ）
- 一度にたくさんの相手に送りたい
  ..... 同報送信 （☛ 42、59 ページ）
- 通話料金の安い時間を指定して送りたい
  ..... タイマー送信 （☛ 92 ページ）
- 特定の相手にだけ送りたい
  ..... パスワード送信 （☛ 166 ページ）

受信する

- とりあえず受信したい
  ..... ファクスを受ける （☛ 77 ページ）
- 特定の相手のファクスだけを受信したい
  ..... セレクト受信 （☛ 163 ページ）
  ..... パスワード受信 （☛ 167 ページ）
- 相手とお話ししてから受信する
  ..... 手動受信 （☛ 78 ページ）
- 相手側のファクスに登録されている原稿を取り出す
  ..... ポーリング受信 （☛ 97 ページ）

その他の機能

- 簡単にダイヤルしたい
  ..... 直接メールアドレス入力 （☛ 37 ページ）
  ..... 直接ダイヤル （☛ 55 ページ）
  ..... 短縮ダイヤル （☛ 39、57 ページ）
  ..... ワンタッチボタン （☛ 38 、56 ページ）
  ..... 電話帳機能 （☛ 40 、58 ページ）
  ..... グループダイヤル （☛ 108 ページ）
- ボタン 1 つで、複雑な機能を使いたい
  ..... プログラムダイヤルの登録 （☛ 108 ページ）
- メモリー受信した E メールやファクスを転送したい
  ..... メモリー転送 （☛ 139 ページ）
- スキャナーとして使いたい
  ..... ネットワークスキャナー （☛ 142 ページ）
- プリンターとして使いたい
  ..... ネットワークプリンター （☛ 143 ページ）

文字を入力する

- 文字入力のしかた （☛ 241 ページ）

消耗品の交換

- 記録紙のセット （☛ 266 ページ）
- トナーカートリッジのセット（交換） （☛ 264 ページ）

トラブル

- 記録紙がつまったとき （☛ 278 ページ）
- 原稿がつまったとき （☛ 280 ページ）
- 故障かな？と思ったら （☛ 270 ページ）

目次

お使いになる前に

安全にお使いいただくために必ずお読みください 2
- ■ 本書中のマーク説明 2
- ■ 廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意 9
- ■ 操作時のお願い 9
- ■ 記録紙・トナーカートリッジに関するお願い 10

OFISTAR S3100 を使う 11
セットを確認してください 18
各部のなまえとはたらき 19
LAN ケーブル、電話機コード、電源コードの接続 22
回線種別の設定 24
音量設定のしかた 25
ファンクション（機能）ボタンについて 26

基本編

基本送信手順 28
原稿について 29
- ■ セット可能な原稿 29
- ■ セットできない原稿 30
- ■ 原稿のセットのしかた 31

基本送信設定 32
- ■ 濃度 32
- ■ 文字サイズ 32
- ■ 済スタンプ 33
- ■ 通信結果レポート 34

インターネット回線を使って送信する 35
- ■ 概要 35
- ■ インターネットに接続するためには 36
- ■ 直接メールアドレスを入力して送る 37
- ■ ワンタッチボタンで送る 38
- ■ 短縮ダイヤルで送る 39
- ■ 電話帳機能で送る 40
- ■ 一度にたくさんの相手に送る（同報送信） 42
- ■ メモリー送信予約（マルチタスク） 44
- ■ 再ダイヤル 46
- ■ セレクトドメイン 47
- ■ 送達確認（MDN）要求 49
- ■ エラーメール 50
- ■ メーリングリストを使う 51

目次

電話回線で送信する 52
- ■ 概要 52
- ■ メモリー送信 53
- ■ 直接ダイヤルで送る 55
- ■ ワンタッチボタンで送る 56
- ■ 短縮ダイヤルで送る 57
- ■ 電話帳機能で送る 58
- ■ 一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信） 59
- ■ ダイレクト送信（メモリーを使わずに送る） 61
- ■ 手動送信 63
- ■ メモリー送信予約（マルチタスク） 65
- ■ 優先ファイル送信予約（ダイレクト送信） 67
- ■ 再ダイヤル 69

インターネット回線を使って受信する 71
- ■ 概要 71
- ■ POP サーバーからメール受信 73

電話回線で受信する 77
- ■ 受信モード 77
- ■ 手動受信する 78
- ■ ファクス専用のときファクスを受ける 79
- ■ ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける 80
- ■ 留守録接続モード 82
- ■ 縮小受信 84
- ■ 規定サイズ以外の原稿を受信したとき 85
- ■ メモリー代行受信 86
- ■ 正順プリント 87

ファクス番号と電話番号を使い分ける 88
- ■ 概要 88
- ■ モデムダイヤルインを利用する 88

コピーをする 90

応用編

タイマー通信 92
- ■ 概要 92
- ■ タイマー送信 92
- ■ タイマーポーリング受信 94

ポーリング通信 95
- ■ 概要 95
- ■ ポーリングパスワードをセットする 95
- ■ ポーリング送信 96
- ■ ポーリング受信 97

FROM 選択機能 99
- ■ 概要 99
- ■ FROM 選択機能の設定 99
- ■ 送信元を選択して原稿を送信する 101
- ■ FROM 選択リストをプリントする 102

目次

件名の入力 103
- ■ 概要 103
- ■ 件名を入力して送信する 103

受信ルーティング（受信振分け） 105
- ■ ルーティング・パラメーターの設定 105
- ■ ルーティングの登録 106

プログラム機能 108
- ■ 概要 108
- ■ グループダイヤルの設定 108
- ■ タイマー送信の登録 110
- ■ タイマーポーリング受信の登録 112
- ■ ポーリング受信の登録 114
- ■ ワンタッチボタンの登録 116
- ■ POP アクセスボタンの登録 117
- ■ POP アクセスボタンによる POP 受信 118
- ■ プログラムボタンの変更および消去 119

通信予約の確認と消去 120
- ■ 概要 120
- ■ 通信予約レポートをプリントする 120
- ■ 通信予約の内容を見る 122
- ■ 通信予約の変更 123
- ■ 通信予約の消去 125
- ■ 通信予約ファイルのプリント 126
- ■ ファイルに原稿を追加する 127
- ■ 未達宛先再通信の指定 128

アクセスコード 129
- ■ 概要 129
- ■ アクセスコードの登録 129
- ■ アクセスコードを使って操作する（すべての機能の使用制限を設定しているとき） 131
- ■ アクセスコードを使って操作する（パラメータの使用制限を設定しているとき） 131

メモリー受信 132
- ■ 概要 132
- ■ メモリー受信のパスワードを設定する 132
- ■ メモリー受信の設定 133
- ■ メモリー受信内容をプリントする 134

送付書（カバーシート） 136
- ■ 概要 136
- ■ 送付書（カバーシート）を使用する 136

メモリー転送 139
- ■ メモリー転送の設定 139

送達確認 141
- ■ 概要 141

ネットワークスキャナー 142
- ■ 概要 142

目次

ネットワークプリンター 143
- ■ 概要 143

LAN 中継同報 144
- ■ 概要 144
- ■ 中継ネットワーク 147
- ■ LAN 中継送信局としての設定 150
- ■ LAN 中継送信指示の設定 152
- ■ LAN 中継送信 154
- ■ パソコンからの LAN 中継同報指示 158
- ■ LAN 中継同報の通信結果 160

セレクト受信機能 163
- ■ 概要 163
- ■ セレクト受信の設定 163

パスワード通信 164
- ■ パスワード通信について 164
- ■ システム登録について 164
- ■ パスワード送信の設定 166
- ■ パスワード受信の設定 167
- ■ パスワード送信設定の一時変更 168
- ■ パスワード受信の使用 169

親展送信 170
- ■ 概要 170
- ■ 親展通信（メールボックス） 170
- ■ 親展送信 171
- ■ 親展ポーリング受信 172
- ■ 本商品のメールボックスで親展文書を受信する 173
- ■ 本商品のメールボックスで親展文書を保存する 174
- ■ 親展プリント 175
- ■ 親展文書の消去 176

IP 電話サービスを使って送信する 178
- ■ ご利用上の留意点 178
- ■ IP 電話サービスを利用して送信する 180
- ■ リルート機能の設定／プレフィクス番号の登録 182
- ■ 電話番号／ IP 電話番号の登録 183

登録編

インターネットに接続するための事前準備 186
- ■ SMTP 転送としての設定 188
- ■ POP クライアントとしての設定 190
- ■ 記載内容説明 193

インターネット通信について 194
- ■ インターネットファクス通信 194
- ■ ダイレクト SMTP（ダイレクト IFAX 送信） 195
- ■ インターネットメール受信 196
- ■ ルーティング（受信振分け機能） 197
- ■ メモリー転送 198

目次

■ ネットワークスキャナー 199
■ ネットワークプリンター 200
■ LAN 中継同報 201
■ DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol） 202
■ メールサーバー認証方式 202
インターネット通信における留意点 203
自局登録 205
■ 自局登録について 205
■ 日付と時刻の登録 205
■ 発信元の登録 206
■ 文字 ID の登録 207
■ 数字 ID（ファクス番号）の登録 208
自局情報（インターネットパラメーター）の登録 209
■ 自局情報（インターネットパラメーター）の登録設定 209
■ 自局情報の種類（インターネットパラメーター） 211
E メール経由でのパラメーター設定／検索 213
■ メールリモート登録 213
■ インターネットパラメーターのメールリモート登録 214
■ インターネットパラメーターを初めて登録する 215
■ インターネットパラメーターの取り出し 217
■ バックアップ用または取り出したインターネットパラメーターの編集 220
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録 223
■ ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除 224
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルをはじめて登録する 225
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し 228
■ バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集 230
■ 通信管理レポートの取り出し 233
ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録 234
■ 概要 234
■ ワンタッチボタンを登録する 234
■ 短縮ダイヤルを登録する 236
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする 238
■ ワンタッチ／短縮ダイヤルの消去をする 240
■ 文字入力のしかた 241
■ 宛先シートのプリント 242
システム登録 243
■ 概要 243
■ システム登録の設定 243
■ システム登録表 245

目次

リスト・レポート

リスト・レポートのプリント 252
- ■ 概要 252
- ■ 通信管理レポート 252
- ■ 送信レポート 254
- ■ 通信結果レポート 256
- ■ ワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リスト 258
- ■ プログラムリスト 261
- ■ システム登録リスト 262

必要なときにお読みください

トナーカートリッジのセット（交換） 264
記録紙のセット 266
- ■ 記録紙のセットのしかた 266

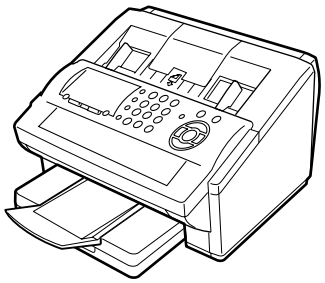
記録紙カセットのサイズ変更 268
- ■ 記録紙カセットの記録紙サイズ変更のしかた 268

こんなときには 270
- ■ 故障かな？と思ったら 270
- ■ エラーコード 272
- ■ リモート登録時のエラーメッセージ 276
- ■ 記録紙がつまったとき 278
- ■ 原稿がつまったとき 280
- ■ 読取部のお手入れ 281
- ■ 自動原稿送り装置（ADF）の調整 282
- ■ 済スタンプの交換 283
- ■ 停電のとき 284

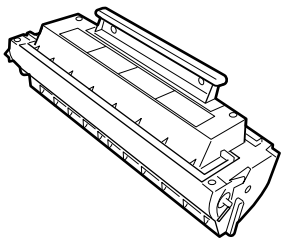
並行して行える動作について 285
主な仕様 286
消耗品／オプション品について 289
用語集 290
ITU-T Image No.1 295
索引 296
保守サービスのご案内 298

セットを確認してください

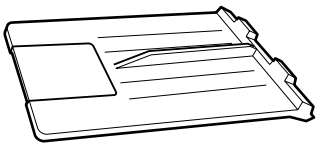
●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所にご連絡ください。



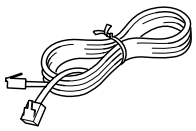
本体(1 台)



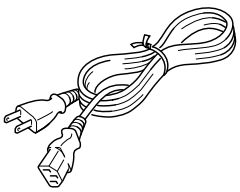
トナーカートリッジ(1 個)



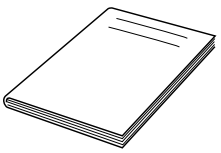
記録紙トレイ(1 個)



電話機コード(1 本)



電源コード(1 本)



取扱説明書(1 冊)

CD-ROM(1 枚)

その他

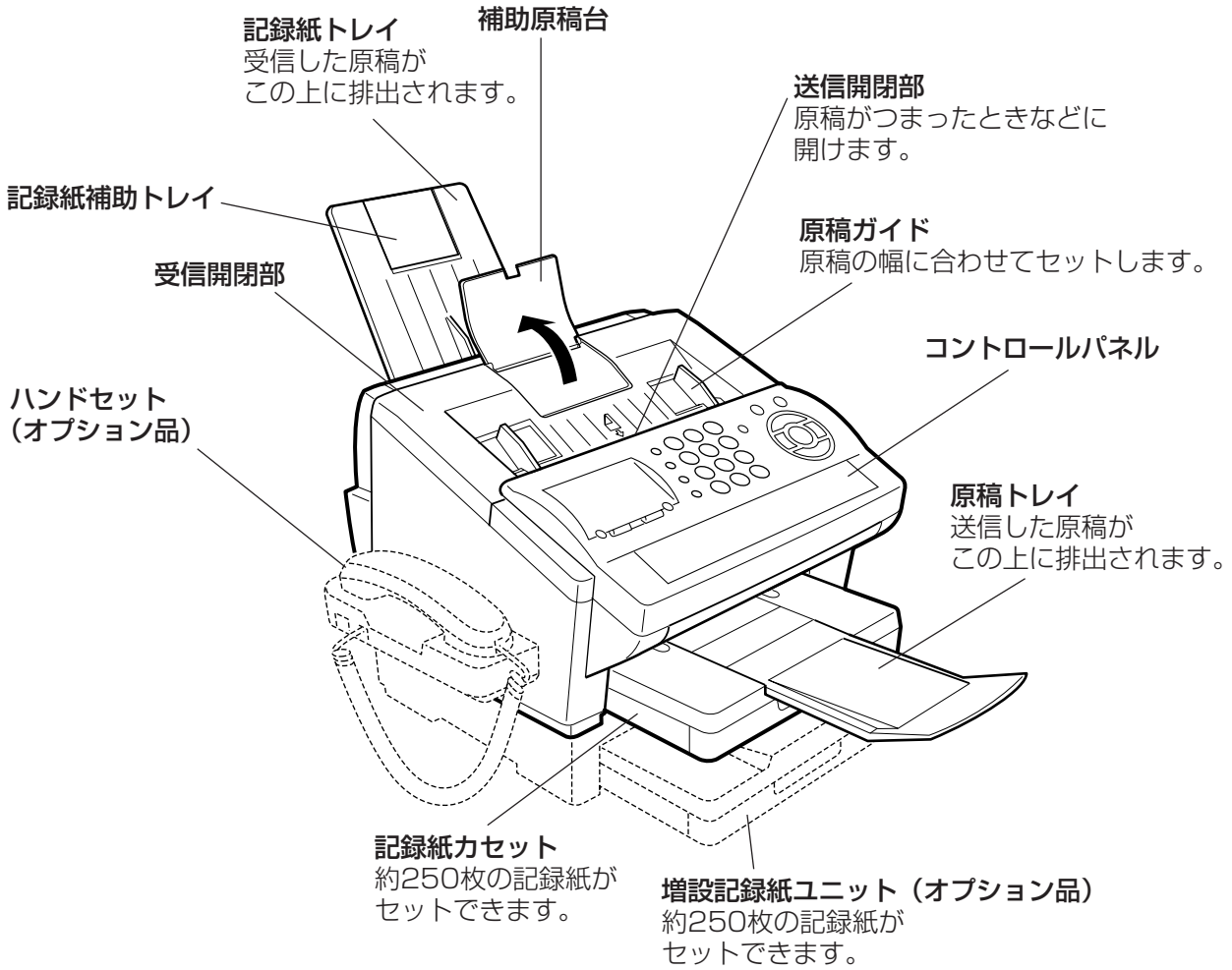
・記録紙（A4 サイズ）..... 1 セット
・保証書（梱包箱に添付されています）..... 1 枚
・「NTT 通信機器お取扱相談センタ」シール..... 1 枚
・工事説明書..... 1 冊
・操作ガイド..... 1 枚
・ご使用前に必ずお読みください..... 1 枚
・消耗品のご注文についてのお願い（NTT 東日本エリアのお客様のみ）..... 1 枚
・NTT 東日本サプライセンタシール（NTT 東日本エリアのお客様のみ）..... 1 枚
・消耗品購入先案内（NTT 西日本エリアのお客様のみ）..... 1 枚

お知らせ

1. 本商品にはアース線は付属していません。お客様で準備してください。
2. 付属品のトナーカートリッジでプリントできる枚数は、消耗品のトナーカートリッジと異なります。

各部のなまえとはたらき

本体



コントロールパネル

再ダイヤル/ポーズ
- 直前の宛先に再ダイヤルします。
もしくは、電話番号を登録中またはダイヤル中にポーズを入れます（画面には“ー”で表示されます）。

短縮
- 短縮ダイヤルによる通信を開始します。
（☛39、57、236ページ）

フック/Fコード
- 通話中に一瞬回線を切断したいときに押します。
構内交換機に接続されている場合、転送や保留をするときにお使いください。
また、Fコード（サブアドレス）を入力するときに押します。

モニター
- オンフックダイヤルをするときに使用します。
（☛64ページ）

ダイヤルボタン
- 手動での番号入力に使用します。
- ✱ボタンは、ダイヤル式（パルス）回線でプッシュホンサービスを利用するときに押します（画面には“／”で表示されます）。IPアドレスのピリオド入力にも使用でき、便利です。
- ✱、#ボタンは、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用する機能ボタンです。

節電
- 本商品を低電力モードに切り替えます（☛246ページ）。

濃度
- 文書の濃度を、ふつう・濃く・薄くの３段階に調節します。
（☛32ページ）

文字サイズ
- 文書の文字サイズふつう、小さい、細密の３段階に切り替えます。
また、ハーフトーン（小さい、細密）への切り替えも行います。
（☛32ページ）

済スタンプ
- 済スタンプ（オン、オフ）を選択します。「オン」の場合、点灯します。

通信中
- 送信・受信中または電話中に点滅します。

アラーム
- 故障のときに点灯します。

Eメール
- Eメール（インターネットファクス通信）用です。
メールアドレスと電話番号入力を切り替えるとき押します。

各部のなまえとはたらき

ストップ - 送信やコピー、登録などを途中で止めるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー/セット - コピー機能を利用するとき、また、各種の設定を行うときに押します（☛90 ページ）。

クリアー - すでに設定されている内容をリセットします。
また、入力した文字や数字を訂正するときにも使用します。

スタート - コピーや送受信を開始するときに押します。

矢印ボタンは以下の用途があります。
- 本商品の様々な機能を選択し、お使いいただけます。
- 宛先の名前の検索（☛40、58 ページ）。
- 画面や呼出音量の調節。
- 文字や番号などの入力の際にカーソルを移動させる。
- 電話帳検索ダイヤル用に登録済みの宛先を検索をする。
- 複数宛先送信用に入力された各宛先を確認する。
- 回線に接続されている本商品の現在の通信モード（ページ番号、ID、宛先の電話番号、ファイル番号）を確認する。

ワンタッチボタン（01 ～ 28）
- ワンタッチダイヤルに使用します（☛38、56、234 ページ）。

プログラムボタン（P1 – P4）
- 一連のダイヤル操作やグループダイヤルボタン操作を登録します。（☛108 ページ）

文字ボタン
- ワンタッチボタンおよびプログラムボタンは文字や記号を入力するためのボタンとして使います。
自局発信元名称や数字 ID、局名を記録できます。

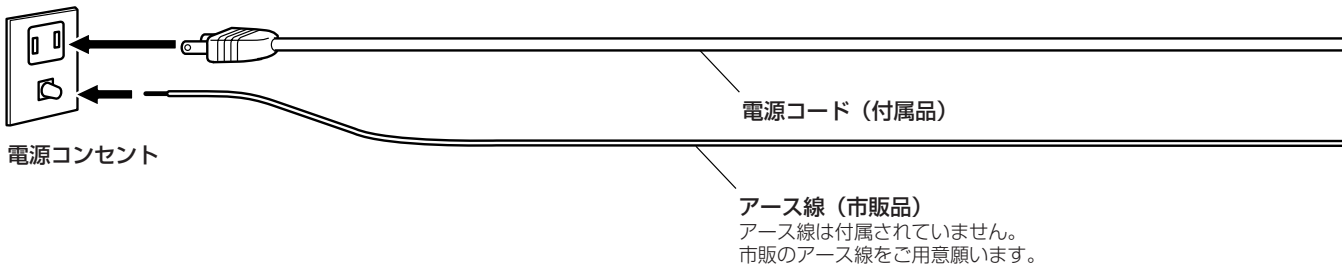
記号 - 自局のロゴや数字ID、局名、メールアドレスを入力するときに使います。
▼ または ▲ を使って文字を選択できます。

スペース - 発信元名称や数字ID、局名、メールアドレスを入力する際に、スペース（空白）の入力に使用します。

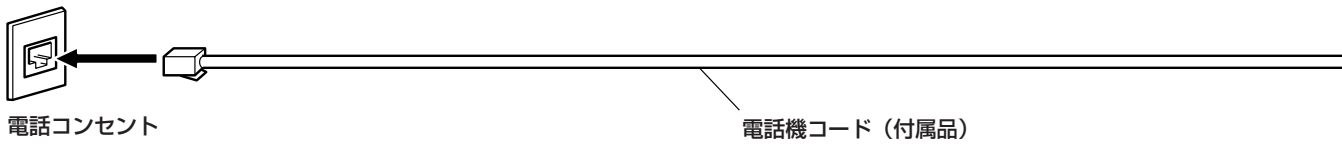
文字切替 - 文字入力時に、文字入力モードを切り替えるときに押します。

LAN ケーブル、電話機コード、電源コードの接続

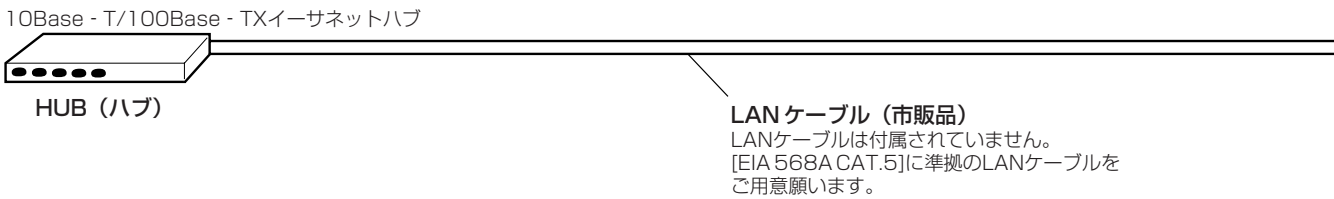
■ 電源コード



■ 電話機コード



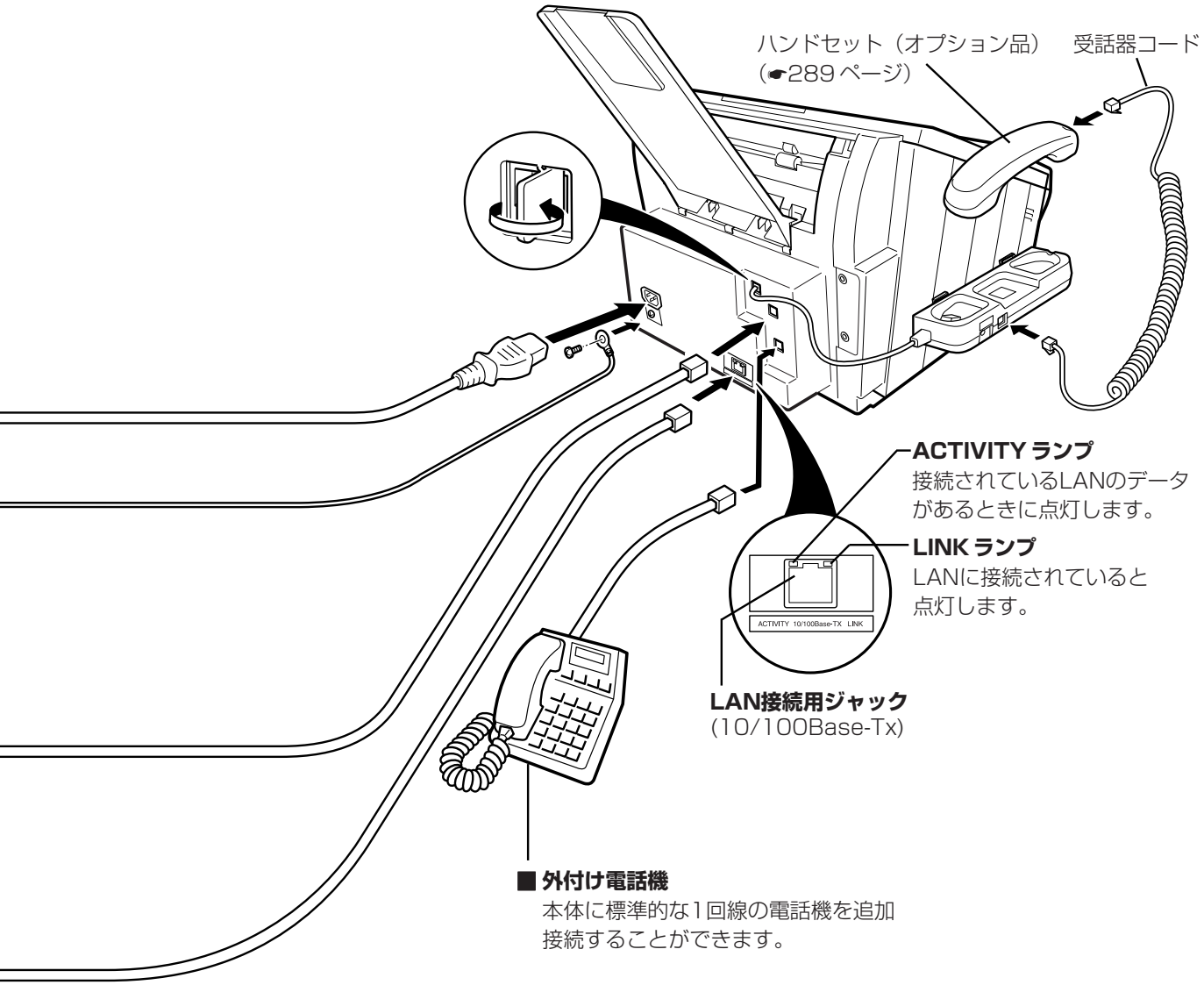
■ LAN ケーブル



お知らせ

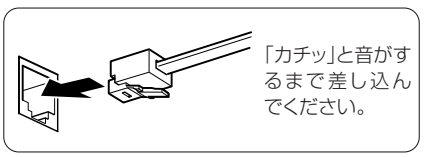
1. 電源コードは必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
2. 湿気の多い場所など漏電の恐れのある場合は感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
3. AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
4. 本商品の電力消費はわずかですので、常に電源を ＯＮ（コードを差し込んだ状態）にしておくことをお勧めします。電源 ＯＦＦ の状態が長引けば時計部のデータが失われる可能性があります。

LAN ケーブル、電話機コード、電源コードの接続

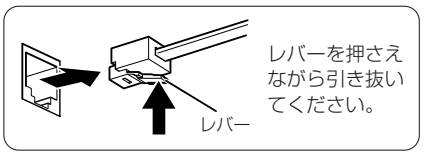


お知らせ

1. 受話器コードや電話機コード、LAN ケーブルは「カチッ」という音がするまで差し込んでください。



2. 受話器コードや電話機コードを抜くときは、モジュラープラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。

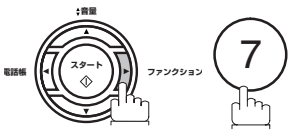


3. LAN ケーブルを引き抜くときは、LAN プラグのレバーを押さえながら引き抜いてください。
4. 電話回線がモジュラジャック式でないときは、局番なしの 116 番（無料）または当社の営業所等へご連絡ください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。
5. オプション品のハンドセットを接続する場合は、システム登録の「075 オプションハンドセット」を「アリ」に設定してください。（☛247 ページ）
6. 外付け電話機の種類によっては、ご使用になれない場合や、一部機能が利用できない場合があります。

回線種別の設定

回線種別には、プッシュホン式（PB、トーン）回線とダイヤル式（パルス）回線があります。お使いの回線に合わせて、回線種別を設定してください。

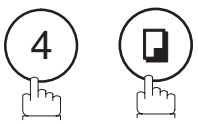
1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
        NO.=
```

3

コピー/セット

```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 3:ﾌﾟｯｼｭ(PB)
```

4

ダイヤル式（パルス）回線（10 pps）をお使いのとき

```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 1:10PPS
```

または

ダイヤル式（パルス）回線（20 pps）をお使いのとき

```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 2:20PPS
```

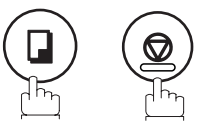
または

プッシュホン式回線をお使いのとき

```
06 ﾀﾞｲﾔﾙ ｷﾘｶｴ
 3:ﾌﾟｯｼｭ(PB)
```

5

コピー/セット　ストップ



お知らせ

1. 設定を間違えると、電話がかからなかったり、違った相手にかかることがあります。
2. 回線種別がわからない場合は、局番なしの 116 番へお問い合わせください。

音量設定のしかた

モニター音量の設定

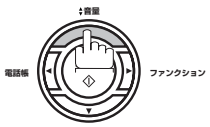
モニター音量は、８段階に切り替えることができます。

1 **モニター**

スピーカーから、モニター音が聞こえます。

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ*
▮
```

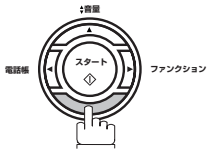
2



モニター音量を大きくするとき

```
    ﾓﾆﾀｰ ｵﾝﾘｮｳ
ｼｮｳ [■■■■■■■■] ﾀﾞｲ
```

または



モニター音量を小さくするとき

```
    ﾓﾆﾀｰ ｵﾝﾘｮｳ
ｼｮｳ [        ] ﾀﾞｲ
```

3 **モニター**

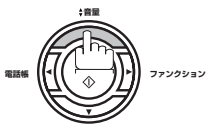
呼出音量の設定

呼出音量は「大」、「小」、「OFF」の３段階に切り替えることができます。

1 待機状態を確認する

```
2005-12-15 15:00
                00%
```

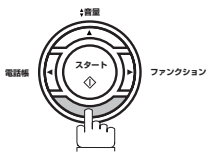
2 呼出音が鳴ります。テスト用の呼出音を確認しながら、お好みの大きさに調整します。



呼出音を大きくするとき

```
   ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
   (((( ☎ ))))
```

または



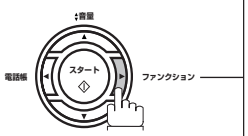
呼出音を小さくするとき

```
   ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｵﾝﾘｮｳ
        ☎
```

3 **ストップ**

ファンクション（機能）ボタンについて

機能を設定するには、ファンクションボタンを押してから、機能番号を入力するか、または使いたい機能が画面表示されるまで▼ ▲ボタンを押します。



1 **タイマー通信**
1=タイマー送信
2=タイマーポーリング受信

2 **特殊通信**
2=親展通信
5=LAN中継送信指示（☛お知らせ1）

3 **ポーリング**

6 **リストプリント**
1=通信管理確認
2=ワンタッチ・短縮リスト
3=プログラムリスト
4=システム登録リスト
6=送信レポート
7=宛先シートプリント

7 **登録モード**
1=自局登録
2=ワンタッチ・短縮登録
3=プログラム登録
4=システム登録

8 **セレクトモード**
1=通信結果レポート
2=送達確認
3=カバーシート
4=パスワード送信（☛お知らせ2）
5=メモリー受信
6=送信ファイルタイプ
9=メモリー優先

9 **予約確認・消去**
1=通信予約確認
2=時間・宛先変更
3=通信予約消去
4=予約内容プリント
5=原稿追加
6=未達宛先再通信

お知らせ

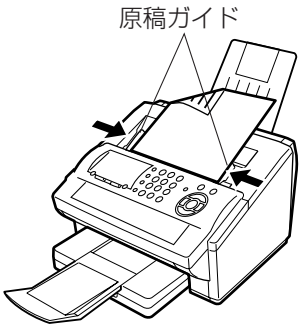
1. システム登録の「140 LAN 中継送信指示」を「アリ」に設定すると表示されます。
2. システム登録の「043 パスワード送信」を「オン」に設定すると表示されます。

基本編

基本送信手順

1 図のように原稿をセットする

- 原稿のセットのしかた（☛31 ページ）



2 濃度、文字サイズを選ぶ

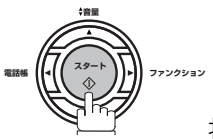
- 濃度（☛32 ページ）
- 文字サイズ（☛32 ページ）

3 必要に応じて各種機能を設定する

- 各種機能について（☛26 ページ）

4 宛先を選択する

- 直接メールアドレスを入力して送る（☛37 ページ）
- 直接ダイヤルで送る（☛55 ページ）
- ワンタッチボタンで送る（☛38、56 ページ）
- 短縮ダイヤルで送る（☛39、57 ページ）
- 電話帳機能で送る（☛40、58 ページ）

5 

押す

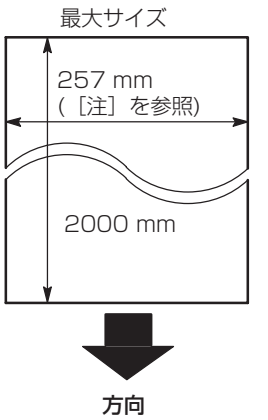
- 原稿の読み取りを開始します。
- 宛先へ送信を開始します。

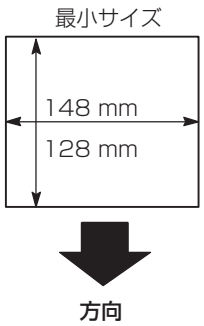
■ 送信を中断するには ストップ を押す

原稿について

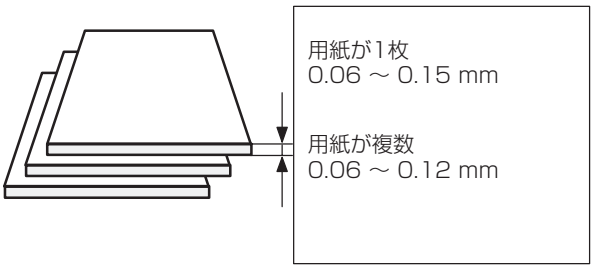
セット可能な原稿

原稿のサイズ





原稿の厚さ



注： 本商品にセット可能な最大原稿幅は、257mm です。ただし有効読取幅は、252mm です。
また、最小サイズは 148mm（幅）x 128mm（長さ）です。

お知らせ

1. 複数枚の原稿をセットする際には、以下のような範囲に限られます。

原稿のサイズ	原稿の厚さ	原稿枚数
A4（210 mm × 297 mm）	0.06 mm ～ 0.10 mm	*30 枚以下
	0.10 mm ～ 0.12 mm	20 枚以下
B4（257 mm × 364 mm）	0.06 mm ～0.12 mm	20 枚以下

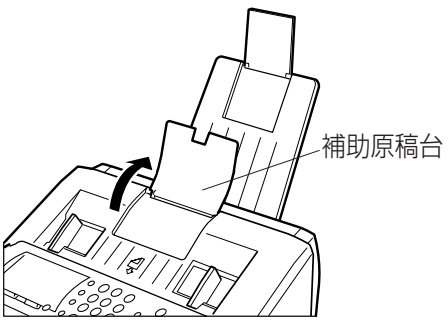
·同一サイズ、同質の原稿
·原稿の紙質は上質紙相当（表、裏ともコーティングのないもの）

*原稿の大きさと厚みが上記仕様を満たしていても、用紙の種類によっては、30枚セットできない場合がありますので、ご注意ください。

2. 原稿の厚さは、以下の紙の厚さを目安に判断してください。
新聞紙：0.05 ～ 0.06 mm　上質紙：0.10 mm　官製はがき：0.23 mm

3. 長さが 364 mm を超える原稿をセットする場合は、手で支えながら送信してください。

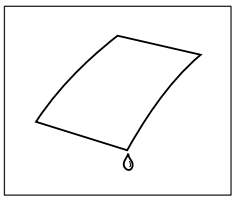
4. A4 サイズより長い原稿をセットする場合は、補助原稿台を下図のように伸ばしてください。



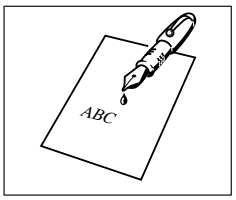
原稿について

セットできない原稿

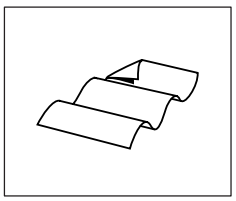
次の原稿はセットしないでください。



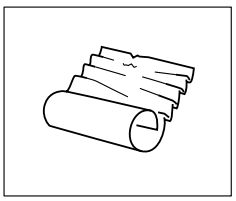
湿気を帯びているもの



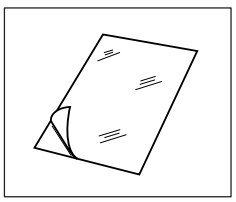
インクが乾いていないまたはインクの塊が残っているもの



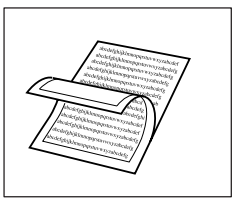
薄すぎるもの
（厚さが 0.06 mm 未満の原稿）



しわになったり、曲がったりまたは折れたりしたもの



表または裏がコーティングされているもの

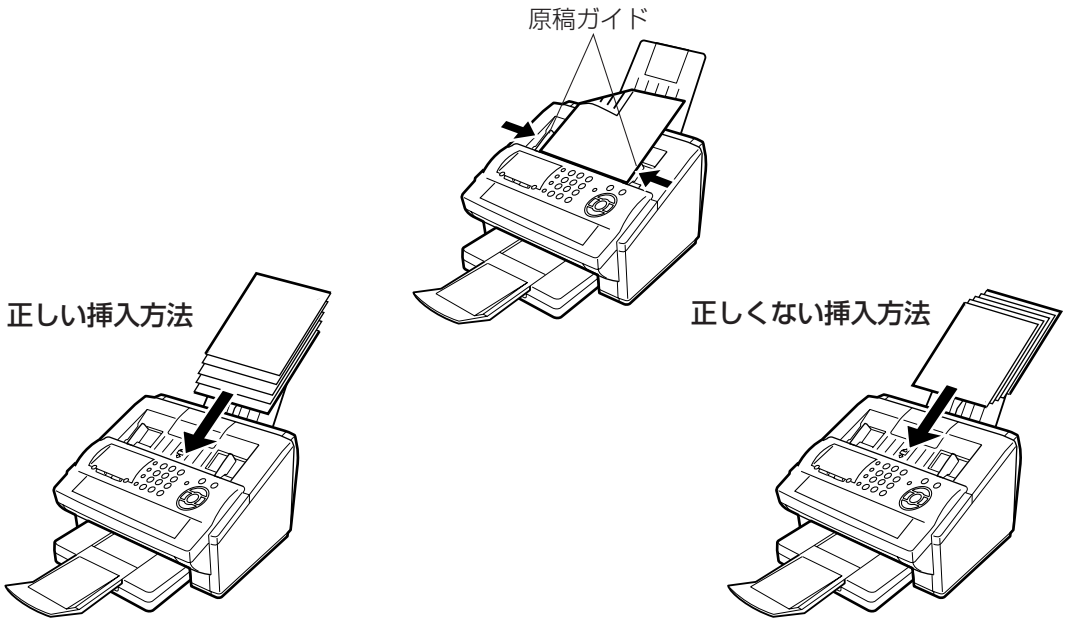


化学処理されたもの
（例：感圧紙、カーボンコート用紙等）または布製ないしは金属製

これらの原稿は、あらかじめ別の用紙にコピーしておいたものを送信してください。

原稿のセットのしかた

1. 原稿がホッチキスやクリップ留めされていないこと、また破れていたり、油がついていたり、コーティングされていたりしないことを確認してください。
2. 読み取る面を下向きにし、ADF（自動原稿送り装置）の奥に突き当たるまで差し込んでください。
   複数枚の原稿をセットする場合は、下記に示すように原稿を少しずつずらして ADF に挿入してください。
3. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせてください。



ADF に原稿をセットすると、ディスプレイのメッセージが日付（待機画面）から次のメッセージに変わります。

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

基本送信設定

送信前、原稿をセットするとき送信設定を一時的に変更することができます。

設定は次のとおりです。

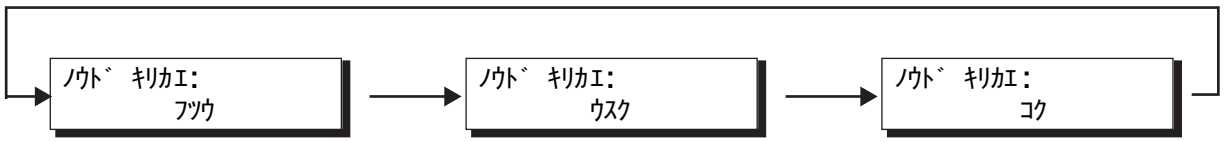
- 濃度
- 文字サイズ
- 済スタンプ
- 通信結果レポート

原稿を送信後、自動的にもとの設定に戻ります。

濃度

文字がうすい原稿を送るときは「コク」に変更してください。文字がこい原稿を送るときは「ウスク」に変更してください。

濃度 を押すごとに切り替わります。

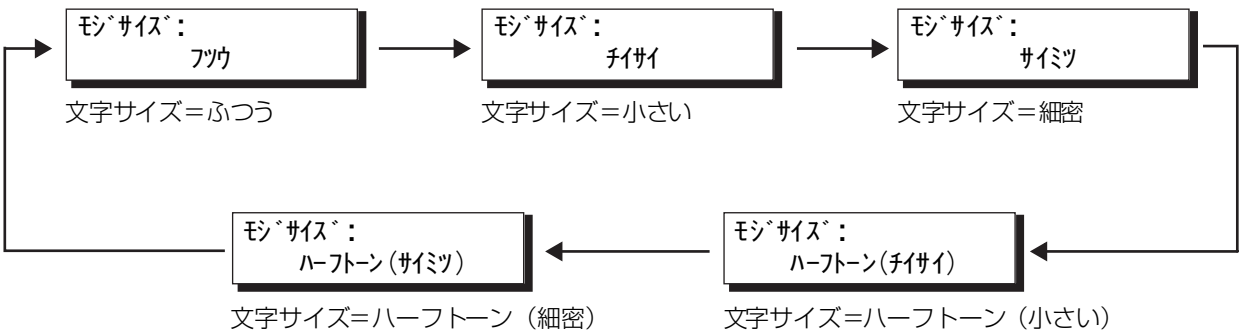


濃度＝ふつう　濃度＝うすく　濃度＝こく

文字サイズ

細かい文字の原稿を送るときは「チイサイ」もしくは「サイミツ」、写真やカラー原稿を送るときは「ハーフトーン」に変更してください。

文字サイズ を押すごとに切り替わります。



文字サイズ＝ふつう　文字サイズ＝小さい　文字サイズ＝細密

文字サイズ＝ハーフトーン（細密）　文字サイズ＝ハーフトーン（小さい）

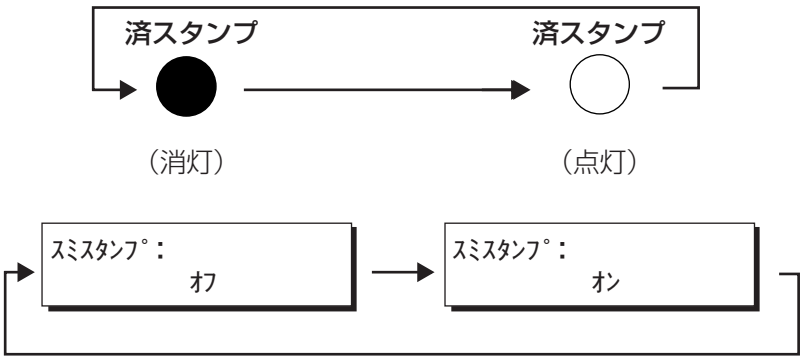
お知らせ

1. 良くお使いになる濃度や文字サイズの設定を登録しておけば、原稿をセットするたびに設定をする手間がはぶけます。（☛245ページ）
2. 文字サイズを「ハーフトーン（サイミツ）」に設定するとメモリーを多く消費するため、メモリー送信モードでは一度にセットできる原稿枚数が少なくなります。また、情報量が増えるため通信時間が長くなります。

済スタンプ

済スタンプを使えば、送信済の各ページに小さな㊟マークが付くので、ダイレクト送信の場合は正常に送信されたことが確認できます。

済スタンプ を押すごとに切り替わります。



お知らせ

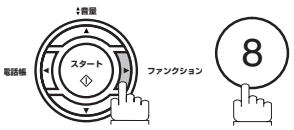
1. お買い求め時の設定はシステム登録の「004 済スタンプ」および「028 メモリー済スタンプ」（☛245、246 ページ）は「オフ」および「アリ」になっています。ダイレクト送信、メモリー送信または、ポーリング送信をする原稿に「済」マークを付けたくないときは、それぞれの設定を「オフ」および「ナシ」に設定してください。

通信結果レポート

通信ごとの結果を確認できます。

通信結果レポート = **オフ**に設定した場合　　: 通信結果レポートはプリントしません。
通信結果レポート = **オン**に設定した場合　　: 通信ごとに自動的に通信結果レポートをプリントします。
通信結果レポート = **ミツウシン**に設定した場合 : 通信が未通信のときのみ通信結果レポートをプリントします。

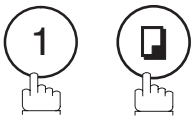
1




```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ=ﾐﾂｳｼﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾐﾂｳｼﾝ
```

3

"オフ"の場合（プリントしない）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾐﾂｳｼﾝ
```

または

"オン"の場合（常にプリント）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾐﾂｳｼﾝ
```

または

"ミツウシン"の場合
（通信が失敗したときのみプリント）

```
ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ=ﾐﾂｳｼﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾐﾂｳｼﾝ
```

4

コピー/セット

お知らせ

1. 通信結果レポートの設定を変更するにはシステム登録の「012 通信結果レポート」（☛245ページ）を変更します。

インターネット回線を使って送信する

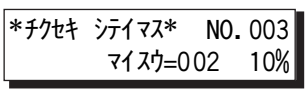
概要

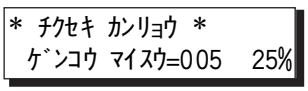
原稿をメモリーに蓄積し、インターネット経由で１宛先または複数宛先のメールアドレスに原稿を送信することができます。次の方法でメールアドレスが指定できます。

- 直接メールアドレス入力
- ワンタッチボタン指定
- 短縮ダイヤル指定
- 電話帳機能指定
- グループダイヤル

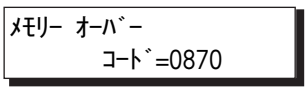
お知らせ

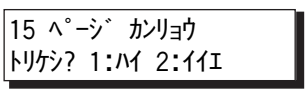
1. メールアドレスが登録されているワンタッチボタン、プログラムボタンまたは短縮ダイヤルを宛先として選択すると、自動的にメモリー送信します。
2. 原稿はメモリーに保存され、メールメッセージを送信します。
3. インターネット経由での原稿送信には、ダイレクト送信、手動送信は使えません。
4. メモリーに蓄積された原稿のファイル番号はディスプレイの右端上部に表示されます。通信結果レポートなどにもプリントされます。メモリー容量はディスプレイの右端下部に表示されます。





5. 複数枚の原稿を複数宛先指定にしているとき、原稿保存中にメモリー容量が一杯になった場合、ADF の残りの原稿は排出されます。ファクスが蓄積された原稿を送信するか、または送信を取り消すかを聞いてきます。①で取り消し、②で送信します。



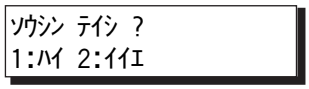


10 秒以内に操作をしない場合、すでにメモリーへ読み込まれた原稿について送信します。

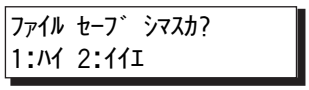
インターネット回線を使って送信する

6. 何らかの原因で正常に送信できない場合、エラーコードが表示されます。
   未通信となった場合、読み込まれた原稿は自動的にメモリーから消去され、エラーコードは通信結果レポートにプリントされます。（システム登録の「012 通信結果レポート」が「オフ」以外のとき）
   未通信となった場合でも、原稿をメモリーに残しておきたい場合は、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。（☛246 ページ）未通信ファイルを再送する場合については、128ページを参照してください。

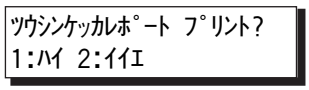
7. 送信を停止する場合は、ストップ を押します。
   ディスプレイには次のように表示されます。



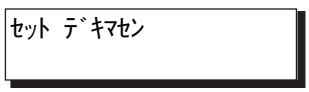
   ①を押して、送信を停止します。保存した原稿は、自動的に消去されます。原稿を消さない場合は、前もってシステム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。（☛246ページ）
   次のような表示が現れ、ファイルを保存するか、削除するかを選択します。



8. 送信停止後に通信結果レポートをプリントする場合は次の表示で①を押します。



9. ファイルメモリー容量が 70 ファイルになり、別のファイルを保存しようとする場合、次の表示が現れ追加ファイルの保存ができなくなります。空きができてから送信してください。



インターネットに接続するためには

インターネット機能をご利用になるには、本商品を LAN（ローカルエリアネットワーク）へ正しく設定する必要があります。登録編のインターネットに接続するための事前準備を行ってください。（☛186ページ）

直接メールアドレスを入力して送る

1
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

E メールモードを選択する

```
▌
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3a **キーボードから直接入力**
文字ボタンとダイヤルボタンを使ってメールアドレスを入力する（60 文字まで）
例： abc@ntt-abc.com
宛先を間違えたときは、クリアーを押して訂正してください。

```
abc@ntt-abc.com▌
```

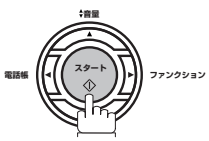
3b **デフォルトドメインを使う**
メールアドレスのユーザー部分を入力し、セットを押す
自局情報（インターネットパラメーター）に登録してあるデフォルトドメインが付加され送信されます。(☛お知らせ 2)
例： デフォルトドメインとして "ntt-abc.com" が登録され、メールアドレスが "abc@ntt-abc.com" のとき "abc" のみ入力すると、"ntt-abc.com" が自動で付加されます。

```
abc▌
```

```
  1 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

3c **セレクトドメインを使う**
デフォルトドメインと異なるドメインに送信する場合、メールアドレスの "@" までを入力し、21 @ を押して、▼または▲ボタンを使い、ドメインを選択し、スタートまたはセットを押します。(☛47 ページ)

```
abc@ntt-xyz.com▌
```

4 

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
        ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:abc@ntt-abc.com
```

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. お買い求め時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. システム登録の「160 デフォルトドメイン」が「アリ」でかつ、自局情報（インターネットパラメーター）にデフォルトドメインが登録されているときにご利用できます。(☛212、249ページ)
3. 宛先入力の前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信ごとに変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で設定できます。(☛250 ページ)

インターネット回線を使って送信する

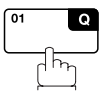
ワンタッチボタンで送る

ワンタッチボタンを使って、簡単な操作でメールアドレスを選択できます。ワンタッチボタンの登録については、234 ページを参照してください。

1
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

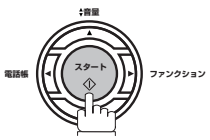
2 ワンタッチボタン（01-28）を押す

例： 


```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

電話番号がワンタッチボタンに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

3 

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
        ﾏｲｽｳ=001  01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_TOKYO
```

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. お買い求め時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛50 ページ）
3. 宛先選択（入力）の前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信ごとに変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で設定できます。（☛250 ページ）

短縮ダイヤルで送る

短縮ダイヤルを使って、短縮番号を押すことで、メールアドレスを選択できます。短縮ダイヤル番号の登録については、236 ページを参照してください。

短縮ダイヤルは 001 ～ 100 までの任意の 100ヵ所をお使いになれます。

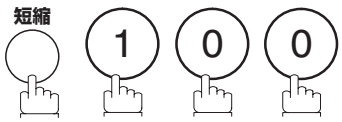
1 送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 短縮 を押して、3 桁の短縮番号（001-100）を押す

```
[100]NTT_OSAKA
osaka@ntt-abc.com
```

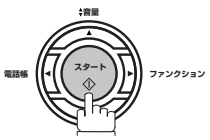
例：



電話番号が短縮ダイヤルに登録されている場合、ディスプレイには次のように表示されます。

```
[100]NTT_OSAKA
0612345678
```

3



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
        ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_OSAKA
```

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. お買い求め時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛50 ページ）
3. 宛先選択（入力）の前にセレクトモード（F 8－6）で送信ファイルタイプを送信ごとに変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で設定できます。（☛250 ページ）

インターネット回線を使って送信する

電話帳機能で送る

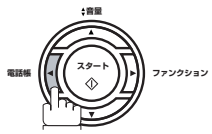
ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録（☛234、236 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してメールアドレスを選択できます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2a 宛先名を検索する場合




```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          <ｶﾅ
▌
```

2b メールアドレスを検索する場合

```
▌
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3a 文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する（☛241 ページ）

例：「NTT_TOKYO」を検索するには「NTT」と入力してください。

間違った場合、クリアーを押して文字を消し、正しい文字を再入力してください。

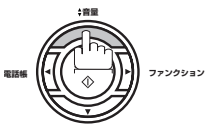
```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          <A>
NTT▌
```

3b 文字ボタンやダイヤルボタンを使ってメールアドレスの全部または一部を入力する

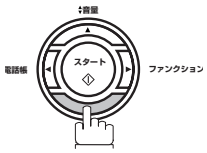
例： tokyo@ntt-abc.comを検索するには t を入力します。

```
t▌
tokyo@ntt-abc.com
```

4



または



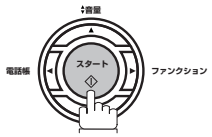
送信する宛先名、電話番号／メールアドレスが表示されるまで繰り返してください。

```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
t▌
tokyo@ntt-abc.com
```

5



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
       ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_TOKYO
```

■ **送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）**

お知らせ

1. お買い求め時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛50 ページ）
3. 宛先選択（入力）の前にセレクトモード（F　8 − 6）で送信ファイルタイプを送信ごとに変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で設定できます。（☛250 ページ）

一度にたくさんの相手に送る（同報送信）

一度の送信操作で、同じ原稿を複数の宛先に送信することができます。

1
送る面を裏向きにセットする

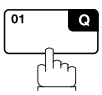
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

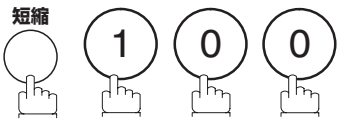
2 次の方法で宛先を選択入力する

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  各宛先選択ごとに［セット］を押します。
- 直接メールアドレス入力

  各宛先入力ごとに［セット］を押します。（最大70件）
  （☛37 ～ 41 ページ）
- グループダイヤル（☛108 ページ）

例： 



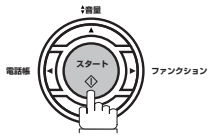

```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

```
[100]NTT_OSAKA
osaka@ntt-abc.com
```

- 入力した宛先数を確認する場合、［セット］を押します。

```
  2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

3



ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ　NO.001
ﾏｲｽｳ=001　01%

* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005　25%

ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ
ID:NTT_TOKYO

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

■ 宛先数の確認画面が表示されたときは（☛ お知らせ 6）

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. お買い求め時の設定では、送信できなかったときは、自動的に通信結果レポートがプリントされます。
2. 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛50 ページ）
3. メールアドレスと電話番号を組み合わせることができます。
4. 一般的にインターネット回線による複数宛先への送信は、SMTP サーバーに 1 回の送信で完了します。
   しかし、システム登録の「173 送達確認要求：オン」になっているか、「172 ダイレクト IFAX 送信：アリ」モードのときは、各宛先への個別送信となります。（☛249、250 ページ）
5. 宛先選択（入力）の前にセレクトモード（F　8 − 6）で送信ファイルタイプを送信ごとに変更できます。通常お使いになる送信ファイルタイプは、システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で設定できます。（☛250 ページ）
6. もう一度、**スタート**を押してください。
   システム登録の「125 複数宛先確認」が「アリ」に設定されている場合、複数宛先の最後の宛先がワンタッチ / 短縮 / グループダイヤルのときには、**スタート**を押すと宛先数の確認画面が表示されます（お買い求め時の設定）。**スタート**で表示されないようにするには、システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定します。（☛248 ページ）

メモリー送信予約（マルチタスク）

メモリーから原稿を送信または原稿を受信しながら、次の操作ができます。

- 次の送信をメモリーに蓄積する（送信中のファイルを含む最大 70 件）

本商品からメモリーを使って送信、受信またはプリントを行っている場合、次の手順で送信の予約ができます。

1 送信または受信中で、通信中ランプが点滅するかまたはプリント中のときは、次のように表示する

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_TOKYO
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:NTT_OSAKA
```

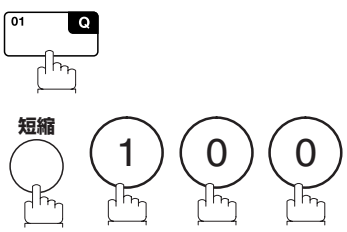
```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    01%
```

3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます。）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 セット を押します。
- 直接メールアドレス入力
  宛先入力後 セット を押します。（最大 70 件）
  （☛37 ～ 41 ページ）
- グループダイヤル（☛108 ページ）

例： 

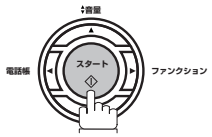

```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

```
[100]NTT_OSAKA
osaka@ntt-abc.com
```

```
  2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

- 入力した宛先数を確認する場合、 セット を押します。

4




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
        ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

原稿をメモリーに蓄積します。
通信終了後、メモリーに予約された通信が開始されます。

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. メモリ送信予約を取り消すには、125 ページを参照してください。
2. 手順 4 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 スタート を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

インターネット回線を使って送信する

再ダイヤル

自動再ダイヤル

LAN 接続が正常に行われなかったり、相手サーバーが通信不可能などで通信ができなかったときは、3 分ごとに最大 2 回まで再ダイヤルします。

その間、右のようなメッセージが表示されます。ファイル番号は、ディスプレイの右端上部に表示されます。

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾏﾁ          NO.001
tokyo@ntt-abc.com
```

手動再ダイヤル

再ダイヤル ボタンを押して、手動で再ダイヤルをすることもできます。

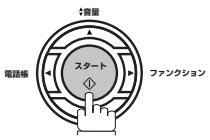
1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2


```
tokyo@ntt-abc.com
```

3 


```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.002
          ﾏｲｽｳ=001 01%
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. "ダイヤルマチ" が表示されているとき、再ダイヤル を押すことで再送信することもできます。

セレクトドメイン

セレクトドメイン機能を使うことで、メールアドレスの入力が簡単になります。

- ふだん使うドメイン名を最大10件まで、インターネットパラメーターのセレクトドメインリストに登録することができます。(☛212ページ)

例： セレクトドメインリストで事前登録した"ntt-abc.com"ドメインを使って、販売部宛"sales@ntt-abc.com"にEメールを送信する場合、以下の手順で行います。

1
送る面を裏向きにセットする

アテサキ ヲ イレテクダサイ
スタートヲ オシテクダサイ 00%

2

Eメールモードを選択する

メール アドレス ヲ イレテクダサイ

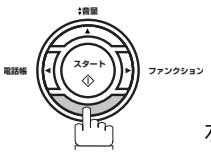
3 文字ボタンを使ってメールアドレスの"@"までを入力する

例：「sales@」を入力します。

(「@」以降にドメイン名が入力されます。)

sales@

4 送信するドメイン名がディスプレイに表示されるまで繰り返し

または


を押す

例： ntt-abc.com

ntt-abc.com

5 セット または スタート を押して、メールアドレスに追加する

ドメイン名の選択を間違った場合、セット または スタート に続いて ▼ または ▲ ボタンを押し、正しいドメイン名に入れ替えます。

sales@ntt-abc.com

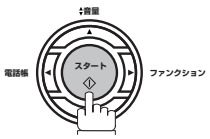
インターネット回線を使って送信する

6 セット を押す

- 続けて、次の宛先を入力できます。

```
  1 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

7



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

お知らせ

1. 必要なドメイン名が見つからない場合、クリアー を押して、セレクトドメインを終了してください。

送達確認（MDN）要求

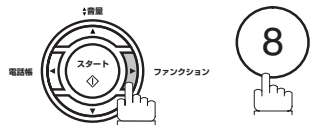
受信側に受信確認のＥメールを要求することができます（送達確認（MDN）要求）。受信側が送達確認機能を備えている場合、送信元に受信確認Ｅメールを自動的に送信することができます。
受信確認Ｅメールが戻ってきた場合、お使いのファクスの通信管理レポートには「OK」が表示されます。

1

送る面を裏向きにセットする

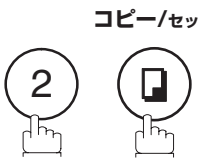
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2



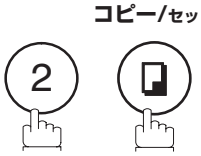

```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3




```
ｿｳﾀﾂ ｶｸﾆﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

4

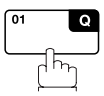



```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

5 宛先を指定する

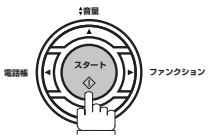
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 **セット** を押します。
- 直接メールアドレス入力
  宛先入力後 **セット** を押します。（最大 70 件）
  （☛37 ～ 41 ページ）
- グループダイヤル（☛108 ページ）

例：




```
<01> ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ
sales@ntt-abc.com
```

6



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

■ 送信を中断するには（☛36 ページ：お知らせ 7）

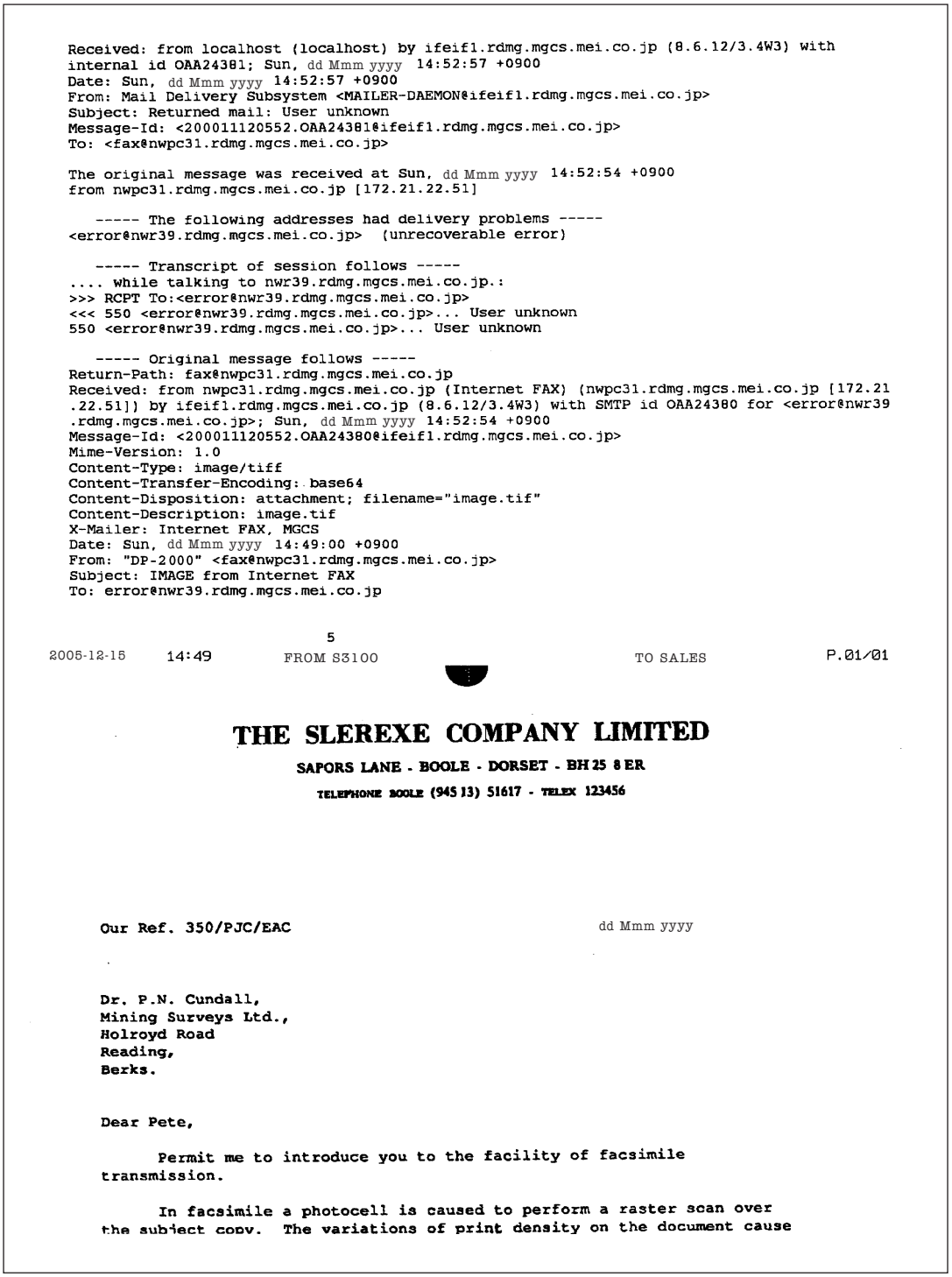
お知らせ

1. 別々の宛先に送達確認を行う場合、宛先に対応する LAN（ローカルエリアネットワーク）にその度に接続し、送達確認を要求します。
2. 送達確認要求の初期設定を変更するには、システム登録の「173 送達確認要求」を変更します。（☛250 ページ）
3. 手順 6 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

エラーメール

インターネット通信モードでは、正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返送されてきます。メールサーバーからの情報と 1 枚目の画情報がプリントされます。

エラーメールのプリント例



```
Received: from localhost (localhost) by ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with
internal id OAA24381; Sun, dd Mmm yyyy 14:52:57 +0900
Date: Sun, dd Mmm yyyy 14:52:57 +0900
From: Mail Delivery Subsystem <MAILER-DAEMON@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: Returned mail: User unknown
Message-Id: <200011120552.OAA24381@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
To: <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>

The original message was received at Sun, dd Mmm yyyy 14:52:54 +0900
from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21.22.51]

   ----- The following addresses had delivery problems -----
<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>  (unrecoverable error)

   ----- Transcript of session follows -----
.... while talking to nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp.:
>>> RCPT To:<error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
<<< 550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown
550 <error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp>... User unknown

   ----- Original message follows -----
Return-Path: fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp
Received: from nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp (Internet FAX) (nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp [172.21
.22.51]) by ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp (8.6.12/3.4W3) with SMTP id OAA24380 for <error@nwr39
.rdmg.mgcs.mei.co.jp>; Sun, dd Mmm yyyy 14:52:54 +0900
Message-Id: <200011120552.OAA24380@ifeif1.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Mime-Version: 1.0
Content-Type: image/tiff
Content-Transfer-Encoding: base64
Content-Disposition: attachment; filename="image.tif"
Content-Description: image.tif
X-Mailer: Internet FAX, MGCS
Date: Sun, dd Mmm yyyy 14:49:00 +0900
From: "DP-2000" <fax@nwpc31.rdmg.mgcs.mei.co.jp>
Subject: IMAGE from Internet FAX
To: error@nwr39.rdmg.mgcs.mei.co.jp

                                5
2005-12-15    14:49    FROM S3100                TO SALES          P.01/01

                THE SLEREXE COMPANY LIMITED
            SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8ER
          TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC                                  dd Mmm yyyy

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road
Reading,
Berks.

Dear Pete,

      Permit me to introduce you to the facility of facsimile
transmission.

      In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over
the subject copy.  The variations of print density on the document cause
```

メーリングリストを使う

複数の相手のメールアドレスを指定するかわりに、あらかじめメールサーバーに登録されたメーリングリストを利用すると、１回の操作で、簡単に複数宛先送信ができます。

メーリングリストのご利用については、システム管理者とよくご相談のうえご使用ください。

電話回線で送信する

概要

メモリーまたはダイレクト送信、手動送信のいずれかを選択できます。

以下の場合メモリー送信を使います。

- 原稿を複数の宛先に送信する
- 原稿をすぐに持ち帰る
- マルチタスクで操作をする

次の場合ダイレクト送信を使います。

- メモリーがいっぱい
- 原稿を次の通信で割り込んで送信する

次の場合手動送信を使います。

- 通話後、原稿を送信する
- ダイヤルトーンを聞いたあとに原稿を送信する

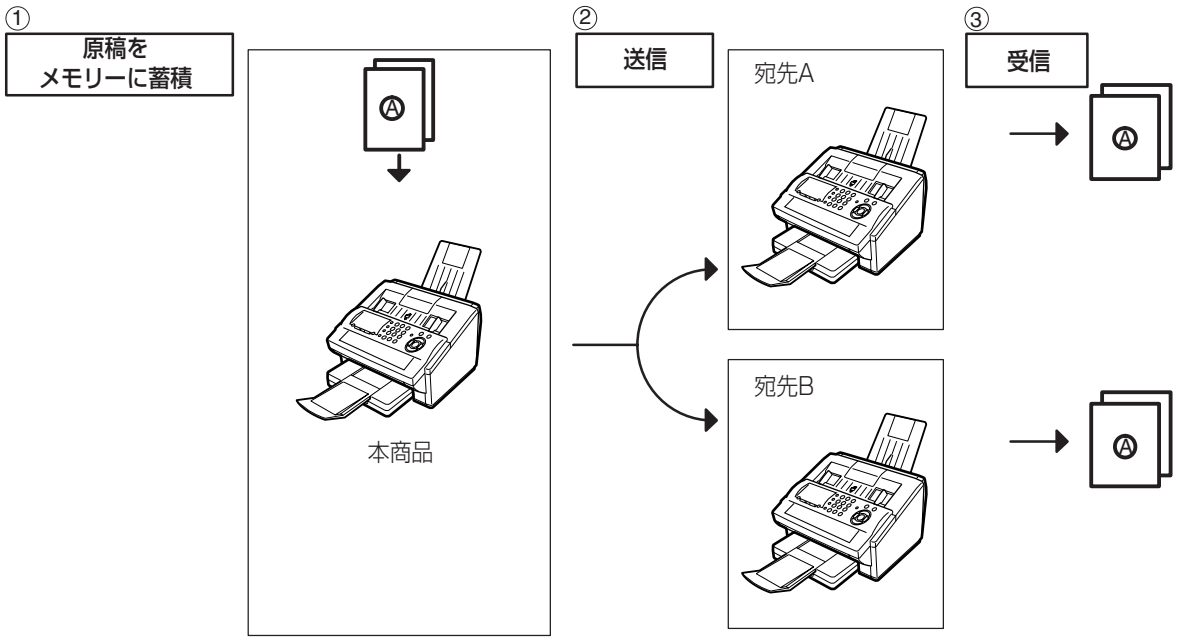
お知らせ

1. 相手側のファクスが自動受信（音声応答なしの場合）に設定されていると、本商品には「ピー」音が返ってきます。

メモリー送信

原稿をメモリーに蓄積し、次にダイヤルを開始します。

お客様が[ストップ]を押して送信を中止した以外で、中断されたときは、残りのページを再送します。



お知らせ

1. メモリーに蓄積された原稿のファイル番号はディスプレイの右端上部に表示されます。通信結果レポートなどにもプリントされます。メモリー容量はディスプレイの右端下部に表示されます。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.003
        ﾏｲｽｳ=002   10%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005    25%
```

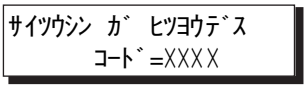
2. 複数枚の原稿を複数宛先指定にしているとき、原稿保存中にメモリー容量が一杯になった場合、ADF の残りの原稿は排出されます。ファクスが蓄積された原稿を送信するか、または送信を取り消すかを聞いてきます。①で取り消し、②で送信します。

```
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰ
        ｺｰﾄﾞ=0870
```

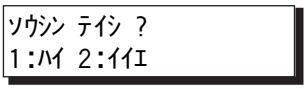
```
15 ﾍﾟｰｼﾞ ｶﾝﾘｮｳ
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

10 秒以内に操作をしない場合、すでにメモリーへ読み込まれた原稿について送信します。

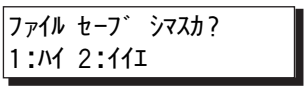
3. 何らかの原因で正常に送信できない場合、エラーコードが表示されます。
   未通信となった場合、読み込まれた原稿は自動的にメモリーから消去され、エラーコードは通信結果レポートにプリントされます。（システム登録の「012　通信結果レポート」が「オフ」以外のとき）
   未通信となった場合でも、原稿をメモリーに残しておきたい場合は、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。（☛246 ページ）未通信ファイルを再送する場合については、128ページを参照してください。



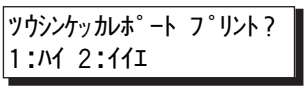
4. 送信を停止する場合は、ストップを押します。
   ディスプレイには次のように表示されます。



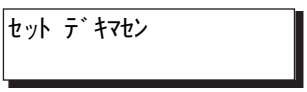
   ①を押して、送信を停止します。保存した原稿は、自動的に消去されます。原稿を消さない場合は、前もってシステム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に変更します。（☛246ページ）
   次のような表示が現れ、ファイルを保存するか、削除するかを選択します。



5. 送信停止後に通信結果レポートをプリントする場合は次の表示で①を押します。



6. ファイルメモリー容量が 70 ファイルになり、別のファイルを保存しようとする場合、次の表示が現れ追加ファイルの保存ができなくなります。空きができてから送信してください。



直接ダイヤルで送る

電話番号を手動でダイヤルするには、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

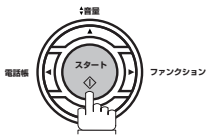
2

電話番号をダイヤルボタンから入力する
（36 桁まで）

例：「0312345678」を入力します。

```
TEL.NO.
0312345678
```

3




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.002
        ﾏｲｽｳ=001  05%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002
0312345678
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  最初のページを読み取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 3）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 [ポーズ] を押して宛先の番号を入力してください。ポーズは、“ー”が表示されます。
   例：9 [ポーズ] 0312345678
2. ダイヤル式（パルス）回線を使用しているとき、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更する場合、(✱)（トーン）を押してください。トーンは、“／”が表示されます。
   “／”の前まで発信後、ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信へ変更されます。
   例：9 [ポーズ] (✱) 0312345678
3. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛247 ページ）
4. 電話番号のあとに［フック／ F コード］を押すと“ｓ”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。

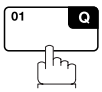
ワンタッチボタンで送る

ワンタッチボタンを使って、簡単な操作でダイヤルできます。ワンタッチボタンの登録については、234ページを参照してください。

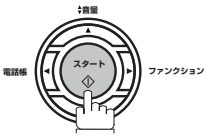
1
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 ワンタッチボタンを押す

例： 


```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

3 


```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.002
        ﾏｲｽｳ=001   05%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002
NTT_TOKYO
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  最初のページを読み取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 1）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛247 ページ）

短縮ダイヤルで送る

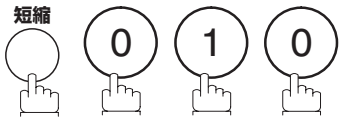
短縮 と３桁の短縮番号を押すことで、ダイヤルできます。短縮ダイヤル番号の登録については、236ページを参照してください。

1
送る面を裏向きにセットする

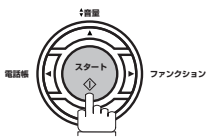
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 短縮 を押して、次に３桁の短縮番号を入力する

例：




```
[010]NTT_OSAKA
0612345678
```

3 

- 原稿をメモリーに蓄積します。
  最初のページを読み取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 1）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.002
        ﾏｲｽｳ=001   05%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002
NTT_OSAKA
```

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛247ページ）

電話帳機能で送る

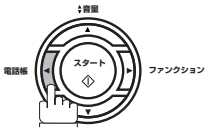
ワンタッチボタン、短縮ダイヤルに登録（☛234、236 ページ）してある宛先を電話帳機能で検索してダイヤルできます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          <ｶﾅ
▌
```

3

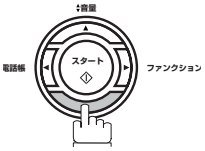
文字ボタンを使って宛先名の全部または一部を入力する（☛241 ページ）

例：「NTT_TOKYO」を検索するには「NTT」と入力してください。

```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          <A>
NTT▌
```

4

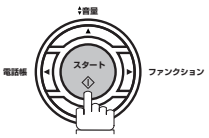
または



検索結果が送信したい相手先と異なる場合は、相手先が表示されるまで▼を繰り返し押します。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

5



- 原稿をメモリーに蓄積します。
  最初のページを読み取り後、すぐにダイヤルを開始します。（☛ お知らせ 1）
- 残りのページは続けてメモリーに蓄積されます。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.002
        ﾏｲｽｳ=001   05%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002
NTT_TOKYO
```

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. この機能は“**クイックメモリー送信**”と呼ばれます。原稿をすべてメモリーに保存してから送信する場合、システム登録の「082 クイックメモリー送信」を「ナシ」に変更します。（☛247 ページ）

一度にたくさんの相手に送る（順次同報送信）

同じ原稿を複数の宛先に送信する場合、メモリー送信を使うことで一度の操作でたくさんの相手に送ることができます。

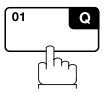
1 送る面を裏向きにセットする（☛60 ページ：お知らせ 1）

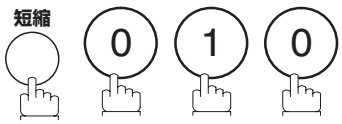
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  各宛先選択ごとに セット を押します。
- 直接ダイヤル
  各宛先入力ごとに セット を押します。(最大70件)
  (☛55 ～ 58 ページ)
- グループダイヤル（☛108 ページ）

例：






```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

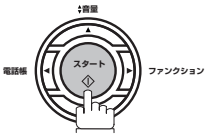
```
[010]NTT_OSAKA
0612345678
```

- 入力した宛先数を確認する場合、セット を押します。

```
  2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

電話回線で送信する

3



ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ　NO.001
　　ﾏｲｽｳ=001　01%

* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005　25%

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ NO.001
NTT_TOKYO

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信を開始します。

■ 宛先数の確認画面が表示されたときは（☛ お知らせ 3）

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. 画面の 2 行目に「スタートヲ オシテクダサイ」が表示されていないときは、システム登録の「005 メモリー優先」が「オフ」に設定されています。「オフ」の場合は、順次同報送信ができません。順次同報送信時はメモリー優先を「オン」にしてください。
2. ▼ または ▲ を押して、手順 2 で入力した宛先を見直すことができます。必要に応じてディスプレイに表示される宛先を**クリアー**を押すことで削除できます。
3. もう一度、**スタート**を押してください。
   システム登録の「125 複数宛先確認」が「アリ」に設定されている場合、複数宛先の最後の宛先がワンタッチ / 短縮 / グループダイヤルのときには、**スタート**を押すと宛先数の確認画面が表示されます（お買い求め時の設定）。**スタート**で表示されないようにするには、システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定します。
4. **クイックメモリー送信**（☛56 ページ：お知らせ 1）は複数宛先を設定している場合は使用できません。

ダイレクト送信（メモリーを使わずに送る）

原稿の枚数が多いなどで、メモリーに入りきらないときにお使いください。

ダイレクト送信をするには、以下の手順に従ってメモリー優先の設定を「オフ」にして送信してください。

1

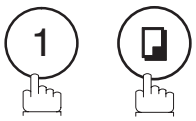
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

```
ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

3




```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                00%
```

4 宛先を指定する（1 宛先のみ指定できます）

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
0312345678
```

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  宛先選択後 **スタート** を押します。
- 直接ダイヤル

  宛先入力後 **スタート** を押します。

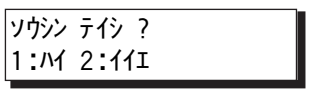
例：「0312345678」を入力し、**スタート** を押します。

- 宛先へ送信を開始します。

電話回線で送信する

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押して宛先の番号を全部入力してください。ポーズは、“ー”が表示されます。
   例：9 ポーズ 0312345678
2. ダイヤル式（パルス）回線を使用しているとき、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更する場合、✱（トーン）を押してください。トーンは、“／”が表示されます。
   “／”の前まで発信後、ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ ✱0312345678
3. 送信を停止するには、**ストップ** を押します。ディスプレイには次のように表示されます。



①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定（F8-1）が「オン」になっていてもプリントはしません。

手動送信

本商品にオプション品のハンドセットまたは外付け電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器でお話しをしたあとファクスの送信ができます。

オフフックダイヤル

オフフックダイヤルについては、以下の手順に従ってください。

1
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 ファクスまたは外付け電話機の受話器を持ち上げ、宛先を指定する

例：「0312345678」を入力します。

```
ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ
```

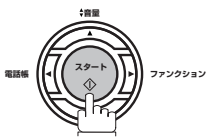
● ハンドセット使用時のみ

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
0312345678
```

3 相手とお話しをし、受信側の準備をするように伝える

次に、ピーッという音が聞こえたら、

```
* ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
```



受話器を置きます。

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押して宛先の番号を全部入力してください。ポーズは、“ー”が表示されます。
   例：9 ポーズ 0312345678
2. ダイヤル式（パルス）回線を使用しているとき、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更する場合、✱（トーン）を押してください。トーンは、“／”が表示されます。
   “／”の前まで発信後、ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ ✱0312345678
3. 送信を停止するには、**ストップ** を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定（F8-1）が「オン」になっていてもプリントはしません。

電話回線で送信する

オンフックダイヤル

オンフックダイヤルは、以下の手順に従ってください。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ*
```

モニタースピーカーからダイヤル発信音が聞こえます。

3

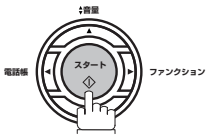
宛先を指定する

例：「0312345678」を入力します。

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
0312345678
```

4

ピーという音がしたら、




```
* ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
```

お知らせ

1. 内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押して宛先の番号を全部入力してください。ポーズは、“ー”が表示されます。
   例：9 ポーズ 0312345678
2. ダイヤル式（パルス）回線を使用しているとき、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更する場合、✱（トーン）を押してください。トーンは、“／”が表示されます。
   “／”の前まで発信後、ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信へ変更されます。
   例：9 ポーズ ✱0312345678
3. 送信を停止するには、**ストップ** を押します。ディスプレイには次のように表示されます。

```
ｿｳｼﾝ ﾃｲｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

①を押して、送信を停止します。通信結果レポートの設定（F8-1）が「オン」になっていてもプリントはしません。

メモリー送信予約（マルチタスク）

メモリーから原稿を送信または原稿を受信しながら、次の操作ができます。

- 次の送信をメモリーに蓄積する（送信中のファイル含む最大 70 件）
- 優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）

本商品からメモリーを使って送信、受信またはプリントを行っている場合、次の手順でメモリー送信予約ができます。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリント中のときは、次のような表示となります。

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_TOKYO
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:NTT_OSAKA
```

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2 送る面を裏向きにセットする

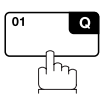
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    01%
```

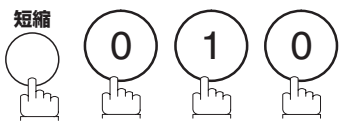
3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  各宛先選択後 セット を押します。
- 直接ダイヤル

  各宛先入力後 セット を押します。（最大 70 件）
  （☛55 ～ 58 ページ）
- グループダイヤル（☛108 ページ）

例： 




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

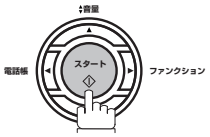
```
[010]NTT_OSAKA
0612345678
```

- 入力した宛先数を確認する場合は、 セット を押します。

```
  2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

電話回線で送信する

4



ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ　NO.001
ﾏｲｽｳ=001　01%

* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005　25%

原稿をメモリーに蓄積します。

■ 送信を中断するには（☛54 ページ：お知らせ 4）

お知らせ

1. メモリー送信予約を取り消すには、125 ページを参照してください。
2. 手順 4 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

優先ファイル送信予約（ダイレクト送信）

緊急を要する原稿を送信する際に、メモリーに多数のファイルがある場合、優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を使って、緊急原稿を送信します。緊急原稿は送信中の原稿が終了後すぐに送信されます。

複数相手先への原稿送信はできません。

1 ファクスが通信中の場合、または受信原稿をプリントする
ときは次のような表示となる

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:NTT_TOKYO
```

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:NTT_OSAKA
```

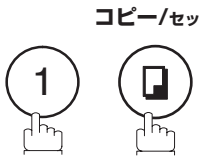
```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

2
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    01%
```

3


```
ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

4 


```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                01%
```

5 宛先を指定する（1宛先のみ指定できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

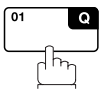
  宛先選択後 スタート を押します。

- 直接ダイヤル

  宛先入力後 スタート を押します。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

例：



緊急原稿の送信を 1 宛先のみ予約できます。

“ユウセン ヨヤク サレテイマス”メッセージがディスプレイに表示されます。

優先ファイルの送信予約（ダイレクト送信）を取り消す

1 原稿が ADF にあることを確認する

```
ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ｻﾚﾃｲﾏｽ
<01> NTT_TOKYO
```

2 **ストップ**

```
ﾕｳｾﾝ ﾖﾔｸ ﾄﾘｹｼ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

3

次に、ADF から原稿を取り除く

再ダイヤル

自動再ダイヤル

相手が話し中などでつながらなかった場合、約 3 分間隔で 2 回まで自動的に再ダイヤルします。

メモリー送信ファイルの場合、ファイル番号がディスプレイの右端上部に表示されます。

```
ﾀﾞｲﾔﾙﾏﾁ          NO.001
<01> NTT_TOKYO
```

手動再ダイヤル

再ダイヤル を押すことで、最後にダイヤルした番号に再ダイヤルすることもできます。

最後にダイヤルした番号にメモリーから再ダイヤルする

1

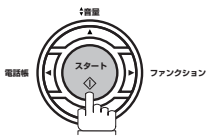
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

```
TEL.NO.
0312345678
```

3



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 次に最後にダイヤルした番号にダイヤルします。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.002
        ﾏｲｽｳ=001  01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.002
0312345678
```

電話回線で送信する

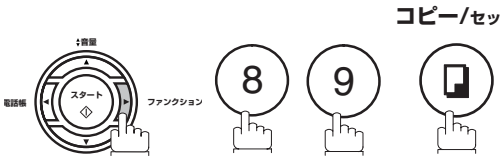
ダイレクト送信で再ダイヤルで送る

1

送る面を裏向きにセットする

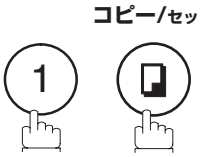
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2



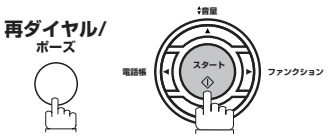

```
ﾒﾓﾘｰﾕｳｾﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

3




```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
                00%
```

4



最後にダイヤルした番号にダイヤルを開始します。

```
ｽﾀｰﾄ ﾃﾞ ﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｼ
0312345678
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ*
0312345678
```

お知らせ

1. “ダイヤルマチ” 表示のとき、**再ダイヤル** を押すことで手動で再送信できます。
2. ダイレクト送信を取り消すには **ストップ** を押します。

インターネット回線を使って受信する

概要

LAN 内のパソコンおよびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POP サーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、POP 関連の設定が必要になります。（☛73 ページ）

インターネットファクスは原稿以外に E メールも受信できます。

E メールをパソコンで見る場合の操作については、お使いの E メールソフトやビューアーソフトの取扱説明書をご覧ください。

次に E メールをパソコンで見る場合の一例を示します。

インターネットファクス送信をパソコンで受信した場合の画面

図 1: Outlook Express メールボックス見本

- 上記例はMicrosoft® Windowsで作動するOutlook® Expressメールボックスからのものです。お使いの E メールソフトが違う場合は、お使いのメールソフトの取扱説明書を参照してください。

インターネットファクスから受信したEメールを表示させた場合の画面

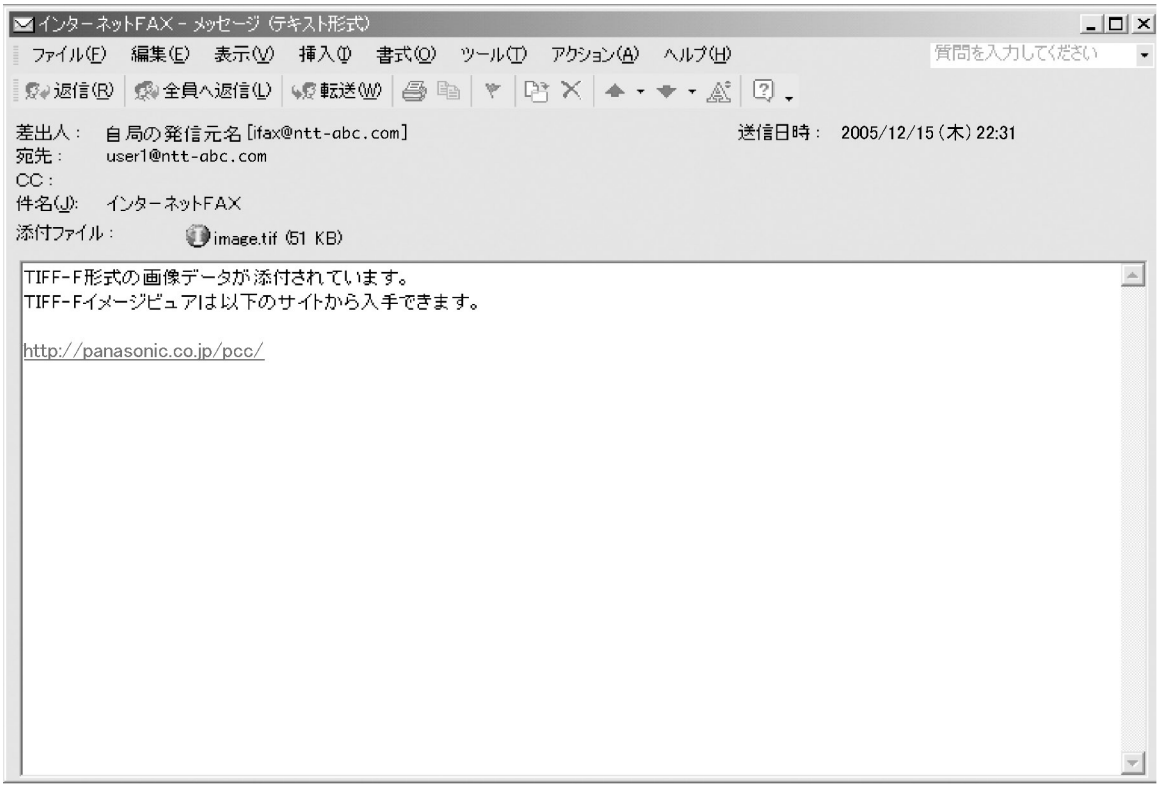


図 2: パソコンで受信したインターネットファクス

上記の例は、Microsoft® Windows で作動する Windows メッセージからの引用です。

フリーソフトの TIFF ビューアー、TIFF コンバーター、プリンタードライバー、LPR 、Adobe® Acrobat® Reader が以下のホームページからダウンロードできます。

- 日本語のホームページ　http://panasonic.co.jp/pcc/
- アドビ システムズ社のホームページ　http://www.adobe.co.jp/

ダウンロードしたソフトウェアのインストール作業ならびにインストール後の動作に関しましては、お客様の責任の元お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関してはその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

1. 本商品は TIFF 形式および PDF 形式のファイルで送信できます。システム登録の「177 送信ファイルタイプ」で切り替えができます。(☛ 250 ページ)

POP サーバーからメール受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。
（本商品が POP サーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方におたずねください。）

POP パラメーターの設定

POP サーバーに関連するシステム登録の設定をします。（No.146 ～ 149）（☛248 ページ）

NO.146（POP 取得間隔）　：POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔（0 ～ 60 分）を設定します。（0 分のときは自動で問い合わせは行いません。）

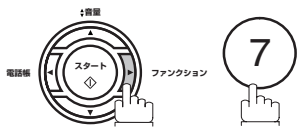
No.147（POP 自動受信）　：POP サーバー自動問い合わせで受信メールが有る場合、E メールを受信し、プリントします。
“ナシ”の場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。

No.148（POP 後メール削除）　：E メール受信後、サーバーから E メールを削除する・しないを設定します。

No.149（POP エラーメール削除）　：プリントできない添付の PDF ファイルを受信した場合、サーバーから E メールを削除する・しないを設定します。

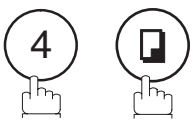
上記 POP パラメーターを設定するには、下記の手順に従ってください。

1



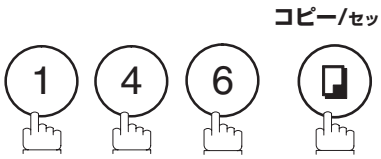

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
NO.=
```

3




```
146 POP ｼｭﾄｸ ｶﾝｶｸ
 3       ﾌﾝ (0-60)
```

4

取得間隔（0 ～ 60 分）を入力する

例： ⑤

```
146 POP ｼｭﾄｸ ｶﾝｶｸ
 5       ﾌﾝ (0-60)
```

間違った場合、クリアーを押して数字を消去し、次に正しい値を再入力します。

5 **コピー/セット**

147 POP ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ
2:ｱﾘ

6 POP 自動受信の設定を入力する

"ナシ" の場合①

または

"アリ" の場合②

147 POP ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ
2:ｱﾘ

7 **コピー/セット**

148 POPｺﾞ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
2:ｱﾘ

8 POP 後サーバーからEメールの削除をするかしないかの設定を入力する

"ナシ" にするには①

または

"アリ" にするには②

148 POPｺﾞ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
2:ｱﾘ

9 **コピー/セット**

149 POPｴﾗｰ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
1:ﾅｼ

10 POP エラー時のEメールの削除をするかしないかの設定を入力する

"ナシ" にするには①

または

"アリ" にするには②

149 POPｴﾗｰ ﾒｰﾙｻｸｼﾞｮ
1:ﾅｼ

11 コピー/セット

150 ｿｳﾀﾂ ｶｸﾆﾝ ﾍﾝｿｳ
1:ﾅｼ

12 ストップ

お知らせ

1. プリントできない添付ファイルを受信した場合、プリントできないことを通知します。
2. システム登録の「148 POP 後メール削除」および「149 POP エラーメール削除」の設定が「ナシ」に設定されている場合、POP サーバーからの E メールを定期的に削除しなければなりません。POP サーバーは、アカウントごとに一定の容量を確保しますが、E メールが定期的に削除しない場合、メールボックスが容量オーバーとなり、新規 E メールが拒否されることになります。
   これらの E メールはお手持ちのパソコンから取り込むかシステム登録の設定を「アリ」に設定し、本商品が POP サーバーからすべての E メールを受信、プリントおよび削除できるようにします。しかし、この場合、前にプリントした E メールを再びプリントしてしまうこともあります。

インターネット回線を使って受信する

POP サーバーからの自動受信

システム登録の「146 取得間隔」の数値を 1 ～ 60 分の間に設定し、システム登録の「147 POP 自動受信」を「アリ」に設定している場合、ファクスは新規 E メールを指定された時間ごとに自動的に POP 受信します。

POP サーバー上の E メールはすべて取り込み、自動的にプリントします。

```
1ｹﾝ ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ
```

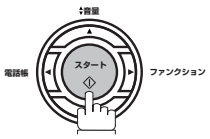
システム登録の「147 POP 自動受信」を「ナシ」に設定している場合、ファクスはシステム登録の No.146 で指定した間隔で POP サーバーへ E メール受信の確認をします。新着の E メールがある場合でも E メール取得は行いませんが、受信数の表示は行います。

```
2005-12-15 15:00
<ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ>
```

POP サーバーから手動受信

POP サーバーから手動で受信するには、以下の手順に従ってください。

1




```
2005-12-15 15:00
                00%
```

または

```
2005-12-15 15:00
<ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ>
```

2 POP サーバー新着の E メールがない場合は、次のメッセージが表示されます。

```
ｼﾞｭｼﾝﾒｰﾙﾊ ｱﾘﾏｾﾝ
```

3 新着の E メールが POP サーバー上にある場合、着信 E メール数を表示し、E メールを受信後、プリントします。

```
* ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:tokyo@ntt-abc.com
```

お知らせ

1. POP ユーザー名と POP パスワードをプログラムボタンに登録してある場合、自局情報（インターネットパラメーター）で登録した名前以外の POP ユーザー名を使って POP サーバーから E メール受信できます。

電話回線で受信する

受信モード

以下の４つのモードから１つを選択できます。

ご利用の目安	受信モード	設定
電話での受信のみ	**電話モード（手動受信）** 電話がかかってくると、呼出音が鳴ります。ファクス通信を受けたときは、[スタート]を押して、手動で受信します。	システム登録の No.17 を「シュドウ」にする。 2005-12-15 15:00 <ｼｭﾄﾞｳ> 00%
ファクスでの受信のみ	**FAX 専用モード** 電話がかかってくると、自動的にファクス受信します。	システム登録の No.17 を「FAX センヨウ」にする。 2005-12-15 15:00 00%
電話とファクスの両方を受信する	**ファクス / 電話自動切替モード** 電話がかかってくると、ファクスが一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。	システム登録の No.17 を「FAX/TEL キリカエ」にする。 2005-12-15 15:00 <F/T ｷﾘｶｴ> 00%
電話とファクスの両方を受信し、留守番電話（留守番電話機）を接続する	**留守録接続モード** 接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。	システム登録の No.17 を「ルスロクセツゾク」にする。 2005-12-15 15:00 <ﾙｽﾛｸ ｾﾂｿﾞｸ> 00%

お知らせ

1. 接続する留守番電話機によっては、「留守録接続」時に正常に動作しない機器があります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
2. オプション品のハンドセットをご利用の場合、相手がファクスのときに受話器を取りあげてしまい、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら、[スタート]を押してください。
   [スタート]を押し忘れて受話器を置いてしまっても受信は開始されます（オンフック受信）。
   次のような場合は、オンフック受信ができないことがあります。
   ・「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえないとき。
   ・こちらから電話をかけたとき。

電話回線で受信する

手動受信する

本商品にオプション品のハンドセットまたは外付け電話機を接続してお使いになっている場合、接続した受話器でお話しをしたあとファクスの受信ができます。

電話モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「シュドウ」に変更する（☛245 ページ）

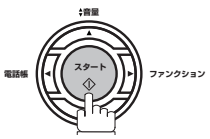
電話モードの操作

1 電話が鳴ったら、受話器を持ち上げる

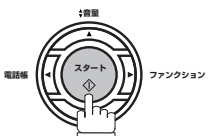
電話からポーッ、ポーッという音が聞こえたら、ファクス着信です。（☛ お知らせ 1）
または発信者が応答し、ファクス送信する旨を伝えられたとき。

2 ADF に原稿がないことを確認する

3a **受話器（ハンドセット）を使っている場合（☛ お知らせ 2）**



3b **外付け電話機を使っている場合**



または

- 外付け電話機にプッシュホン式電話をお使いの場合：「*」「*」（5 秒以内に続けて押す）
- 外付け電話機にダイヤル式電話機をお使いの場合：「9」「9」（5 秒以内に続けて押す）

お知らせ

1. 相手が手動送信の場合、受話器を持ち上げても無音の場合があります。
2. オプション品のハンドセットをお使いになるときは、システム登録の「075 オプションハンドセット」の設定を「アリ」にしてください。（☛ 247 ページ）
3. 外付け電話機の種類や地域などの諸条件により、リモート受信ができないことがあります。

4 受話器を戻す

- 外付け電話機から電話をかけたときは、リモート受信できません。

ファクス専用のときファクスを受ける

相手がファクスを送ってくると、自動的に受信を始めます。

ファクス専用モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX センヨウ」に変更する（☛245 ページ）

ファクス専用モードの操作

自動的に受信を開始します。

相手側には「ピー」音が返されます。

お知らせ

1. ファクス専用モード時は、ベルが 1 回鳴ると自動的に受信状態になるように設定されています。システム登録の「021 着信ベル回数」で 0 ～ 9 回の範囲内で変更可能です。
0 回に設定すると、ベルを鳴らさずに着信することができます。
外付け電話機を接続した場合は、0 回に設定しても、外付け電話機の種類によっては鳴動する場合があります。

ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける

一度電話を受けてから、相手がファクスか電話かを自動的に判断して切り替えます。

ファクス／電話自動切替モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「FAX/TEL キリカエ」に変更する（☛245 ページ）

ファクス／電話自動切替モードの操作

ファクス着信である場合

1 ファクスが最初に応答し、電話かファクス着信かを判断する

2 自動的に原稿の受信を開始する

電話の場合

1 ファクスが最初に通話に応答し、電話かファクス着信かを判断する

2 呼出音を鳴らし、着信を通知する（☛ お知らせ 1、2）

3 受話器を持ち上げる

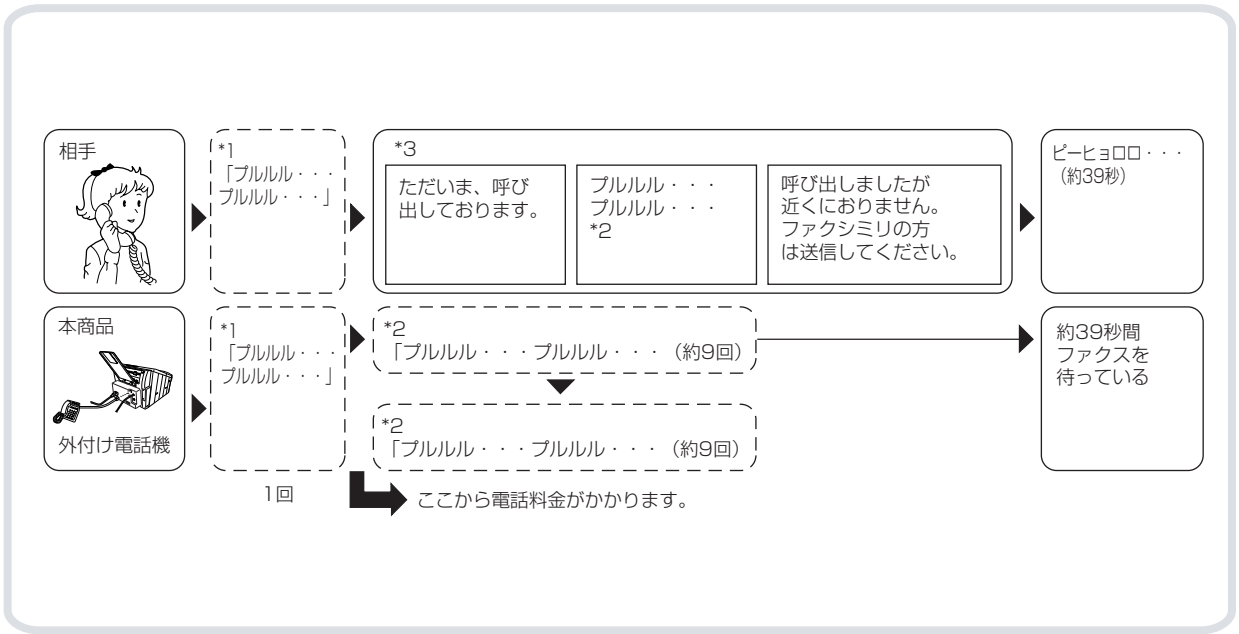
- 「ジュシン シテイマス」と表示されているときは、受話器を持ち上げたあと[ストップ]を押します。

4 会話をはじめる

お知らせ

1. ファクスの呼出音を鳴らす回数は、システム登録の「018 F/T ベル回数」で変更できます。（☛246 ページ）
2. 呼び出し音が鳴る前に受話器を持ち上げたときに、相手がファクスを送信してきた場合は、本商品の[スタート]を押してください。（☛78 ページ）
3. 呼出音量の調整については、25 ページを参照してください。

ファクス／電話自動切替にセットしているとき、電話がかかってくると



*1「021 着信ベル回数（☛246 ページ「システム登録」）

「ただいま呼び出しております」が聞こえる前の呼出音を鳴らす回数です。

*2「018 F/T ベル回数」（☛246 ページ「システム登録」）

ファクスの呼出音を鳴らす回数です。設定により呼び出し回数を変更することができます。変更すると、相手に流す「プルルル・・・」音の回数も変わります。

*3「072 音声応答」（☛247 ページ「システム登録」）

設定により、相手に音声応答を流さないで、呼出音だけを流すことができます。

● 呼出音量の調整については、25 ページを参照してください。

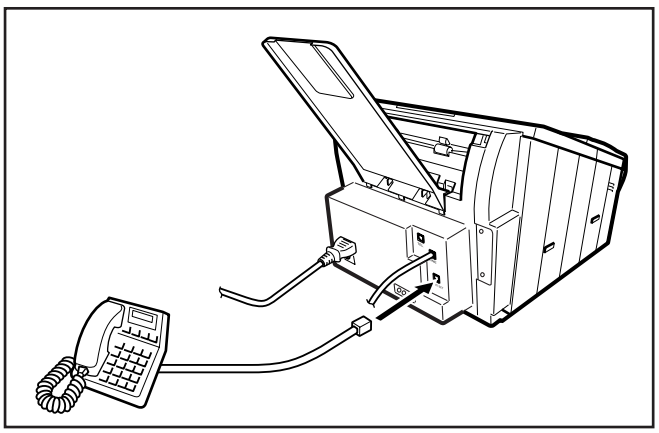
電話回線で受信する

留守録接続モード

接続した留守番電話機が電話を受けたあと、相手がファクスの場合には自動的に受信します。ほとんどの留守番電話機は対応可能ですが、まれにご利用できないものもあります。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

留守番電話機の接続と準備

1



1. 留守番電話機を、図の通り本体後部の電話機ジャックに差し込む
2. 留守番電話機を留守録モードにする

留守録接続モードの設定

1 システム登録の「017 受信モード」を「ルスロク セツゾク」に変更する。(☛245 ページ)

留守録接続モードの操作

ファクスの場合

1 留守番電話機が最初に応答し、留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します。留守番電話機の応答中は、ファクスが音声通話か、ファクスかを判断する。

2 自動的に受信を開始する。

電話機の場合

1 留守番電話機が最初に応答し、次に留守番電話機に録音した応答メッセージを相手側に流します。留守番電話機の応答中は、ファクスが音声通話か、ファクス着信かを判断する。

2 留守番電話機は、応答メッセージ後、続けて相手側のメッセージを録音する。

応答メッセージの例

はい。●●です。お電話に出られません。ピーという発信音の後にメッセージをお願いします。また、ファクスの方は、トーン発信に切り替え、アスタリスクボタン（✱）を 2 回押して、ファクス送信に切り替えてください。お電話ありがとうございました。

無音検出モード

ファクス信号「ポー…、ポー…、ポー…」を送信しないファクスから受信するとき、本商品をファクスモードに切り替えることができます。留守番電話機が無言の着信メッセージを記録するのを防ぎます。

この機能の使用方法

1. システム登録の「020 無音検知」を「アリ」に変更します。（☛246 ページ）
2. 留守番電話に記録した応答メッセージの長さをシステム登録の「019　応答メッセージ時間」で応答するメッセージの時間に合わせて変更します。（☛246 ページ）
   [「019 応答メッセージ時間」の長さは実際の長さより 5 ～ 6 秒長く設定することを推奨します。]

縮小受信

本商品は、A4 サイズの記録紙を使用します。相手側から A4 サイズより大きい原稿を送られた場合は、1 ページにプリントできないことがあります。このような場合には次のページに分割されてプリントされます。

本商品は縮小受信機能があり、1 ページにプリントすることができます。以下の選択肢からもっとも適切な設定を選択します。

1. **自動縮小**
   受信した各ページは、まずメモリーに蓄積されます。原稿の長さを基に、本商品が自動的に適切な縮小率を計算し（70 ～ 100%）原稿全体を 1 枚のページにプリントします。受信した原稿が極端に長い（記録紙より 39%以上）場合、原稿は別々のページ 2 枚に分かれ、縮小せずにプリントされます。

2. **固定縮小**
   縮小率をあらかじめ 70 ～ 100 % の範囲で 1%単位で設定できます。受信する原稿は、サイズに関係なく、設定された縮小率で縮小されます。

縮小受信モードの選択

システム登録を下記のとおりに設定します。（☛246 ページ）

1. 自動縮小率を設定します。
   1)「024 縮小受信」を「ジドウ」に設定します。

2. 固定縮小モードを設定します。
   1)「024 縮小受信」を「コテイ」に設定します。
   2)「025 固定縮小率」を 70%～ 100%の間で設定します。（☛ お知らせ 1）

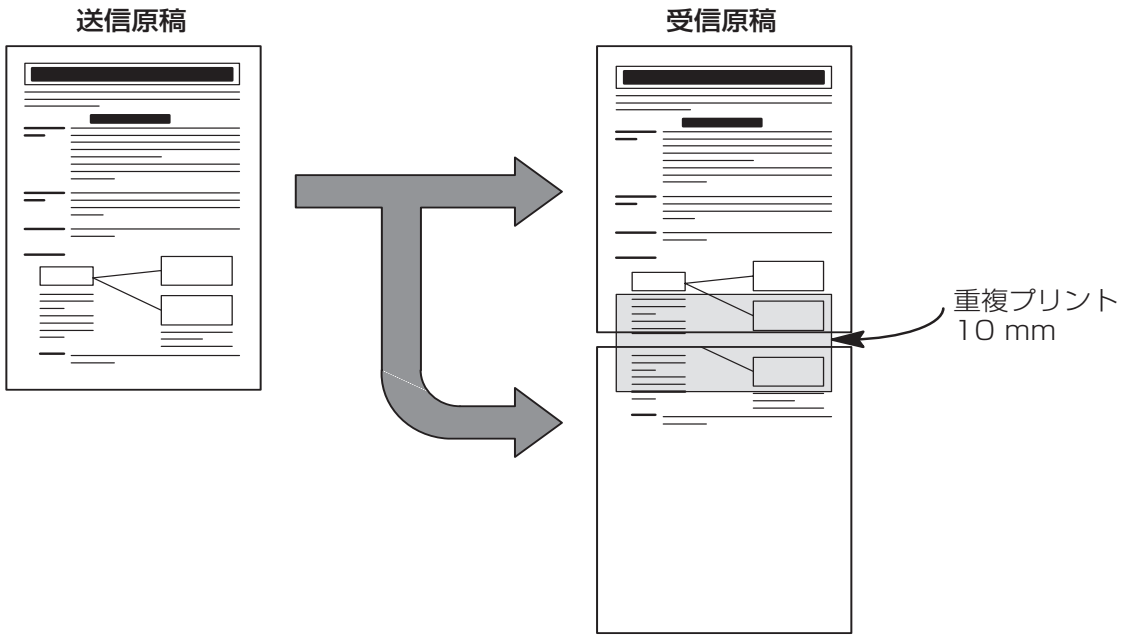
   例： A4 → A4 - 96%
   A4 → レター - 90%
   レター→レター - 96%
   リーガル→レター - 75%

お知らせ

1. 送信側が発信元印字を画面外設定してある場合は、縮小率を調整してください。

規定サイズ以外の原稿を受信したとき

受信原稿が極端に長い（記録紙より 39%以上）場合、原稿は別々の記録紙に分かれます。別々のページにプリントするとき、1 枚目の下から 10 mm までの部分と、2 枚目の最初の部分が重なるようにプリントします。



受信原稿は、分割部分が重複するような形で 2 枚に別れてプリントされます。

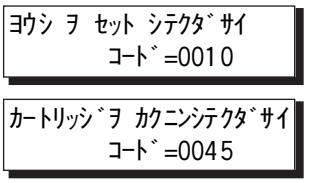
お知らせ

1. 縮小方法を自動縮小モードに設定している場合、原稿が別々のページにプリントされた場合は縮小せずにプリントされます。縮小方法を固定縮小モードに設定している場合、原稿はシステム登録の No.25 で設定した縮小率でプリントされます。（☛246 ページ）

メモリー代行受信

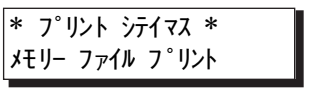
受信中に記録紙がなくなったり、つまったりした場合、またはトナーがなくなったりした場合は、本商品は自動的に原稿をメモリーに蓄積しはじめます。蓄積された原稿は、記録紙を補給するか、トナーカートリッジを取り替えれば、自動的にプリントされます。(☛ お知らせ 1 および 2)

1 メモリー受信を終了し、記録紙またはトナーが不足している場合、エラーコードがディスプレイに表示する



2 記録紙を補充する(☛266 ページ)か、トナーカートリッジを取り替える(☛264、289 ページ)

自動的にメモリーに蓄積された原稿のプリントを開始します。



お知らせ

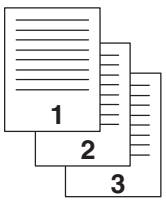
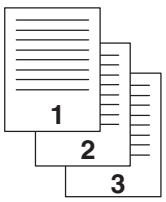
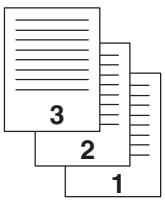
1. メモリー受信による蓄積枚数は 240 枚です(A4 判 700 字程度で標準的画質(8 × 3.85 本／ mm)の原稿を MH 符号化方式により蓄積したとき)。なお、実際の枚数は受信モード、原稿の内容、画像符号化方式などにより異なります。
2. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。そのときまでメモリーに蓄積された原稿はプリントされます。
3. メモリー代行受信を行いたくない場合は、システム登録の「022 代行受信」を「ナシ」にします。(☛246 ページ)

正順プリント

本商品は正順プリント機能が搭載されており、受信した原稿を正順にプリントできます。正順プリント機能が設定されているときは、受信した原稿はすべて最初メモリーに蓄積され、次に送信された最後のページからプリントされます。

正順プリントをするには、システム登録の「065 正順プリント」を「アリ」に設定すること（☛247 ページ）、およびメモリーの空きが十分であることが必要です。

上記の条件が満たされない場合は、非正順プリントでプリントします。

送信原稿順序	受信原稿のプリント順序	
	正順で重ねる (正順プリントモード)	逆順で重ねる (非正順モード)
		

ファクス番号と電話番号を使い分ける

概要

モデムダイヤルインサービスを利用して、受信した電話番号と本商品に登録されているファクス番号と電話番号を照合することにより、ファクスと電話を使い分けます。
受信ルーティング（受信振り分け）で、モデムダイヤルイン設定を「アリ」に設定しモデムダイヤルイン番号を登録している場合は、ファクス番号と電話番号の振り分け機能は利用できません。どちらが一方の機能にのみ登録できます。

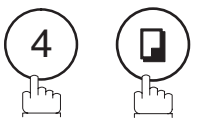
モデムダイヤルインを利用する

ファクス番号と電話番号を登録します。
モデムダイヤルインを設定する場合は、システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」を「ナシ」に設定してください。

1

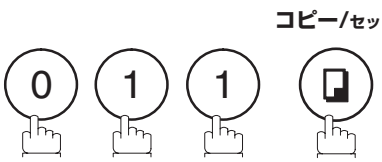
```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
        NO.=
```

3




```
11 ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
 1:ﾅｼ
```

4

```
11 ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
 2:ｱﾘ
```

5

```
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ FAXﾊﾞﾝｺﾞｳ
▌
```

6

ファクス用番号を市外局番から入力する
（最大 20 桁）
例：「0312349876」を入力します。

```
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ FAXﾊﾞﾝｺﾞｳ
0312349876▌
```

7

```
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ TELﾊﾞﾝｺﾞｳ
▌
```

8 電話用番号を市外局番から入力する
（最大 20 桁）
例：「0312345678」を入力します。

9 **コピー/セット**

待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. 登録するダイヤルイン番号は市外局番から必ず入力してください。
2. 2 つの電話番号は同時に通話・通信できません。
3. 電話がかかってきたときは、つながる（呼出音が鳴る）まで約 4 ～ 10 秒かかります。
4. モデムダイヤルイン設定を「アリ」に設定した場合は、受信モードは「FAX 専用モード」になります。
5. システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定し、受信ルーティングを設定した場合、モデムダイヤルインは設定できません。
6. オプション品のハンドセットや外付け電話機をご利用の場合、着信と同時に受話器をあげると「ピガー」という音が聞こえることがあります。「ピガー」という音が聞こえたら、すぐに受話器を置いてください。続いて電話の呼出音が鳴りますので、受話器をあげるとお話しすることができます。

コピーをする

コピー機能を利用して、1 枚または複数枚の原稿を 1 部または複数部コピーを取ることができます。

1

コピーする面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 **コピー/セット**

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=1
```

3 コピー部数を入力する（最大 99 部）

例：「10」を入力します。

```
ｺﾋﾟｰ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=10
```

4

原稿をメモリーに蓄積し、コピーを開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.005
        ﾏｲｽｳ=001  01%
```

```
* ｺﾋﾟｰ ｼﾃｲﾏｽ *
  ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ=01/10
```

お知らせ

1. 原稿の長さによって自動的に縮小コピーをします。手動で縮小率を変更するときは、システム登録の「032 縮小コピー」を「シュドウ」に変更します。(☛246 ページ)

   コピー縮小を手動に設定している場合、▼と▲を押して、縮小率を 100% から 70% の範囲で 1% 刻みで設定できます。

2. 縮小率を 100%で設定していても 1 ページにプリントするために少し縮小されます。

3. 手順 2 で [コピー] を押したとき、文字サイズが「フツウ」に設定されている場合でも自動的に「チイサイ」に設定されます。(「フツウ」は設定できません。)

4. 原稿の読み取り中にメモリーがいっぱいになるとコピーできません。読取り前の原稿を排紙し、「メモリーオーバー」の表示をし、蓄積した原稿は消去されます。この場合には、2 回以上に分けてコピーしてください。

5. 次の様なコピーを所有するだけでも、法律により罰せられますのでお気を付けください。

   - 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券類、地方債証券類
   - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
   - 未使用郵便切手、官製はがき類、政府発行の印紙、酒税法で規制の証券類

6. 著作権の目的となっている書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

応用編

タイマー通信

概要

24 時間以内であれば 1 宛先または複数宛先に対して時刻を指定して原稿を送信することができます。タイマー送信とタイマーポーリング通信を合わせて 70 件まで指定できます。

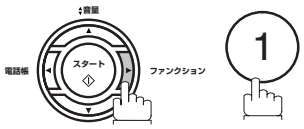
タイマー送信

1

送る面を裏向きにセットする

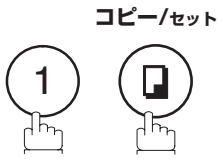
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ          (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3




```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ▮:
```

4

ダイヤルボタンを使って送信時刻を入力し セット を押す
（時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。）

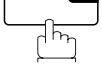
例： 午後 11 時 30 分の場合、「2330」を押して セット を押します。

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5

宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

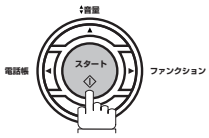
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 セット を押します。
- 直接ダイヤル
  宛先入力後 セット を押します。
- グループダイヤル

例： 

を押します。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

6




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.002
      ﾏｲｽｳ=001   05%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

- 原稿読み取りが開始されます。
- 原稿をメモリーに蓄積し、タイマー送信がセットされます。

お知らせ

1. 手順４で誤った時刻を入力した場合、**クリアー**を押した後、入力し直してください。
2. タイマー送信の設定を変更あるいは解除する手順は、123 ページと 125 ページを参照してください。
3. システム登録の「005 メモリー優先」の設定を「オフ」にして、原稿をメモリー保存せずにタイマー送信の予約を行った場合、**スタート**を押した後、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。

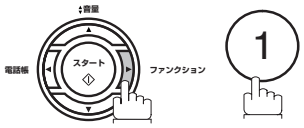
```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ ｾｯﾄｽﾞﾐ
<01> NTT_TOKYO
```

4. 手順６で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度**スタート**を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

タイマーポーリング受信

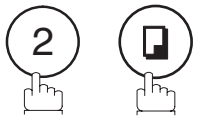
あらかじめ指定した時刻に自動的にポーリング受信します。ポーリング通信に関しては 95 ページを参照してください。

1




```
ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ          (1-2)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ■ :
```

3 ダイヤルボタンを使ってポーリング受信する時刻を入力し、[セット]を押す
（時刻を 24 時間制の 4 桁で入力してください。）
例：午前 3 時 30 分の場合、⓪③③⓪を押して
[セット]を押します。

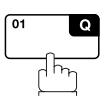
```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
     ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=■■■■
```

4 4 桁のパスワードを入力し、[セット]を押す
例：「9876」を入力して[セット]を押します。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

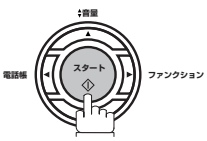
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後[セット]を押します。
- 直接ダイヤル
  宛先入力後[セット]を押します。
- グループダイヤル

例： 

を押します。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

6




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
```

- タイマーポーリング受信がセットされます。

お知らせ

1. 手順 3 で誤った時刻を入力した場合、[クリアー]を押した後、入力し直してください。
2. タイマーポーリング受信の設定を変更あるいは解除する手順は、123 ページと 125 ページを参照してください。
3. タイマーポーリング受信は、電話回線を使用時のみ利用できます。
4. システム登録の「026 ポーリングパスワード」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
5. 手順 6 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度[スタート]を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

ポーリング通信

概要

ポーリングパスワードが一致すると、ポーリング送信側にセットしている原稿をポーリング受信側の操作で送信させることができます。このとき、通信費はポーリング受信側の負担となります。

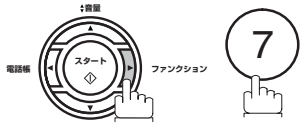
- ポーリング通信は機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ポーリングパスワードをセットする

パスワードが相手先と一致しなかった場合、ポーリング通信できません。

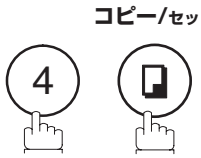
次の手順で、ポーリングパスワードを設定します。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=
```

3

```
26 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
                ■■■
```

4 4桁のパスワードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
26 ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
                1234
```

5

お知らせ

1. ポーリング通信が利用できない機種もありますのでご注意ください。重要な文書をポーリングする際は、事前にポーリング通信機能が実行できるかどうかテストすることをお勧めします。
2. 相手先パスワードが設定されていない場合、受信元にパスワードが設定されていてもポーリング通信機能が実行できることがあります。
3. ポーリング受信は、電話回線を使用時のみ利用できます。

ポーリング送信

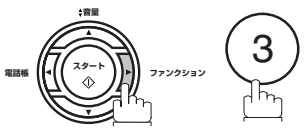
相手先に原稿をポーリングさせる場合には、あらかじめ原稿をメモリー蓄積させておく必要があります。原稿をメモリー蓄積させる前にポーリングパスワードが設定されていることを確認してください。ポーリング通信後、メモリーに蓄積されていた原稿は自動的に消去されます。原稿を繰り返しポーリングするためにメモリーに保存させる場合は、システム登録の「027 ポーリングファイル保存」を「アリ」（☛246ページ）に設定します。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ            NO.=
1:ｼﾞｭｼﾝ 2:ｿｳｼﾝ
```

3

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
    ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=■■■■
```

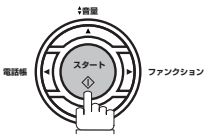
4

4桁のパスワードを入力する

例：「4321」を入力します。（☛お知らせ 3）

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｿｳｼﾝ
    ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=4321
```

5



原稿がメモリーに蓄積され、ポーリング送信がセットされます。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.015
        ﾏｲｽｳ=001  01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005  25%
```

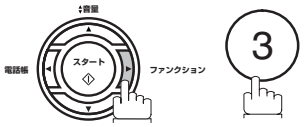
お知らせ

1. ポーリング送信が設定されている場合でも、原稿の送受信はできます。
2. ポーリング送信をセットできるのは 1 通信に限られます。ファイルに原稿を追加したい場合は、127ページを参照してください。
3. システム登録の「026 ポーリングパスワード」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
4. ポーリング送信を解除する手順は、125ページを参照してください。

ポーリング受信

1つあるいは複数の相手先から原稿をポーリング受信するためには次の手順で操作してください。ポーリング通信を実行する前にパスワードの設定をご確認ください。(☛95 ページ)

1




```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ          NO.=
1:ｼﾞｭｼﾝ 2:ｿｳｼﾝ
```

2

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
    ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=■■■■
```

3

4 桁のパスワードを入力する (☛98 ページ:お知らせ 2)

例:「1111」を入力します。

```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
    ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=1111
```

4

コピー/セット

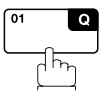
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5

宛先を指定する(複数宛先の指定ができます)

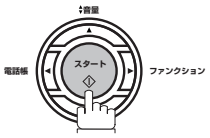
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 **セット** を押します。
- 直接ダイヤル
  宛先入力後 **セット** を押します。
- グループダイヤル

例:




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

6



ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ　NO.001

受信が開始されます。
（ダイヤルを開始します。）

お知らせ

1. ▼ ▲ ボタンを利用すれば、手順 5 で入力した宛先を確認することができます。また、表示された宛先や宛先グループを消去したい場合は必要に応じて**クリアー**を押してください。
2. システム登録の「026 ポーリングパスワード」を設定すると、パスワードがディスプレイに表示されます。新パスワードを上書きすれば一時的にパスワードを変更することができます。
3. 手順 6 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度**スタート**を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

FROM 選択機能

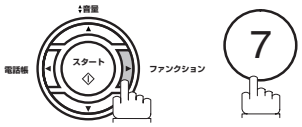
概要

システム登録「145 From 選択機能」を「アリ」にすると、ファクスや E メール送信時に、発信元や E メールの From 欄の内容を選ぶことができます。お買い求め時の設定は「ナシ」になっています。(☛248 ページ)

24 個（No.01 ～No.24）のユーザー名とアドレスを登録できます。

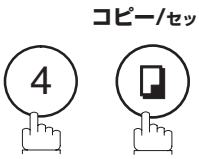
FROM 選択機能の設定

1



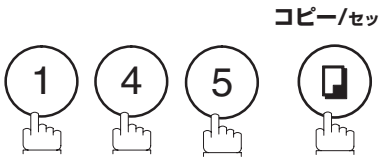

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
NO.=
```

3




```
145 Fromﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
 1:ﾅｼ
```

4

```
145 Fromﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
 2:ｱﾘ
```

5

```
Fromﾗﾝ ｾﾝﾀｸ
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

6 発信元の選択ナンバーを入力する
または▼ ▲ボタンを使って選択する

例：「12」を入力します。（01 から 24 まで入力可能）

```
ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ   <ｶﾅ
12 ▮
```

7 文字ボタンやダイヤルボタンを使ってユーザー名を入力し セット を押す（最大 25 文字 / 桁）
(☛241 ページ)

例：「NTT_TOKYO」と入力し、セット を押します。

```
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 ▮
```

8 Eメールのヘッダー部の“From”に印字されるメールアドレスを入力する（最大60文字）。

例：「tokyo@ntt-abc.com」を入力します。

```
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
12 okyo@ntt-abc.com
```

9 **コピー/セット**

```
ﾕｰｻﾞｰﾒｲ ﾆｭｳﾘｮｸ    <ｶﾅ
13
```

続けてユーザー名を登録する場合は、手順7から9までの操作を繰り返し行ってください。（若いナンバーに戻るには▲ボタンを押す）

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

送信元を選択して原稿を送信する

1

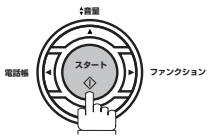
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

宛先を指定する

3




```
Fromﾗﾝ ｾﾝﾀｸ (00-24)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

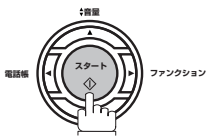
4

使用したい番号を入力または▼ ▲ボタンを使って選択する（☛ お知らせ 1）

例：「12」を入力します。

```
12 NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

5



原稿は、選択した番号に登録されているユーザー名をEメールのヘッダー部の“From”に記載の上、送信されます。

お知らせ

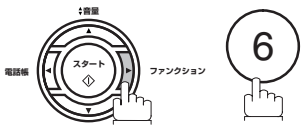
1. 手順 4 で、ユーザー名を登録した番号を選択しない場合は、自局登録のインターネットパラメーターに登録しているユーザー名（00）が選択されます。

FROM 選択リストをプリントする

システム登録リストに続いて FROM 欄選択リストをプリントすることができます。

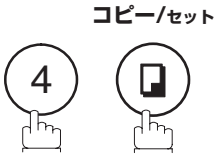
FROM 欄選択リストをプリントする際は、システム登録の「145 From 選択機能」を「アリ」にしてください（☛248 ページ）。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ
```

FROM 欄選択リストのサンプル（ファクス・パラメーターの後にプリントされます）

```
********** -ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ- ********** 2005-12-15 ********** 15:00 ***P.03

      *** From ﾗﾝ ｾﾝﾀｸ ﾘｽﾄ ***

(1)     (2)                    (3)
NO.     ﾕｰｻﾞｰﾒｲ                 ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ

01      ｿｳﾑﾌﾞ                  soumu@ntt-abc.com
02      ｻｰﾋﾞｽﾌﾞ                service@ntt-abc.com
03      ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ               sales@ntt-abc.com

 ⎜       ⎜                      ⎜

24      NTT_OSAKA              osaka@ntt-abc.com

                                        -  S3100                -

********** - NTT - ********** -  201 555 1212- **********
```

FROM 欄選択リストの内容説明

(1)　送信元選択ナンバー　：01-24
(2)　ユーザー名　：最大 25 文字
(3)　メールアドレス　：最大 60 文字

件名の入力

概要

自局登録のインターネットパラメーター設定の「デフォルトサブジェクト」に登録されている件名を、送信するすべてのＥメールの件名に付与して送信することができます。

Ｅメールを送信するときに各Ｅメールの件名を設定したい場合は、システム登録の「159 サブジェクト登録」を「アリ」にしてください。（☛249 ページ）

件名を入力して送信する

1
送る面を裏向きにセットする

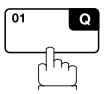
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

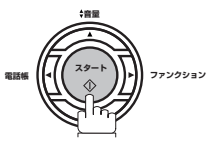
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

  宛先選択後 **セット** を押します。
- 直接メールアドレス入力

  宛先入力後 **セット** を押します。
- グループダイヤル

例： 

```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

3 


```
ｻﾌﾞｼﾞｪｸﾄ ﾆｭｳﾘｮｸ
ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4 文字ボタンやダイヤルボタンを使って件名を入力する（最大 40 字／桁）（☛241 ページ）

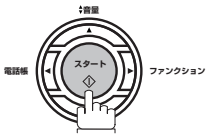
自局登録のインターネットパラメーターに登録されている件名（サブジェクト）を使用する場合は、**スタート** を押すだけで付与されます。

例： ギョウムレンラク

```
ｻﾌﾞｼﾞｪｸﾄ          <ｶﾅ
ｷﾞｮｳﾑﾚﾝﾗｸ
```

件名の入力

5



- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 宛先へ送信が開始されます。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
      ﾏｲｽｳ=001   01%
```

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

```
* ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ *
ID:NTT_TOKYO
```

お知らせ

1. 手順３で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。
2. 自局登録のインターネットパラメーターに件名があらかじめ登録されていない場合は、件名として“IMAGE from Internet FAX”がメッセージ表示されます。

受信ルーティング（受信振分け）

ルーティング・パラメーターの設定

G3 ファクスから受信した原稿を、LAN に接続されたパソコンやインターネットに E メール送信することができます。また電話回線に接続された別の G3 ファクスに送信することもできます。

この機能を利用する場合、システム登録の No.152（SUB ルーティング）、
No.153（数字ID ルーティング）、No. 175（発番号ルーティング）と（または）No. 176（モデムダイヤルインルーティング）の設定を「アリ」に設定する必要があります。（☛248、250 ページ）

No.152（SUB ルーティング） ： F コード通信（サブアドレス通信）を利用できる G3 ファクスからＦコードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。
送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本商品に登録されている宛先にルーティングすることができます。

No.153（数字 ID ルーティング） ： Ｆコード通信を利用できないG3ファクスから、ルーティングさせる場合に「アリ」に設定します。
送信側ファクスから送られてくる数字 ID で本商品に登録されている宛先にルーティングすることができます。

No.154（ルーティング時 From 欄） ： ルーティングされる各ファクスのEメールヘッダーの「From」欄に表示する設定を 選択します。

指示局 ： 発信者の数字 ID をルーティングする E メールの「From」欄に表示します。

中継局 ： ルーティングする中継局のメールアドレスを、ルーティングするＥメールの「From」欄に表示します。

No.155（ルーティング時プリント） ： 受信した原稿をすべて本商品でプリントするか、ルーティング操作が機能しなかった場合のみプリントするかどうかを選択する場合は、このパラメーターで設定してください。

No.175（発番号ルーティング） ： 発信者番号通知（ナンバー・ディスプレイ）を利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号で、本商品に登録されている発信者番号の宛先にルーティングすることができます。

No.176（モデムダイヤルイン ルーティング） ： モデムダイヤルインサービスを利用してルーティングする場合に「アリ」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本商品に登録されている宛先にルーティングすることができます。

お知らせ

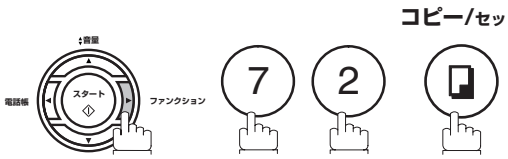
1. 発信者番号通知（ナンバー・ディスプレイ）・モデムダイヤルインサービスはあらかじめ当社との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては 116 番へお問い合わせください。

受信ルーティング（受信振分け）

ルーティングの登録

ルーティング通信で転送する相手先の宛先、F コードサブアドレス、数字 ID、発信者番号およびダイヤルイン番号を電話帳に登録します。ファクス通信時の送信側から送られてきた番号が一致した場合に、一致した電話帳の宛先に転送します。あらかじめシステム登録の「152 SUB ルーティング」、「153 数字 ID ルーティング」、「175 発番号ルーティング」、「176 モデムダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定しておいてください。（☛248、250 ページ）

1




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

電話番号/メールアドレスをワンタッチボタンに登録する場合は、①を、短縮ダイヤルに登録する場合は②を押す

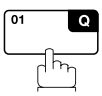
例： ①を押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

登録するワンタッチボタンまたは短縮番号を選択する

例：




```
<01>
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

メールアドレスと電話番号の入力を切り替える場合は

を押します。

```
<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

メールアドレス（最大 60 字）または電話番号（最大 36 桁）を入力する

```
<01>
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01>
0312345678
```

5

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
0312345678
```

6 文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「NTT_TOKYO」を入力します。

```
<01> NTT_TOKYO■  <A>
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKYO■  <A>
0312345678
```

7 **コピー/セット**

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ:SUBｱﾄﾞﾚｽ
                ■
```

8 サブアドレス（最大 20 桁）を入力し、セット を押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ:ｽｳｼﾞ ID
                ■
```

9 数字 ID（TSI）（最大 20 桁）を入力し、セット を押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ:ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ
                ■
```

10 発番号（最大 20 桁）を入力し、セット 押す

```
ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ:ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
∨ ∧ ヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

11 ▼ ▲ボタンを使ってモデムダイヤルイン番号を選択し、セット を押す

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けてルーティングの登録ができます。手順 3 からを繰り返します。

- あらかじめシステム登録の「176 モデムダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定し、ダイヤルイン番号を登録する必要があります。（☛250 ページ）
- 待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. ルーティング数字 ID 欄の“+”と“スペース（空白）”の入力は受信機により無視されます。
2. システム登録の「176 モデムダイヤルインルーティング」を「アリ」に設定した場合は、「011 モデムダイヤルイン」を「アリ」に設定することはできません。

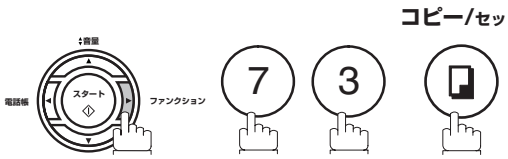
プログラム機能

概要

プログラムボタンに宛先とポーリング受信などの各種通信操作を設定しておくと、複雑な機能もボタンを１回押すだけで指定できます。また、プログラムボタンに複数の短縮ダイヤルやワンタッチボタンを登録して、グループダイヤルとしてお使いになれます。

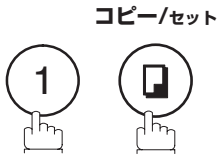
グループダイヤルの設定

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

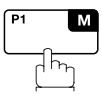



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

3

設定するプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先の名前（プログラム名）を入力し セット を押す（最大 15 文字）（☛241 ページ）

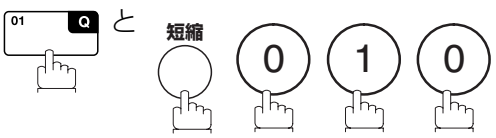
例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し セット を押します。

```
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5

ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルを使って宛先を指定します。

例：

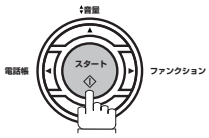


入力済みの宛先を確認するには、▼ ▲ボタンを利用します。誤りがあった場合には、クリアー を押して表示された宛先を消去します。

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

```
[010]NTT_OSAKA
0612345678
```

6




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

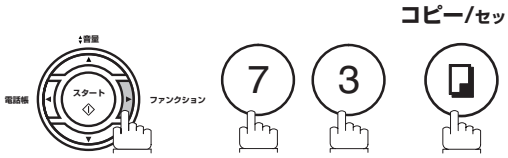
続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

タイマー送信の登録

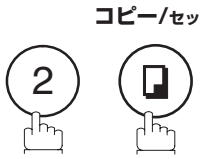
プログラム機能を使ってタイマー送信（☛92 ページ）をセットします。

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

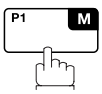



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

3

登録するプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先の名前（プログラム名）を入力し セット を押す（最大 15 文字）（☛241 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、セット を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝヲ ｵｽ
```

5

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ▮ :
```

6

24 時間制で 4 桁の送信時刻を入力し セット を押す

例：午後 11 時 30 分の場合、②③③⓪を押して セット を押します。

```
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾍ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

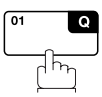
7

宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 電話帳機能

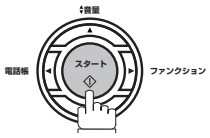
  宛先選択後 セット を押します。

例：




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

8




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

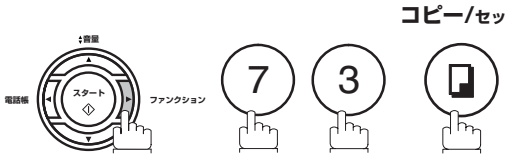
お知らせ

1. 手順 8 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度**スタート**を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

タイマーポーリング受信の登録

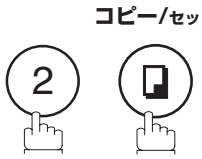
プログラム機能を使ってタイマーポーリング受信をセットします。(☛94 ページ)

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

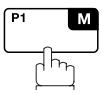



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

3

登録するプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先の名前(プログラム名)を入力し[セット]を押す(最大 15 文字)(☛241 ページ)

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、[セット]を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝヲ ｵｽ
```

5

```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ          ▌:
```

6

24 時間制で 4 桁の受信時刻を入力し[セット]を押す

例：午後 10 時 00 分の場合、②②⓪⓪を押して[セット]を押します。

```
ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
     ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=■■■■
```

7

4 桁のパスワードを入力し[セット]を押す

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

例：「1111」を入力して[セット]を押します。

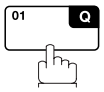
```
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

8 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 電話帳機能

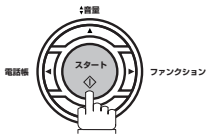
宛先選択後 セット を押します。

例：




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

9




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

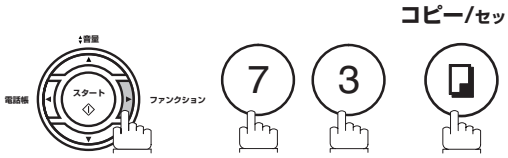
お知らせ

1. 手順 9 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 スタート を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

ポーリング受信の登録

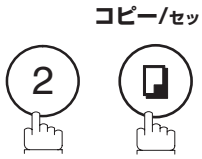
プログラム機能を使ってポーリング受信をセットします。(☛97 ページ)

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

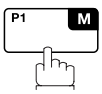



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

登録するプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

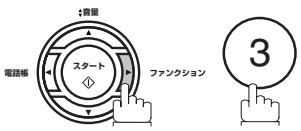
4

文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先の名前(プログラム名)を入力し セット を押す（最大 15 文字）(☛241 ページ)

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、セット を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
ﾌｧﾝｸｼｮﾝﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

5




```
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ｼﾞｭｼﾝ
     ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=■■■■
```

6

4 桁のパスワードを入力し セット を押す

登録済みのパスワードがある場合は表示されます。一時的に変更する場合は上書きします。

例：「1111」を入力して セット を押します。

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

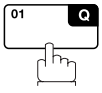
7

宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル
- 電話帳機能

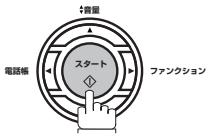
  宛先選択後 セット を押します。

例：




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

8




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

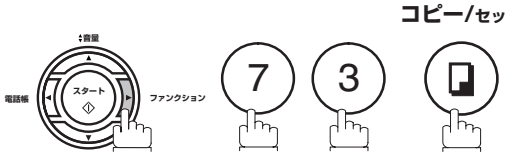
お知らせ

1. 手順 8 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度**スタート**を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

ワンタッチボタンの登録

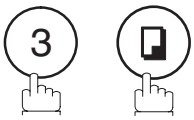
プログラムボタンをワンタッチボタンとして利用します。
ワンタッチボタンは 28 個ですが、これにより最大 32 件となります。

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

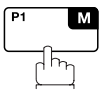



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

3

登録するプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]  ﾅﾏｴ <ｶﾅ
ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

4

文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先の名前（プログラム名）を入力し セット を押す（最大 15 文字）
（☛241 ページ）

例：「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ .A」と入力し、セット を押します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

5a

ダイヤルボタンを使って宛先の電話番号を入力する
（最大 36 桁 / ポーズ スペース キーを含む）

例：

を押して「9-555 1234」を入力します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
9-555 1234
```

5b

文字ボタンを使って宛先のメールアドレスを入力する
（最大 60 文字）

例： tokyo@ntt-abc.com を入力します。

```
[P1] ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ.A
tokyo@ntt-abc.com
```

6

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ
```

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

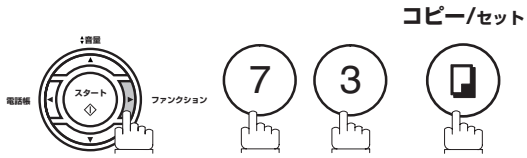
お知らせ

1. 手順 6 で、IP 電話番号や中継局番号、ルーティングの登録画面などが表示される場合があります。それぞれの機能をご利用になるときは、画面に従って入力をしてください。

POP アクセスボタンの登録

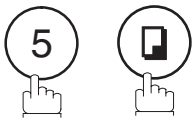
[P1] から [P4] のプログラムボタンへ POP ユーザー名、POP パスワードを登録することで、複数のユーザーと本商品を共有することができます。それぞれのユーザー名で POP サーバーから E メールを受信できます。E メールの受信は登録したプログラムボタンで取出せます。（☛ お知らせ 1）

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

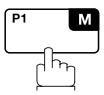
2




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

3 登録するプログラムボタンを押す

例：




```
POP ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
▌
```

4 文字ボタンを使って POP ユーザー名を入力し、
セット を押す（最大 40 字まで）（☛ お知らせ 1）

例：「kate」を入力して セット を押します。

```
POP ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
kate▌
```

```
POP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
▌
```

5 文字キーを使ってPOPパスワードを入力し、セット を押す（最大 10 字まで）（☛ お知らせ 2）

例：「pana123」を入力して セット を押します。

```
POP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
pana123▌
```

```
ﾒｰﾙ ｻｸｼﾞｮ  NO.=1
1:ｲｲｴ 2:ﾊｲ
```

6 E メール取り出し後、POP サーバーに E メールを残す場合は①を、消去する場合は②を押す

続けてプログラムボタンの登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

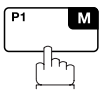
お知らせ

1. POP ユーザー名を入力せずに セット のみを押すと、利用時にユーザー名を入力できます。
2. 第三者による POP サーバーからの E メール取り出しを防止する場合、プログラムボタンに登録をする際にパスワードを入力しないでください。パスワードがブランクになっていると、E メールを取り出すためにプログラムボタンを押すたびにパスワードの入力が必要となります。
3. デュアルサーバーの設定をしてある場合は、手順 6 で POP サーバーの指定ができます。
4. メモリー転送（☛139 ページ）が設定されているときは手動 POP 受信はできません。

POP アクセスボタンによる POP 受信

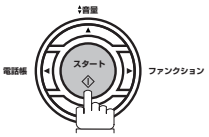
以下の手順で POP サーバーから E メールを取り出します。

1 POP アクセスボタンとしてプログラム済みのプログラムボタンを押す

例： 

POP ユーザー名がプログラムボタンに入力されていない場合は、POP ユーザー名(最大 40 字まで)を入力します。

POPｼﾞｭｼﾝ ﾕｰｻﾞｰﾒｲ
kate

2 

- パスワードが登録されているときは手順 3 へ進みます。
- パスワードが登録されていないときは POP パスワードを入力します。

文字ボタンやダイヤルボタンから英数字を入力してください。最大 10 文字まで入力できます。

3 サーバーに受信メールがない場合は次のメッセージを表示する

ｼﾞｭｼﾝﾒｰﾙﾊ ｱﾘﾏｾﾝ

4 サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後 E メールを受信し、プリントする

1ｹﾝ ﾒｰﾙｶﾞ ﾄﾄﾞｲﾃｲﾏｽ

＊ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ ＊
ID:tokyo@ntt-abc.com

お知らせ

1. デュアルサーバーが設定されていて、かつ DNS サーバーが設定されていない場合は、サーバー 2 から POP 受信したときでも、MDN（送達通知）要求やリモート登録の返信メールはサーバー 1 経由で行われます。また、同設定の場合は、システム登録の No. 148、149（POP 後またはエラーメール削除）を「ナシ」に設定することをお勧めします。E メールを残す設定にしていますと、サーバー 2 の POP 受信を何度も繰り返すことになります。

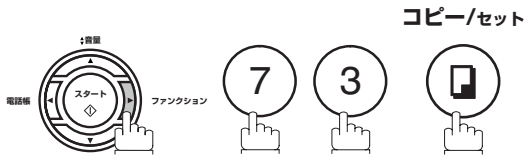
プログラムボタンの変更および消去

プログラムボタンの設定を変更する際は、108 ページから 117 ページの設定手順にしたがい、変更内容を登録し直してください。

- タイマー送信における送信時刻または宛先
- ポーリング受信における宛先
- タイマーポーリング受信における受信時刻または宛先
- グループダイヤルにおける宛先
- ワンタッチボタンにおける電話番号と宛先（メールアドレス）

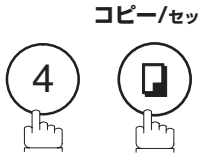
プログラムボタンの設定内容を消去するとき

1




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

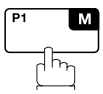



```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

3

消去したいプログラムボタンを押す

例：




```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
ﾄﾘｹｼ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

4

```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P1]
```

続けてプログラムボタンの消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

```
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ[P ]
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾎﾞﾀﾝ ヲ ｵｽ
```

通信予約の確認と消去

概要

タイマー送信などの通信予約を確認・消去できます。

通信予約レポートをプリントする

通信予約の内容をリストにしてプリントすることができます。

1

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

コピー/セット

```
ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
```

4

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

```
********** -ﾖﾔｸ ﾚﾎﾟｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄｰ ********** 2005-12-15 ***** ****** 15:00 *********

(1)      (2)                (3)              (4)          (5)          (6)
ﾌｧｲﾙ     ﾂｳｼﾝ ﾀｲﾌﾟ          ｻｸｾｲ ｼﾞｺｸ        ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ     ﾏｲｽｳ         ｱﾃｻｷ
 No.

001      ﾒﾓﾘｰ ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ     12-15 12:30      20:30        001          [001]
002      ﾀｲﾏｰ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ       12-15 12:30      22:30                     [011] [012] [013] [016] [017]


                                                                        -3100                -

********** - NTT -        - ***** -       201 555 1212- **********
```

通信予約レポートの内容説明

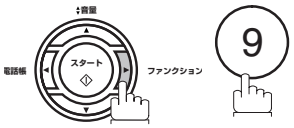
(1) ファイルナンバー　：　実行中のファイルには、ファイルナンバーの左に“*”が表示されます。
(2) 通信タイプ
(3) 作成時刻　：　ファイルの作成時刻
(4) 予約時刻　：　ファイルがタイマー通信用の場合は、この欄に予約時刻が印字されます。
(5) 枚数　：　蓄積枚数
(6) 宛先　：　[短縮ダイヤル番号] ／〈ワンタッチボタン番号〉／☎直接ダイヤル番号

通信予約の確認と消去

通信予約の内容を見る

プリントせずにディスプレイ上で通信予約の内容を見ることができます。

1



ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧

2

1:ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

3

コピー/セット

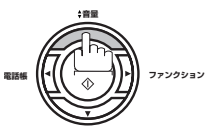
ﾂｳｼﾝﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ

4

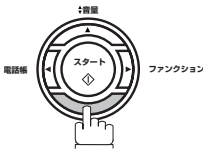
ﾅｲﾖｳ ﾊ ∨ ∧ ﾎﾞﾀﾝ ﾃﾞ
ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5

確認したいファイルがディスプレイ表示されるまで



または



を押す

ディスプレイの表示例

通信タイプ

ｿｳｼﾝ	：送信
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ TX	：ポーリング送信
PRX	：ポーリング受信
ﾒﾓﾘｰｼﾞｭｼﾝ	：メモリー受信

予約時刻または状態

FAXﾁｭｳ	：通信中
DIALﾏﾁ	：再ダイヤル待ち
ﾐｿｳｼﾝ	：未通信

001 ｿｳｼﾝ 10:00 P010
〈01〉 NTT_TOKYO ∧

ファイル No. / 宛先 / 枚数

6

ストップ

通信予約の変更

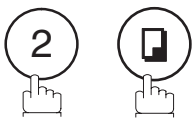
タイマー送信やタイマーポーリング受信で予約した宛先や時刻を変更できます。

1

```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、変更したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4

コピー/セット

（☛124 ページお知らせ 2）

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ        22:30
```

5

変更する予約時刻を 24 時間制で 4 桁で入力する

例：午前 6 時の場合、「0600」を押す（時刻変更の必要がない場合は手順 6 へ進みます）。

```
ﾀｲﾏｰ ｿｳｼﾝ
ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ        06:00
```

6

コピー/セット

```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

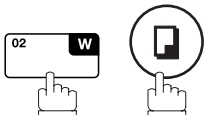
7

宛先を消去したい場合は、▼ ▲キーを使って消去したい宛先を表示し[クリアー]を押す

または宛先を追加します。

コピー/セット

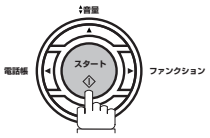
例：




```
  2 ｱﾃｻｷ ｾｯﾄ ｻﾚﾃｲﾏｽ
ｱﾃｻｷ ﾂｲｶ ﾏﾀﾊ ｽﾀｰﾄ
```

通信予約の確認と消去

8




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
```

通信予約内容が変更され、待機状態に戻ります。

お知らせ

1. 送信中または再ダイヤル待機中は、ファイル内の送信時刻と宛先は変更できません。
2. タイマー通信ファイルでない場合、ディスプレイに以下のメッセージが表示されます。

```
ﾀｲﾏｰ ﾂｳｼﾝ ｾｯﾄ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

タイマー通信にファイルの形式を変更する場合は①を押してください。

3. 未通信ファイルとして保存したファイルの宛先の追加・削除を行った場合、お知らせ 2 で「2:イイエ」を選択すると、ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

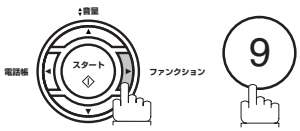
```
ﾐﾀﾂｱﾃｻｷ ｻｲﾂｳｼﾝ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

再送信を行う場合は①を押してください。

通信予約の消去

予約した通信を消去できます。

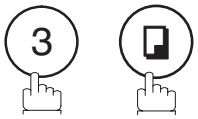
1




```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、消去したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。（☛ お知らせ 2）

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4

コピー/セット

```
ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ  NO.=001?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

5

```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

続けて通信予約の消去ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

お知らせ

1. 送信中のファイルを消去することはできません。
2. 全ファイルを消去する場合は、ファイルナンバーとして ✱ ✱ ✱ を入力し、[セット]を押してください（実行中のファイルがあるときはこの操作はできません）。以下のメッセージがディスプレイ表示されます。

```
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ﾌｧｲﾙ ｼｮｳｷｮ ?
1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

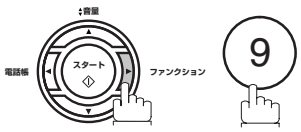
全ファイルを消去したい場合は①を押してください。

通信予約の確認と消去

通信予約ファイルのプリント

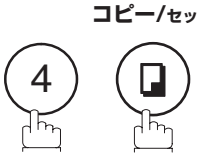
ファイルナンバーを指定して通信予約ファイルをプリントできます。

1




```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
   ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

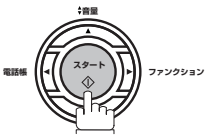
3

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、プリントしたいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
   ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4




```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
     ﾍﾟｰｼﾞ=001/003
```

ファイルのプリントが開始されます。プリント後でも原稿はメモリー内に保存されています。

お知らせ

1. 送信中のファイルをプリントすることはできません。

ファイルに原稿を追加する

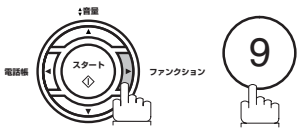
通信予約をしているファイル内に原稿を追加するには、以下の手順にしたがってください。

1

送る面を裏向きにセットする

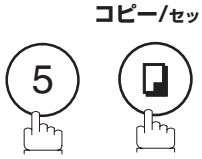
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    10%
```

2




```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3



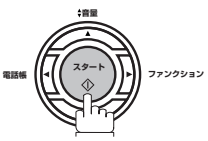

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、
追加したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

4




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
        ﾏｲｽｳ=004  20%
```

ファイル内へ読み取りを開始します。

お知らせ

1. 送信中あるいは再ダイヤル待機中のファイルに原稿を追加することはできません。

通信予約の確認と消去

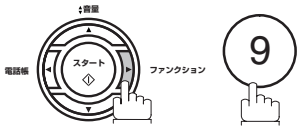
未達宛先再通信の指定

話し中や、相手先の応答がなかったために、未通信となった場合、蓄積された原稿は最後に再ダイヤルした後にメモリーから消去されます。

通信が実行できなかった場合でも原稿を保存する必要があるときは、システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に設定してください。(☛246 ページ)。

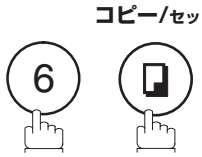
送信されなかったファイルを再通信するには、以下の手順にしたがってください。

1




```
ﾖﾔｸ ｶｸﾆﾝ･ｼｮｳｷｮ (1-6)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2



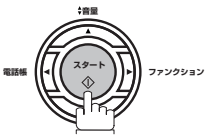

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=■■■
```

3 ファイルナンバーを入力、または▼ ▲ボタンを使って、再送信したいファイルを選択する

例：「001」を入力します。

```
ﾌｧｲﾙ NO. ﾏﾀﾊ ∨ ∧
    ﾌｧｲﾙ NO.=001
```

4



ダイヤルし、ファイルの再送信を開始します。

```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.001
<01> NTT_TOKYO
```

```
*ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｲﾏｽ* NO.001
0312345678
```

お知らせ

1. ファイルに入力された電話番号を確認あるいは変更する際は、120 ページから 124 ページを参照してください。
2. システム登録の「031 未通信ファイル保存」を「アリ」に設定した場合、送信されなかった全ファイルはメモリーに保存されます。メモリーオーバーを避けるために、メモリーの内容をこまめにチェックしてください。

アクセスコード

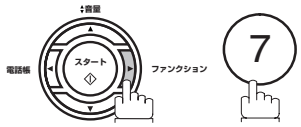
概要

アクセスコードを登録することにより、第三者の操作を防止することができます。

機能設定や送信などを行う際は、アクセスコード（4桁）の入力が必要となりますが、自動受信などはできます。

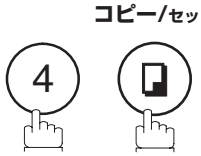
アクセスコードの登録

1



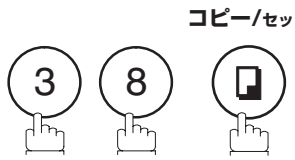

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
        NO.=
```

3




```
38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ
           ■■■■
```

4 4桁のアクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ
           1234
```

5

```
38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ
 1:ｽﾍﾟﾃ          1234
```

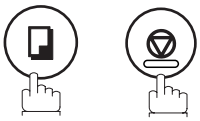
6 機能制限を選択する

送信や機能設定など、すべてのパネル操作を行う前にアクセスコードの入力を促す場合は①を、システム登録と自局登録の設定を行うときのみアクセスコードの入力を促す場合は②を押します。

例：「2」を選択します。

```
38 ｱｸｾｽ ｺｰﾄﾞ
 2:ﾊﾟﾗﾒｰﾀ         1234
```

7 コピー/セット ストップ



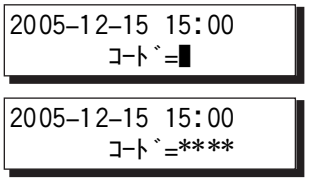
お知らせ

1. アクセスコードを消去する場合は、アクセスコード（☛131 ページ）を入力して セット を押し、129 ページの手順 3 までの操作を行った後、クリアー セット ストップ を押してください。

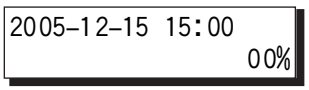
アクセスコードを使って操作する（すべての機能の使用制限を設定しているとき）

1 アクセスコードを入力する

例：「1234」を入力します。



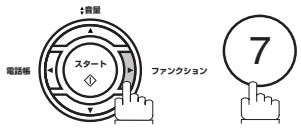
2 コピー/セット

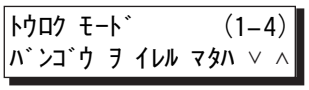


通常通りの操作をすることが可能となります。

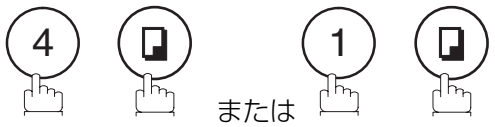
アクセスコードを使って操作する（パラメータの使用制限を設定しているとき）

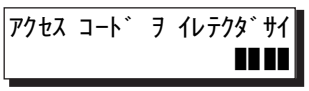
1





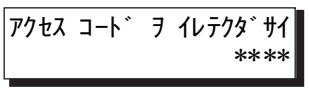
2 コピー/セット　コピー/セット



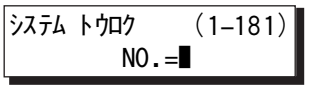


3 ４桁のアクセスコードを入力する

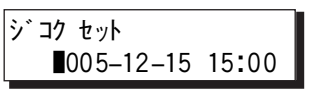
例：「1234」を入力します。



4 コピー/セット



または



通常通りの操作をすることが可能となります。

メモリー受信

概要

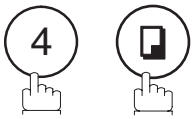
この機能は、受信したすべての原稿をメモリーに蓄積して保存するもので、メモリー受信した原稿をプリントするには正しいパスワードの入力が必要です。休日や夜間に受信した原稿を、あとでまとめてプリントすることができます。

メモリー受信のパスワードを設定する

1

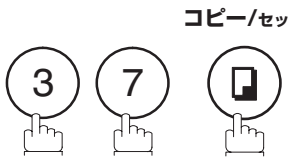
```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
NO.=
```

3



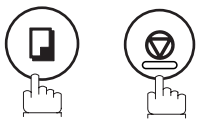

```
37 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ
■■■■
```

4 4桁のメモリー受信パスワードを入力する

例：「1234」を入力します。

```
37 ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ
                1234
```

5 **コピー/セット** **ストップ**



お知らせ

1. パスワードを設定するときは、メモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしておいてください。「オン」に設定してあると、手順３の画面が表示されません。（☛133ページ）
2. パスワードを削除するときは、メモリー受信の設定 (F8-5) を「オフ」にして（パスワード入力が必要です）から、手順４で**クリアー**を押します。

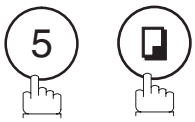
メモリー受信の設定

1

セレクト モード　　(1-9)
バンゴウ ヲ イレル マタハ ∨ ∧

2

コピー/セット



メモリー ジュシン=オフ
1:オフ 2:オン 3:プリント

3

メモリー ジュシン=オン
1:オフ 2:オン 3:プリント

4

コピー/セット

2005-12-15 15:00
< メモリー ジュシン >

お知らせ

1. メモリーがいっぱいになると、受信を中止し、通信が終了します。それ以前にメモリーに蓄積された原稿は、プリントできます。メモリーがいっぱいの場合は受信できません。

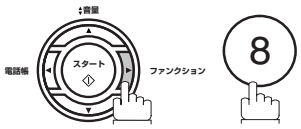
メモリー受信内容をプリントする

メモリー受信をしたときは、次のメッセージがディスプレイに表示されます。

```
ﾒﾓﾘｰﾆ ﾃﾞｰﾀｶﾞ ｱﾘﾏｽ
< ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ >
```

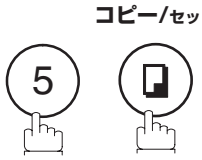
メモリー受信した原稿をプリントします。

1




```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

```
ﾒﾓﾘｰ ｼﾞｭｼﾝ=ﾌﾟﾘﾝﾄ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ 3:ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

4

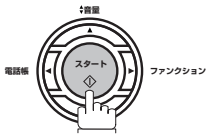
```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
                ■■■■
```

5 パスワードを入力する（☛ お知らせ 1）

例：「1234」を入力します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾆｭｳﾘｮｸ
                1234
```

6




```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾒﾓﾘｰ ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

原稿がプリントされます。

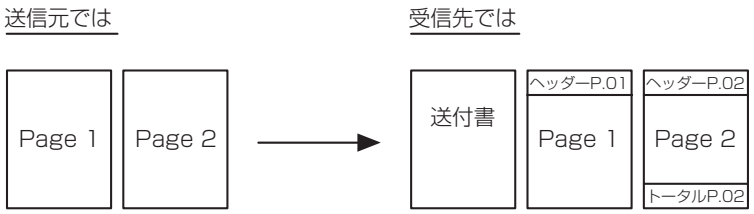
お知らせ

1. パスワードが設定されていない場合は、パスワードを入力する必要はありません。
2. メモリー受信機能が設定されているときは、パスワードを変更することはできません。パスワードを変更したい場合は、まずメモリー受信の設定（F8-5）を「オフ」にしてから、システム登録の「037 メモリー受信」でパスワードを変更してください。

送付書（カバーシート）

概要

宛先の名前、送信元の名前、ページ数が記載された送付書（カバーシート）が送信原稿に自動的に添付されます。



送付書（カバーシート）を使用する

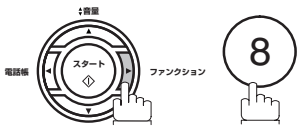
送付書（カバーシート）を原稿に添付するには、以下の手順にしたがってください。

1

送る面を裏向きにセットする

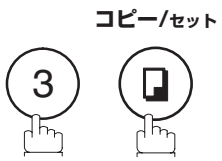
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3




```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

4

“オフ”の場合は を押す
（この場合、送付書（カバーシート）は添付されません）

```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

または

“オン”の場合は を押す
（この場合、送付書（カバーシート）は添付されます）

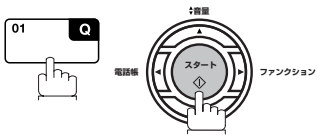
```
ｶﾊﾞｰ ｼｰﾄ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

5 **コピー/セット**

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

6 原稿を送信したい宛先を指定し[スタート]を押す

例：

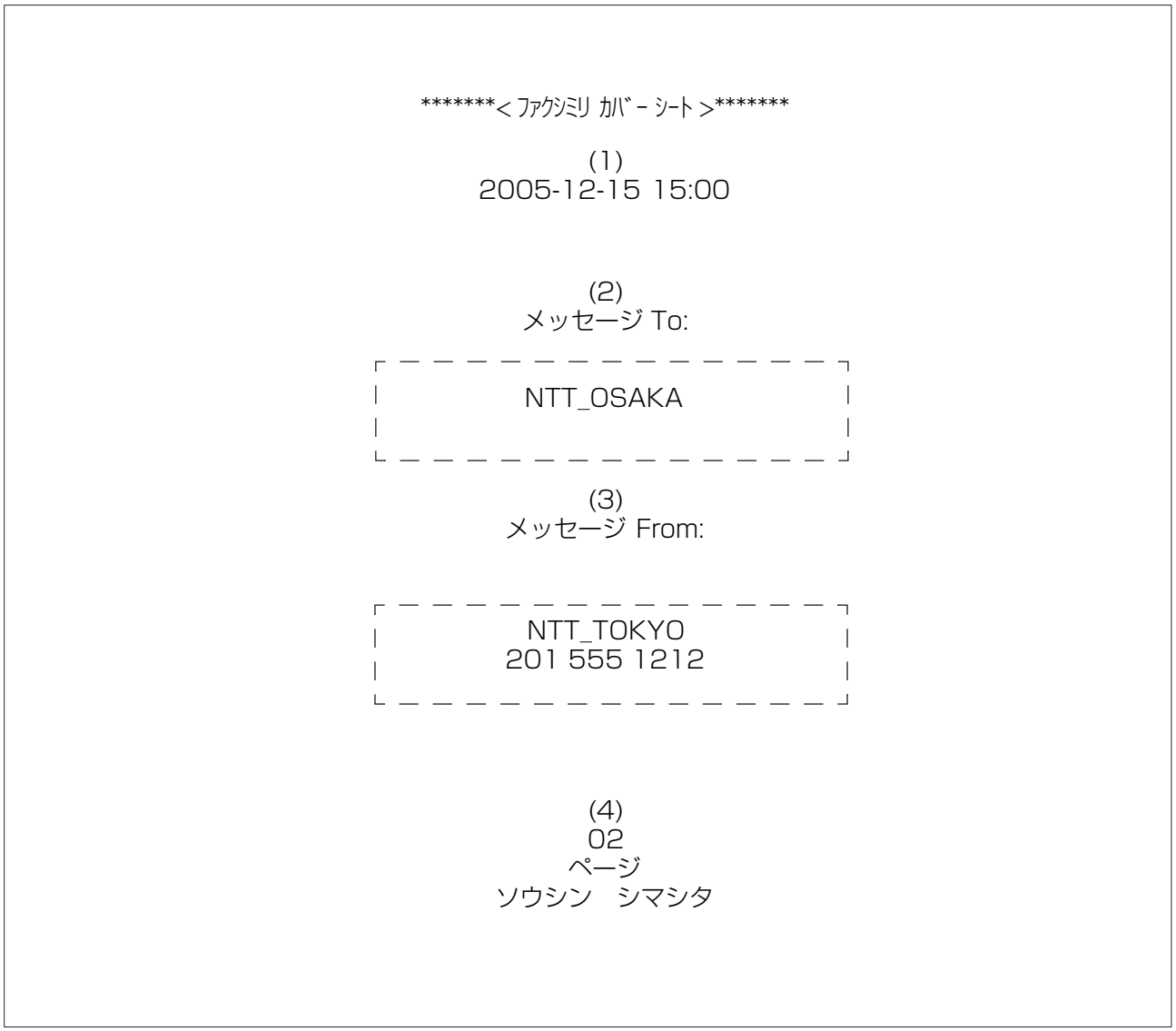


お知らせ

1. 送付書（カバーシート）の初期設定を変更する場合はシステム登録の「056 カバーシート」の設定を変更してください（☛247 ページ）。
2. この機能はメモリー通信またはダイレクト通信モードのときに利用できます。
3. 送付書（カバーシート）は通信記録のページ数にはカウントされません。

送付書（カバーシート）

送付書（カバーシート）の例



送付書（カバーシート）の内容説明

(1) 送信開始時刻

(2) ワンタッチボタン／短縮ダイヤル登録名または電話番号

(3) 送信元のロゴ（最大 25 字）と ID ナンバー（最大 20 桁）

(4) 表紙以外のページ数。なお、この情報はダイレクト通信モードのときは表示されません。

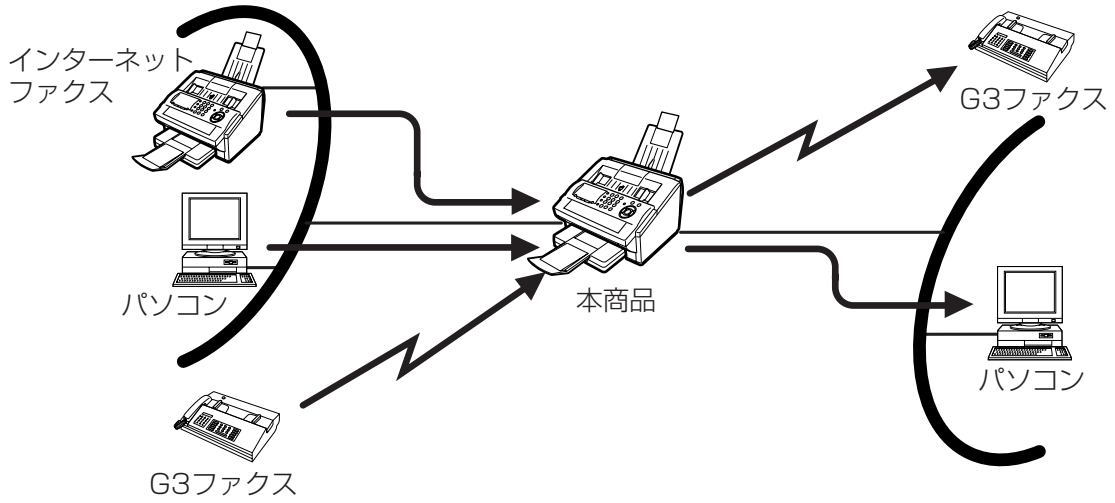
メモリー転送

メモリー転送の設定

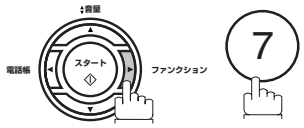
一般電話回線のファクスからの受信原稿と、LAN 経由で受信した E メールが転送できます。

また宛先としては、メールアドレスか電話番号のどちらかを登録できます。

本機能は、夜間や休日に別の場所（自宅等）でファクスを受信したい場合に便利です。

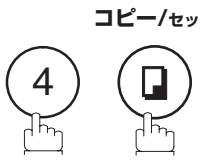


1



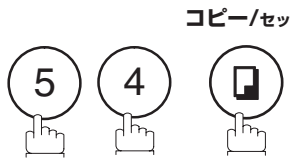

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
NO.=
```

3




```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
 1:ﾅｼ
```

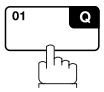
4

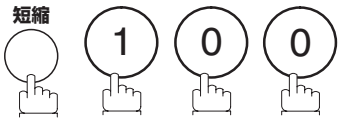
```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
 2:ｱﾘ
```

5

```
54 ﾒﾓﾘｰ ﾃﾝｿｳ
ｱﾃｻｷ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

6 ワンタッチまたは短縮ダイヤルで転送先を入力する

例： 

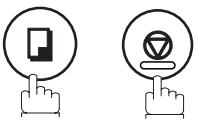


<01> NTT_TOKYO
0312345678

または

[100]NTT_OSAKA
osaka@ntt-abc.com

7 コピー/セット ストップ



お知らせ

1. メモリー転送機能が設定されると、転送先として設定したワンタッチまたは短縮ダイヤルは変更できません。番号を変更したい場合は、手順４で「ナシ」に切り替えてください。
2. 受信した原稿のメモリー転送が話し中などで正常に終了しないとき、システム登録の「031 未通信ファイル保存」が「アリ」に設定されていても、受信原稿はプリントされ、メモリーから削除されます。
   メモリー転送が正常に行われないとき、受信原稿をメモリーに蓄積したい場合は、本商品を「メモリー受信」に設定してください。（☛133 ページ）
3. メモリー使用量が約 99%以上のときは、受信できません。

送達確認

概要

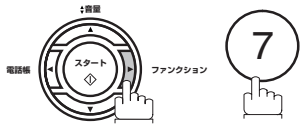
Eメール受信したときは、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。

送達確認の送信は、送信元の機種が限定されます。詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

■送達確認返送の設定

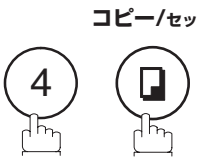
- システム登録の「150 送達確認返送」を設定します。
  「ナシ」 受信確認メールを送信しません。
  「アリ」 Eメールを受信しプリント後に受信確認メールを送信します。

1



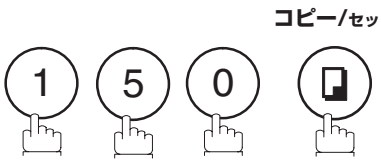

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ       (1-181)
        NO.=
```

3

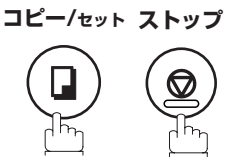



```
150 ｿｳﾀﾂ ｶｸﾆﾝ ﾍﾝｿｳ
 1:ﾅｼ
```

4

```
150 ｿｳﾀﾂ ｶｸﾆﾝ ﾍﾝｿｳ
 2:ｱﾘ
```

5



お知らせ

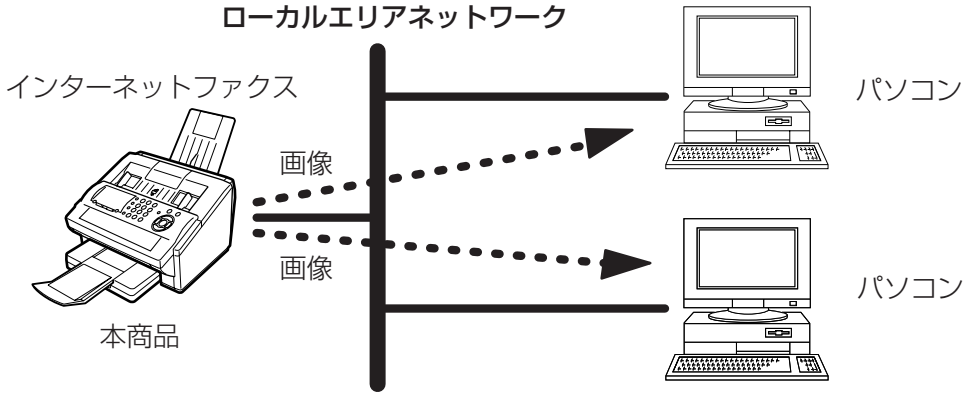
1. パソコンから送信した E メールを受信したときは、送信元に受信確認メールを送信することはできません。

ネットワークスキャナー

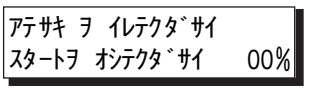
概要

本商品をスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、画像（原稿）を本商品からパソコンのメールアドレスへ送信することにより、画像データをパソコン側で読み込むことができます。



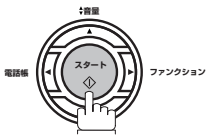
1
送る面を裏向きにセットする



2 原稿に合わせて文字サイズを設定する

3 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 **セット** を押します。
- 直接メールアドレス入力
  宛先入力後 **セット** を押します。
- グループダイヤル

4 

お知らせ

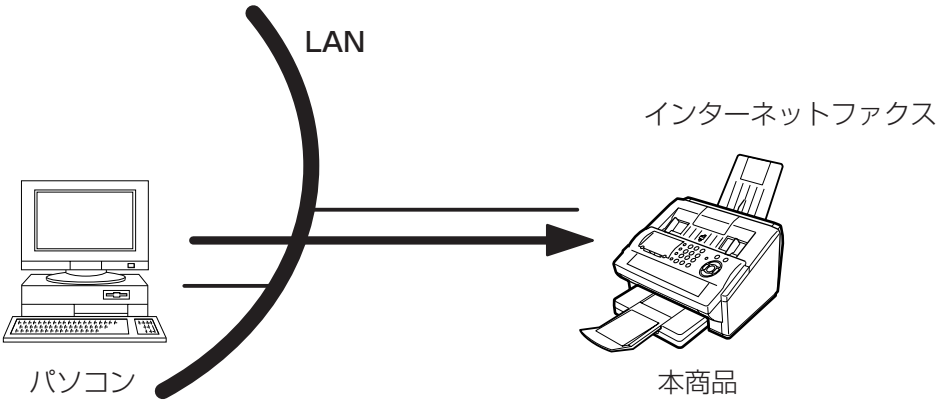
1. 手順４で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

ネットワークプリンター

概要

本商品をネットワークプリンターとしてご利用になれます。

パソコンの各種アプリケーションで作成した書類をパソコンからの操作により、LAN に接続した本商品へプリントすることができます。ネットワークプリンター機能を利用するためには、付属の CD-ROM からソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR）をダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。



お知らせ

1. プリンタードライバーのインストール方法や操作方法については、付属の CD-ROM の中の取扱説明書を参照してください。

LAN 中継同報

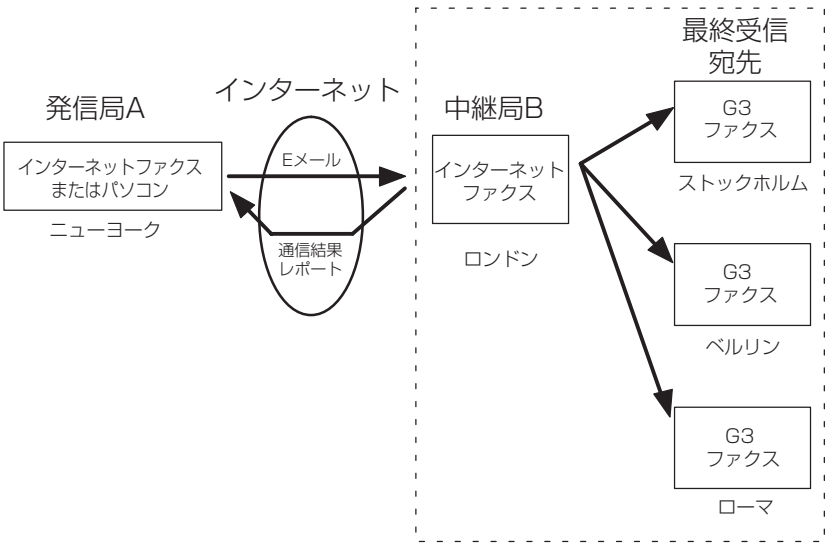
概要

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信したEメールを、一般電話回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。

本機能により、時間および長距離市外電話料金が節約できます。

■ LAN 中継同報について

例 1: インターネット中継送信



以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

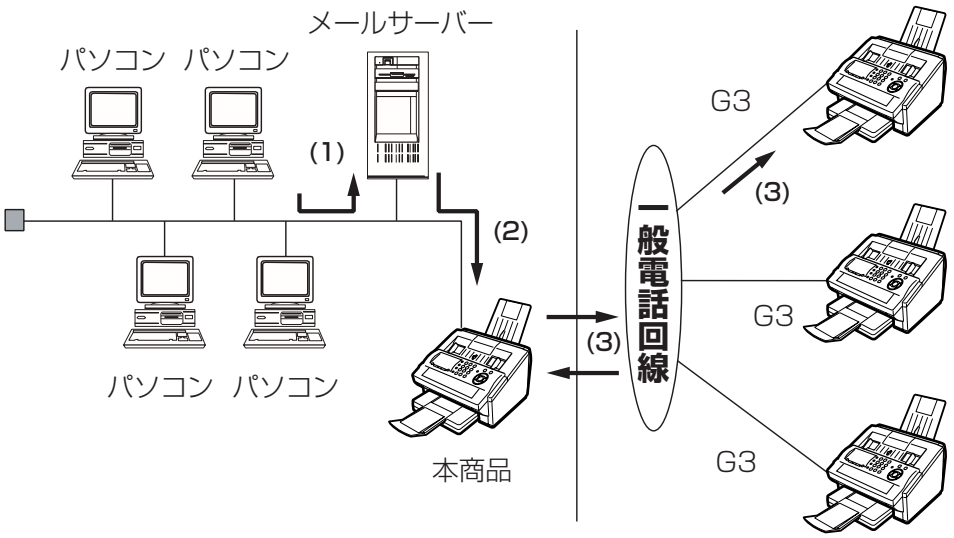
1. LAN 中継機能を持ったインターネットファクス B（中継局）に、E メール（TIFF 形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
   あらかじめ、LAN 中継指示を登録したワンタッチ／短縮ダイヤル（☛152 ページ）を使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。（☛ 154 ページ）
2. 管理者用のパソコンに、LAN 中継同報指示されたことを E メールで通知します。（☛162 ページ）
   デュアルサーバー機能ありの場合も、メールサーバー 1 固定で送信（通知）します。
3. LAN 中継指示された E メールを、一般電話回線に接続されたファクス（ストックホルム）へ順次同報を開始します。
4. 引き続き、次のファクス（ベルリン・ローマ）に転送します。
5. LAN 中継同報が終了したら、通信結果を LAN 中継同報を指示したインターネットファクス A（発信局）（またはパソコン）へ通信結果レポート（☛160 ページ）で返送します。

お知らせ

1. 本商品には、LAN 経由の中継同報を指示する機能と、LAN 中継指示を受けて一般電話回線に接続されたファクスに送信する機能があります。LAN 中継同報の指示については 154 ページ、156 ページ、LAN 中継同報指示の為の登録については 152 ページを参照してください。またLAN 中継同報指示受付の為の登録については 150 ページを参照してください。
2. 一般電話回線に接続されたファクスから、本商品に LAN 中継同報を指示することはできません。
3. LAN に接続されたインターネットファクスやパソコンを宛先として、LAN 経由で LAN 中継同報を指示することはできません。
4. 本商品が LAN 中継指示を一度に受け付ける宛先数は、最大 50 カ所です。50 カ所を越える LAN 中継指示が受け付けられた場合は分割されて処理されます。その場合の中継結果レポートは分割された処理ごとに返送されます。

LAN 中継同報

例 2: ファクスサーバー（イントラネット中継送信）



(1) E メールによりメールサーバーまで LAN 中継同報送信を開始します。

(2) メールサーバーは LAN 中継指示で本商品に E メールを転送します。

(3) 本商品は、G3 ファクスに通信を開始しファイルを送信します。

中継ネットワーク

中継ネットワークは原則として、インターネットファクス（発信局 A）またはパソコンである発信局と LAN 中継機能を持つインターネットファクス（中継局 B）、そして G3 ファクスである最終宛先から構成されます。

本商品から原稿、またはパソコンから E メールをインターネットを使って中継局（本商品を含む）へ送信します。中継局からは一般電話回線を使って G3 ファクスである最終宛先まで送信できます。（パソコンからの送信は TIFF-F 形式のファイルが添付可能です。）

中継局からは最終宛先への送信には電話料金が発生します。

中継局から最終宛先までの送信完了後に、LAN中継送信が完了したかどうかを通知する通信ジャーナルが、中継局から発信局に返信されます。中継送信情報は、E メールで中継局にあらかじめ登録されている自局登録のインターネットパラメーターの管理者メールアドレスに送信されます。（☛212 ページ）

LAN 中継送信を利用するには、150 ページから 162 ページまでに記載の設定手順にしたがい、必要情報を入力してください。図 1 に LAN 中継ネットワークのサンプルを記載します。

図 1 のサンプルは、**ニューヨーク（発信局）**を起点とし、**ロンドンおよびシンガポール（中継局）**が、ニューヨークと結ばれ、**（最終宛先）**は**ストックホルム**、**ローマ**、**東京**、**香港**そして**シドニー**などとなっています。

この基本的なネットワークは 2 箇所の中継局を利用し、ロンドンの中継局および／またはシンガポールの中継局を介してネットワーク内の宛先に、1 回の操作でファイルを送信できます。

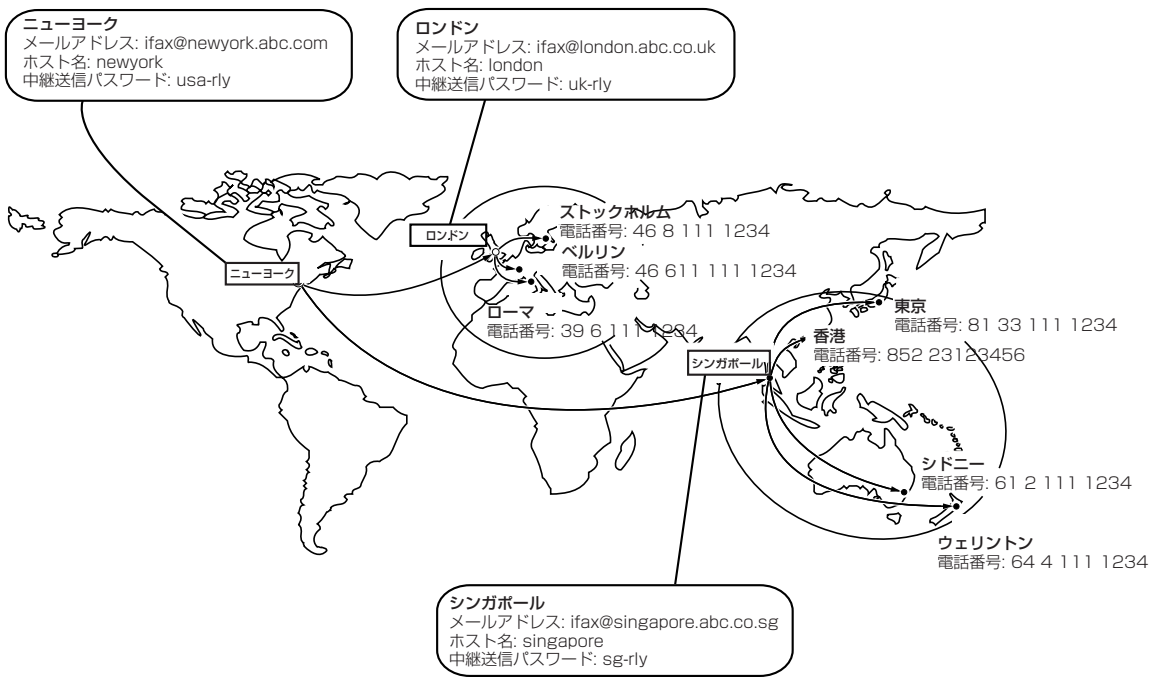


図 1：ネットワークのサンプル

LAN 中継同報

表 1、2 および 3 は、図 1 記載のサンプルネットワーク設定です。

表 1：ニューヨークのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表（始発発信局）

電話番号　　：212 111 1234
メールアドレス（SMTP）　：ifax@newyork.abc.com
ホスト名　　：newyork
中継用 パスワード　　：usa-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	Ifax@london.abc.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.abc.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[002]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.abc.co.uk	---
[002]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.abc.co.sg	---
[003]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[004]	香港	852 23123456	[002]
[005]	シドニー	61 2 111 1234	[002]

表 2：ロンドンのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表（中継局）

電話番号　　：71 111 1234
メールアドレス（SMTP）　：Ifax@london.abc.co.uk
ホスト名　　：london
中継用 パスワード　　：uk-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ニューヨーク	ifax@newyork.abc.com	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	---
<03>	シンガポール	Ifax@singapore.abc.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[001]
[001]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.abc.co.sg	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	---
[003]	香港	852 23123456	[001]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[001]

表 3 : シンガポールへのサンプルパラメーターおよび電話帳機能番号表（中継局）

電話番号　　: 65 111 1234
メールアドレス（SMTP）　: lfax@singapore.abc.co.sg
ホスト名　　: singapore
中継用 パスワード　　: sg-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	lfax@london.abc.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	ニューヨーク	ifax@newyork.abc.com	---
<04>	東京	81 33 111 1234	---
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.abc.co.uk	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[003]	香港	852 23123456	---
[004]	シドニー	61 2 111 1234	---

お知らせ

1. 本商品が中継局として動作するよう、中継用パスワードを登録してください。（☛150 ページ）
2. 第三者が LAN 中継局送信にアクセスできないようにするため、ネットワークセキュリティーを設定してください。すべての LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。（☛150、151 ページ）

LAN 中継送信局としての設定

以下のパラメーターの設定を確実に行って、本商品を LAN 中継局に設定してください。(☛212、248 ページ)

1. **LAN 中継機能（システム登録 No.142）**
   本商品を LAN 中継局として機能させるかを選択

   1) **ナシ** - LAN 中継動作をしない

   2) **アリ** - LAN 中継動作をする

2. **中継結果返送（システム登録 No.143）**
   LAN 中継結果を発信元へ返送する設定

   1) **オフ** - 送信しない

   2) **スベテ** - LAN 中継結果のすべてを送信する

   3) **ミツウシン** - LAN 中継で未通信となった場合に送信する

3. **リレーアドレス（短縮ダイヤル）**
   LAN 中継局を登録している短縮ダイヤルの 3 桁の番号。

4. **管理者のメールアドレス（自局登録のインターネットパラメーター）**
   LAN 中継の管理およびコスト管理の目的で、管理者のメールアドレスを登録してください。送信情報は以下のとおりです。
   (発信者：発信局のメールアドレス)
   (宛先：受信者の G3 ファクスの電話番号)
   デュアルサーバー機能ありの場合は、メールサーバー1 経由でのみ通知されます。各発信者からの LAN 中継指示を受けると、管理者へ E メールで通知されます。

5. **中継許可ドメイン名（自局登録のインターネットパラメーター）（☛ お知らせ 2）**
   10 件のドメイン名（最大 30 文字）まで登録できます。

   例 : 登録ドメイン名
   (01): ntt-abc.com
   (02): abc.co.jp
   (03): ntt.ne.jp

上記の例で、LAN 中継指示は、ntt-abc.com、abc.co.jp または ntt.ne.jp のドメイン名を含むメールアドレスからのみ受信可能です。

お知らせ

1. LAN 中継用パスワードは E メールのヘッダー部分に含まれて送信するため、E メールやインターネットファクスで使っているメールアドレスとは異なるものを登録することをお勧めします。このように登録することで、インターネットファクスを受信したとき、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。
2. ドメイン名がすべて空欄である場合は、インターネットファクスはすべてのドメイン名に対して LAN 中継指示を受信します。
3. LAN 中継用パスワードに「文字・数字以外」を使用すると、通信エラーになることがあります。

LAN 中継送信指示の設定

ワンタッチ／短縮ダイヤルへの中継指示の登録

- システム登録の「140 LAN 中継送信指示」をあらかじめ「アリ」に設定しておきます。(☛248 ページ)
  「ナシ」：LAN 中継送信指示することはできません。
  「アリ」：LAN 経由の中継送信指示のみ可能になります。
  ※ LAN 中継局をあらかじめ登録しておく必要があります。

1

```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

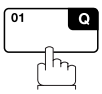
例：

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

ワンタッチボタン（01-28）を押す

例：




```
<01>
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ヲ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

を押して電話番号の入力モードに切り替える

```
<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5

電話番号を入力する（36 桁まで）

中継局と最終宛先が両方とも同じ地域に位置する場合は、最終宛先から国番号または市外局番を省略できます。中継局からは、最終宛先まで市内番号通話となります。

```
<01>
3961111234
```

6

```
<01>ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ    <ｶﾅ
3961111234
```

7

文字ボタンやダイヤルボタン（15 文字まで）を使って、宛先を入力する

例：「ローマ」を入力します。

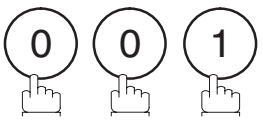
```
<01> ﾛｰﾏ          <ｶﾅ
3961111234
```

8

```
<01>ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
                ■■■
```

9 LAN 中継局として登録されている短縮ダイヤルの３桁の番号を入力する

LAN 中継局には、中継局に登録してある LAN 中継用パスワードを含むメールアドレスが登録されている必要があります。

例： 

<01>ﾁｭｳｹｲｷｮｸﾊﾞﾝｺﾞｳ
001

10 コピー/セット

ﾜﾝﾀｯﾁ<　>
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

続けて LAN 中継指示の設定ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

LAN 中継送信

本商品に必要なすべてのパラメーターを登録すると、以下の手順で LAN 中継局を経由して自動的に 1 つまたは複数の G3 ファクスに原稿を送信できます。LAN 中継局には、必要なパラメーターすべてを必ず設定してください。

中継局をあらかじめ登録してある宛先へ送信する場合

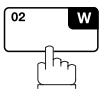
1
送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

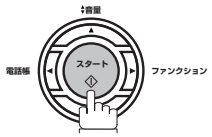
2 以下のダイヤル方法を任意に組み合わせて、LAN 中継指示が登録されている宛先を指定する

```
<02> ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ
4681111234
```

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 セット を押します。
- グループダイヤル

例： 

3




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*   NO.001
      ﾏｲｽｳ=001   05%
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例:　最終宛先 :　4681111234
（電話番号）
（☛ お知らせ 1）

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
 ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

中継局 :　uk-rly@london.abc.co.uk

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:uk-rly#4681111234
```

最終宛先に送信を完了後に、本商品は中継局から通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したがどうかを確認できます。

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ（" − " からはじまる）を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. 「#」は、中継局のメールアドレスには使用できません。
3. 手順 3 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

LAN 中継同報

中継局を登録していない宛先へ送信する場合

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2

```
LAN ﾁｭｳｹｲ
ﾁｭｳｹｲｷｮｸ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

以下の方法のうちいずれかにより中継局（1 宛先）を指定し、セットを押す

```
[001]ﾛﾝﾄﾞﾝ ﾁｭｳｹｲ
uk-rly@london.abc.c
```

- 直接メールアドレス入力（最初にEメールボタンを押し、中継局のメールアドレスを入力します）
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能

（☛37 ～ 41 ページ）

```
LAN ﾁｭｳｹｲ
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

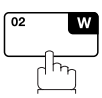
例：短縮ダイヤルの「001」を入力します。

4

最終宛先（電話番号のみ）を指定する（複数登録できます）

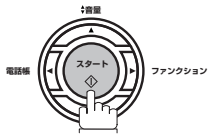
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後セットを押します。
- 直接ダイヤル
  宛先入力後セットを押します。
- グループダイヤル

例：




```
<02> ｽﾄｯｸﾎﾙﾑ
4681111234
```

5




```
*ﾁｸｾｷ  ｼﾃｲﾏｽ*   NO.002
       ﾏｲｽｳ=001   05%
```

- 原稿をメモリーに蓄積します。
- 中継局へ送信が開始されます。

例:　最終宛先 :　4681111234
（電話番号）
（☛ お知らせ 1）

```
* ﾁｸｾｷ ｶﾝﾘｮｳ *
ｹﾞﾝｺｳ ﾏｲｽｳ=005   25%
```

中継局 :　uk-rly@london.abc.co.uk

```
*ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ ｼﾃｲﾏｽ*
ID:uk-rly#4681111234
```

中継局が最終宛先に送信完了後に、本商品は中継局から 通信結果レポートを受信します。

このレポートで、LAN 中継送信が完了したかどうかを確認できます。

お知らせ

1. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ（" − " からはじまる）を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。
2. 「#」は、中継局のメールアドレスには使用できません。
3. 手順 5 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 **スタート** を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

LAN 中継同報

パソコンからの LAN 中継同報指示

Outlook 等の E メールソフトを使って、TIFF 形式のファイルを添付し、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。

この機能をご利用になるには、事前に本商品のパラメーター（自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。

同時にDNS サーバーへホスト名登録と、適切なSMTP セキュリティ設置をしていただく必要があります。

DNS サーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問い合わせください。

パソコンから中継送信する場合、E メールソフトの宛先（To ）に相当するフィールドには次のように入力します。

（例）
sg-rly#8133111234@singapore.abc.co.sg
もしくは
sg-rly#*001@singapore.abc.co.sg

sg-rly　　：中継用パスワード（自局情報インターネット登録の内容と合致させる）
#8133111234　：ファクス番号

「#」と「@」の間は電話番号の他、ワンタッチボタン、短縮ボタン等の情報を入力することもできます。

PBX（交換機）などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン " − " をファクス番号の部分に入力してください。

#*001 ～#*100　：短縮ボタン

#*1001 ～ #*1028：ワンタッチボタン

#*2001 ～#*2004：プログラムボタン

「@」のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。

LAN 中継送信が完了すると、中継結果を通信結果レポートとしてパソコンへ返送します。

これにより、中継結果を確認することができます。

Word 、Excel などで作成されたファイルを、LAN 中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。

そのまま **.doc 、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換するときの解像度は、通常 200dpi を選択してください。

400dpi は、あらかじめ受信相手側が 400dpi 処理能力を保有していることがわかっているときに使用します。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能な TIFF ファイル形式へ変換するアプリケーションです。

MAPI アプリケーションは、TIFF ファイルへ変換後、MAPI を使って E メールソフトを自動的に起動するアドインプログラムです。

MAPI に対応した E メールソフトと連動することにより、Word 、Excel 等のアプリケーションからプリントを行う感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。

TIFF コンバータならびにMAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードすることができます。

http://panasonic.co.jp/pcc/

お知らせ

1.「#」と「＊」は、送信パスワードの後に入れ、最終宛先用の電話番号（ファクス番号、短縮ダイヤル、ワンタッチボタン、プログラムボタン）を続けます。

2. 中継局が内線電話などをお使いの場合、外線発信番号をダイヤルした後 **ポーズ** を押してポーズ（" − " からはじまる）を入力してから、宛先の番号を全部入力してください。

LAN 中継同報の通信結果

中継送信を使用する場合、中継局は以下の 2 つのレポートを送信し、ファクスのチェックと記録をするのに役立ちます。

1. **中継送信レポート（通信結果レポート）**
   中継局が最終宛先に送信をした場合、システム登録の「143 中継結果返送」が「全て」または「未通信」に設定されているとき、通信結果レポートを送信します。これで、送信が完了したかどうかを確認できます。

2. **送信ジャーナル**
   中継局が LAN 中継用に指示を受信した場合、登録されている管理者に E メールで通知が送付されます。（☛150 ページ「LAN 中継送信局としての設定」）

中継送信レポート（通信結果レポート）サンプル

```
********* –通信結果レポート– ************* 2005年12月15日 ****** 15時00分 ***********

     (1)                    (2)                    (3)
     通信種別 = 中継転送        受付=12月15日 15時00分    完了=12月15日 15時00分00

       受付番号 = 050 (4)

(5)  (6)                (7)                                (8)     (9)
宛先 状況   ワンタッチ/     相手先                              枚数     通信時間
NO.         短縮番号

001  R-OK               STOCKHOLM                          001/001 00:00:15
002  R-OK               ROMA                               001/001 00:00:15

                         - 3100                                        -

********** - NTT                              - ***** -        201 555 1212 - ******
```

お知らせ

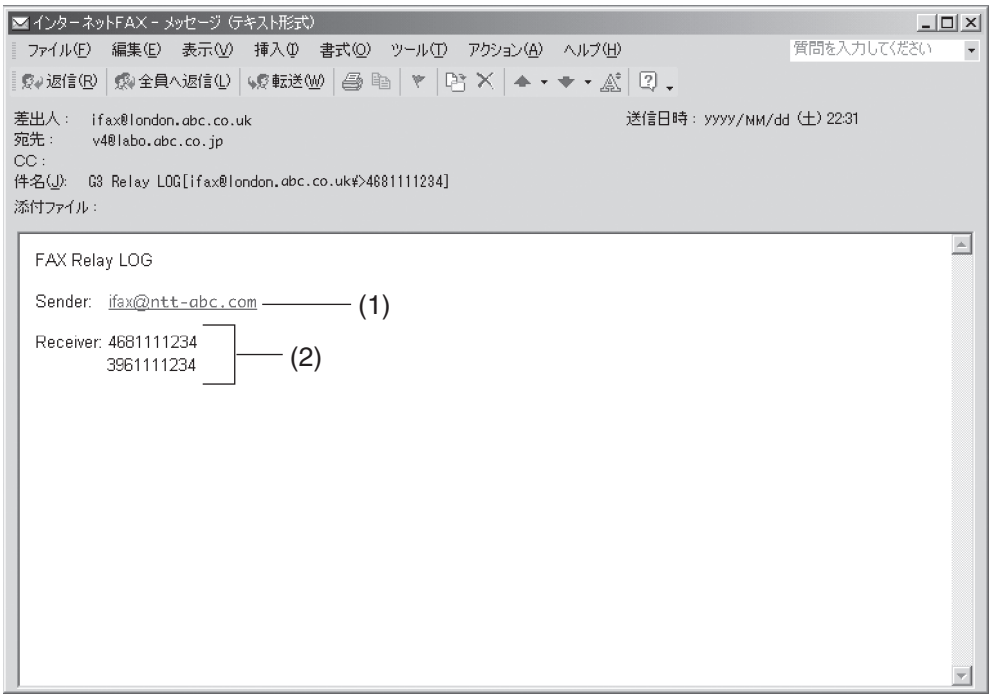
1. デュアルサーバーが設定されている場合、LAN 中継指示をサーバー 2 で受信しても、通信結果レポートはサーバー 1 経由で返送されます。（サーバー 2 経由での返送はできません。）

内容の説明

(1) 通信種別
(2) 通信受付時間
(3) 通信完了時間
(4) 受付番号 : 001 から 999 まで
(5) 宛先 No.
(6) 状況 : "R-OK" は、LAN 中継送信が完了したことを示します。
4 桁のエラーコード（☛272 ページ）は、通信がうまくいかなかったことを示します。
(7) 最終宛先の電話番号 , または宛先名
(8) 送信ページ数 : : 3 桁の数字は、送信が完了したページ数を示します。
(9) 通信所要時間

LAN 中継同報

管理者宛 E メール



内容の説明

(1)　送信者のインターネットファクスまたはパソコンのメールアドレス
(2)　最終宛先の G3 ファクス番号

セレクト受信機能

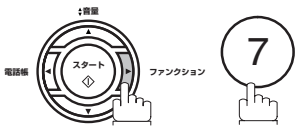
概要

本商品はセレクト受信機能を備えており、不必要なファクスの受信を防ぐことができます。
（例：無用のファクス、ダイレクトメール等）

データ受信前に、相手側から受信される ID 番号の下 4 桁が、各ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録されている電話番号の下 4 桁と照合されます。両者が一致すると、本商品はファクスの受信を開始します。一致しなければ、本商品は受信を拒否し、エラーコード 0406 がレポートに記録されます。

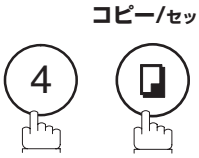
セレクト受信の設定

1



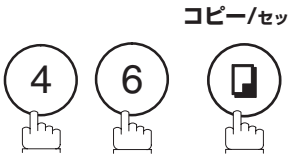

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
NO.=
```

3

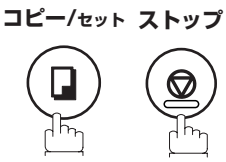



```
46 ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ
1:ﾅｼ
```

4

```
46 ｾﾚｸﾄ ｼﾞｭｼﾝ
2:ｱﾘ
```

5



お知らせ

1. セレクト受信機能が設定される場合、本商品のワンタッチボタン、短縮ボタンに登録されている宛先からのみ受信可能です。
2. 相手に数字 ID 送出機能がない場合や相手に誤った数字 ID が登録されている場合は、セレクト受信機能が設定されているとそのファクスからの受信ができません。
3. ID 番号が設定されていなければ、本商品は他のファクスから受信ができません。ID 番号の設定は 208 ページを参照してください。
4. セレクト受信は、電話回線を使って利用できます。

パスワード通信

パスワード通信について

通信するときに、送信側と受信側に登録されているパスワードを照合します。パスワードを照合し、一致する相手とだけ通信するので、機密性の高い通信が確保できます。また、送信と受信を個別に制限できるので、相手に合わせた設定ができます。

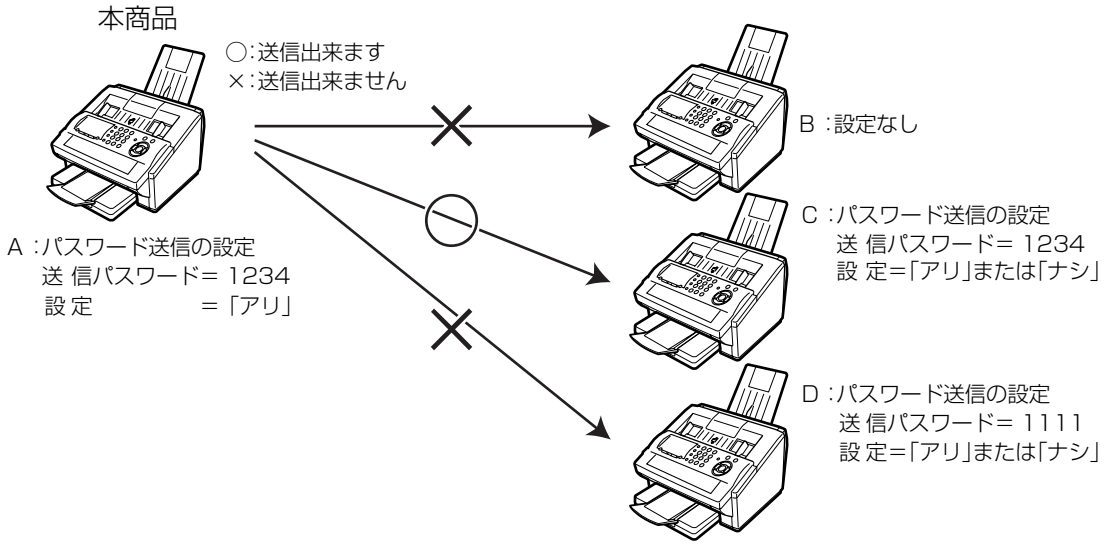
- あらかじめ「パスワード送信」の設定（☛166 ページ）と「パスワード受信」の設定（☛167 ページ）が必要です。

システム登録について

	設定状況	
パスワード送信	パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	送信用パスワードを登録し設定を「ナシ」にする	• 通常のダイヤル操作ではパスワード送信しません。 • パスワード操作するときは、送信前の操作が必要です。（☛166 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
	送信用パスワードを登録し設定を「アリ」にする	• 通常のダイヤル操作でパスワード送信が指定できます。 • パスワード送信をしないときは、送信前の操作が必要です。（☛166 ページ） • 相手がパスワード送信をしてくると、送信側と受信側に登録されている送信パスワードを照合し、一致すると通信できます。
パスワード受信	受信パスワードの登録なし	• パスワード通信しません。
	受信用パスワードを登録し設定を「ナシ」にする	• 相手がパスワード受信を設定しているときは、受信側と送信側に登録されている受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。 • そのほかは、通常の受信と同じです。
	受信用パスワードを登録し設定を「アリ」にする	• 常にパスワード受信の状態になっています。 • パスワード受信を設定している相手と受信パスワードを照合し、一致すると通信できます。

お知らせ　1. パスワード通信は、電話回線を使って利用できます。

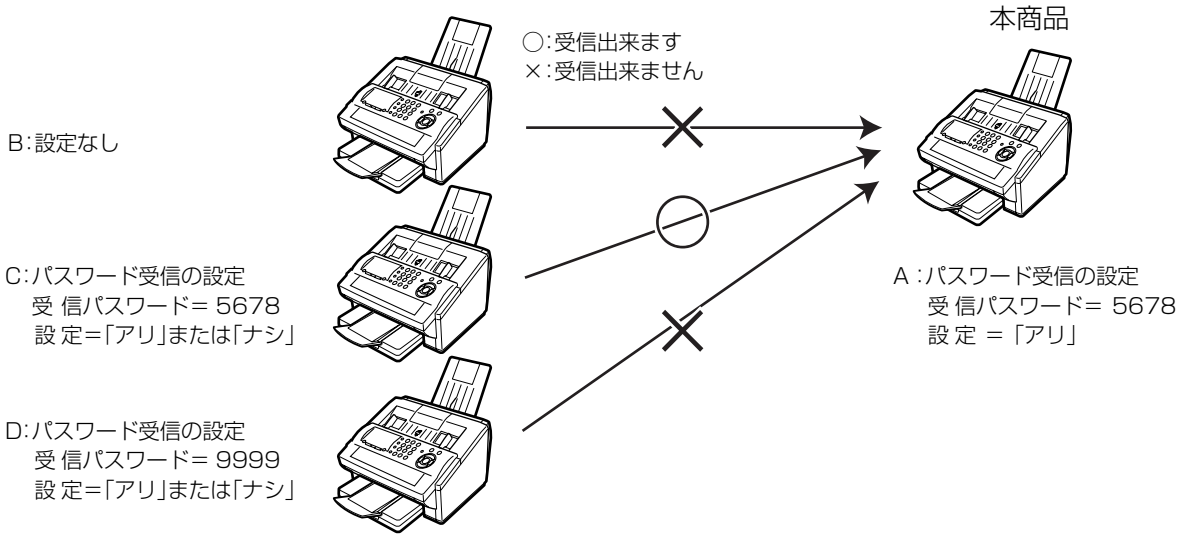
パスワード送信



パスワード送信は、送信側の設定が「アリ」の場合、受信側に設定されている「送信パスワード」を送信側でチェックし、一致した場合に送信します。

- 送信側のパスワード送信の設定が「ナシ」の場合は、通常の送信と変わりありません。
- パスワード送信の設定「アリ」または「ナシ」は、送信時のみに機能します。

パスワード受信



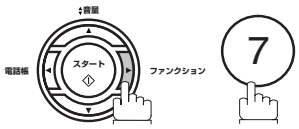
パスワード受信は、受信側の設定が「アリ」の場合、送信側に設定されている「受信パスワード」を受信側でチェックし、一致した場合に受信します。

- 受信側のパスワード受信の設定が「ナシ」の場合は、通常の受信と変わりありません。
- パスワード受信の設定「アリ」または「ナシ」は、受信時のみに機能します。

パスワード送信の設定

送信パスワードとパラメーターの設定

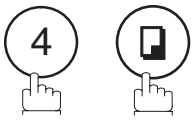
1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=
```

3

コピー/セット

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
                ■■■■
```

4

4 桁の送信パスワードを入力し セット を押す

例：「1234」を入力し セット を押します。

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 1:ｵﾌ           1234
```

5

「オフ」にするには（パスワードはチェックされない）

```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 1:ｵﾌ           1234
```

または

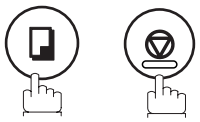
```
43 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ
 2:ｵﾝ           1234
```

または

「オン」にするには（パスワードはチェックされる）

6

コピー/セット ストップ



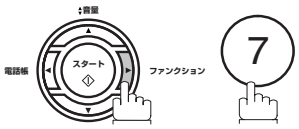
お知らせ

1. 送信ごとにファンクション 8-4（パスワード送信）を使うと、設定を一時的に変更できます。詳細については、168 ページを参照願います。
2. 送信パスワード変更には、手順 4 で クリアー を押して、新しいパスワードを入力してください。

パスワード受信の設定

受信パスワードとパラメーターの設定

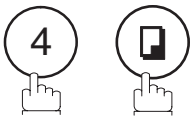
1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

コピー/セット




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=
```

3

コピー/セット

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
                ■■■
```

4

4 桁の受信パスワードを入力し セット を押す

例：「1234」を入力し セット を押します。

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ｵﾌ            1234
```

5

「オフ」にするには（パスワードはチェックされない）

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 1:ｵﾌ            1234
```

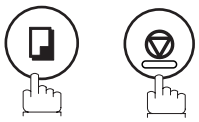
または

```
44 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｼﾞｭｼﾝ
 2:ｵﾝ             1234
```

「オン」にするには（パスワードはチェックされる）

6

コピー/セット　ストップ



お知らせ

1. 一度パラメーターを設定すると、受信ごとに「オフ」または「オン」のパラメーターを選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。
2. 受信パスワードを変更するには、手順 4 で クリアー を押し、新しいパスワードを入力してください。

パスワード送信設定の一時変更

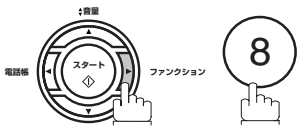
パスワード送信の一時解除・一時設定を行いたい場合、次の手順で１回の通信に限り、設定を変更できます。

1

送る面を裏向きにセットする

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

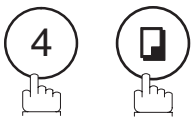
2




```
ｾﾚｸﾄ ﾓｰﾄﾞ          (1-9)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3

コピー/セット




```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

4

「オフ」にするには（パスワードはチェックされない）

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ=ｵﾌ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

または

または

「オン」にするには（パスワードはチェックされる）

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｿｳｼﾝ=ｵﾝ
1:ｵﾌ 2:ｵﾝ
```

5

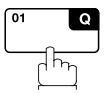
コピー/セット

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

6 宛先を指定する（複数宛先の指定ができます）

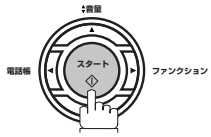
- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 電話帳機能
  宛先選択後 セット を押します。
- 直接ダイヤル
  宛先入力後 セット を押します。
- グループダイヤル

例：



<01> NTT_TOKYO
0312345678

7



1回の通信に限りパスワード送信の設定を「ナシ」または「アリ」にして通信を開始します。

パスワード受信の使用

167 ページの手順にしたがって一度設定すると、追加操作の必要はありません。「**オフ**」または「**オン**」のパラメーターは、受信ごとに選択できません。切り替えるには、設定を変更してください。

お知らせ

1. 手順 7 で宛先数の確認画面が表示される場合があります。そのときは、もう一度 スタート を押してください。システム登録の「125 複数宛先確認」を「ナシ」に設定すると表示されません。

親展送信

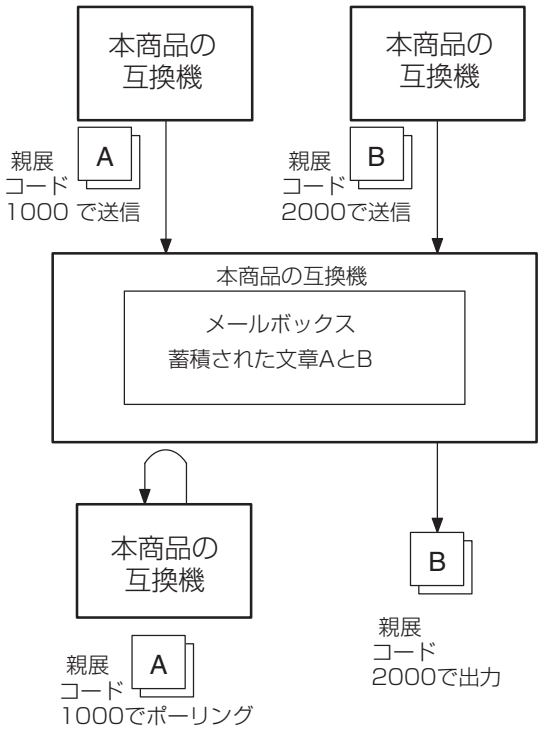
概要

ある特定の相手に原稿を送信したいとき、本商品の互換機のメモリーへ親展コードを付けて原稿を送信することができます。受信側は親展コードを入力しない限り原稿を取り出すことができないので、情報が第三者へ漏れる心配がありません。

また、親展文書を親展コードを付けて、本商品のメールボックスに保存することにより、親展文書の使用に制限をかけ、情報が第三者へ漏れることを防ぐことができます。

親展通信（メールボックス）

親展メールボックス機能は、4 桁の親展コードを使って他の互換モデルと通信するメールボックスとして使用できます。メールボックスには親展コードが付加された親展文書が蓄積され、親展文書は指定された親展コードを入力しないと取り出せません。



お知らせ

1. 本商品が同じ親展コードを持つ 2 つの親展文書を受信する場合、両方の親展文書は同じメールボックスに保存されます。
2. メールボックスファイルは 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリー容量が足りない場合、親展通信できません。

親展送信

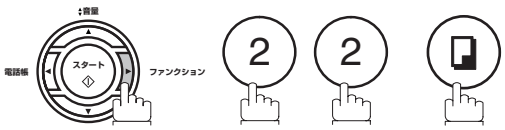
本商品の互換機のメールボックスに親展文書を送ります。

1

送る面を裏向きにセットする

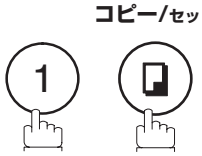
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3




```
ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■
```

4

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ｿｳｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

5

```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

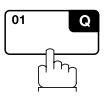
6

宛先を指定する（1 宛先のみ指定できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル
- 電話帳機能

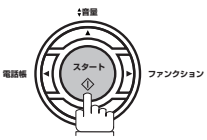
宛先選択後 セット を押します。

例：




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

7



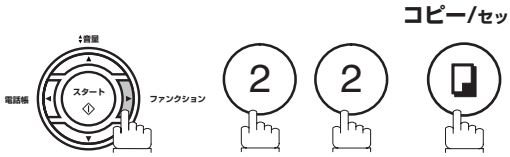
本商品の互換機へダイヤルし、親展送信を開始します。

必要に応じて、送信相手に親展コードを知らせてください。

親展ポーリング受信

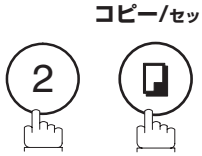
本商品の互換機のメールボックスに親展文書を受信した知らせが入ったら、
以下の手順で親展文書を取り出すことができます。

1




```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼﾝﾃﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■■
```

3

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

4

```
ｱﾃｻｷ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

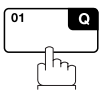
5

宛先を指定する（1 宛先のみ指定できます）

- ワンタッチボタン
- 短縮ダイヤル
- 直接ダイヤル
- 電話帳機能

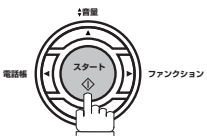
  宛先選択後 セット を押します。

例：




```
<01> NTT_TOKYO
0312345678
```

6



本商品の互換機へダイヤルし、親展通信を開始します。

本商品のメールボックスで親展文書を受信する

特別な設定をすることなく、通常のファクスと同じように親展文書を受信することができます。親展文書を受信したときは、ディスプレイに次のように表示され、親展文書受付レポートがプリントされます。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌｧｲﾙ ｶﾞ ｱﾘﾏｽ
```

親展文書受付レポートサンプル

```
********************  -  ｼﾝﾃﾝ ｳｹﾂｹ ﾚﾎﾟｰﾄ -  ************************** 2005-12-15 ********** 15:00 ***********


             ** ｼﾝﾃﾝ ｼﾞｭｼﾝ ﾖ ｳｹﾂｹﾏｼﾀ **


  (1)          (2)                  (3)                 (4)
  ﾌｧｲﾙ NO.     ｱｲﾃｻｷ ID             ﾏｲｽｳ                ｳｹﾂｹ ｼﾞｺｸ

     040       NTTFAX               001                 03-15 15:00

                                                        -3100                          -


************************************ -NTT               - ************* -        201 555 1212- ************
```

親展文書受付レポートの内容説明

(1) ファイル番号　：　001 ～ 999
(2) 相手先の ID　：　文字 ID または数字 ID
(3) 受信したページ数
(4) 受信した日付と時間

お知らせ

1. 同じ親展コードをもつ 2 つの親展文書を同時に受信した場合、2 つの親展文書は同じメールボックス内に保存されます。
2. メモリーには最大 10 個まで保存可能です。10 個の異なる親展コードを使用し親展文書を受信できます。
3. メモリーがいっぱいになると、親展通信できません。

親展送信

本商品のメールボックスで親展文書を保存する

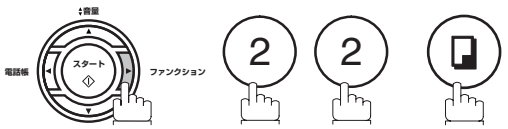
親展文書を親展コードを付加してメールボックスに保存することにより、親展文書の使用に制限をかけることができます。親展コードを知らない第三者へ情報が漏れることを防ぐことができます。

1

送る面を裏向きにセットする

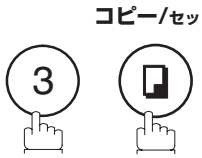
```
ｱﾃｻｷ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
ｽﾀｰﾄﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ    00%
```

2




```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾖ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

3




```
ｼﾝﾃﾝ ﾁｸｾｷ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■
```

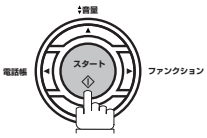
4

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾁｸｾｷ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

5




```
*ﾁｸｾｷ ｼﾃｲﾏｽ*  NO.002
        ﾏｲｽｳ=001   01%
```

文書はメモリー内に保存されます。

親展文書の使用を許可した場合は、相手に親展コードをお知らせください。

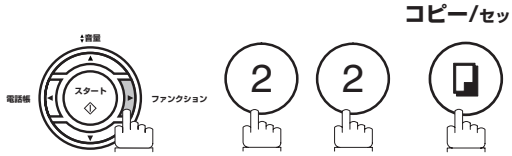
お知らせ

1. 保存された親展文書は他のファクスよりポーリング受信された場合、メールボックスから自動的に消去されます。システム登録の「042 親展ファイル保存」を「アリ」に設定されている場合は消去されません。

親展プリント

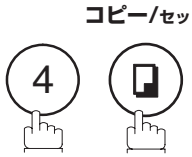
本商品のメールボックスに親展文書が送信されたときは、以下の手順で親展文書をプリントします。

1




```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2



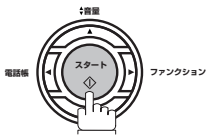

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■
```

3 プリントしたい文書の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

4




```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
      ﾍﾟｰｼﾞ=001/001
```

親展文書をプリントします。

お知らせ

1. 親展文書はプリントされた後、メールボックスから自動的に消去されます。システム登録の「042 親展ファイル保存」を「アリ」に設定されている場合も同様です。

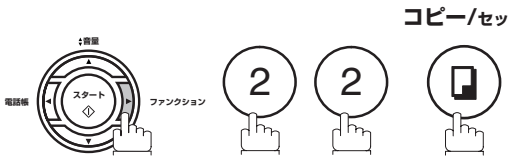
親展文書の消去

メモリーがいっぱいになったとき、または親展文書を消去したいときは、以下の手順で 1 つまたは複数の親展文書を消去することができます。

消去方法は、親展コードによって 1 つずつファイルを消去する方法と、メモリー内のファイルをすべて一括消去する方法、の 2 通りです。

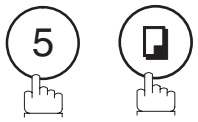
パスワードを使って消去する場合

1




```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■
```

3

4 桁の親展コードを入力する

例：「2233」を入力します。

```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

4

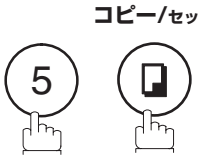
```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=2233
```

メモリー内のファイルを一括消去する場合

1

```
ｼﾝﾃﾝ ﾂｳｼﾝ          (1-5)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼﾝﾃﾝ ｼｮｳｷｮ
ｼﾝﾃﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ=■■■
```

3

```
ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ ｦ ｼｮｳｷｮ
ｼﾏｽｶ ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ
```

4

```
* ｼｮｳｷｮ ｼﾃｲﾏｽ *
  ｽﾍﾞﾃ ﾉ ｼﾝﾃﾝ
```

IP 電話サービスを使って送信する

ご利用上の留意点

■ ご利用上の注意

● プロバイダが提供する IP 電話サービスのご契約が必要です。

ご利用になるプロバイダが、「IP 電話対応機器」に対応した IP 電話サービスを提供しているかどうか、事前にご確認ください。

● IP 電話サービスのサービス内容は各プロバイダごとに異なります。

- IP 電話サービスのサービス内容・料金・提供条件・お申し込み方法などは、プロバイダにより異なりますので、各プロバイダにご確認ください。
- IP 電話サービスから発信できる番号も各プロバイダにより異なります。
- 「IP 電話対応機器」をご利用のお客様どうしでも、ご契約された IP 電話サービスが異なる場合は、IP 電話サービスとして通話することができない場合がありますのでご注意ください。

● 一般加入電話回線を接続しない場合は、110 番などについてはつながりません。

- 110 番や 118 番、119 番の電話番号へは、自動的に加入電話回線から発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。
- ご契約された IP 電話サービスが携帯電話やフリーダイヤルなどへの通話をサービス対象外としている場合は、加入電話回線から発信してください。

● IP 電話サービスから発信する際は、以下の表をよくご確認ください。

発信先の電話番号		発信に利用するサービス
一般の電話番号	例：03-1234-5678 06-1234-5678	IP 電話サービスから発信できます。
050 番号（IP 電話）	例：050-XXXX-XXXX*	IP 電話サービスから発信できます。
0X0（050 以外）	例：携帯電話（090）、PHS（070）、国際電話（010）など	ご契約された IP 電話サービスのサービス内容によります。詳しくは各プロバイダの IP 電話サービスのサービス内容をご確認ください。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象の場合】 IP 電話サービスから発信します。 【ダイヤルした番号が IP 電話サービス対象外の場合】 一般加入電話回線から発信してください。
00XY	例：0036 などで始まるダイヤル	
0XY0 （市外局番以外）	例：0120、0570 などで始まるダイヤル	
その他のダイヤル （110、118、119 以外）	–	
110、118、119	110、118、119 の緊急通話	自動的に一般加入電話回線から発信します。

*：「184 ＋電話番号」および「186 ＋電話番号」を含みます。

お知らせ　1. IP電話サービスについては、お使いの IP電話対応機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

● IP 電話サービスから発信できない／発信したくないときは

- 一般加入電話回線から発信してください。
- ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP 電話サービスがご利用いただけない場合は、一般加入電話回線から発信してください。

● 発信者番号通知についてご確認ください。

- IP電話サービスどうしの通話の場合は、IP 電話サービスの電話番号が通知されます。(「184＋電話番号」をダイヤルすることで非通知にすることもできます。)
- 加入電話など、IP 電話サービス以外に発信する際の発信者番号通知については、ご契約された各プロバイダにご確認ください。

お知らせ

2. 下記のような場合には、IP 電話の通話品質が劣化したり、ファクスが困難な場合があります。
   ·ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
   ·インターネットで十分な帯域が確保できない場合
   ·IP 電話対応機器に接続されているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

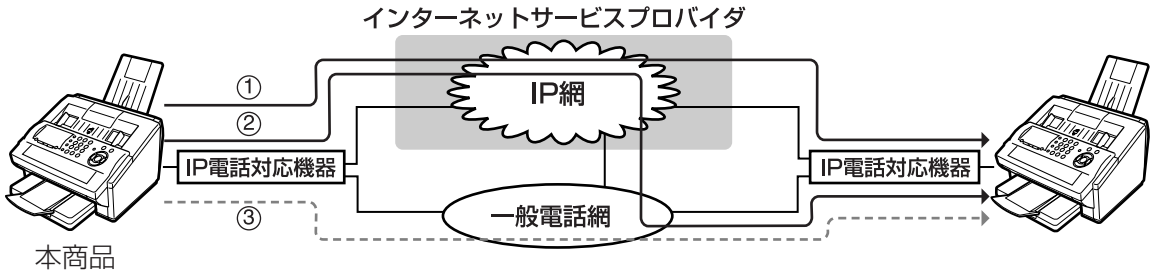
IP 電話サービスを使って送信する

IP 電話サービスを利用して送信する

インターネット網の不調などで IP 電話回線が通信不能になった場合は、リルート機能とプレフィクス機能により自動的に一般加入電話回線に切り替えて通信できるように設定することができます。

■ IP 電話サービスを利用して送信する

「IP 電話対応機器」を設置しているときは、特別な操作をしなくてもファクスを送ったり、電話をかけたりすることができます。



①（ＩＰ 電話→ ＩＰ 電話）..... 相手が ＩＰ 電話番号を持っている場合
②（ＩＰ 電話→ 一般電話）..... 相手が ＩＰ 電話番号を持っていない場合
③（一般電話→ 一般電話）..... 一般加入電話回線を指定する場合

＜送信の流れ＞

1. IP 電話から IP 電話への送信の送信方法①でファクスを送ります。（ワンタッチ／短縮ダイヤルに固定電話番号のみ登録されている場合は、ご利用できません）
2. 通信エラーにより送信方法①で送ることができなかった場合は、自動的に送信方法②でファクスを送り直します。
3. 通信エラーにより送信方法②でも送ることができなかった場合は、自動的に送信方法③でファクスを送り直します。

お知らせ

1. ファクスがどの回線を使って送信されたかを通信管理レポート（☛252 ページ）で確認できます。

[プレフィクス機能]
システム登録の「124 プレフィクス機能」で、プレフィクス番号を入力し、設定を「アリ」にしているときにご利用になれます。プレフィクス番号は 0 ～9、#、＊、ポーズ記号を組み合わせて、最大 20 桁まで登録できます。

（付与できる番号例）
0000 ：「IP 電話対応機器」を使用しているとき、続けてダイヤルすると相手先電話番号へ一般加入電話回線から発信します。

（「0000」は例です。一般加入電話回線への切り替え番号は、各ご契約電話会社へご確認ください）

[リルート機能]
システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」に設定されているとき、①～③のいずれかの送信方法で自動的に通信回線を切り替えてダイヤルをし直し、ファクスを送信します。ファクス送信は①の方法で送信を開始し、送信できなかったときは、②、③と順次送信を切り替えてファクスを送信します。

システム登録の「124 プレフィクス機能」のプレフィクス番号には、一般加入電話回線への切り替え番号を登録し、「アリ」「ナシ」の設定を「ナシ」に設定します。

リルート機能を「アリ」に設定すると、ワンタッチまたは短縮ダイヤルに、一般電話番号と IP 電話番号が登録できます。

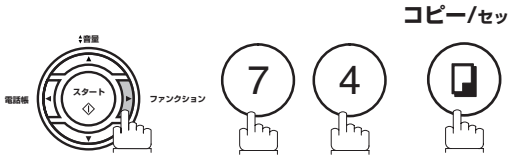
180 ページの動作は、初めのダイヤル設定に一般電話番号、次の IP ダイヤル登録に IP 電話番号が、登録されていることを前提としています。
初めのダイヤル登録（一般電話番号）のみまたは、直接ダイヤルの場合は②の方法で送信し、送信できなかったときは③の方法に発信方法を切り替えてファクスを送信します。

お知らせ

1.「124 プレフィクス機能」を「アリ」にすると、「123 リルート機能」の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発呼します。

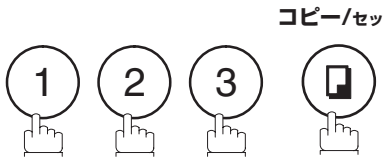
リルート機能の設定／プレフィクス番号の登録

1



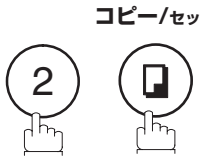

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
NO.=
```

2




```
123 ﾘﾙｰﾄｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

3




```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
```

- リルート機能が設定されます。

4 プレフィクス番号を入力（最大 20 桁）し セット を押す

例：「0000」を入力し セット を押します。

入力を間違えたときは クリアー を押して訂正します。

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

5 1（プレフィクス機能を使わない）

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 1:ﾅｼ
```

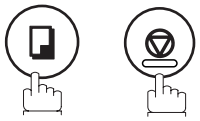
または

```
ま た は
```

2（プレフィクス機能を使う）

```
124 ﾌﾟﾚﾌｨｸｽ ｷﾉｳ
 2:ｱﾘ
```

6 コピー/セット ストップ



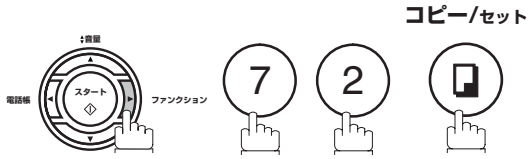
お知らせ

1.「124 プレフィクス機能」を「アリ」にすると、「123 リルート機能」の設定にかかわらず、常にプレフィクス番号をつけて発呼します。

電話番号／ IP 電話番号の登録

システム登録の「123 リルート機能」を「アリ」に設定すると、1 つのワンタッチまたは短縮ダイヤルに一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。

1




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

ワンタッチに登録するときは①を選択する

短縮番号に登録するときは②を選択する

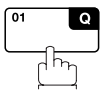
例： ①を選択する

```
ﾜﾝﾀｯﾁ< >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

登録するワンタッチボタンまたは短縮番号を選択する

例：




```
<01>
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

```
<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

- 入力モード変更には、

を押します。

4

電話番号を入力する（最大 36 桁）

例：「0312345678」を入力します。

```
<01>
0312345678
```

5

```
<01>
IPﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

6

IP 電話番号を入力する（最大 36 桁）

例：「0501234567890」を入力します。

```
<01>
0501234567890
```

7 **コピー/セット**

```
<01>ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ     <ｶﾅ
0501234567890
```

8 文字ボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「エイギョウブ」を入力します（☛241 ページ）。

```
<01>ｴｲｷﾞｮｳﾌﾞ▌     <ｶﾅ
0501234567890
```

9 **コピー/セット**

```
ﾜﾝﾀｯﾁ< >
ﾜﾝﾀｯﾁ ヲ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けてワンタッチの登録ができます。
手順 3 からの操作を繰り返します。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

登録編

インターネットに接続するための事前準備

本商品をネットワークに接続される前に、この章をご覧いただくことにより各機能についてのご理解がいっそう深まります。

本商品を、10Base-T/100Base-TX イーサネット LAN（ローカルエリアネットワーク）へ接続すると以下のようなことができます。

- 原稿情報を E メールで送信する
- インターネットファクスのメッセージを送信する（ダイレクト IFAX 送信）
- E メールを自動的に受信し、プリントする
- G3 ファクスもしくはEメールで受信したものを、あらかじめ設定したメールアドレスもしくは通常の G3 ファクスへ自動的に転送する（☛139 ページ「メモリー転送」）
- G3 ファクスから受信したものをITU-Tのサブアドレスを使って、発信者が指定したメールアドレスもしくは G3 ファクスへ自動的にルーティングする
（☛105 ページ「受信ルーティング」）
- E メールを通常のファクス送信として他のファクスへ中継する
（☛154 ページ「LAN 中継送信」）
- ネットワークスキャナー、プリンターとしての利用をする

ここに記載した機能をご利用になるには、本商品をネットワークへ正しく設定する必要があります。**現在のネットワーク設定値については、ネットワーク管理者へお問い合わせ願います。**

192 ページに添付されている事前設定調査表をコピーし、MAC（Media Access Control）アドレスを記入してから、表にある残りの項目を埋めていただきますようネットワーク管理者へご依頼願います。本商品の MAC アドレスは、インターネット登録リスト（自局登録リスト）（ファンクション ⑥ ④ セット ）を押してプリントされます。

本商品は、**SMTP 転送もしくは POP クライアント**による受信のいずれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の表のとおり異なります。

機能	SMTP 転送	POP クライアント
原稿情報を E メールで送信	○	○
インターネットファクスのメッセージを DirectSMTP プロトコルにより送受信	○	×
E メールの自動受信とプリント	○	○
E メールの手動受信とプリント	×	○
受信したファクスもしくは E メールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送（ルーティング）	○	○
E メールからファクスへの中継	○	×

お知らせ

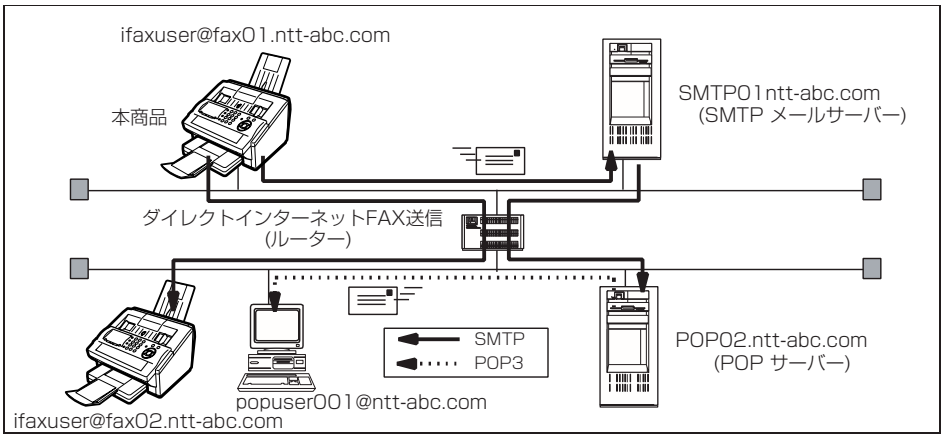
1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本商品のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS（Domain Name　System）サーバーへ登録されていなければなりません。
   例：Internet_Fax@fax01.ntt-abc.com
2. 自動的に SMTP 転送もしくは POP 受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
3. DHCP（Dynamic　Host　Configuration　Protocol）をご使用の場合、インターネット登録リスト（自局登録リスト）の IP アドレスはネットワーク管理者に依頼してください。
4. 本商品が受信、プリント、転送、中継可能な E メールは、テキスト本文と TIFF - F 形式画像の添付ファイルのみです。

SMTP 転送としての設定

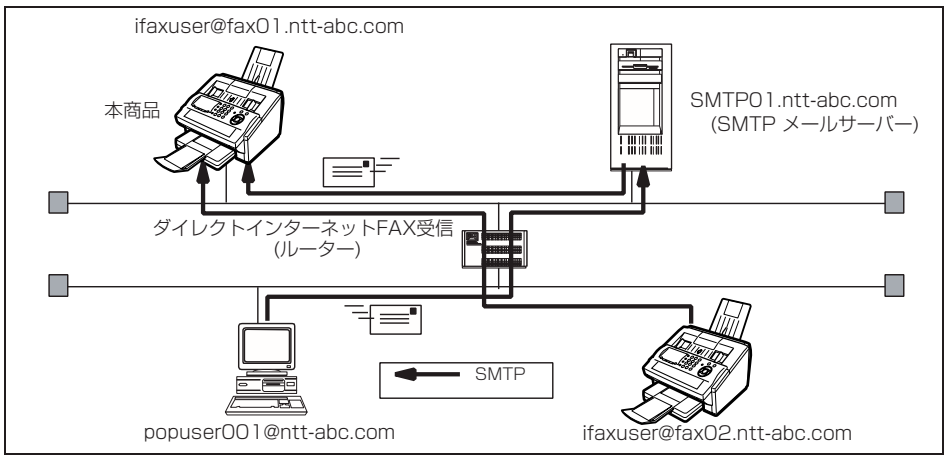
本商品をSMTP転送設定でご利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス（DNS が利用できない場合は、お知らせを参照）
- 本商品の IP アドレス
- 本商品のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- 本商品のメールアドレス（お知らせを参照）
- ホスト名
- SMTP 認証名（SMTP サーバーに認証が必要なとき）
- SMTP 認証パスワード（SMTP サーバーに認証が必要なとき）

E メール（本商品からパソコンへ）ならびにダイレクトインターネットFAX 送信例



E メール（パソコンから本商品へ）ならびにダイレクトインターネット FAX 受信例



お知らせ

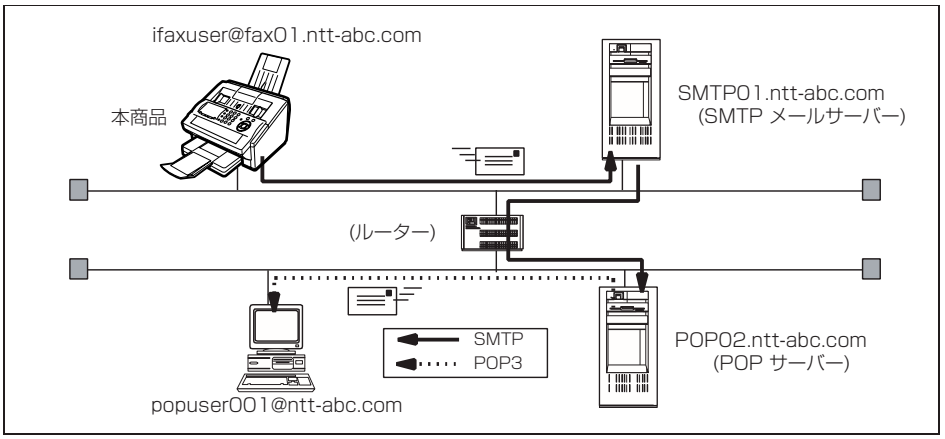
1. SMTP 転送機能をご利用になるには、本商品のメールアドレスにお客様のドメインとホスト名が含まれていなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS（Domain Name　System）サーバーへ登録されていなければなりません。
   登録は「○○○ @ ホスト名 ..... ドメイン名」の形式で行います。
   例：Internet_Fax@fax01.ntt-abc.com
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の「161 DNS サーバー」を「アリ」に設定してください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

POP クライアントとしての設定

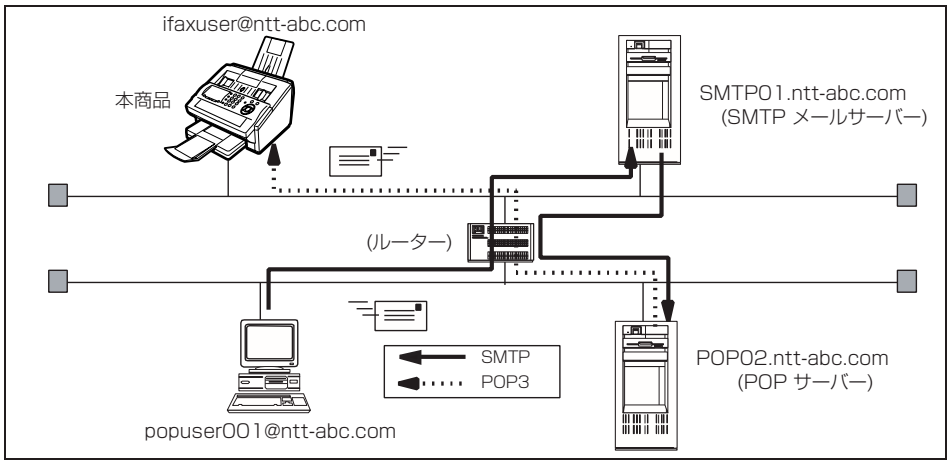
本商品を POP クライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス（DNS が利用できない場合は、お知らせを参照）
- 本商品の IP アドレス
- 本商品のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード
- 本商品のメールアドレス（お知らせを参照）

E メール送信例（本商品からパソコン へ送信）



E メール受信例（パソコンから本商品へ受信）



お知らせ

1. メールアドレス形式は、通常のメールアドレスと同じです。登録は「POP ユーザー名@ドメイン名」の形式で行います。
   例：popuser001@ntt-abc.com
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の「161 DNS サーバー」を「アリ」に設定してください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

インターネットに接続するための事前準備

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。システム管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

重要：このページ全体をコピーしてください。追加記入するべき情報は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。記入が終りましたら、本マニュアルの表紙裏にはさんでおき、適宜ご参照願います。

事前設定調査票

ユーザー情報		
社名		
住所		
部署名		
市	都道府県	郵便番号
電話番号	ファクス番号	

自局情報リスト（インターネットパラメーター）（211 ページ参照）	MAC アドレス：	
(1) 自局 IP アドレス：		
(2) サブネットマスク：		
(3) デフォルトルーター IP アドレス：		
(4) プライマリー DNS サーバーIP アドレス：		
(5) セカンダリー DNS サーバーIP アドレス：		
(6) 自局メールアドレス 1：		
(7) 自局メールアドレス 2：		
(8) メールサーバー名 1：	もしくは	メールサーバー 1　IP アドレス：
(9) メールサーバー 1 認証方式：□なし　□ SMTP 認証（認証 ID：　　認証パスワード：　　）□ POP before SMTP		
(10) メールサーバー名 2：	もしくは	メールサーバー 2　IP アドレス：
(11) メールサーバー 2 認証方式：□なし　□ SMTP 認証（認証 ID：　　認証パスワード：　　）□ POP before SMTP		
(12) POP サーバー名 1：	もしくは	POP　サーバー　IP　アドレス：
(13) POP ユーザー名 1：		
(14) POP パスワード 1：		
(15) POP サーバー 1 認証方式：□なし　□APOP 認証		
(16) POP サーバー名 2：	もしくは	POP サーバー 2　IP アドレス：
(17) POP ユーザー名 2：		
(18) POP パスワード 2：		
(19) POP サーバー 2 認証方式：□なし　□APOP 認証		
(20) ホスト名：		
(21) デフォルトサブジェクト：		
(22) デフォルトドメイン名：		
(23) セレクトドメイン名：		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(24) リモートパスワード：		
(25) LAN 中継用パスワード：		
(26) 管理者メールアドレス：		
(27) 中継許可ドメイン名：		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	
(28) コミュニティー名 (1)：		
(29) コミュニティー名 (2)：		
(30) デバイス名：		
(31) デバイスロケーション：		

お知らせ

1. (1)～(20) はネットワーク管理者から提供される情報です。
2. DNS サーバーをご利用される場合は、システム登録の「161 DNS サーバー」を「アリ」に設定してください。その後、DNS サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。
3. SMTPサーバー 1／2がSMTP認証の場合は、システム登録の「170　SMTP認証」／「179 SMTP認証(2)」を「アリ」に設定します。POP brfore SMTPの場合は、システム登録の「171 SMTP時POPによる確認」／「180 SMTP時POP確認(2)」を「アリ」に設定します。
4. POPサーバー1／2がAPOP認証の場合は、システム登録の「174 APOP認証」／「181 APOP認証(2)」を「アリ」に設定します。
5. 自局メールアドレス 2、メールサーバー名2、メールサーバー2 認証方式、POP サーバー名 2、POPユーザー名 2、POPパスワード 2、POP サーバー 2 認証方式は、システム登録の「178 デュアルサーバー」が「アリ」のとき登録できます。

記載内容説明

	MACアドレス	： 本商品の MAC アドレスは、システム登録リスト（ファンクション ⑥④ セット ）の「インターネット登録」から知ることができます。
(1)	自局IPアドレス	： 本商品のインターネットプロトコル（IP）アドレス
(2)	サブネットマスク	： サブネットマスク番号
(3)	デフォルトルーターIPアドレス	： ルーターの IP アドレス
(4)	プライマリー DNS サーバーIPアドレス	： プライマリー DNS サーバーの IP アドレス
(5)	セカンダリー DNS サーバーIPアドレス	： セカンダリー DNS サーバーの IP アドレス
(6, 7)	自局メールアドレス	： 本商品のメールアドレス（60 桁まで）（☛189 ページのお知らせ 1、191 ページのお知らせ 1）
(8, 10)	メールサーバー名もしくはメールサーバーの IP アドレス	： SMTP サーバー名（60 桁まで）、SMTP サーバーの IP アドレス
(9, 11)	メールサーバーの認証方式	： 送信時の認証方式（☛192 ページ：お知らせ 3）
(12, 16)	POPサーバー名もしくはPOPサーバーIPアドレス	： POP サーバー名（60 桁まで）、POP サーバー IP アドレス
(13, 17)	POP ユーザー名	： POP ユーザー名（40 桁まで）
(14, 18)	POP パスワード	： POP パスワード（10 桁まで）
(15, 19)	POP サーバーの認証方式	： 受信時の認証方式（☛192 ページ：お知らせ 4）
(20)	ホスト名	： ホスト名（60 桁まで）
(21)	デフォルトサブジェクト	： 件名（Subject）の部分に自動挿入される内容（40 文字まで） 例：ギョウムレンラク
(22)	デフォルトドメイン名	： メールアドレス省略時の付加ドメイン名（50 桁まで） 例：yourcompany.com
(23)	セレクトドメイン名	： メールアドレス入力時のドメイン名を最大 10 個まで登録して選択可能（30 文字まで）
(24)	リモートパスワード	： E メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード（10 桁まで）
(25)	LAN 中継用パスワード	： LAN 中継送信時の中継許可用パスワード（10 文字まで）
(26)	管理者メールアドレス	： LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理として利用（60 桁まで）
(27)	中継許可ドメイン名	： 中継許可ドメイン（30 桁まで）
(28, 29)	コミュニティー名 (1)(2)	： ネットワークデバイスロケーター用のコミュニティー名（32 文字まで）
(30)	デバイス名	： ネットワークデバイスロケーター用のデバイス名（32 文字まで）
(31)	デバイスロケーション	： ネットワークデバイスロケーター用のデバイスロケーション（32 文字まで）

お知らせ

1. IP アドレスはドットで 4 パートに区切られた数字の連なりです。
   例：「165.113.245.2」を入力します。
   （「.」（ドット）は トーン で入力します）

2. DHCP をご利用の場合、システム登録の「169 DHCP クライアント」を「アリ」に設定します。（1）自局 IP アドレス～（5）セカンダリー DNS サーバーIP アドレスは入力不要です。

インターネット通信について

インターネットファクス通信

原稿をインターネットファクスから相手先のパソコン、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。原稿は、E メールの TIFF または PDF 形式の添付ファイルとして相手先のパソコンに送信されます。インターネットファクスからの簡単操作で相手先のメールアドレスへ送信できます。

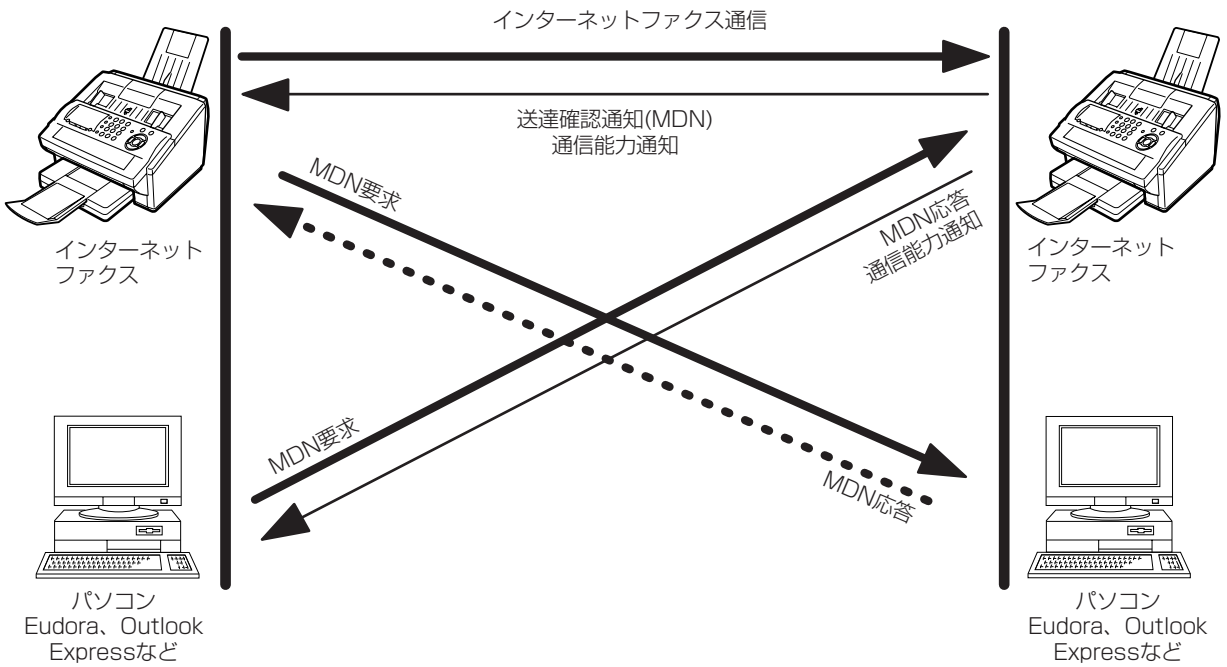
パソコン側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF もしくは PDF 形式の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。

E メールのメッセージはまず SMTP メールサーバーに送られ、その後、メールサーバーからインターネットへと送られます。

インターネットファクス送達確認通知（MDN）

インターネットファクスからの送信の到達を確認できます。ただし、受信者の側に送達（開封）確認通知（MDN）の機能が備わっていなければなりません。

インターネットファクスからの送達確認通知要求に応答できる E メールソフトには、Eudora や Outlook Express などがあります。MDN についての詳細は、各 E メールソフト付属のヘルプやユーザーガイドを参照してください。



矢印について：

：送信者からのMDN要求

：受信者からのMDN応答(通信能力通知付)

：受信者からのMDN応答

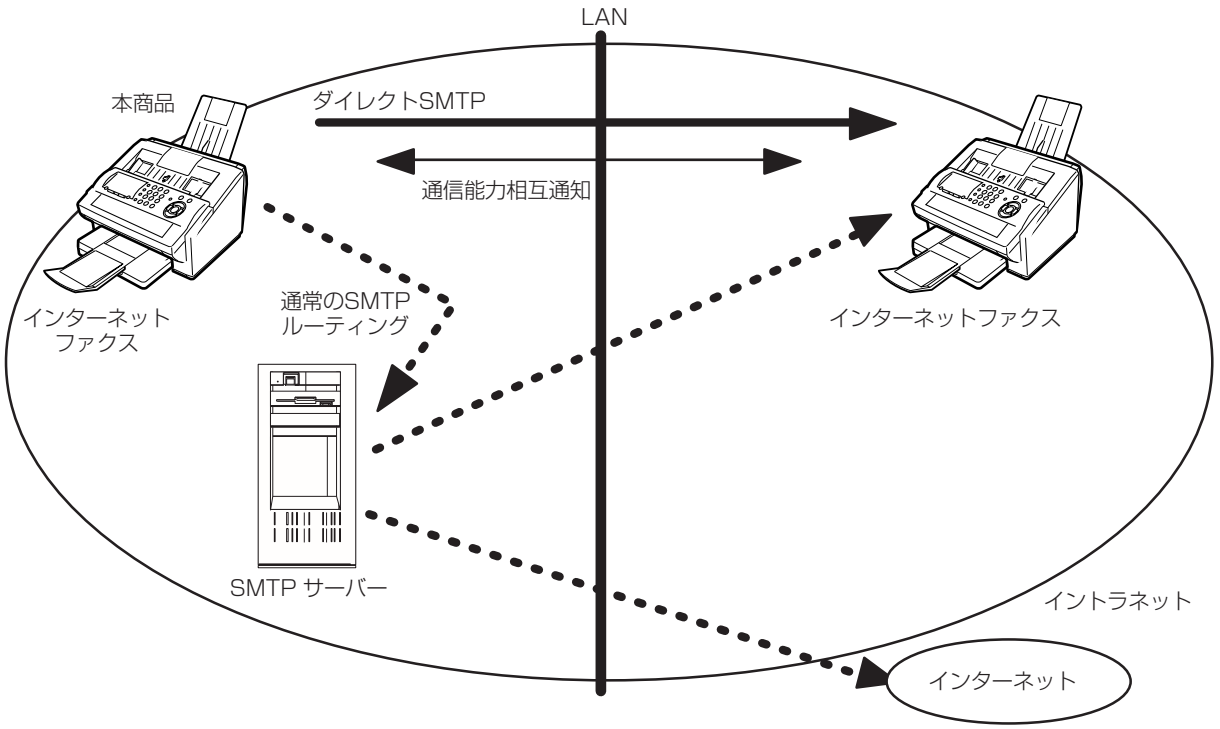
ダイレクト SMTP（ダイレクト IFAX 送信）

インターネットの E メールは SMTP メールサーバーが SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）によりやりとりしています。

ダイレクト SMTP は、SMTP メールサーバーを通さずに直接インターネットファクス間で文書交換するシステムです。このシステムを順調に働かせるには IP アドレスが常に一定に保たれている必要があります（IP アドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください）。本商品のドメイン名などの情報が DNS サーバーに適切に登録されていなければなりません。

通常企業などのイントラネットでは、E メールとホームページ閲覧しか許可されていません。これはファイアウォールの負担をネットワーク管理者が嫌うからです。

こういった場合、ダイレクト SMTP が活躍します。

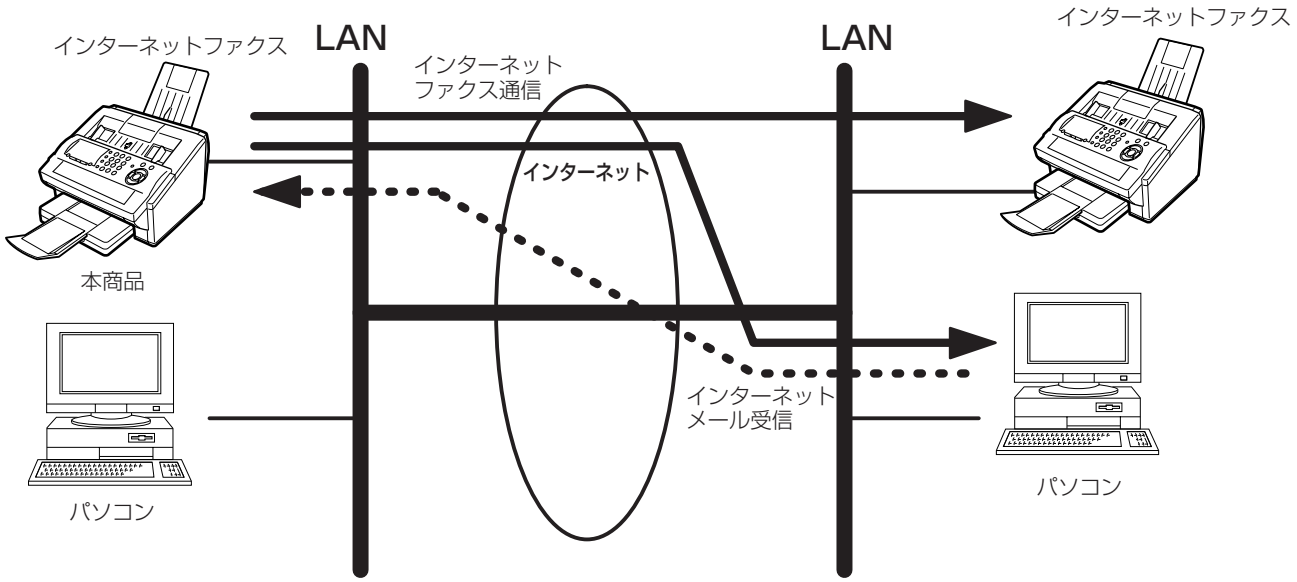


お知らせ

1. システム登録の「161 DNS サーバー」が「ナシ」のときは、メールアドレス指定の際は「@」以降を IP アドレスで指定しないと送信できません。

インターネットメール受信

パソコンからインターネットファクスに送られてきた E メールを、設定により自動または手動でプリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF 形式以外の添付ファイル（Word、Excel、PowerPoint などのファイル）が送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。



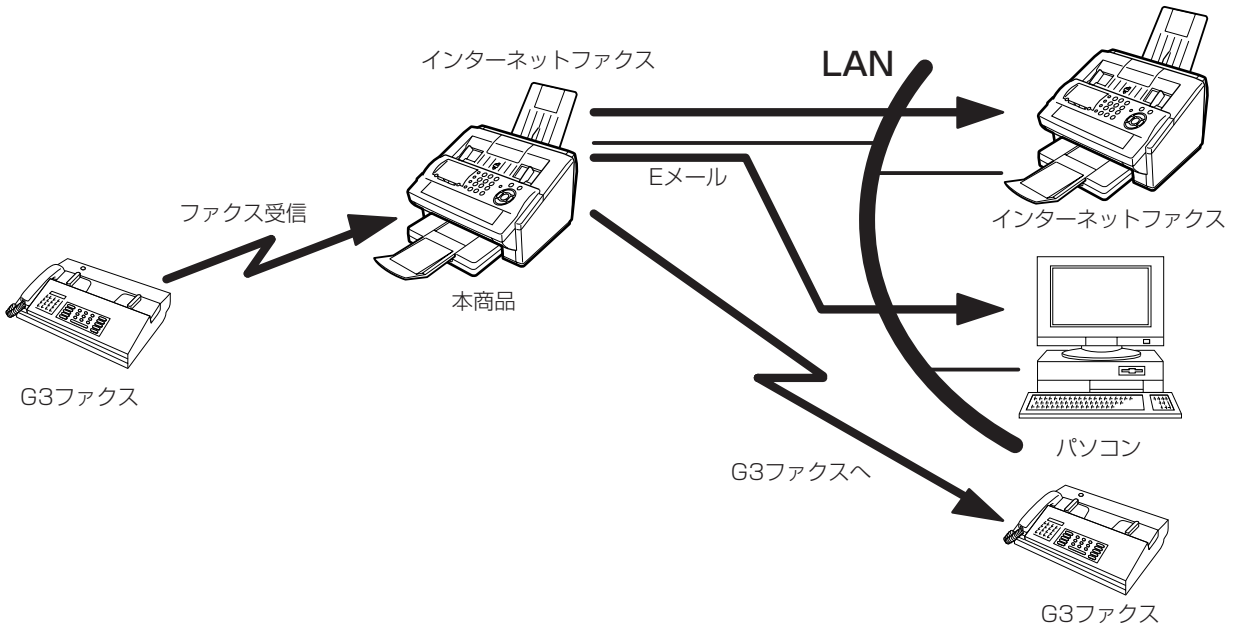
ルーティング（受信振分け機能）

一般電話回線のファクスから受信した文書を、LAN に接続したパソコンまたは、インターネットファクスに E メール送信することができます。また、別の一般電話回線のファクスにファクス送信することもできます。

送信機の G3 ファクスが F コードの通信の指示機能がご利用できるファクスの場合、登録したサブアドレスを指示することで通信ごとに宛先を選択して送信することができます。

また送信機の G3 ファクスはナンバー・ディスプレイサービス（発信者番号通知）やモデムダイヤルインサービスを使用して送信することができます。

1. F コード通信に対応していないファクスの場合は、宛先を選択することはできませんが、数字 ID を登録しておくことで送信機ごとに個別の宛先に送信することができます。
2. ご利用できるファクスに関して、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。



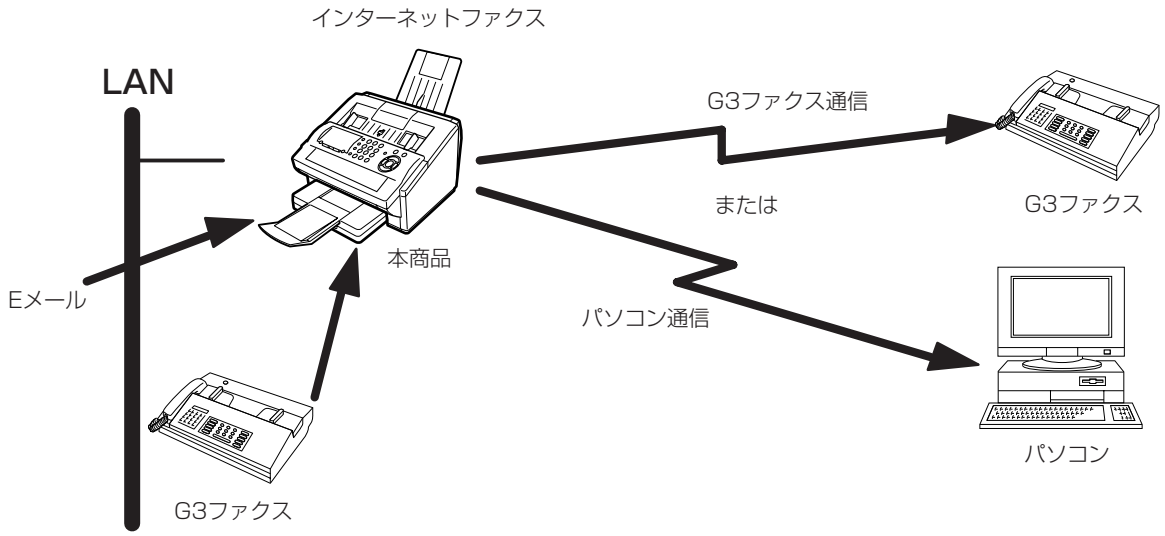
お知らせ

1. ファクス送信をしたファクスに上記のサブアドレス機能が備わっていない場合、サブアドレスの宛先は選べません。
2. 本商品はメールアドレスと電話番号に同一のサブアドレス番号を登録することができます。また、ルーティング用に複数のメールアドレス、ファクス番号、電話番号を短縮登録できます。
3. ナンバー・ディスプレイサービス（発信者番号通知）やモデムダイヤルインサービスはあらかじめ当社との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては 116 番へお問い合わせください。

インターネット通信について

メモリー転送

インターネットファクスのメモリーに受信したＥメールやファクスを、あらかじめ設定した 1 つの宛先（ファクスやパソコン）へ転送する機能です。

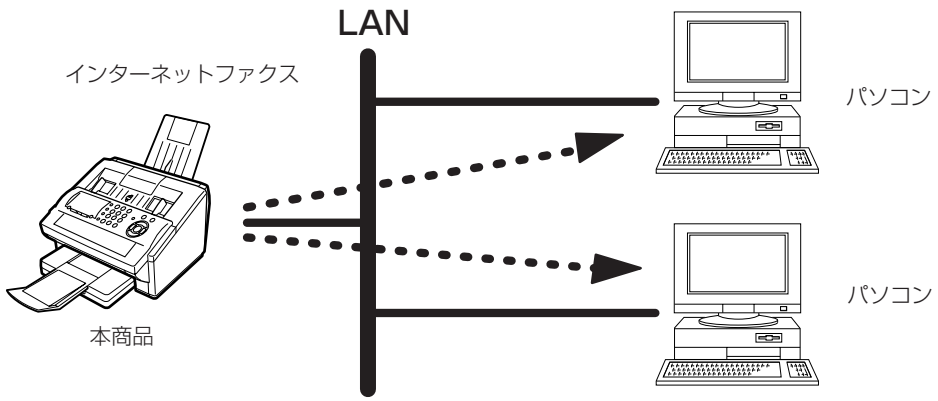


ネットワークスキャナー

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。

インターネット通信を利用して、原稿をインターネットファクスからパソコンへ E メール送信することにより、原稿の画像イメージをパソコン側で見ることができます。

デフォルトドメイン・パラメーターとして設定されている、同じドメイン内の宛先に文書を送信するときにヘッダーを含めるかどうかを指定するには、システム登録の「164 LAN送信ヘッダー」を使います（☛お知らせ 1）。



お知らせ

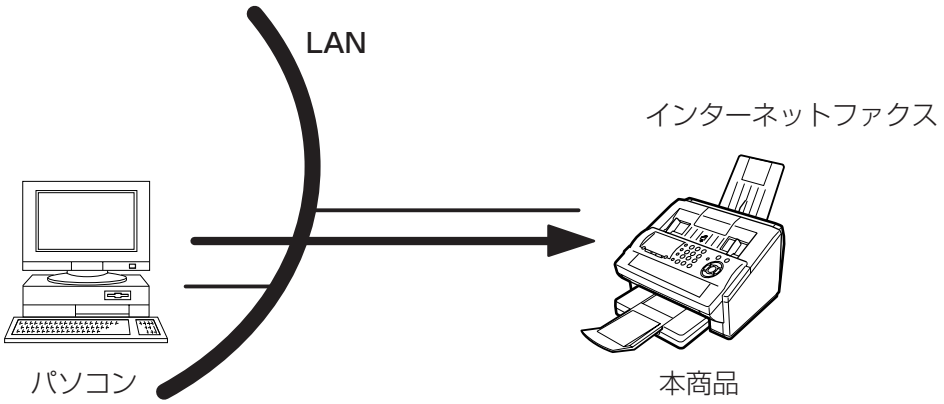
1. デフォルトドメイン外の宛先に文書を送信するときには「164 LAN送信ヘッダー」の設定が「ナシ」になっていてもヘッダーを含めて送信されます。（☛249 ページ）

インターネット通信について

ネットワークプリンター

インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。

パソコンの各種アプリケーションソフトで作成した書類をパソコンからの操作により、LAN に接続した本商品へプリントすることができます。ネットワークプリンター機能を利用するためには、付属の CD-ROM からソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR）をダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。



お知らせ

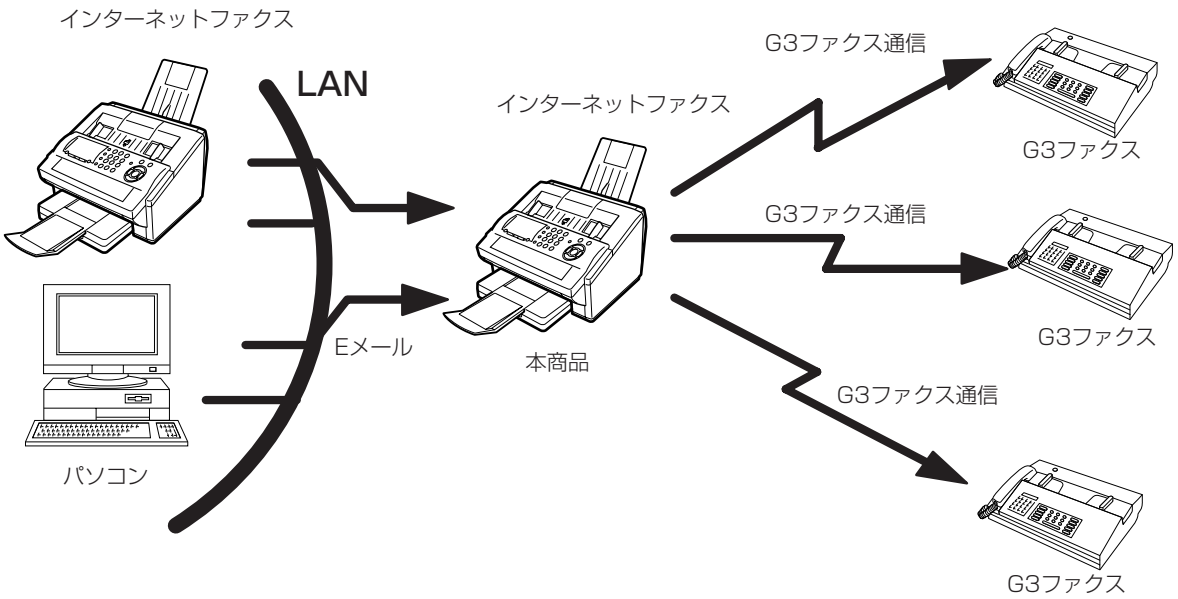
1. 本商品をネットワークプリンターとして使用するためには、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーター IP アドレスが登録されていなければなりません。

LAN 中継同報

LAN に接続したインターネットファクスやパソコンから送信した E メールを、LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数の G3 ファクスへ同報送信することができます。E メールには TIFF-F 形式のファイルを添付することができます。

本商品はまた、表計算ソフトなどの各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換したファイルを E メールの添付ファイルとすることができます。

各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルに変換するには、ソフトウェア（TIFF 変換プログラムおよび MAPI メールリンキング）を付属 CD-ROM からパソコンにインストールする必要があります。



インターネット通信について

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

DHCP というのは、インターネットファクスとクライアントのパソコンに IP アドレスを自動的に割り当てるためのプロトコルです。インターネットファクスは DHCP を使うとネットワークに接続するたびに自動的に固有の IP アドレスを取得でき、ネットワーク管理者の IP アドレス管理の手間が省けるようになります。ネットワークにログオンしたインターネットファクスに対して DHCP サーバーがマスターリストから選んだ IP アドレスを割り当てます。

本商品において以下のオプションを可能にするには、DHCP は使わずに、ネットワーク管理者によって設定済の IP アドレスおよび環境設定を使う必要があります。

SMTP 受信
LAN 中継送信
ダイレクト SMTP（ダイレクト IFAX（インターネット FAX）送信）

メールサーバー認証方式

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティーを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ（雑多なプロトコル、雑多なデバイス）の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティーは一般的に実現が困難。
2. インターネットファクスの標準規格が推奨する独占的な技術はない。

システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証技術は SASL（Simple Authentication and Security Layer）のような認証機構に統合されています。

インターネットサービスプロバイダー（ISP）は、多くが何らかの認証方式を採用しています。

本商品が提供する認証オプションは以下のとおりです。

1. SMTP 認証拡張サービス（SMTP AUTH）— 送信時にも受信時同様にアカウント名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法。
2. POP before SMTP — 送信前に指定した POP3 サーバーにあらかじめアクセスさせることにより、特定ユーザー以外の送信を防止できる方法。
3. APOP 認証サービス（APOP）— E メールの受信に使われるパスワードを暗号化する方法。

インターネット通信における留意点

インターネットファクスの留意点

インターネットファクスによる通信は基本的に E メールと同様で、一般電話回線のファクスによる通信とは異なります。

通常のファクスと異なる点は以下のとおりです。

インターネットファクスと通常のファクスの相異点

通常のファクスは、受話器を取ってダイヤルして送ります。データは電話回線を介して相手側に届きます。回線使用の料金は送信者が負担します。ファクス同士接続されると、同期を取り、画像データを交換します。

一方、インターネットファクスは、E メールに似ています。画像データはパケットに分解され、電話回線を介さずに LAN からインターネットへ、もしくはイントラネットへと送信されます。したがって、長距離通話の経費を節減できます。

正常に送信されましたか？

1. インターネット通信は LAN 経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。したがって、何らかの原因で文書が正しく送信できなかった場合にのみ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。
2. 相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間（通常 20 ～ 30 分）かかることがあります。
3. メールサーバーの調子により、エラーメールが返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話にてご確認願います。
4. 送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。

お知らせ

1) システム登録の 172（ダイレクト IFAX 送信）が「アリ」に設定されている場合、メールサーバーを経由せずに宛先に送信するように、「ワンタッチ／短縮」で設定することができます。

2) 本商品には送達確認機能があります（☛49 ページ）。

インターネット通信における留意点

LAN 経由での電話はできません

電話は一般電話回線（PSTN）でのみ使用できます。

デュアルポート通信

本商品にはデュアルポート通信機能があります。LAN 経由の通信中でも、一般電話回線（PSTN）を使用したファクス通信ができます。

文字サイズ

文字サイズは、パソコンへの送信を考慮して、お買い求め時の設定を『小さい』にしてあります。

この設定は、使用する原稿に合わせて変更することができます。

インターネットメール受信

1. 本商品は、パソコンからの E メールを受信しますが、受信したデータのうち、英数字、ひらがな、カタカナと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
   読み取り不能の文字は " ■ " と表示されます。
2. 受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
3. 受信データは、1 ページ約 72 行で出力します。
4. 受信した E メールに TIFF-F 形式以外のファイル（Word、Excel、Power Point などのファイル）が添付されていた場合には、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。
5. 受信した E メールに TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されていた場合には、テキストと画像を別々のページにプリントします。

LAN を介してパソコンに文書を送信する

E メールで文書を送信する場合、TIFF-F 形式の画像ファイルのほかに以下のようなメッセージが宛先に届きます。

「このメールには TIFF-F 形式の画像ファイルが添付されています。TIFF-F 形式画像ファイルのビューアーは以下のホームページからダウンロードできます。

http://panasonic.co.jp/pcc/

LAN 中継通信

LAN 中継局への不正なアクセスを防止するためには、ネットワーク・セキュリティーを設定します。LAN 中継パスワード、中継許可ドメイン名の設定を行います。また、LAN 中継通信のすべてを管理するために、管理者のメールアドレスを登録し通信管理レポートを受け取れるようにします。

自局登録

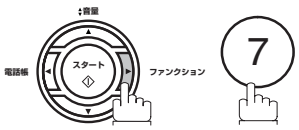
自局登録について

本商品は文書通信の記録のために、基本的な設定を登録することができます（自局登録）。発信元 ID ナンバーを登録すれば、文書送受信者の身元確認に役立ちます。

日付と時刻の登録

待機時には画面に日付と時刻が表示されます。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3 **コピー/セット**

```
ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
 ▮002-01-01 00:00
```

4 新しい日付と時刻を入力する

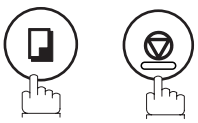
```
ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ
  2005-12-15 15:00
```

例：

②⓪⓪⑤	年	：	2005
①②	月	：	12月
①⑤	日	：	15日
①⑤⓪⓪	時刻	：	午後３時

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを移動させ、正しい数字で上書きしてください。

5 **コピー/セット** **ストップ**



続けて発信元の登録を行うときは、ストップを押さないで、206 ページの手順 4 に進みます。

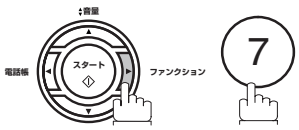
お知らせ

1. 時計表示は、あくまで目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時間精度：平均月差±60 秒以内）

発信元の登録

発信元を登録しておくと、宛先に届いた原稿の先端に発信元を印字することができます。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ  ｾﾝﾀｸ
```

3 **コピー/セット**

発信元の画面になるまで繰り返し押す

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ              <ｶﾅ
▌
```

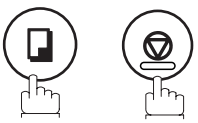
4 文字ボタンやダイヤルボタンを使って、発信元を入力する（最大 25 文字まで）（☛241 ページ）

例：「ホンシャ」を入力します。

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、**クリアー** を押してから正しい文字を入力し直します。
20 文字以上入力された場合、左端の文字から順にスクロールして画面から消えます。

```
ﾊｯｼﾝﾓﾄ              <ｶﾅ
ﾎﾝｼｬ▌
```

5 **コピー/セット** **ストップ**

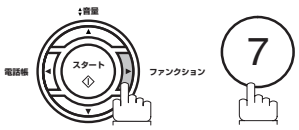


続けて文字 ID の登録を行うときは、**ストップ** を押さないで、207 ページの手順 4 に進みます。

文字 ID の登録

通信をしたときに、相手のディスプレイにこちらの会社名などを表示させることができます。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3 **コピー/セット**

文字 ID の画面になるまで繰り返し押す

```
ﾓｼﾞ ID          <ｶﾅ
▌
```

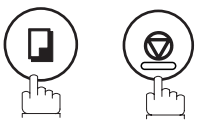
4 文字ボタンやダイヤルボタンを使って、お客様の文字 ID を入力する（最大 16 文字まで）
（☛241 ページ）

例：「NTT ホンシャ」を入力します。

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、**クリアー**を押してから正しい文字を入力し直します。

```
ﾓｼﾞ ID          <ｶﾅ
NTTﾎﾝｼｬ▌
```

5 **コピー/セット** **ストップ**



続けて数字 ID（ファクス番号）の登録を行うときは、**ストップ**を押さないで、208ページの手順4に進みます。

お知らせ

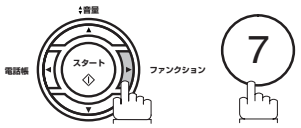
1. 特殊文字は文字 ID として使用できません。

数字 ID（ファクス番号）の登録

相手先のディスプレイに電話番号などを表示させることができます。

お客様のファクス番号を本商品の数字 ID として登録することをお勧めします（最大 20 字まで）。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3 **コピー/セット**

数字 ID の画面になるまで繰り返し押す

```
ｽｳｼﾞ ID
▌
```

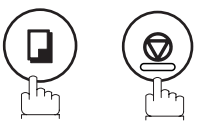
4 ダイヤルボタンと空白文字を入れるための**スペース**を使って、お客様の数字 ID を入力する（最大 20 字まで）

例：「201（**スペース**を押す）555（**スペース**を押す）1212」を入力します。

入力を間違えたときには◀ ▶を使ってカーソルを間違えた文字の右隣に移動させ、**クリアー**を押してから正しい文字を入力し直します。

```
ｽｳｼﾞ ID
201 555 1212▌
```

5 **コピー/セット** **ストップ**



続けて自局情報（インターネットパラメーター）の登録を行うときは、**ストップ**を押さないで、209 ページの手順 4 に進みます。

お知らせ

1. 国別コードの入力で "+" を入力するには ✱ を使ってください。

例： +1 201 555 1212　　+1 はアメリカ合衆国の国別コード。
+81 3 111 2345　　+81 は日本の国別コード。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

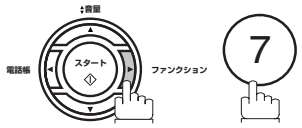
自局情報（インターネットパラメーター）の登録設定

設定開始前に 192 ページ「インターネットに接続するための事前準備」のコピーに所定の事項を記入し、ご用意願います。インターネットファクスをお使いになるには、以下の基本的なパラメーター 6 つを本商品に事前に登録しておく必要があります。

- IP アドレス（☛ お知らせ 1）
- サブネットマスク（☛ お知らせ 1）
- デフォルトルーター IP アドレス（☛ お知らせ 1）
- DNS サーバー IP アドレス（☛ お知らせ 1）
- SMTP サーバー名もしくは IP アドレス
- メールアドレス（☛189 ページのお知らせ 1 および 191 ページのお知らせ 1）

お知らせ： 本商品が接続されるネットワークにおいて DHCP サーバーが利用可能な場合、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーター IP アドレスは自動的に取得されます。

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
1:ｼﾞｷｮｸ ﾄｳﾛｸ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

3

コピー/セット

IP アドレスの画面になるまで繰り返し押す

```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
▌
```

4

ダイヤルボタンを使って IP アドレスを入力する

「.」（ドット）を入力するには P2 . または ✱ を押します。（☛210 ページ：お知らせ 3）

例：「123.178.240.3」を入力します。

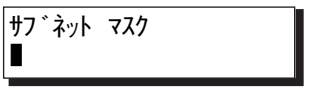
```
IP ｱﾄﾞﾚｽ
123.178.240.3▌
```

お知らせ

1. DHCP サーバーをご利用の場合は、システム登録の「169 DHCP クライアント」を「アリ」に設定し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルーター IP アドレス、DNS サーバー IP アドレスの入力は不要です。DHCP サーバーによって割り当てられた値が、自動表示されます。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

5 コピー/セット



続けて自局情報の登録ができます。手順 3 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには ストップ を押します。

お知らせ

1. 209 ページ 手順 3 の自局登録において、目的の項目に移動するには ▼ または ▲ を押して画面をスクロールさせてください。
2. DNS サーバーが利用できない場合には、システム登録 No. 161（DNS サーバー）の設定を「ナシ」に変更し、代りに IP アドレスを入力してください。
3. IP アドレスを入力するときにドット "." を入れるには [P2] または ✱ を押してください。
4. IP アドレスなどの設定・変更を行うと、「セッテイ ガ カワリマシタ リブート シマス」と表示され、本商品のリブートが行われます。

自局情報の種類（インターネットパラメーター）

LAN の構成次第により、最初に下記のパラメーターを適切に設定する必要があります（☛186 ～ 193 ページ）。

	パラメーター	説明
1	時刻セット	現在の日付と時刻です。
2	発信元	最大 25 文字までです。
3	文字 ID	最大 16 文字までです。
4	数字 ID	本商品のファクス番号です（最大 20 文字まで）。
5	（MAC アドレス）	ネットワークでホスト識別のために設定されるハードウェアアドレスです。（必要な場合はシステム登録リスト（F6-4）で確認できます）
6	IP アドレス	ネットワーク管理者もしくはDHCPサーバーによって割り当てられたIPアドレスです。
7	サブネットマスク	ネットワーク管理者もしくはDHCP サーバーによって割り当てられたサブネットマスクです。
8	デフォルトルーター IP アドレス	ネットワーク管理者もしくは DHCP ADDR サーバーによって割り当てられたデフォルトゲイトウェイ IP アドレスです。
9	DNS サーバー 1 IP アドレス *1	プライマリー DNS サーバーの IP アドレスです。
10	DNS サーバー 2 IP アドレス *1	セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスです。
11	メールアドレス 1	本商品に割り当てられたメールアドレス（最大 60 文字まで）です。
12	メールアドレス 2*2	本商品に割り当てられたメールアドレス 2（最大 60 文字まで）です。
13	メールサーバー名 1*4	SMTP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
14	SMTP 認証名 1*3	本商品に割り当てられた SMTP1 ログイン時の認証用のユーザー名です。通常、受信用のユーザー名 (POP ユーザー名) が使われます。
15	SMTP 認証パスワード 1 *3	本商品に割り当てられた SMTP 認証名 1 に対するパスワード（最大 10 文字まで）です。
16	メールサーバー名 2 *2, *4	SMTP メールサーバー 2 の名称（最大 60 文字まで）です。
17	SMTP 認証名 2 *2, *5	本商品に割り当てられた SMTP2 ログイン時の認証用のユーザー名です。通常、受信用のユーザー名 (POP ユーザー名 2) が使われます。
18	SMTP 認証パスワード 2 *2, *5	本商品に割り当てられた SMTP 認証名 2 に対するパスワードです。
19	POP サーバー名 1*4	POP メールサーバーの名称（最大 60 文字まで）です。
20	POP ユーザー名 1	本商品に割り当てられた POP ユーザー名（最大 40 文字まで）です。
21	POP パスワード 1	本商品に割り当てられたパスワード（最大 10 文字まで）です。
22	POP サーバー名 2 *2, *4	POP メールサーバー 2 の名称（最大 60 文字まで）です。
23	POP ユーザー名 2 *2	本商品に割り当てられた POP ユーザー名（最大 40 文字まで）です。
24	POP パスワード 2 *2	本商品に割り当てられたパスワード（最大 10 文字まで）です。
25	ホスト名	本商品のホスト名（最大 60 文字まで）です。
26	デフォルトサブジェクト	メールの件名に自動挿入されるデフォルトの情報（最大 40 文字まで）です。送信ごとに件名を付けたいときは、システム登録の No. 159（サブジェクト登録）を「アリ」に設定します。

*1　システム登録の「161 DNS サーバー」が「ナシ」に設定されている場合は、表示されません。
*2　システム登録の「178 デュアルサーバー」が「アリ」に設定されている場合に、表示されます。
*3　システム登録の「170 SMTP 認証」が「アリ」に設定されている場合に、表示されます。
*4　システム登録の「161 DNS サーバー」が「ナシ」に設定されている場合は、名称の代わりに IP アドレスで設定します。
*5　システム登録の「179 SMTP 認証 (2)」が「アリ」に設定されている場合に、表示されます。

自局情報（インターネットパラメーター）の登録

	パラメーター	説明
27	デフォルトドメイン	ドメイン名がないメールアドレスに自動でドメインを付加します。（システム登録の「160 デフォルトドメイン」が「アリ」に設定されている場合）
28	セレクトドメイン	ドメイン名を 10 個まで登録できます。手動でメールアドレスを入力する際に "@" 入力後に (01) ～ (10) のドメインが選択できます（最大 30 文字まで）。
29	リモートパスワード	セキュリティーパスワード。インターネットパラメーターやワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルあるいは E メールによる通信管理レポートの取得について、リモート操作を可能にします（最大 10 文字まで）。
30	LAN 中継用パスワード *6	中継送信時の中継許可用パスワード（最大 10 文字まで）です。
31	管理者メールアドレス	LAN 中継送信状況モニターと通信費用管理のための、管理者用メールアドレスです（最大 60 文字まで）。
32	中継許可ドメイン名	中継許可ドメイン名を 10 個まで入力できます（最大 30 文字まで）。
33	コミュニティー名 (1)、(2)	ネットワークデバイスロケーターが使用するコミュニティー名です。(01) ～ (02)
34	デバイス名	ネットワークデバイスロケーターが使用するデバイス名です。
35	デバイスロケーション	ネットワークデバイスロケーターが使用するデバイスロケーションです。

*6　LAN 中継用パスワードに「文字・数字以外」を使用すると、通信エラーになることがあります。

E メール経由でのパラメーター設定／検索

メールリモート登録

この機能では、パソコンから本商品へ E メールを送信することにより、自局情報のインターネットパラメーター、ワンタッチ、短縮ダイヤル、通信管理レポート等の登録もしくは内容の取り出しを簡単に行うことができます。この機能を利用するには、あらかじめシステム登録の「158　メールリモート登録」を「アリ」に変更してください。（☛249 ページ）

件名 "Subject" をコマンドラインフィールドとして利用することにより、本商品は次の表のコマンドを処理することができます。

	Subject 行に書き込むコマンド	働き
1	#set parameters(password)#	インターネットパラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの登録
4	#get abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの取り出し
5	#get jnl(password)#	通信管理レポートの取り出し

- "password" は本商品の自局情報の登録設定項目に登録されたリモートパスワード（例：123456789）のことです。パスワードの両端はカッコ "()" で囲まなければなりません。
- コマンドの両端は # で囲んでください。
- コマンドラインは半角文字で入力してください。
- get または set の後に半角のブランクを入力してください。

E メール経由でのパラメーター設定／検索

インターネットパラメーターのメールリモート登録

この機能では、パソコンから本商品へ E メールを送信することにより便利にしかも簡単にインターネットパラメーターを設定することができます。

次のパラメーターが、パソコンからリモートで登録できます。その他のパラメーターは、本体側で自局情報の登録をしなければなりません。

- From 選択機能（ファクスや E メール送信時の発信元ユーザーを最大 24 個登録可能）（☛99 ページ）
- セレクトドメイン（最大 10 個まで登録可能）
- 中継許可ドメイン（リレー送信指示が許可されているドメインを最大 10 個まで登録可能）
- デフォルトドメイン
- 管理者メールアドレス
- LAN 中継パスワード
- リモートパスワード
- コミュニティー名（1）（2）
- デバイス名
- デバイスロケーション

本商品は、パソコンによる E メールの件名 "Subject" に入力されたコマンドを解析し、インターネットパラメーターの登録または取り出しを実行します。

- データの登録をするには：#set parameters(password)# と入力します。（set の後には半角ブランクを入力してください。）
  パスワードは、本商品のインターネットパラメーター（自局登録）で設定したリモートパスワードです。（例 :1234567879 ）
  このコマンドラインは、初めてご利用になる場合を想定していますので、すでにデータが設定されている場合は使用しないでください。現在の設定値は削除され上書きされてしまいます。その場合は、217 ページに説明する取り出しを最初に実行してください。
- データの取り出しをするには：#get parameters(password)# と入力します。（get の後には半角ブランクを入力してください。）

お知らせ

1. 本商品は、パソコンからの E メールを受信しますが、受信したデータのうち、英数字、ひらがな、カタカナと第 1 、2 水準の漢字が記録可能です。

インターネットパラメーターを初めて登録する

E メール本文にテキストで記述し本商品のメールアドレスへ送信します。件名 "Subject" コマンドラインは次のとおりです。

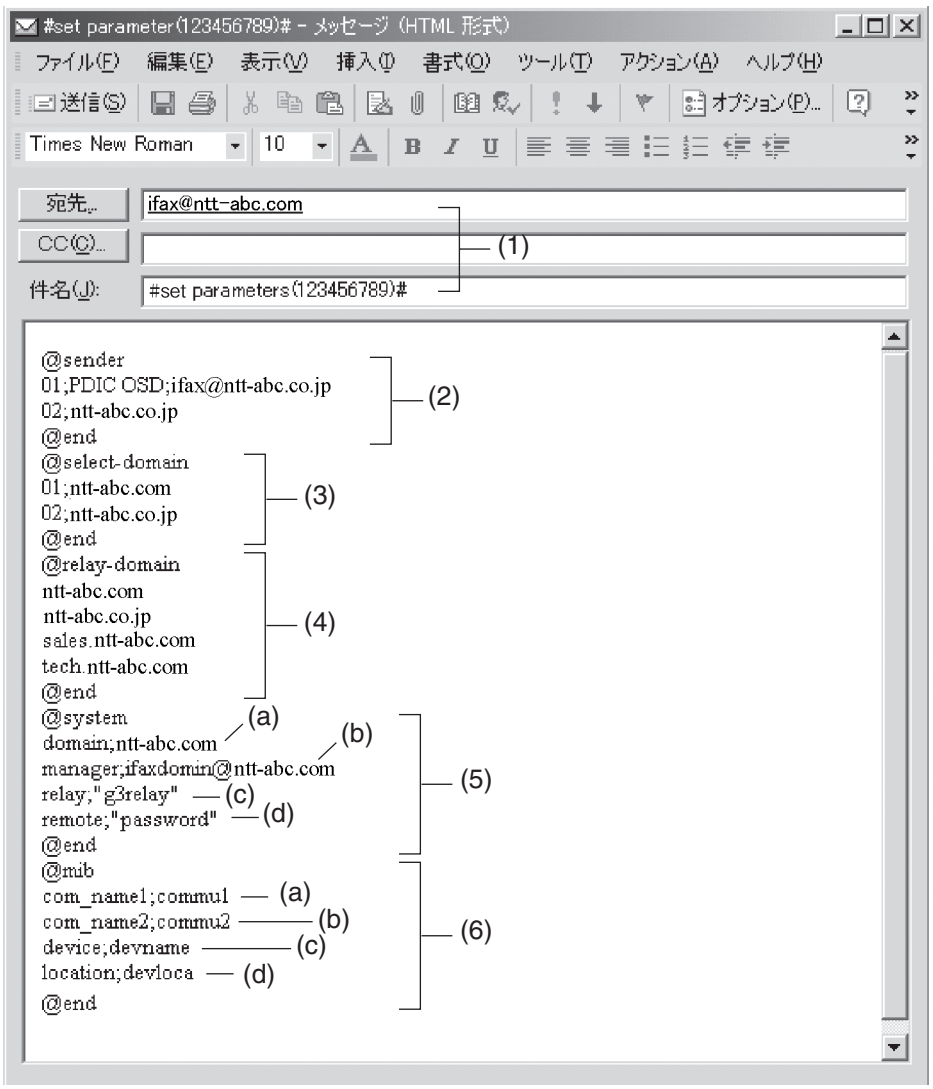
#set parameters(password)#

ここでいうパスワードは本商品のインターネットパラメーター（自局情報）にあるリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。set の後には半角ブランクを入力してください。

お知らせ

すでに登録済みデータがある場合は、現在の設定値が上書きされてしまいますので、上記のコマンドを実行しないでください。まず最初に、インターネットパラメーター（自局情報）の取り出しと編集（217～222 ページ）を行って、バックアップした後に実行してください。

登録の E メール例



(1) 宛先（To） : 本商品のメールアドレス

差出人（From） : 新規メールメッセージを作成するとき、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

E メール経由でのパラメーター設定／検索

	件名（Subject）	:	データを登録するには #set parameters(password)# と記述してください。 （set の後には半角ブランクを入力してください。）
(2)	@sender ～ @end	:	From 選択機能の情報を @sender ～ @end の間に記述します。 24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。 各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。そのフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。 各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。 構文は＜ From 選択番号＞；＜ユーザー名称＞；＜メールアドレス＞ (a) 01 ～ 24 ：From 選択番号 (b) ユーザー名称（カナ英数字 20 文字） (c) メールアドレス（最大 60 桁）
(3)	@select-domain ～ @end	:	設定されているセレクトドメイン名を @select-domain ～ @end の部分へ記述します。 最大 10 個までのセレクトドメイン名を表示します。（最大 30 文字） 構文は＜番号＞；＜ドメイン名＞
(4)	@relay-domain ～ @end	:	中継許可ドメイン名を @relay-domain ～ @end の部分へ記述します。 中継局のドメイン名を最大 10 個まで登録します。
(5)	@system ～ @end	:	インターネットパラメーターを @system ～ @end の部分へ設定します。 登録するインターネットパラメーターは次のとおりです。 (a) デフォルトドメイン（最大 50 桁） 構文は domain ；＜デフォルトドメイン＞ (b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁） 構文は manager ；＜管理者のメールアドレス＞ (c) 中継用パスワード（最大 10 文字） 構文は relay ；＜中継用パスワード＞ 例にならって "" で中継用パスワードを囲む必要があります。 (d) リモートパスワード（最大 10 桁） 構文は remote ；＜リモートパスワード＞ 例にならって "" でリモートパスワードを囲む必要があります。
(6)	@mib ～ @end	:	@mib から @end　までの区画で、設定する MIB です。以下のインターネットパラメーターを登録してください。 (a) コミュニティー名 (1)（最大 32 文字） 構文：com_name1;＜コミュニティー名 (1)＞ (b) コミュニティー名 (2)（最大 32 文字） 構文：com_name2; ＜コミュニティー名 (2)＞ (c) デバイス名（最大 32 文字） 構文：device;＜デバイス名 ＞ (d) デバイス位置（最大 32 文字） 構文：location;＜デバイスロケーション ＞

お知らせ

1.「ユーザー名称」以外は半角文字で入力してください。

2. 以下の場合、E メール経由での登録はできません。
   - 通信予約がある場合
   - LAN ボードが動作中の場合（指示メールが受信できない）

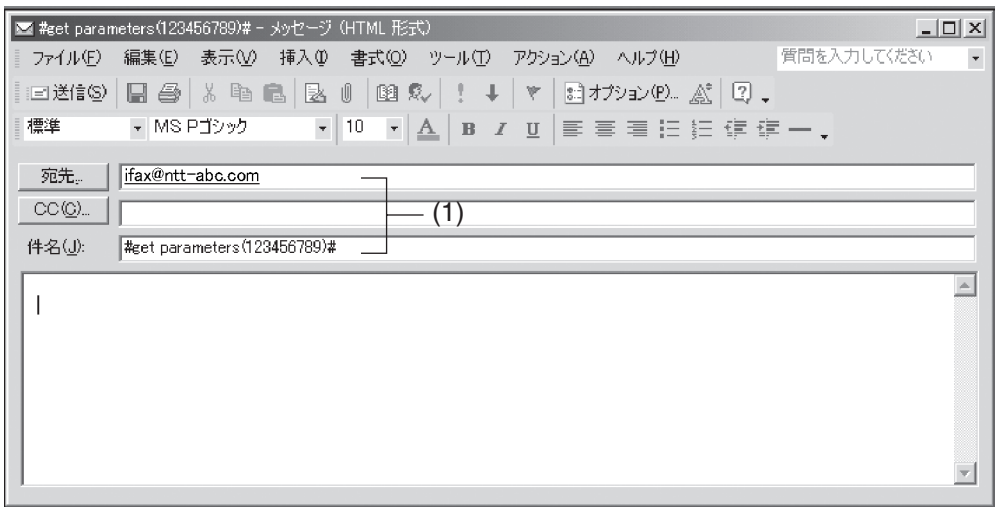
3. ご利用の E メールソフトによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、1 行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

インターネットパラメーターの取り出し

現在のインターネットパラメーターの取り出しをするには、以下に示すコマンドラインを件名 "Subject" に記述した空メールを、本商品のメールアドレスへ送信します。

#get parameters(password)#
パスワードは、本商品のインターネットパラメーター（自局情報）へ登録されたリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。CC 、Bcc などの欄は空欄で送信してください。get の後には半角ブランクを入力してください。

取り出しの E メール例

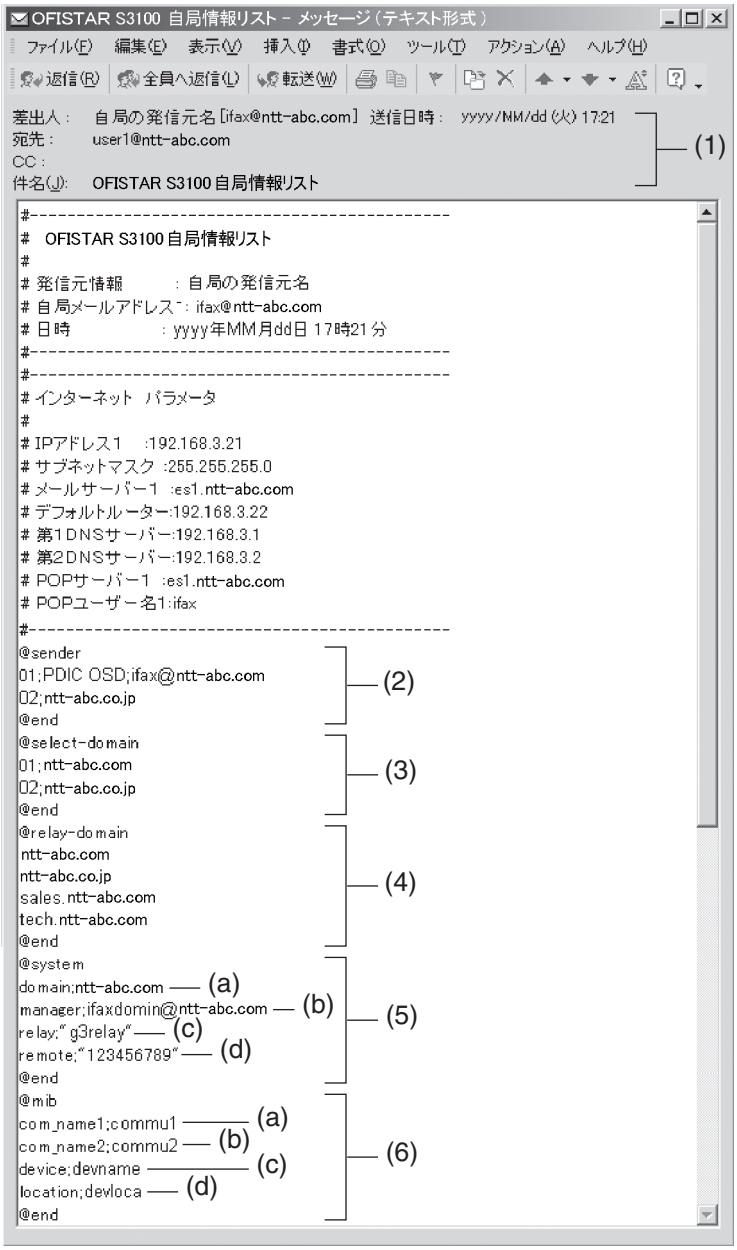


（1） 宛先（To） ： 本商品のメールアドレス
差出人（From） ： 新規のメールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトメールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名（Subject） ： データの取り出しをするには #get parameters(password)# と記述してください。（get の後には半角ブランクを入力してください。）

E メール経由でのパラメーター設定／検索

インターネットパラメーターの取り出し要求を受信した後、本商品はＥメールにてインターネットパラメーターをテキストメッセージとして、#get parameters(password)# メールの差出人へ返信します。

取り出しに対する返信 E メール例



(1) 差出人（From） : 本商品のメールアドレス
宛先（To） : パソコンのメールアドレス
件名（Subject） : 自局情報リスト

(2) @sender ～ @end : From 選択機能の情報を @sender ～ @end の部分へ表示します。
登録されている発信者選択用のユーザー名、メールアドレスを表示します。

(3) @select-domain ～ @end : 登録されているセレクトドメイン名を @select-domain ～ @end の部分へ表示します。

(4) @relay-domain ～ @end : 登録されている中継局のドメイン名を @relay-domain ～ @end の部分へ表示します。

(5) @system ～ @end : 設定されているインターネットパラメーターを@system ～ @endの部分へ表示します。
(a) デフォルトドメイン
(b) 管理者用メールアドレス
(c) 中継用パスワード
(d) リモートパスワード

(6) @mib ～ @end : 設定されている MIB(Management Information Base)情報を @mib ～ @end の部分へ表示します。
(a) コミュニティー名 (1)
(b) コミュニティー名 (2)
(c) デバイス名
(d) デバイスロケーション

バックアップ用または取り出したインターネットパラメーターの編集

インターネットパラメーターを取り出した後、バックアップの目的でテキスト形式（.txt）のファイルで保存します。

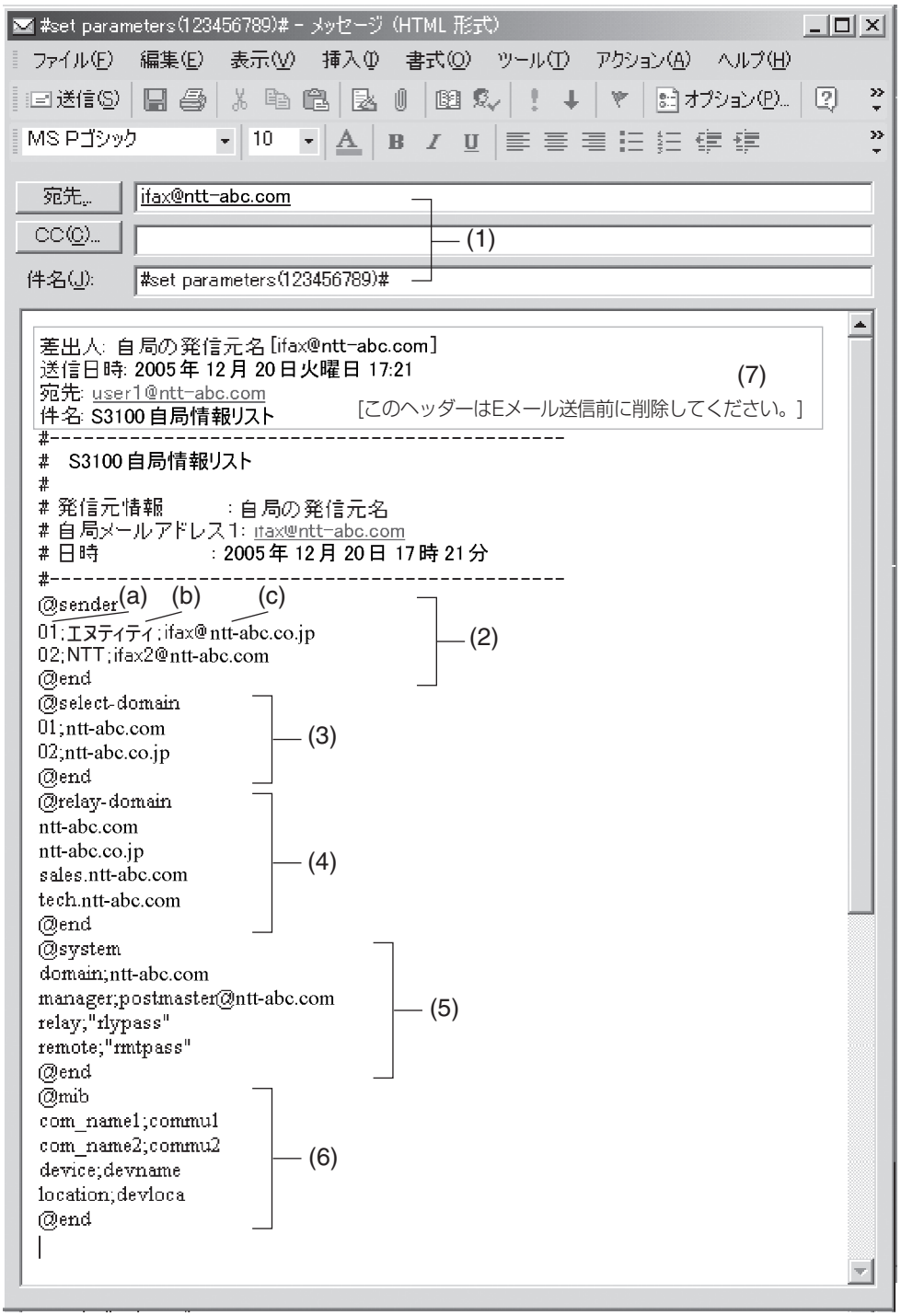
インターネットパラメーターの変更を行うには以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、宛先、差出人、件名の各欄へ (1) のように記入します。

宛先（To）	:	本商品のメールアドレス
差出人（From）	:	新規メッセージを作成するときは表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトのメールアドレスが入ります。
件名（Subject）	:	データ登録のためには #set parameters(password)# と記述してください。（set の後には半角ブランクを入力してください。）

2. バックアップされたインターネットパラメーターのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーにならないように、E メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. 設定内容の編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存を選択して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたインターネットパラメーターを本商品へ E メールにて送信します。

登録用 E メールの編集例



E メール経由でのパラメーター設定／検索

(1) 宛先（To） : 本商品のメールアドレス

差出人（From） : 新規メールメッセージを作成するとき、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、エラーメッセージの通知に使用されます。

件名（Subject） : データを登録するには #set parameters(password)# と記述してください。（set の後には半角ブランクを入力してください。）

(2) @sender ～ @end : From 選択機能の情報を @sender ～ @end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用のユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。そのフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は＜ From 選択番号＞ ; ＜ユーザー名称＞ ; ＜メールアドレス＞
(a) 01 ～ 24 ：From 選択番号
(b) ユーザー名称（カナ英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @select-domain ～ @end : セレクトドメイン名を @select-domain ～ @end の部分へ記述します。
メールアドレス入力時によく使うドメイン名を、最大 10 個まで登録できます。

(4) @relay-domain ～ @end : 中継許可ドメイン名を @relay-domain ～ @end の部分へ記述します。
LAN 中継通信を許可するドメイン名を 10 件まで登録できます。（最大 30 桁）

(5) @system ～ @end : インターネットパラメーターを @system ～ @end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次のとおりです。
(a) デフォルトドメイン（最大 50 桁）
　構文は domain: ＜デフォルトドメイン＞
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
　構文は manager: ＜管理者のメールアドレス＞
(c) 中継用パスワード（最大 10 文字）
　構文は relay: ＜中継用パスワード＞
　例にならって " " で中継用パスワードを囲む必要があります。
(d) リモートパスワード（最大 10 桁）
　構文は remote: ＜リモートパスワード＞
　例にならって " " でリモートパスワードを囲む必要があります。

(6) @mib ～ @end : MIB 情報を @mib ～ @end の部分へ記述します。
(a) コミュニティー名 (1)（最大 32 文字）
構文：com_name1;<Community Name(1)>
(b) コミュニティー名 (2)（最大 32 文字）
構文：com_name2; <Community Name(2)>
(c) デバイス名（最大 32 文字）
構文：device;<Device Name>
(d) デバイスロケーション（最大 32 文字）
構文：location;<Device Location>

(7) : 本商品へ E メールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダーを削除する必要があります。"#" に続く情報は、本商品は無視します。そのままの状態で残すか、削除することができます。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録

この機能を使用して、ご使用のパソコンから本商品へ E メールを送信することにより、ワンタッチと短縮ダイヤル、プログラムボタンの変更、バックアップ、または再設定を簡単に行うことができます。

本商品は、パソコンによる E メールの件名 "Subject" の行に入力されたコマンドを解析し、ワンタッチまたは短縮ダイヤルなどの登録または取り出しを実行します。

E メールの件名 "Subject" の行には、次の 2 種類のコマンドを入力できます。

1. データを設定するには、#set abbr(password)# と入力します。set の後には半角ブランクを入力してください。
   このパスワードは、本商品の自局情報に登録されたリモートパスワードです（例 :123456789）。このコマンドを初めて使用するときは、未使用のワンタッチ／短縮ダイヤルなどを自由に設定できます（その前にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータリストを受信する必要はありません）。希望のワンタッチ／短縮ダイヤルなどにすでにデータが登録されている場合は、このコマンドを送信すると、既存の設定値が上書きされます。したがって、受信コマンドで既存のデータを取り出して（☛228 ページ）、それを編集して登録することをお勧めします。
2. データを受信するには、#get abbr(password)# と入力します。get の後には半角ブランクを入力してください。

お知らせ

1. この機能を有効にするには、システム登録の No.158（メールリモート登録）を「アリ」に変更する必要があります（☛249 ページ）。

ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除

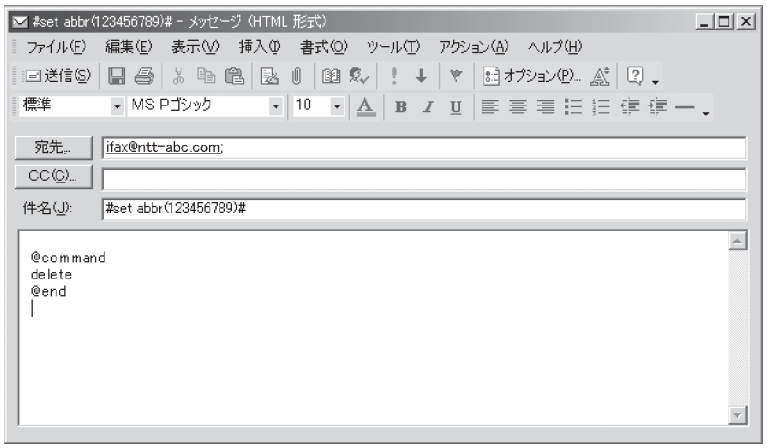
本商品のワンタッチ／短縮ダイヤルやプログラムボタンのデータ全体を削除する場合は、E メールの本文に以下のコマンドを入力します。

@command
delete
@end

このコマンドを @begin ～ @end ブロックの前に挿入して、ワンタッチ／短縮ダイヤルなどのデータ全体を削除してから、新しいデータでワンタッチ／短縮ダイヤルなどを再設定することもできます。この方法を使用すれば、本商品から返信される E メールに「以下のデータに上書されました」は表示されません。

ワンタッチ／短縮ダイヤルなどのデータ全体を削除するには、E メールの件名 ""Subject" の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)#
このパスワードは、本商品の自局情報に登録されたリモートパスワードです。（set の後には半角ブランクを入力してください。）このコマンドを送信する前に、228 ～ 232 ページで説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、パソコンへの既存データの受信とバックアップを実行してください。



お知らせ

1. “delete ” を行った場合、ワンタッチボタンの内容は削除され、お買い求め時の状態となります。

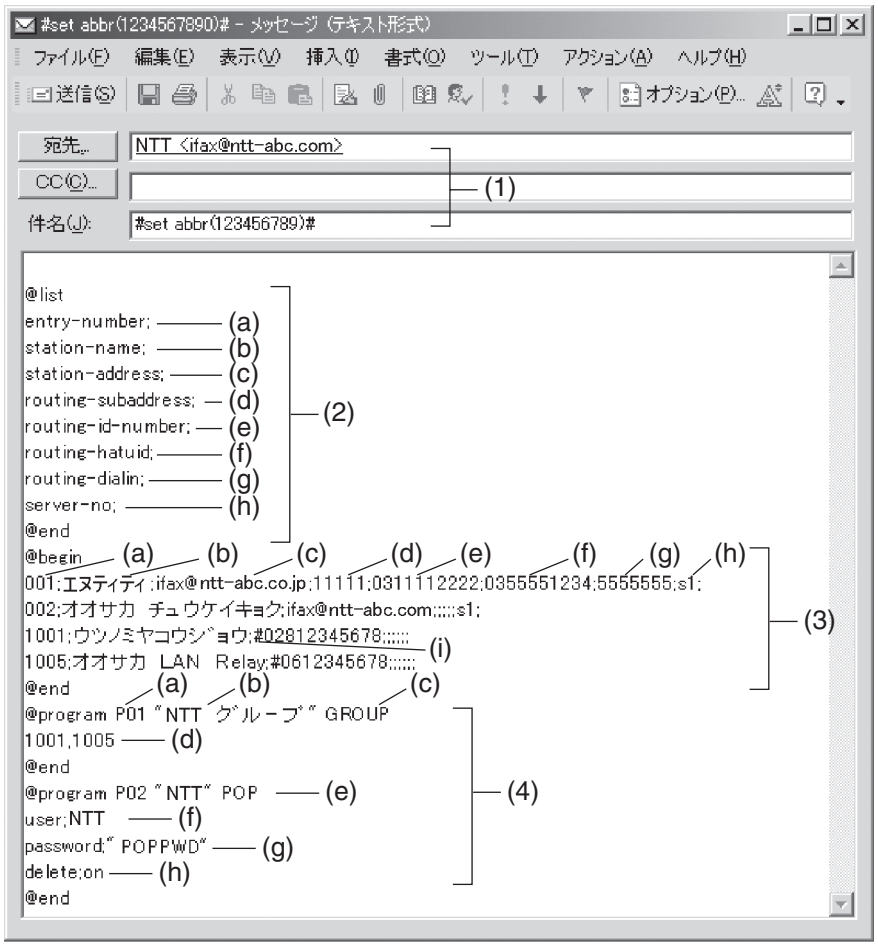
ワンタッチ／短縮ダイヤルをはじめて登録する

E メールの本文にテキストで記述し、本商品のメールアドレスに送信します。E メールの件名 "Subject" の行に、次のように入力します。

#set abbr(password)#
このパスワードは、本商品の自局情報に登録されたリモートパスワードです。（set の後には半角ブランクを入力してください。）

ワンタッチ／短縮ダイヤルやプログラムボタンを初めて登録する場合の記述例を以下に示します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルなどを初めてリモート登録する場合の記述例



E メール経由でのパラメーター設定／検索

内容説明

(1) 宛先（To） : 本商品のメールアドレス

差出人（From） : 新規メールメッセージを作成するとき、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名（Subject） : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。（set の後には半角ブランクを入力してください。）

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。
(a) entry-number: 登録番号（必ず記述してください）
(b) station-name: 宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station-address: メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d) routing-subaddress: ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing-id-number: ルーティング数字 ID（必要なとき入れます）
(f) routing-hatuid : ルーティング発信者番号（必要なとき入れます）
(g) routing-dialin: ルーティングモデムダイヤルイン（必要なとき入れます）
(h) server-no; サーバー番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。そのフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次のとおりになります。
＜登録番号＞;＜宛先名称＞;＜宛先のアドレス／電話番号＞;＜ルーティングサブアドレス＞;＜ルーティング数字 ID ＞;＜ルーティング発信者番号＞;＜ルーティングモデムダイヤルイン＞;＜サーバー番号＞;
(a) 登録されるワンタッチ、短縮ダイヤルまたはプログラムボタン
001 から 100: 001 から 100 までの短縮ダイヤル番号を示します。
1001 から 1028: 01 から 28 のワンタッチを示します。
2001 から 2004: プログラムボタンを示します。
(b) 宛先名称 : 登録される宛先名称（カナ英数字 15 文字）
(c) 宛先のアドレス : メールアドレス（最大 60 桁）または電話番号。（最大 36 桁）
電話番号の場合、シャープ記号（#）の後に入力します。
(d) ルーティングサブアドレス ：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(e) ルーティング数字 ID：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
(f) 発信者番号：最大 20 桁
(g) モデムダイヤルイン番号：最大 20 桁
(h) サーバー番号：s1 ：サーバー 1、s2：サーバー 2
(i) 電話番号の場合、シャープ記号（#）の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @program と@end の間にグループダイヤルまたはPOP 手動受信キーとして登録されるワンタッチのデータを記述します。
(a) プログラム・ボタン　P01-P04
(b) グループボタン名 : プログラム中のプログラムボタン名（最大 15 英数字）
(c) GROUP: グループダイヤルボタンとしてのプログラムボタンを設定するための構文です。
(d) 登録番号 : プログラムするべきワンタッチ / 短縮番号または、プログラムボタンです。
001 から 100: 短縮ダイヤル番号 001 から 100 までを表示します。
1001 から 1028: 01 から 28 のワンタッチを表示します。
2001 から 2004: プログラムボタンを表示します。
(e) POP: プログラムボタンを POP アクセスボタンとして設定するのに用いる構文です。
(f) POP ユーザー名 : 登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
(g) POP パスワード :POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
(h) E メールの受信後に POP サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。（off: 削除しません、on: 削除します）

お知らせ

1.「宛先名称」以外は半角文字で入力してください。

2. 以下の場合、E メール経由での登録はできません。
・通信予約がある場合
・LAN ボードが動作中の場合（指示メールが受信できない）

3. E メールで登録を行った後、登録結果の E メールが返信されます。

4. ご利用の E メールソフトによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、1 行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

5. ルーティングサブアドレス、ルーティング数字 ID、ルーティング発信者、ルーティングモデムダイヤルイン、サーバー番号の登録は、システム登録の No. 152、153、175、176、178 それぞれが「アリ」の場合、登録が可能となります。

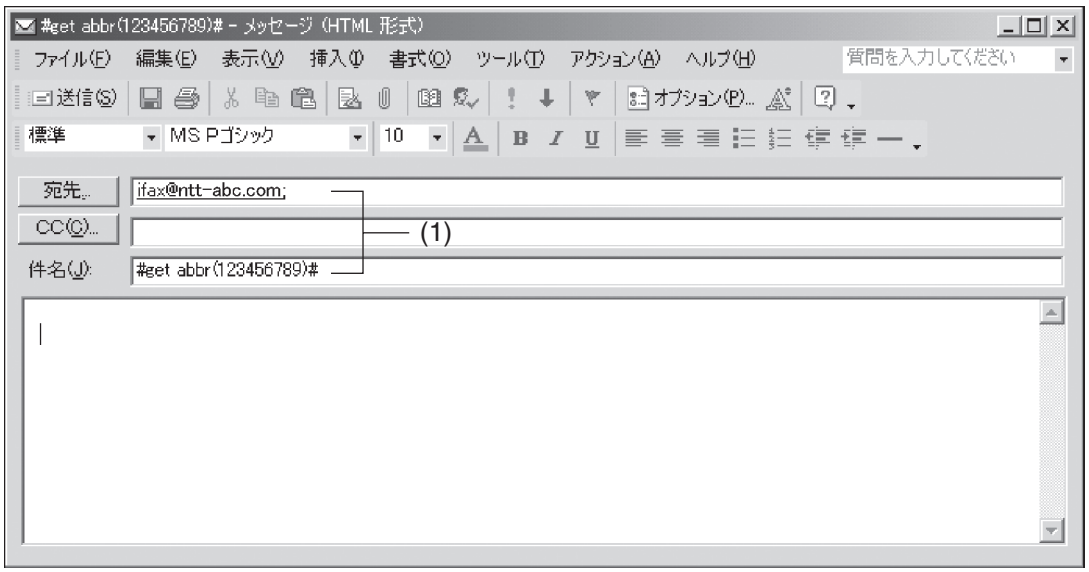
E メール経由でのパラメーター設定／検索

ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し

現在のワンタッチ／短縮ダイヤルやプログラムボタンのデータ取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力した空 E メールを、本商品のメールアドレスに送信します。

#get abbr(password)#
このパスワードは、本商品の自局情報に登録されたリモートパスワードです（例 :123456789）。
CC 、Bcc と E メールの本文は空欄にしてください。（get の後には半角ブランクを入力してください。）

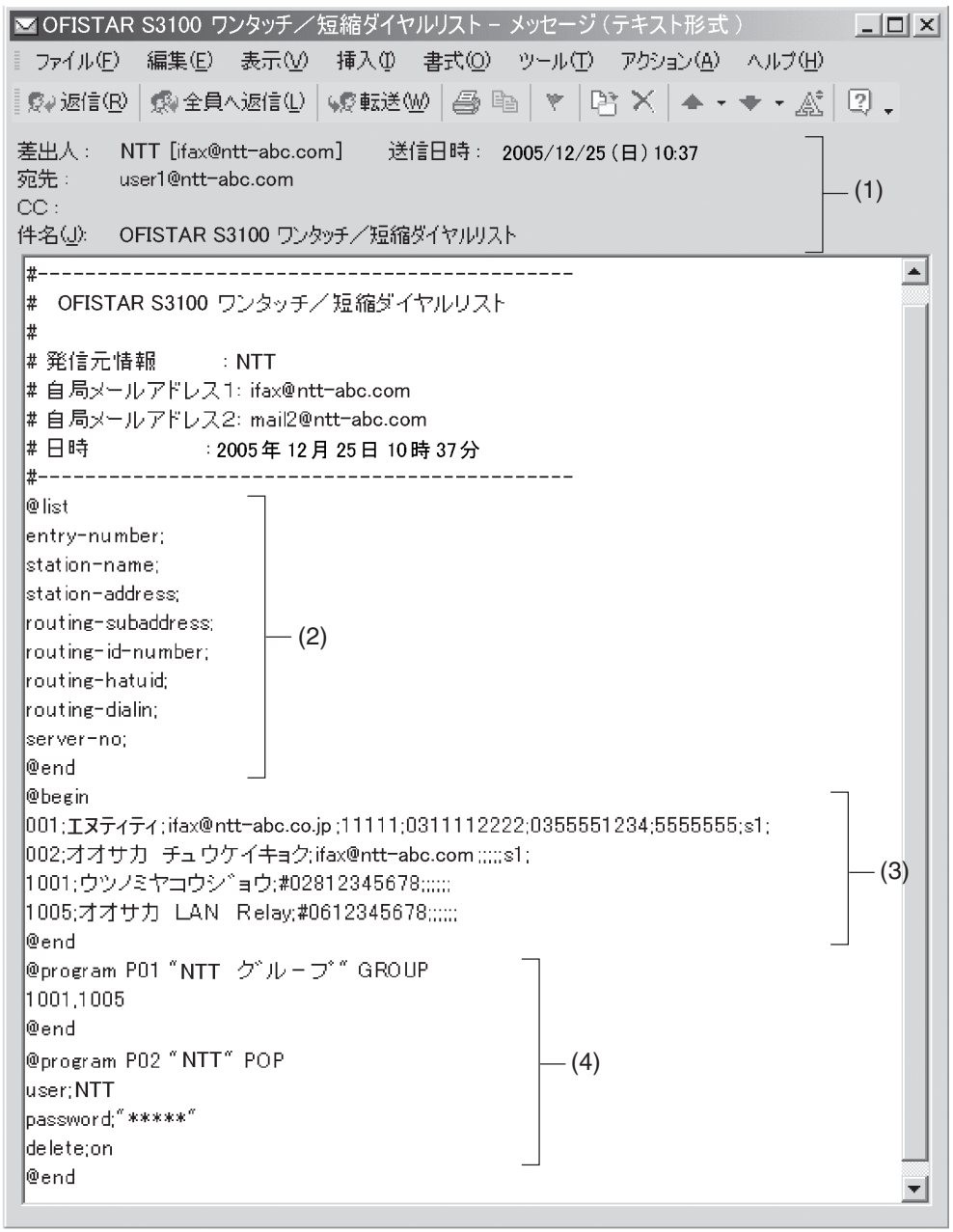
取り出しをする場合の E メール例



(1) 宛先（To） : 本商品のメールアドレス
差出人（From） : 新規のメールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名（Subject） : データの取り出しをするには、#get abbr(password)# と入力します。

現在のワンタッチ／短縮ダイヤルなどのデータ取り出しを要求する E メールの受信後、本文にワンタッチ／短縮ダイヤルなどの情報が記述された E メールを、" 差出人 :" の行で指定されたアドレスに返信します。

取り出しに対する返信 E メール例



(1) 宛先（To） : パソコンのメールアドレス
差出人（From） : 本商品のメールアドレス
件名（Subject） : ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に、(3) の @begin ～ @end で使用している構文を表示します。

(3) @begin ～ @end : @begin と @end の間に、本商品に登録されている、ワンタッチ／短縮ダイヤルを表示します。

(4) @program ～ @end : @program と @end の間に、本商品にグループダイヤルまたは POP 手動受信として登録されているプログラムボタンの内容を表示します。

バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集

ワンタッチ／短縮ダイヤルやプログラムボタンのデータを記録したEメールを本商品から受信した後、バックアップのために、その E メールをテキストファイル（.txt）としてパソコン上に保存してください。

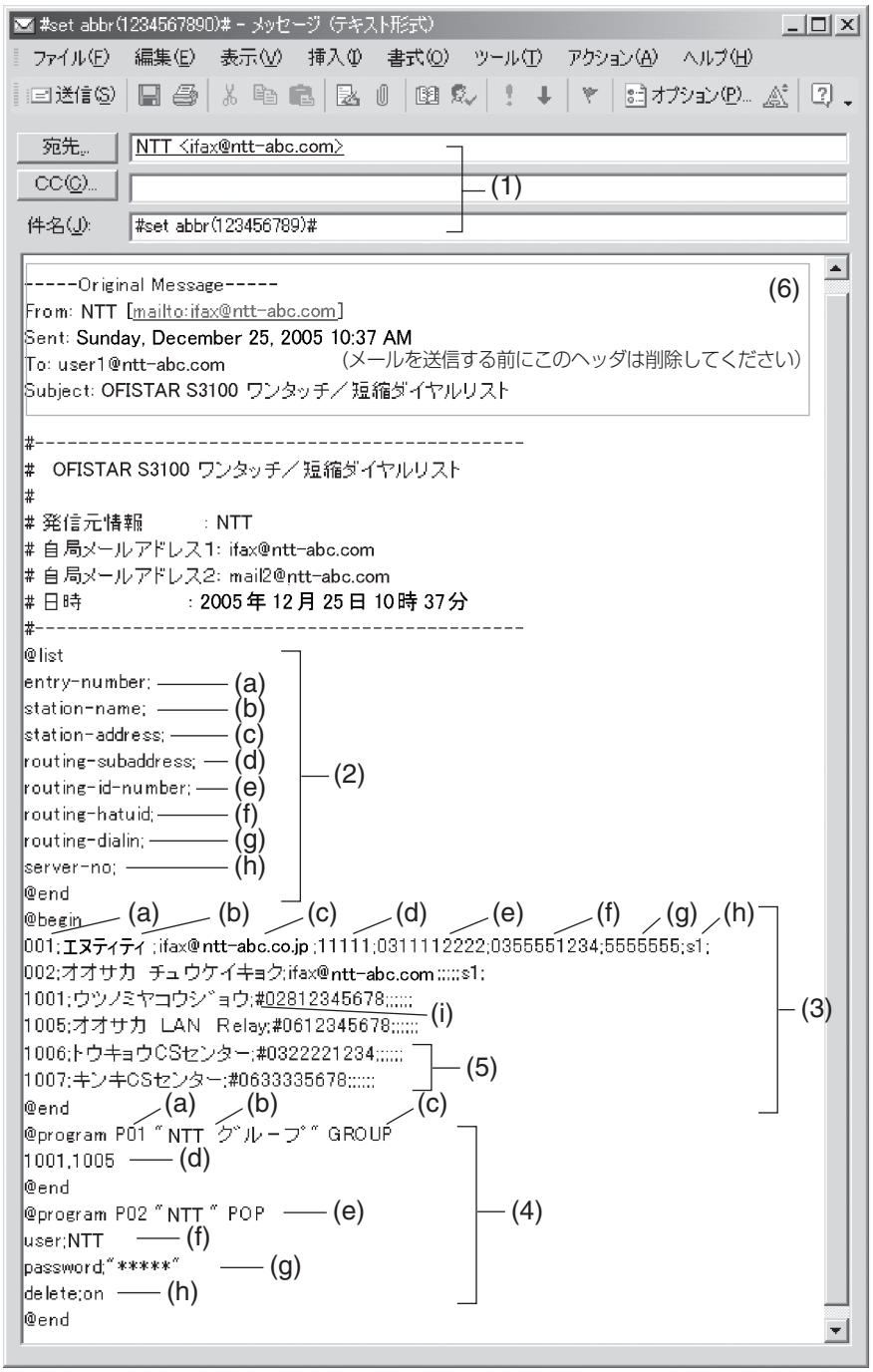
ワンタッチ／短縮ダイヤルなどのデータを変更するには、以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、宛先、差出人、件名 の各欄へ (1) のように記入します。

宛先（To）	:	本商品のメールアドレス
差出人（From）	:	新規メッセージを作成するときは表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトのメールアドレスが入ります。
件名（Subject）	:	データの登録のためには、#set abbr(password)# と記述してください。(set の後には半角ブランクを入力してください。)

2. バックアップされたワンタッチ／短縮ダイヤルなどのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、E メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. ワンタッチ／短縮ダイヤルなどの編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたワンタッチ／短縮ダイヤルなどを本商品へ E メールにて送信します。

登録用 E メールの編集例



(1) 宛先（To） : 本商品のメールアドレス

差出人（From） : 新規メールメッセージを作成するとき、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトのメールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。

件名（Subject） : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。（set の後には半角ブランクを入力してください。）

(2) @list ～ @end : @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。
(a) entry − number：登録番号（必ず記述してください）
(b) station − name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c) station − address：メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d) routing − subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(e) routing − id − number：ルーティング数字 ID（必要なとき入れます）
(f) routing-hatuid：ルーティング発信者番号（必要なとき入れます）
(g) routing-dialin：ルーティングモデムダイヤルイン（必要なとき入れます）
(h) server-no;：サーバー番号（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end : @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
情報を編集、削除します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。そのフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次のとおりになります。
＜登録番号＞;＜宛先名称＞;＜宛先のアドレス／電話番号＞;＜ルーティングサブアドレス＞;＜ルーティング数字 ID ＞;＜ルーティング発信者番号＞;＜ルーティングモデムダイヤルイン＞;＜サーバー番号＞;
(a) 登録番号：登録されるワンタッチ。短縮ダイヤル番号
001 ～ 100 ：01 ～ 100 の短縮ダイヤル番号を示します。
1001 ～ 1028 ：01 ～ 28 のワンタッチ番号を示します。
2001 ～ 2004：プログラムボタンを示します。
(b) 宛先名称：登録される宛先名称（カナ英数字 15 文字）
(c) 宛先のアドレス：メールアドレス（最大 60 桁）または電話番号（最大 36 桁）
(d) ルーティングサブアドレス：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(e) ルーティング数字 ID ：ルーティングに使用される数字 ID 番号。（最大 20 桁）
(f) ルーティング発信者番号：ルーティングに使用される発信者番号（最大 20 桁）
(g) ルーティングモデムダイヤルイン番号：ルーティングに使用されるダイヤルイン番号（最大 20 桁）
(h) サーバー番号：s1：サーバー 1、s2：サーバー 2
(i) 電話番号の場合、シャープ記号（#）の後に入力します。

(4) @program ～ @end : @program と @end の間にグループダイヤルまたは POP 手動受信キーとして登録されるプログラムのデータを記述します。
(a) プログラムボタン：P01 ～ P04
(b) グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（カナ英数字 15 文字）
例にならって”” で囲む必要があります。
(c) GROUP ：プログラムボタンをグループダイヤルとして設定するための構文
(d) 登録番号：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
001 ～ 100 ：01 ～ 100 の短縮ダイヤル番号を示します。
1001 ～ 1028 ：01 ～ 28 のワンタッチ番号を示します。
2001 ～ 2004：P1 ～ P4 のプログラムボタン番号を示します。
(e) POP ：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
(f) POP ユーザー名：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
(g) POP パスワード：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
(h) E メールの受信後に POP サーバー上の E メールを削除するかどうかを設定します。（off ：削除しません、on ：削除します）

(5) これらの 2 つのワンタッチボタンをリストに追加しました。

(6) 本商品に E メールを送信してもワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。“#” 記号に続く情報は無視されます。したがって、“#” 以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

通信管理レポートの取り出し

通信管理レポートの取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力した E メールを、本商品のメールアドレスに送信します。

#get jnl(password)#
このパスワードは、本商品の自局情報に登録されたリモートパスワードです（例 :123456789）。get の後には半角ブランクを入力してください。

通信管理レポートは、この E メールを送信したパソコンに返信されます。

通信管理レポートの取り出しをした後、固定幅のフォント（例えば、ターミナルやクーリエ）に変換して、位置合わせをして表示すると、見やすくなります。

本商品の自局情報に登録された管理者のメールアドレスに、通信管理レポートを送信したことを知らせる別の E メール（"Internet Fax Return Receipt"）が送信されます。

お知らせ

1. この機能を有効にするには、システム登録の No.158（メールリモート登録）を「アリ」に変更する必要があります（☛249 ページ）。
2. システム登録の No.13（通信管理レポート）と No.157（管理レポート送信）の設定が共に「アリ」の場合、通信管理レポートは自動で No.157（管理レポート送信）にて登録した宛先に送信されます。

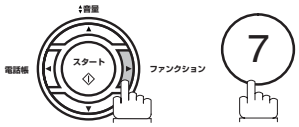
ワンタッチ／短縮ダイヤルの登録

概要

ワンタッチ／短縮ダイヤルに、電話番号またはメールアドレスを登録することで、簡単な操作でダイヤルすることができます。これらの自動ダイヤルをお使いになるには、最初に電話番号またはメールアドレスをワンタッチ／短縮ダイヤルに登録する必要があります。

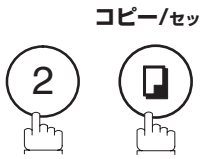
ワンタッチボタンを登録する

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

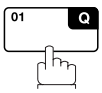
3

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

登録したいワンタッチボタンを押す

例：



「メールアドレス入力」と「電話番号入力」のモードを変更するには、

を押します。

```
<01>
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01>
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5

メールアドレスを文字ボタンやダイヤルボタンを使って入力する

例：「tokai@ntt-abc.com」を入力します。（最大 60 桁）

または

電話番号を入力する（ポーズやスペース（空白）を含み、最大 36 桁）

例：「9-052 123 4567」を入力します。

```
<01>
tokai@ntt-abc.com
```

または

```
<01>
9-052 123 4567
```

6 **コピー/セット**

```
<01> ｶﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
tokai@ntt-abc.com
```

または

```
<01> ｶﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
9-052 123 4567
```

7 文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「NTT_TOKAI」を入力します。（☛241 ページ）

```
<01> NTT_TOKAI▌  <A>
tokai@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKAI▌  <A>
9-052 123 4567
```

8 **コピー/セット**

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けてワンタッチボタンの登録ができます。手順 4 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

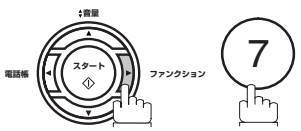
お知らせ

1. システム登録の「172 ダイレクト IFAX 送信」を「アリ」に設定することで、ダイレクト IFAX の送信指定を登録できるようになります。（☛249 ページ）
2. システム登録の「123 リルート機能」を「アリ」に設定すると、一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。登録方法は 183 ページを参照してください。
3. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、**ポーズ**を押します。ポーズは、「−」が表示されます。
4. ダイヤル式（パルス）回線を使っていて、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更したいときは、✱（トーン）を押します。トーンは、“／”が表示されます。ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信に変わります。

   例：9 ポーズ ✱ 0521234567
5. 誤った操作をした場合は、◀ または ▶ を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、**クリアー**を押して、新しい文字や番号を再入力します。
6. 手順 5 で電話番号入力のとき、［フック／ F コード］を押すと“ｓ”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。
7. 誤送信や間違い電話による迷惑を防ぐために、ワンタッチボタンに登録する際には、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は、ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト（☛258 ページ）で正しく登録されていることを確認してください。

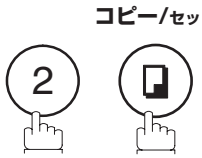
短縮ダイヤルを登録する

1




```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ          (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

3

```
ﾀﾝｼｭｸ[■  ]
ﾀﾝｼｭｸNO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

4

登録したい短縮番号を入力する

例：「022」を入力します。
（001 から 100 の 100 件までの宛先）

「メールアドレス入力」と「電話番号入力」のモードを変更するには、Eメール を押します。

```
[022]
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
[022]
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5

メールアドレスを文字ボタンやダイヤルボタンを使って入力する

例：「osaka@ntt-abc.com」を入力します。（最大 60 桁）

または、

電話番号を入力する（ポーズやスペース（空白）を含み、最大 36 桁）

例：「9-06 1234 5678」を入力します。

```
[022]
osaka@ntt-abc.com■
```

または

```
[022]
9-06 1234 5678■
```

6

```
[022]ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
osaka@ntt-abc.com
```

または

```
[022]ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
9-06 1234 5678
```

7 文字ボタンやダイヤルボタンを使って宛先名を入力する（最大 15 文字）

例：「NTT_OSAKA」を入力します。（☛241 ページ）

```
[022]NTT_OSAKA▌  <A>
osaka@ntt-abc.com
```

または

```
[022]NTT_OSAKA▌  <A>
9-06 1234 5678
```

8 **コピー/セット**

```
ﾀﾝｼｭｸ[▌  ]
ﾀﾝｼｭｸNO. ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 4 からの操作を繰り返します。

待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

お知らせ

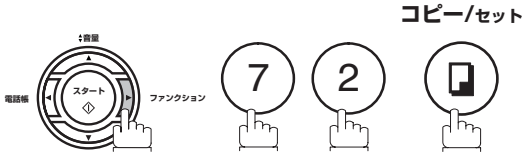
1. システム登録の「172　ダイレクト IFAX 送信」を「アリ」に設定することで、ダイレクト IFAX の送信指定を登録できるようになります。（☛249 ページ）
2. システム登録の「123 リルート機能」を「アリ」に設定すると、一般電話番号と IP 電話番号をそれぞれ登録できます。登録方法は 183 ページを参照してください。
3. 内線電話などをお使いの場合、外部アクセス番号が必要な場合は、まずその番号を入力し、**ポーズ**を押します。ポーズは、「−」が表示されます。
4. ダイヤル式（パルス）回線を使っていて、ダイヤルの途中で PB（トーン）発信に変更したいときは、✱（トーン）を押します。トーンは、“／”が表示されます。ダイヤル式（パルス）発信から PB（トーン）発信に変わります。

   例：9 ポーズ ✱ 0521234567
5. 誤った操作をした場合は、◀ または ▶ を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、**クリアー**を押して、新しい文字や番号を再入力します。
6. 手順 5 で電話番号入力のとき、［フック／ F コード］を押すと“ｓ”が表示され、続けて F コード（サブアドレス）を入力できます。
7. 誤送信や間違い電話による迷惑を防ぐために、短縮ダイヤルに登録する際には、番号間違いのないようディスプレイ表示を見ながら正確に行ってください。また、登録後は、ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト（☛258 ページ）で正しく登録されていることを確認してください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの変更をする

ワンタッチ／短縮ダイヤルのいずれかを変更する場合は、以下の手順を行います。

1




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

ワンタッチの変更をするときは、① を選択する

短縮ダイヤルを変更するときは、② を選択する

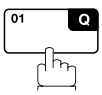
例： ①を押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<  >
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾇ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

変更したい宛先を選択する

例：




```
<01> NTT_TOKAI
tokai@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
9-052 123 4567
```

4a

宛先のメールアドレスを電話番号に、電話番号をメールアドレスに変更する場合

電話番号（ポーズやスペース（空白）を含み、最大 36 桁）またはメールアドレス（最大 60 桁）を入力する

例：「03 1234 5678」を入力します。
または
例：「tokyo@ntt-abc.com」を入力します。

```
<01> NTT_TOKAI
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ﾇ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

```
<01> NTT_TOKAI
03 1234 5678
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
tokyo@ntt-abc.com
```

4b

メールアドレスまたは電話番号を変更する場合

クリアー

新しいメールアドレス（最大60桁）または電話番号（ポーズやスペース（空白）を含み、最大 36 桁）を入力する
（☛239 ページ：お知らせ 1）

例：「tokyo@ntt-abc.com」を入力します。
または
例：「03 1234 5678」を入力します。

```
<01> NTT_TOKAI
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ﾇ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

```
<01> NTT_TOKAI
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
03 1234 5678
```

5 **コピー/セット**

```
<01> NTT_TOKAI
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKAI
03 1234 5678
```

6 **宛先名を変更する場合**

クリアー

新しい宛先名を入力する（☛ お知らせ 1）

例：「NTT_TOKYO」を入力します。（☛241 ページ）

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> ﾅﾏｴ ﾆｭｳﾘｮｸ  <ｶﾅ
03 1234 5678
```

```
<01> NTT_TOKYO▌  <A>
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKYO▌  <A>
03 1234 5678
```

7 **コピー/セット**

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

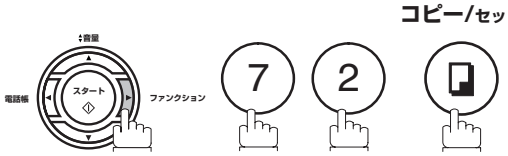
お知らせ

1. メールアドレスなどの一部の文字を変更したい場合や誤った操作をした場合は、[◀]または[▶]を使って、カーソルを間違った番号の右隣へ動かし、[クリアー]を押して入力し直します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルの消去をする

ワンタッチ／短縮ダイヤルのいずれかを消去する場合は、以下の手順を行います。

1




```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ ﾄｳﾛｸ
2:ﾀﾝｼｭｸ ﾄｳﾛｸ
```

2

ワンタッチを消去するときは、①を選択する

短縮番号を消去するときは、②を選択する

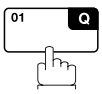
例： ①を押します。

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

3

消去したい宛先を選択する

例：




```
<01> NTT_TOKYO
tokyo@ntt-abc.com
```

または

```
<01> NTT_TOKYO
03 1234 5678
```

4

クリアー

```
<01> NTT_TOKYO
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ ﾖ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
```

または

```
<01> NTT_TOKYO
ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾆｭｳﾘｮｸ
```

5

コピー/セット

```
ﾜﾝﾀｯﾁ<   >
ﾜﾝﾀｯﾁ ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

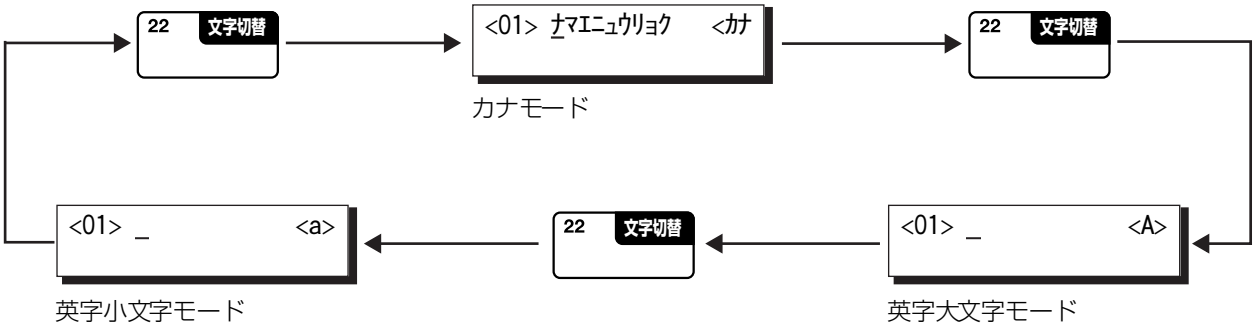
待機状態に戻るには[ストップ]を押します。

文字入力のしかた

発信元情報や、ワンタッチボタン、短縮ダイヤルなどを登録するときには、文字を入力することができます。本商品ではダイヤルボタンとワンタッチボタン（文字ボタン）を使って、カタカナ、英字、数字の入力ができます。

入力モードの切替

文字入力時は「ワンタッチボタン 22」が文字切替ボタンとなり、以下のように押すごとに入力モードが切り替わります。待機状態では「カナモード」に設定されています。「カナモード」ではワンタッチボタンを使って、ローマ字カタカナ変換機能を使ってカタカナ入力できます。



ローマ字カタカナ変換機能

カナモード時、下表のローマ字を入力すると、自動的にカタカナに変換されます。

ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O
カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO
サ SA	シ SI	ス SU	セ SE	ソ SO
タ TA	チ TI	ツ TU	テ TE	ト TO
ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO
ハ HA	ヒ HI	フ HU	ヘ HE	ホ HO
マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO
ヤ YA		ユ YU		ヨ YO
ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO
ワ WA				ヲ WO
				ン NN

ァ LA	ィ LI	ゥ LU	ェ LE	ォ LO
		ッ LTU		
ャ LYA		ュ LYU		ョ LYO
キャ KYA	キィ KYI	キュ KYU	キェ KYE	キョ KYO
シャ SYA	シィ SYI	シュ SYU	シェ SYE	ショ SYO
チャ TYA	チィ TYI	チュ TYU	チェ TYE	チョ TYO
ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ヒャ HYA	ヒィ HYI	ヒュ HYU	ヒェ HYE	ヒョ HYO
ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO

ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO
ザ ZA	ジ ZI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO
ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO
バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO
パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO

ギャ GYA	ギィ GYI	ギュ GYU	ギェ GYE	ギョ GYO
ジャ ZYA	ジィ ZYI	ジュ ZYU	ジェ ZYE	ジョ ZYO
ヂャ DYA	ヂィ DYI	ヂュ DYU	ヂェ DYE	ヂョ DYO
ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO

お知らせ

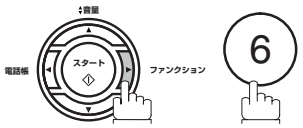
1. 待機状態では、「カナモード」に設定されています。
2. メールアドレスの入力中は、英字小文字／大文字モードは表示されません。

宛先シートのプリント

ワンタッチボタンの登録をした後で、宛先名の 12 文字を、宛先シートにプリントできます。

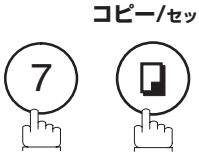
点線にそってプリントされた記録紙を切り、宛先シートカバーの下にセットします。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

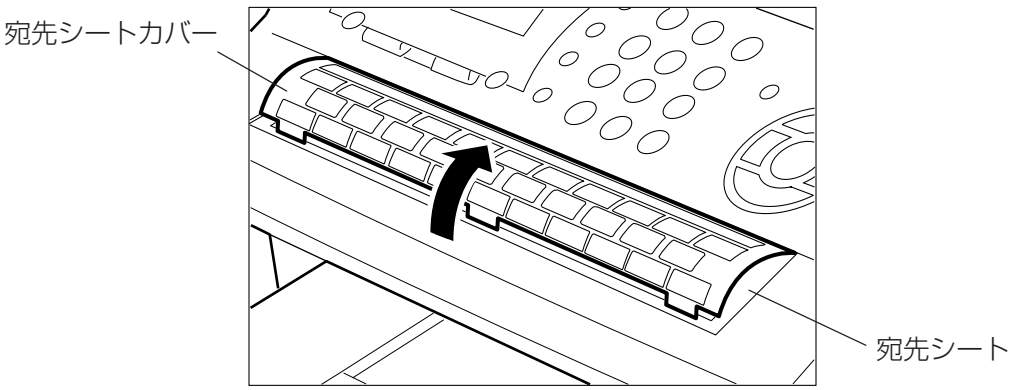
2




```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｱﾃｻｷ ｼｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

宛先シートをプリントします。

```
********** -ｱﾃｻｷ ｼｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ- ********** 2005-12-15********** 15:00 **********

    201 555 1234                          fax@ntt-abc.com

    ｱﾒﾘｶ    ｱﾌﾘｶ        .....

      ｱｼﾞｱ      ｶﾅﾀﾞ          .....

    ﾌﾞﾗｼﾞﾙ    ｺｸﾅｲ        .....

                                  -3100          -
********** -NTT-   - ****** - 201 555 1212 - **********
```



お知らせ　1. メールアドレスをワンタッチに登録している場合、宛先名の上に「E メール」と印字されます。

システム登録

概要

本商品では様々なシステム登録の設定が可能となっています。

また、文字サイズ、濃度などの設定は適時変更可能です。通信やコピー前に変更できます。

動作が終了すると、設定はシステム登録で設定している設定値に戻ります。

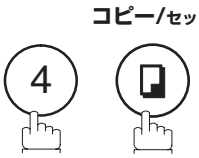
システム登録の設定は以下の手順で変更できます。

システム登録の設定

1

```
ﾄｳﾛｸ ﾓｰﾄﾞ        (1-4)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=
```

3 システム登録表を参照して選択する（☛245 ページ）

例：「001」を入力します。

```
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ      (1-181)
        NO.=001
```

4 **コピー/セット**

```
01 ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ
 1:ﾌﾂｳ
```

5 新しい設定数値を入力する

例：「２」を入力します。

```
01 ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ
 2:ｳｽｸ
```

6

コピー/セット

02 ﾓｼﾞｻｲｽﾞ
1:ﾌﾂｳ

続けてシステム登録の設定ができます。▼または▲で設定する項目を選択し、243 ページの手順 5 からの操作を繰り返します。▼や▲ではなく、**クリアー**を押すと手順 3 からの操作ができます。
待機状態に戻るには**ストップ**を押します。

お知らせ

1. 243 ページの手順 3 または手順 4 でスクロールするには▼または▲を押します。
2. システム登録リストをプリントするには 262 ページを参照してください。

システム登録表

□はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
001	濃度切替	1	フツウ	通常、使用する原稿の濃さに合わせます。
		2	ウスク	
		3	コク	
002	文字サイズ	1	フツウ	通常、使用する原稿の文字の大きさに合わせます。
		2	チイサイ	
		3	サイミツ	
		4	ハーフトーン（チイサイ）	
		5	ハーフトーン（サイミツ）	
004	済スタンプ	1	オフ	済スタンプの設定状態を選びます。
		2	オン	
005	メモリー優先	1	オフ	「オフ」にすると、通常の操作でダイレクト送信となります。
		2	オン	
006	ダイヤル切替	1	10PPS	回線種別を選びます。
		2	20PPS	
		3	プッシュ（PB）	
007	発信元印字	1	ガメンナイ	相手記録紙にプリントする発信元の位置を設定します。「ナシ」にすれば、発信元をプリントしません。
		2	ガメンガイ	
		3	ナシ	
008	発信元印字フォーマット	1	ハッシンモト ID	相手記録紙にプリントする発信元のフォーマットを設定します。
		2	FROM TO	
009	受信時刻プリント	1	ナシ	「アリ」にすれば、受信した時刻を記録紙にプリントします。
		2	アリ	
010	ブザー音量	1	オフ	アラーム音やボタンを押したときの音量を調節します。
		2	チイサイ	
		3	オオキイ	
011	モデムダイヤルイン	1	ナシ	モデムダイヤルインサービスをご契約されたときに、ファクス用と電話用の電話番号を設定します。
		2	アリ	
012	通信結果レポート	1	オフ	通信結果レポートをプリントするときの条件を設定します。
		2	スベテ	
		3	ミツウシン	
013	通信管理レポート	1	ナシ	通信管理レポートのプリント方法を設定します。「ナシ」にしたときはパネル操作でレポートをプリントします。
		2	アリ	
017	受信モード	1	シュドウ	ファクスの受信のしかたを選びます。
		2	FAX センヨウ	
		3	FAX/TEL キリカエ	
		4	ルスロク セツゾク	

□はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
018	F/T ベル回数	1	3 カイ	受信モードを“FAX/TEL キリカエ”にセットしているとき、ファクスが着信してから呼出音を鳴らす回数を設定します。
		2	6 カイ	
		3	9 カイ	
		4	12 カイ	
019	応答メッセージ時間	1	1 ビョウ	外付けの留守番電話機の応答メッセージの長さに合わせて設定します。 (お買い求め時の値は 20 秒)
		～	～	
		60	60 ビョウ	
020	無音検知	1	ナシ	「アリ」にすると、用件を録音している間に約 5 秒の無音があると、ファクスの受信に切り替わります。
		2	アリ	
021	着信ベル回数	0	0 カイ	ファクスが着信するまでに鳴る呼出音の回数を設定します。 (お買い求め時の値は 1 回)
		～	～	
		9	9 カイ	
022	代行受信	1	ナシ	記録紙が切れたり、トナーがなくなったり、紙づまりとなった場合、メモリーで代行受信をするとき「アリ」にします。
		2	アリ	
023	用紙サイズ	1	A4	記録紙カセットにセットする記録紙サイズを設定します。
		2	レター	
		3	リーガル	
024	縮小受信	1	コテイ	縮小受信の設定をします。 **固定**： No. 025 の設定した縮小率で受信します。 **自動**： 受信した原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	ジドウ	
025	固定縮小率	70	70%	No. 024 で縮小受信を「固定」にしたときの縮小率を設定します。
		～	～	
		100	100%	
026	ポーリングパスワード		(---)	ポーリング通信をするときに使う4桁のパスワードです。
027	ポーリングファイル保存	1	ナシ	「アリ」にすると、ポーリング送信したあと、原稿をメモリーから消去しません。
		2	アリ	
028	メモリー済スタンプ	1	ナシ	「004 済スタンプ」が「オン」に設定されていても「ナシ」にすると、メモリー送信のときに、原稿をメモリーに蓄積した時点で済スタンプを押しません。
		2	アリ	
031	未通信ファイル保存	1	ナシ	「アリ」にすると未通信になったファイルをメモリーに保存し、再通信を指定することができます。
		2	アリ	
032	縮小コピー	1	シュドウ	コピーするときの縮小設定を選択します。 **手動**：縮小率を指定します。(70 ～ 100%) **自動**：原稿の長さに合わせて縮小します。
		2	ジドウ	
034	節電モード	1	オフ	節電モードの設定を行います。「低電力モード」を選択した場合、待機状態から低電力モードに移行するまでの時間を設定できます。(1 ～ 120 分。お買い求め時の値は 5 分)
		2	テイデンリョク モード	

□はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
037	メモリー受信		(----)	セレクトモードのメモリー受信（F8-5）を設定している場合、受信した原稿をプリントするときのパスワードを設定します。メモリー受信を設定すると、この設定は画面上に表示されません。(☛132 ページ)
038	アクセスコード		(----)	第三者の使用を制限するときに、4桁のアクセスコードを設定します。
042	親展ファイル保存	1	ナシ	親展文書をポーリングされた後もメールボックスに残すときに「アリ」にします。
		2	アリ	
043	パスワード送信	1	オフ	送信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛166 ページ)
		2	オン	
044	パスワード受信	1	オフ	受信パスワードを使って、相手とパスワード通信するとき、4 桁のパスワードを登録し「オン」または「オフ」を選びます。(☛167 ページ)
		2	オン	
046	セレクト受信	1	ナシ	「アリ」にすると、ダイヤル番号が登録されている相手のファクスしか受信しません。(☛163 ページ)
		2	アリ	
047	リモート受信	1	ナシ	「アリ」にすると、接続した外付け電話機から、ファクスをリモート受信できます。(☛78 ページ)
		2	アリ	
051	遠隔診断	1	ナシ	遠隔操作などにより各種の診断を行う機能です。
		2	アリ	
053	サブアドレス パスワード		(----)	サブアドレス通信を行うときのパスワードを設定します。(最大 20 桁)
054	メモリー転送	1	ナシ	「アリ」にすると、受信した原稿を、すべて指定した宛先へ転送できます。メモリー転送する宛先をセットできます。(☛139 ページ)
		2	アリ	
056	カバーシート	1	オフ	送付書（カバーシート）の通常お使いになる設定を選択します。(☛136 ページ)
		2	オン	
065	正順プリント	1	ナシ	正順プリントを行う場合は「アリ」にします。(☛87 ページ)
		2	アリ	
072	音声応答	1	ナシ	“FAX/TEL 切替”にセットしているとき、ファクスが着信してから呼出音だけ相手に流したいときに「ナシ」にします。
		2	アリ	
075	オプションハンドセット	1	ナシ	オプション品のハンドセットをお使いのときに設定します。
		2	アリ	
082	クイックメモリー送信	1	ナシ	クイックメモリー送信の設定(☛56 ～ 58 ページ)
		2	アリ	
099	メモリーサイズ	-	-	(設定はありません。)
123	リルート機能	1	ナシ	IP 電話を使っての送信機能を使うときに「アリ」にします。
		2	アリ	

□はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
124	プレフィクス機能	1	ナシ	電話番号に付与する番号を登録します。また、登録した番号を付与してダイヤルするときは「アリ」にします。付与する番号を指定したあと、設定を行います。(☛180 ～ 182 ページ)
		2	アリ	
125	複数宛先確認	1	ナシ	複数宛先を指定すると確認画面が表示されます。確認画面の表示が必要ないときは「ナシ」にします。
		2	アリ	
140	LAN 中継送信指示	1	ナシ	「アリ」にすると、LAN 経由の中継送信の指示を行います。
		2	アリ	
141	LAN 縮小送信	1	ナシ	「アリ」にすると、LAN 経由にて送信するときに A4 サイズに縮小されて送信します。
		2	アリ	
142	LAN 中継機能	1	ナシ	「ナシ」にすると、LAN 中継動作を行いません。
		2	アリ	
143	LAN 中継結果返送	1	オフ	LAN 中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
		2	スベテ	
		3	ミツウシン	
145	From 選択機能	1	ナシ	発信元やEメールの From 欄の内容を選べるようにするときに、「アリ」にします。24 個のユーザー名称（最大 25 文字）とメールアドレス（最大 60 桁）を登録できます。
		2	アリ	
146	POP 取得間隔	0	0 フン	POP サーバーへ E メールの到着の確認をする間隔を設定します。 (お買い求め時の値は 3 分)
		～	～	
		60	60 フン	
147	POP 自動受信	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 取得時、自動受信しません。
		2	アリ	
148	POP 受信後メール削除	1	ナシ	「ナシ」にすると、POP 受信後 E メール削除しません。
		2	アリ	
149	POP エラー時メール削除	1	ナシ	「アリ」にすると、POP サーバーに受信できない E メールが来たときにこの E メールを削除します。
		2	アリ	
150	送達確認返送	1	ナシ	LAN 受信時の結果を送信元に返送するとき「アリ」に設定します。
		2	アリ	
151	メールヘッダ表示	1	スベテ	E メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
		2	ヘンシュウ	
		3	オフ	
152	SUB ルーティング	1	ナシ	サブアドレスによるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
153	数字 ID ルーティング	1	ナシ	数字 ID によるルーティングを行うときに「アリ」にします。
		2	アリ	
154	ルーティング時 From 欄	1	シジキョク	ルーティングにより、LAN へ E メールを送るときの From 欄の内容を選びます。
		2	チュウケイ キョク	

はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
155	ルーティング時プリント	1	ミツウシン	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
		2	スベテ	
156	メモリー転送時プリント	1	ミツウシン	メモリー受信したファクス、またはEメールを転送する際、常にプリントするか、または転送が未通信の場合のみ、プリントするかを選択します。
		2	スベテ	
157	管理レポート送信	1	ナシ	「アリ」にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。(Eメールのみ)
		2	アリ	
158	メールリモート登録	1	ナシ	パソコンからEメールにより登録、取出しを行うとき「アリ」にします。
		2	アリ	
159	サブジェクト登録	1	ナシ	送信のたびに件名（Subject）を入力できるようにするかどうかを選択します。
		2	アリ	
160	デフォルトドメイン	1	ナシ	直接メールアドレス入力で送るとき、よく使うドメイン名を自動入力できるようにするとき「アリ」にします。
		2	アリ	
161	DNSサーバー	1	ナシ	インターネット通信を行うときにDNSサーバーを使うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
162	TIFFビューアURL	1	ナシ	Eメールのメッセージ中にURLアドレスを入れるときに言語の設定します。
		2	ニホンブン	
		3	エイブン+ニホンブン	
163	ルーティングヘッダー	1	ナシ	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに「アリ」にします。
		2	アリ	
164	LAN送信ヘッダー	1	フカ	デフォルトドメインに登録されている同ドメイン内に原稿を送信する場合、ヘッダーを印字するかどうかを選択します。(スキャナーとして使う場合に便利です。)ただし、デフォルトドメイン以外のドメインへ送信する場合は、設定が「ナシ」になっていてもヘッダーは付加されます。
		2	ナシ	
169	DHCPクライアント	1	ナシ	起動時に自動的にDHCPサーバーがIPアドレスなどを割り当てる設定をするかどうかを選択します。この設定の変更を行うと、自動的に再起動されます。
		2	アリ	
170	SMTP認証(☛250ページお知らせ1)	1	ナシ	SMTP認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、自局登録（F7-1）でユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
171	SMTP時POPによる確認(☛250ページお知らせ1)	1	ナシ	送信時に受信サーバーログインが必要かどうかを選択します。(ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
172	ダイレクトIFAX送信	1	ナシ	インターネット通信時にダイレクトIFAX送信を行うかどうかを選択できます。
		2	アリ	

□はお買い求め時の値

設定	設定項目名	設定値	設定	説明
173	送達確認要求	1	オフ	インターネットファクスで送信するときに、送達確認（MDN）要求をするかどうかのデフォルト設定を選択できます。送達確認要求の設定はセレクトモード（F8-2）で送信ごとに設定が可能です。送達確認が宛先側から返信されると、通信管理レポートに通信結果を記録します。
		2	オン	
174	APOP 認証 (☛お知らせ 1)	1	ナシ	受信時に APOP による認証を行うかどうかを選択します。(この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
175	発番号 ルーティング	1	ナシ	発信者番号によるルーティングを行うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
176	モデム ダイヤルイン ルーティング	1	ナシ	モデムダイヤルインルーティングを行うときは「アリ」に設定し、モデムダイヤルイン番号の登録を行います。(最大 20 桁、50 件まで登録可能) 登録したモデムダイヤルイン番号は、システム登録リストのプリント（F6-4）でプリントできます。(☛262 ページ)
		2	アリ	
177	送信ファイル タイプ	1	TIFF	送信ファイルタイプのデフォルト値を設定します。送信ファイルタイプの設定はセレクトモード（F8-6）で送信ごとに設定の変更が可能です。
		2	PDF	
178	デュアルサーバー	1	ナシ	デュアルサーバーの設定を行うときは「アリ」にします。
		2	アリ	
179	SMTP 認証 (2) (☛お知らせ 1)	1	ナシ	SMTP サーバー2 に対して SMTP 認証が必要かどうかを選択します。設定を「アリ」にした場合、自局登録（F7-1）でユーザー名とパスワードを入力できます。
		2	アリ	
180	SMTP 時 POP 確認 2 (☛お知らせ 1)	1	ナシ	SMTP サーバー 2 を使って送信するときに、受信サーバーログインが必要かどうかを選択します。(ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	
181	APOP 認証 (2) (☛お知らせ 1)	1	ナシ	POP サーバー2 に対して APOP による認証を行うかどうかを選択します。(この設定はサーバーに依存するものです。ネットワーク管理者にご相談ください)
		2	アリ	

お知らせ　1. SMTP サーバーまたは POP サーバーが機能をサポートする場合、「アリ」を選択できます。

リスト・レポート

リスト・レポートのプリント

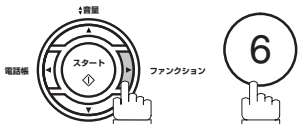
概要

本商品で送受信した通信記録や各登録内容をプリントできます。：通信管理レポート、送信レポート、通信結果レポート、ワンタッチ／短縮リスト、電話帳リスト、プログラムリスト、システム登録リスト

通信管理レポート

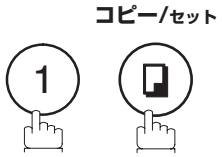
「通信管理レポート」には、最新の 40 通信が記録されます。（文書を送受信するたびに、その通信は記録されています）これは 40 通信を行うごとに自動的にプリントされますが（☛ お知らせ 1）、以下の手順に従い手動でプリント、またはディスプレイで確認することもできます。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2




```
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶｸﾆﾝ
1:ﾌﾟﾘﾝﾄ 2:ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
```

3a プリントする場合は①を押す

プリントを開始します。

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

3b 画面表示する場合は、②を押す

画面表示するモードを選択する

送信ファイルのみを画面表示する場合は① を押します。

すべての通信を画面表示する場合は② を押します。

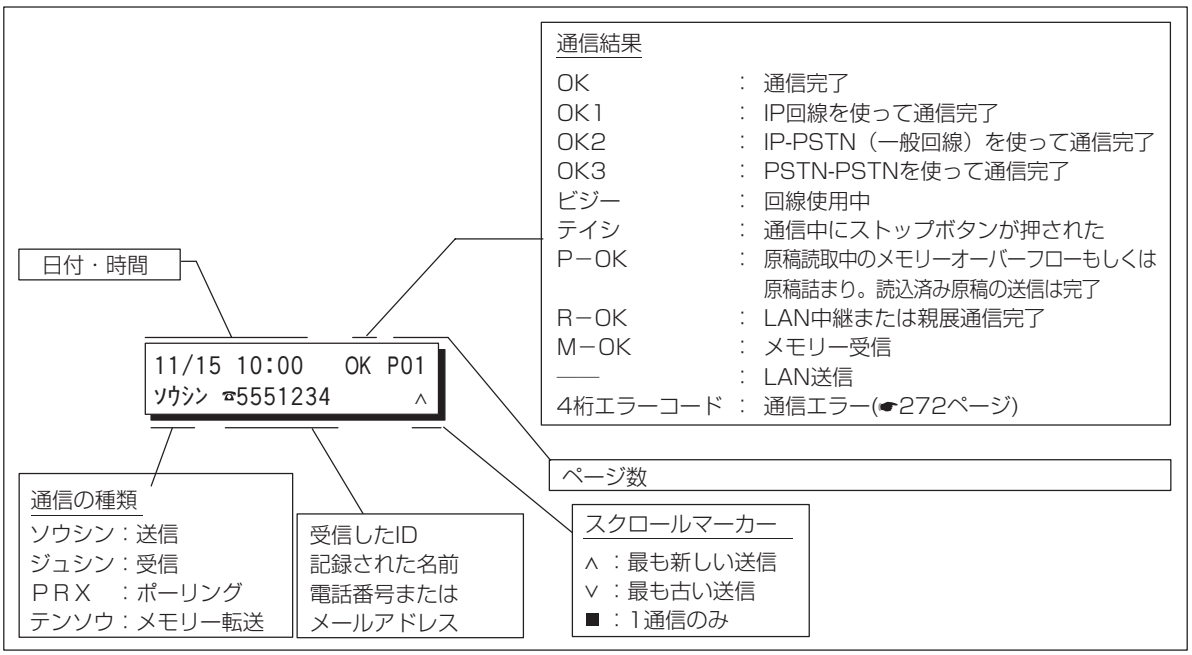
例： ②を押します。

▼または ▲を押しジャーナルに記録された通信結果を見ることができます。
待機状態に戻るには ストップ を押します。

```
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ｶﾞﾒﾝ ﾋｮｳｼﾞ
1:ｿｳｼﾝ ﾉﾐ 2:ｽﾍﾞﾃ
```

```
ﾅｲﾖｳ ﾊ ∨ ∧ ﾎﾞﾀﾝ ﾃﾞ
ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

画面表示サンプル



通信管理レポートサンプル

```
                                                          (1)          (2)
********** ｰ ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ ｰ ********** 2005-12-15 ***** 15:00 *****

(3)  (4)   (5)     (6)  (7)       (8)   (9)                  (10)   (11)  (12)
NO.  ｹｯｶ   ﾏｲｽｳ    ﾌｧｲﾙ ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ ﾓｰﾄﾞ  ｱｲﾃｻｷ (ID/TEL NO.)  ﾋﾂﾞｹ  ｼﾞｺｸ ﾂｳｼﾝｺｰﾄﾞ

 01   OK    001/001  149  00:00:52  ｿｳｼﾝ  ☎215                12-15  20:04  C8444B0577000
 02   ---   001/001  151  00:00:02  ｿｳｼﾝ   TEST                12-15  20:07  01 ｷｮｸ     LAN
 03   ---   003/003  153  00:00:20  ｿｳｼﾝ   fax@nwfax1          12-15  20:09  01 ｷｮｸ     LAN
 04   OK    003      154  00:00:21  ｼﾞｭｼﾝ  fax@nwfax1.rdmg.mgc  12-15  20:10          LAN
 05   OK    001      155  00:00:19  ｼﾞｭｼﾝ  215                 12-15  20:11  C0542B0577000
 06   0634  000/003  156  00:00:00  ｿｳｼﾝ  ☎216                12-15  20:14  0800420000000
 07   0408  * 003         00:02:14  ｿｳｼﾝ  ☎217                12-15  21:17  0040440A30080

 39   OK    000/001  159  00:00:07  ｿｳｼﾝ  TEL XMT              12-15  20:18  CA40462000000
 40   OK    001/001  160  00:00:16  ｿｳｼﾝ  TEL XMT              12-15  20:19  C8444B0577000

                                                (13)
                                                  -3100                    -

********** -NTT                    - ***** -              201 555 1212- *********
                (15)                                        (14)
```

※通信管理レポートの内容説明は 255 ページを参照してください。

お知らせ

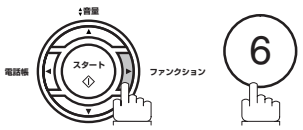
1. 通信管理レポートの自動プリントを解除したい場合は、システム登録の「013 通信管理レポート」を「ナシ」に変更してください。（☛245 ページ）

リスト・レポートのプリント

送信レポート

送信レポートには最新の通信結果を表示します。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
6:ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3 **コピー/セット**

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

送信レポートサンプル

```
                                                    (1)              (2)
************** -ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ- ******************************* 2005-12-15 ***** 15:00 *********

(10)(11)    ﾋﾂﾞｹ              = 2005-12-15 09:00

    (3)     ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ No.      = 21

    (4)     ｹｯｶ              = OK

    (5)     ﾏｲｽｳ             = 001/001

    (7)     ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ          = 00:00:16

    (6)     ﾌｧｲﾙ No.          = 010

   (16)     ﾓｰﾄﾞ              = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ

   (17)     ｱｲﾃｻｷ             = [001] / 555 1234 /ABCDEFG

   (18)     ｱｲﾃｻｷ ID          =

   (19)     ﾓｼﾞｻｲｽﾞ           = ﾌﾂｳ

                                                 (13)
                                                -3100                    -

********************************-NTT          -*******-       201 555 1212- *****************
                               (15)                            (14)
```

通信管理レポート／送信レポートの内容説明

(1) プリントした日付
(2) プリントした時刻
(3) レポート番号
(4) 通信結果 : OK：通信完了
OK1：IP 回線を使って通信完了
OK2：IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了
OK3：PSTN-PSTN を使って通信完了
ビジー：回線使用中
テイシ：通信中にストップボタンが押された 。
P − OK：原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。
R − OK：LAN 中継または親展通信完了
M − OK：メモリー受信
——：LAN 送信（☛ お知らせ 2）
4 桁エラーコード：通信エラー（☛272 ページ）
(5) 送受信したページ数 : 3 桁の数字は送信枚数。
* 印は相手機異常。
(6) ファイル番号 : 001 ～ 999（通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます。）
(7) 通信時間
(8) 通信の種類 : ソウシン ：送信
ジュシン ：受信
ＰＲＸ ：ポーリング
テンソウ ：メモリー転送
(9) 宛先 : 宛先名または電話番号／メールアドレス
☎ 番号：直接ダイヤル番号
番号のみ：相手の ID ナンバー（電話番号）
メールアドレス
(10) 通信日
(11) 通信開始時刻
(12) 通信コード : サービスマンが使用します
STN(S)LAN：LAN 送信
(MDN)LAN：送達確認付き LAN 送信
(13) ロゴ : 25 文字まで
(14) IDナンバー : 20 桁まで
(15) 文字 ID : 16 文字まで
(16) 通信の種類 : 送信またはメモリー送信
(17) 宛先 : ワンタッチ、短縮ダイヤル／メールアドレス、電話番号／記録された名前
上記以外：メールアドレスまたは電話番号
(18) 受信した相手の ID : 文字 ID または ID ナンバー
(19) 文字サイズ

お知らせ

1. E メールによる同報送信は 1 回の送信として記録されます。
2. 送達確認要求を付加して送信した場合、送達確認が返送されてくるまでは通信結果欄には " − − " が表示されます。送達確認を受け取ると "OK" と表示されます。ダイレクト IFAX 送信時は通信が完了したときは "OK" と表示されます。

通信結果レポート

通信結果レポートで、送信またはポーリングが成功したかどうかを確認することができます。システム登録の「012 通信結果レポート」でプリント状況（オフ／スベテ／ミツウシン）を選択します。

通信結果レポートサンプル

********** -ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ- ********** 2005-12-15 ********** 15:00 ********

(1) ﾓｰﾄﾞ = ﾒﾓﾘｰ ｿｳｼﾝ　(2) ｽﾀｰﾄ =12-15 14:50　(3) ｴﾝﾄﾞ=12-15 15:00

ﾌｧｲﾙ NO.=050 (4)

(5) ﾂｳｼﾝ NO.	(6) ｹｯｶ	(7) ﾜﾝﾀｯﾁ/ﾀﾝｼｭｸ NO.	(8) ｱﾃｻｷ ﾒｲ / ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ / ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	(9) ﾏｲｽｳ	(10) ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ
001	OK	<01>	SERVICE DEPT.	001/001	00:01:30
002	OK	<02>	SALES DEPT.	001/001	00:01:25
003	0407	<03>	ACCOUNTING DEPT.	000/001	00:01:45
004	ﾋﾞｼﾞｰ	☎	021 111 1234	000/001	00:00:00

-3100 -

********** -NTT - ***** - 201 555 1212- *********

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH25 8ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd

...variations of print density ...
cause the photocell to generate an analogous electrical video signal.
This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a
remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video
signal, which is used to modulate the density of print produced by a
printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised
with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile
copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

通信結果レポートの内容説明

(1) 通信モード表示
(2) 通信開始時刻
(3) 通信終了時刻
(4) ファイル番号 : 001 ～ 999（通信がメモリーに蓄積されると、それぞれの通信にファイル番号が付与されます）。
(5) レポート番号
(6) 通信結果 :

OK：	通信完了
OK1：	IP 回線を使って通信完了
OK2：	IP-PSTN（一般回線）を使って通信完了
OK3：	PSTN-PSTN を使って通信完了
ビジー：	回線使用中
テイシ：	通信中にストップボタンが押された。
P − OK：	原稿読取中のメモリーオーバーフローもしくは原稿詰まり。読込済み原稿の送信は完了。
R − OK：	LAN 中継または親展通信完了
M − OK：	メモリー送信
――：	LAN 送信（☛255 ページのお知らせ 2）
4 桁エラーコード：	通信エラー（☛272 ページ）

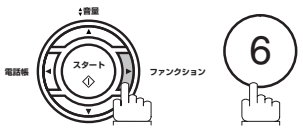
前頁に示すように、送信文書の最初のページをプリントします。メモリー送信の場合、画像もプリントされます。

(7) ワンタッチ／短縮ダイヤル番号または ☎ マーク
(8) 宛先名、直接ダイヤルでの電話番号／メールアドレス
(9) 送受信したページ数 : 送受信枚数
(10) 通信時間

ワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リスト

登録されているワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リストをプリントする。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
2:ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3

コピー/セット

```
1:ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
2:ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

4

ワンタッチ／短縮ダイヤルリストをプリントする場合は

を押す

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾜﾝﾀｯﾁ･ﾀﾝｼｭｸ ﾘｽﾄ
```

電話帳リストをプリントする場合は

を押す

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ
```

ワンタッチダイヤルリストサンプル

```
********** -ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ- ************************** 2005-12-15 *****  11:11 ********
(1)    (2)            (3)                                          (7)
ﾜﾝﾀｯﾁ   ｱﾃｻｷ ﾒｲ        ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
NO.                   ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)      ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

<01>  Jane Smith      ☎201 555 3456                                [005]
                      4452                  +1 201 123 4567         ---
                      ---                   ---
<02>  John Smith      ☎201 555 1212                                [001]
                      1212                  212 555 1234            ---
                      ---                   ---
<03>  Bob Jones       jonesb@abcdefg.com                           ---
                      123456                201 555 1212            ｻｰﾊﾞ-1
                      ---                   ---
<04>  NTTFAX1         nttfax01@rdmg.mgcs.mei.co.jp                 ---
                      4827                  +81 03 5251 1234        ｻｰﾊﾞ-2
                      ---                   ---
<05>  NTTFAX2         nttfax02@rdnn.mgcs.mei.co.jp                 ---
                      1773                  +81 0467 5251 1234      ｻｰﾊﾞ-1
                      ---                   ---
   ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 05 (4)
                                                    -3100           -
**************************************************- NTT - ***** - 201 555 1212- ************
```

短縮ダイヤルリストサンプル

```
********** -ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ- ************************** 2005-12-15 *****  11:11 ********
(1)    (2)            (3)                                          (7)
ﾀﾝｼｭｸ   ｱﾃｻｷ ﾒｲ        ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
NO.                   ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)      ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ      ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

[001]  Jane Smith     ☎201 555 3456                                [004]
                      4452                  +1 201 123 4567         ---
                      ---                   ---
[002]  John Smith     ☎201 555 1212                                [005]
                      1212                  212 555 1234            ---
                      ---                   ---
[003]  Bob Jones      jonesb@abcdefg.co
                      123456                201 555 1212            ---
                      ---                   ---                     ｻｰﾊﾞ-1
[004]  NTTFAX1        nttfax01@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                      4827                  +81 03 5251 1234        ---
                      ---                   ---                     ｻｰﾊﾞ-1
[005]  NTTFAX2        nttfax02@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                      1773                  +81 0467 5251 1234      ---
                      ---                   ---                     ｻｰﾊﾞ-2
   ﾄｳﾛｸ ｽｳ = 005 (4)
                                                    -3100           -
**************************************************- NTT - ***** - 201 555 1212- ************
```

電話帳リストサンプル

```
********** ｰﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄｰ ********************************** 2005-12-15 *****  11:11 ******
(8)   (2)            (1)          (3)                                          (7)
      ｱﾃｻｷ ﾒｲ         ﾜﾝﾀｯﾁ/       ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ/ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
                     ﾀﾝｼｭｸ NO.    ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｻﾌﾞｱﾄﾞﾚｽ (5)  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ｽｳｼﾞ ID (6)    ﾁｭｳｹｲ ｱﾃｻｷ
                                  ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾊﾂﾊﾞﾝｺﾞｳ     ﾙｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓﾃﾞﾑﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ

[B]   Bob Jones      [003]        jonesb@abcdefg.com                           ---
                                  123456                 201 555 1212          ｻｰﾊﾞｰ1
                                  ---                    ---
[J]   Jane Smith     [001]        ☎201 555 3456                                [004]
                                  4452                   +1 201 123 4567       ---
                                  ---                    ---
      John Smith     [002]        ☎201 555 1212                                [005]
                                  1212                   212 555 1234          ---
                                  ---                    ---
[N]   NTTFAX1        [004]        nttfax01@rdmg.mgcs.mei.co.jp
                                  4827                   +81 03 5251 1234      ---
                                  ---                    ---                   ｻｰﾊﾞｰ1
      NTTFAX2        [005]        nttfax02@rdnn.mgcs.mei.co.jp
                                  1773                   +81 0467 5251 1234    ---
                                  ---                    ---                   ｻｰﾊﾞｰ2
          ﾄｳﾛｸ ｽｳ  = 005 (4)

                                                    -3100              -
**************************************************- NTT - ***** - 201 555 1212- ************
```

ワンタッチダイヤルリスト／短縮ダイヤルリスト／電話帳リストの内容説明

(1)　ワンタッチまたは短縮ダイヤル番号　：<nn>= ワンタッチ番号、[nnn]= 短縮ダイヤル番号

(2)　宛先名　：15 文字まで

(3)　電話番号／メールアドレス　：36 桁まで（電話番号）
：60 文字まで（メールアドレス）
：ワンタッチ／短縮ダイヤルにプログラムされる電話番号
（IP 電話番号は、@ 電話番号で示されます）

(4)　登録数

(5)　ルーティングサブアドレス、
ルーティング発番号

(6)　ルーティング数字 ID、
ルーティングモデムダイヤルイン

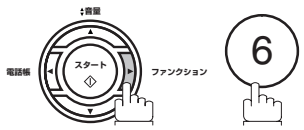
(7)　中継アドレス、メールサーバー

(8)　本商品に登録した宛先名の最初の文字

プログラムリスト

登録されているプログラムリストをプリントします。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ヲ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
3:ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3 コピー/セット

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ
```

プリントを開始します。

プログラムリストのサンプル

```
*************** -ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾘｽﾄ- ******************** 2005-12-15 *****  15:00 *******

(1)       (2)                (3)       (4)       (5)
ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ    ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ﾒｲ          ﾀｲﾌﾟ       ﾖﾔｸ ｼﾞｺｸ   ﾄｳﾛｸ ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾝｼｭｸ NO.

   [P1]   TIMER XMT          ｿｳｼﾝ       12:00     [001]
   [P2]   TIMER POLL         ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ     19:00     [002]
   [P3]   PROG. A            ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ     -----     [001] [002]

                                        -3100                -

********************************** -NTT - ***** - 201 555 1212- *****************
```

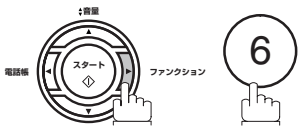
プログラムリストの内容説明

(1) プログラムボタン
(2) プログラム名　：15 文字まで
(3) プログラムの種類　：ソウシン：タイマー送信
ポーリング：ポーリング受信
グループ：プログラムボタンをグループボタンとして登録
ワンタッチ：プログラムボタンをワンタッチボタンとして登録
POP：POP 手動受信
(4) 予約時刻　：開始時刻
(5) 登録宛先　：〈ワンタッチ〉／［短縮ダイヤル番号］など

システム登録リスト

システム登録の設定をプリントします。

1




```
ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ          (1-7)
ﾊﾞﾝｺﾞｳ ｦ ｲﾚﾙ ﾏﾀﾊ ∨ ∧
```

2

```
4:ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ ?
ｾｯﾄ ﾃﾞ ﾌﾟﾘﾝﾄ
```

3 コピー/セット

```
* ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ *
ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ
```

プリントを開始します。

システム登録リストのサンプル

```
*************** -ｼｽﾃﾑ ﾄｳﾛｸ ﾘｽﾄ- ********************** 2005-12-15 ***********  15:00 *** P.01

                                                        (4)          (5)
                                                        ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾉ ｾｯﾃｲ  ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ｾｯﾃｲ

    (1)  (2)                 (3)
(6)     001  ﾉｳﾄﾞ ｷﾘｶｴ          (1:ﾌﾂｳ        2:ｳｽｸ        3:ｺｸ)          1            1
      * 002  ﾓｼﾞ ｻｲｽﾞ           (1:ﾌﾂｳ        2:ﾁｲｻｲ       3:ｻｲﾐﾂ
                               4:ﾊｰﾌﾄｰﾝ(ﾁｲｻｲ)      5:ﾊｰﾌﾄｰﾝ(ｻｲﾐﾂ))  3            1

                                                        ⌇

      125  ﾌｸｽｳｱﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ       (1:ﾅｼ         2:ｱﾘ)                          2            2

                                                  -3100                      -

********************************** -NTT            - ***** -          201 555 1212- *********
```

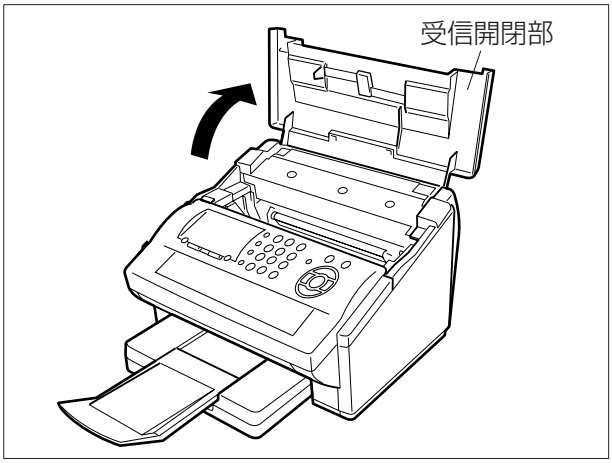
システム登録リストの内容説明

(1)　設定番号
(2)　設定項目
(3)　設定値
(4)　現在の設定　：　－－：設定値またはパスワードが設定されていません。設定値またはパスワードが設定されると、() 内に記述されます。
(5)　標準設定　：　お買い求め時の設定です。
(6)　設定の変更　：　* 印は標準設定から変更されたものです。

必要なときに
お読みください

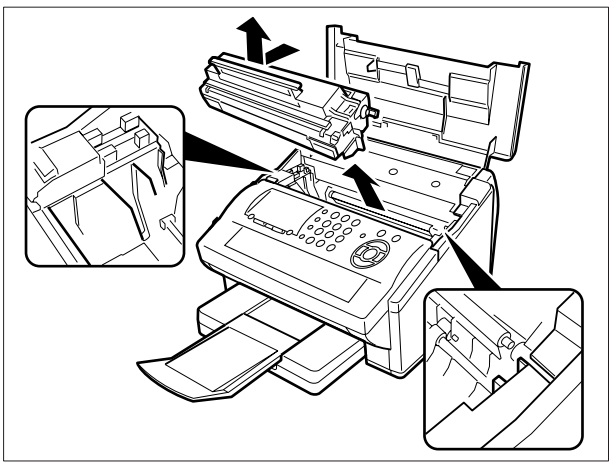
トナーカートリッジのセット（交換）

1



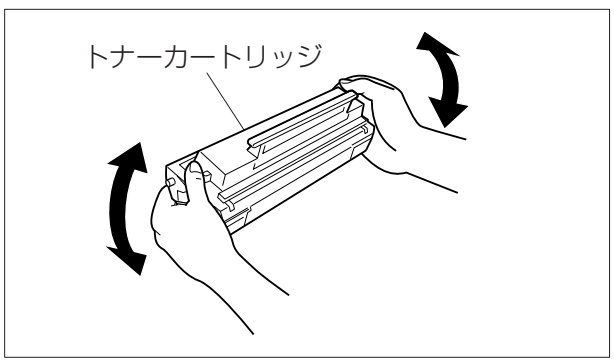
受信開閉部を開けます。

2



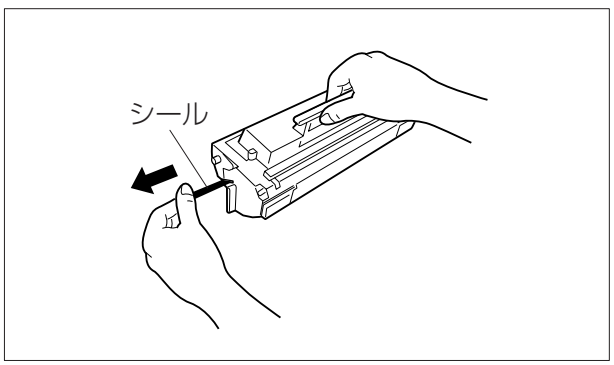
トナーカートリッジを持ち、手前に倒して溝に沿って引き抜きます。

3



トナーカートリッジを袋から取り出し、内部のトナーが均一になるように 5、6 回振ります。

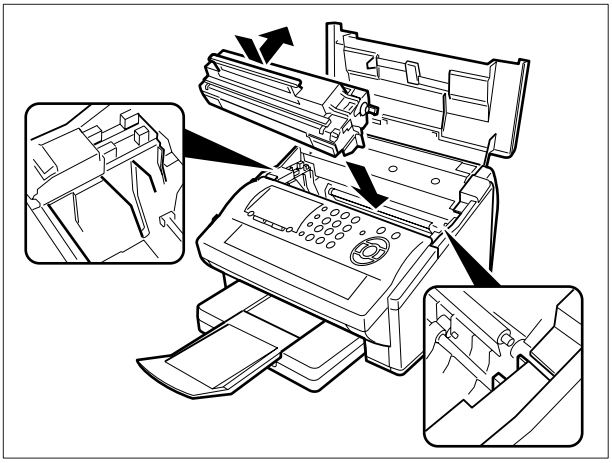
4



保護用のシールを引き抜きます。

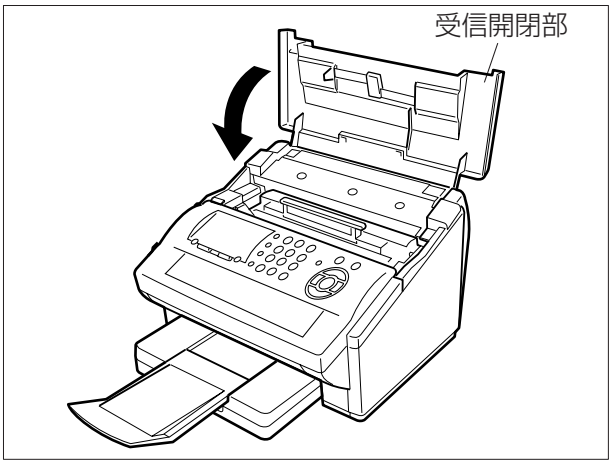
お願い： ゆっくりとシールを引っぱり、まっすぐに抜き出します。

5



トナーカートリッジの両端にある突起を本体の溝に合わせ、左右が傾かないようにして下側に押しつけながら、奥側へ倒しセットします。

6



受信開閉部を確実に閉めます。

■トナーカートリッジ回収のお願い

- ●本商品のトナーカートリッジについては、リサイクルを実施しております。
  使用済みのトナーカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳しくは、トナーカートリッジ梱包箱の説明をご覧ください。
- ●トナーカートリッジは、当社指定品をご使用ください。（☛289 ページ）
- ●トナーカートリッジの交換・回収について、ご不明な点は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

⚠警告

- ●トナーカートリッジは、火の中には絶対に投じないでください。破裂したり、着火したトナーが飛び散ると火災ややけどの原因となることがあります。

⚠注意

- ●熱定着器とその周辺は高温になっていますので、手を触れないようにご注意ください。やけどの原因となることがあります。

お知らせ

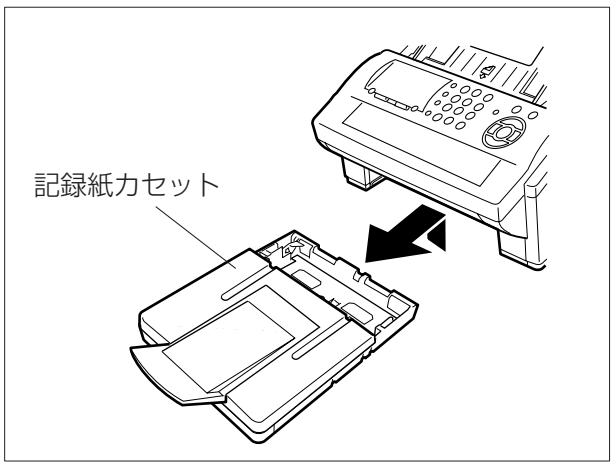
1. トナーカートリッジのドラム部（青緑色部）には手を触れないでください。ドラムの表面に手の油や汚れが付着すると、きれいな印字ができなくなります。
2. トナーカートリッジのドラム部（青緑色部）の保護カバーは、セットするとき、無理な力が加わるとはずれます。これは破損を防ぐためです。はずれた場合は、元の状態に戻してください。
3. 受信開閉部を閉めるときは、確実にしまっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

記録紙のセット

記録紙のセットのしかた

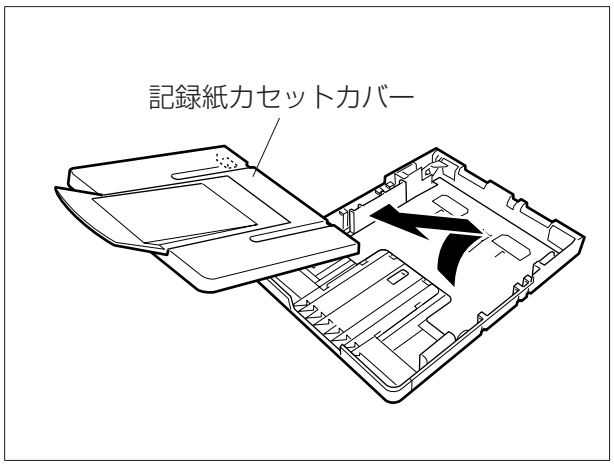
記録紙のセット

1



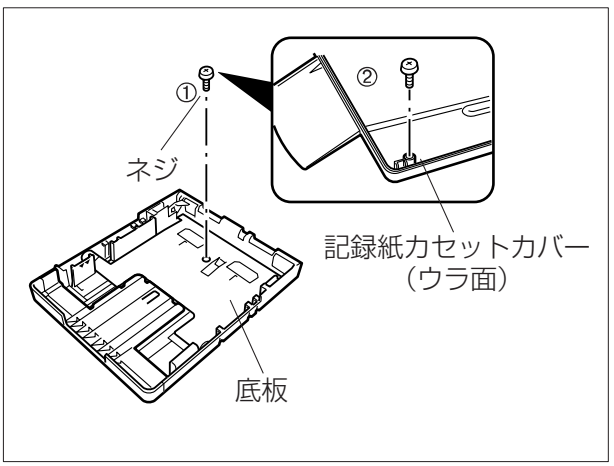
記録紙カセットを少し持ち上げ、本体から引き出します。

2



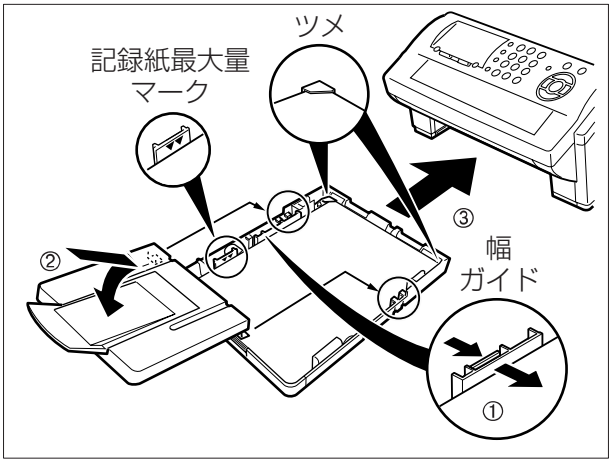
記録紙カセットカバーをはずします。

3



1. お買い求め時は輸送時の破損などを防ぐため、記録紙カセットの底板に輸送固定ネジが取り付けられています。ご使用の際はネジをまわして取ります。
2. 記録紙カセットカバーのウラ面にある専用の場所に取り付けて保管します。

4



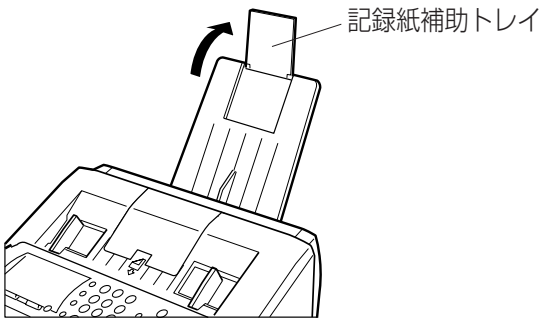
1. 記録紙カセットに記録紙をセットします。記録紙幅ガイドを右方にスライドさせ、記録紙の側面に軽く触れるようにさせます。記録紙はたるまないようにしてください。記録紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙づまりの原因になります。

   お願い： 記録紙が金属製のツメ（2 カ所）の下にセットされていることをご確認ください。また、**記録紙厚が記録紙最大量マークを超えないようにご注意ください。**
   セットできる枚数は約 250 枚です。

2. 記録紙カセットカバーを元に戻します。
3. 記録紙カセットを本体に装着します。

お知らせ

1. A4 サイズを超える記録紙をセットする場合は、記録紙補助トレイを下図のように開いてください。



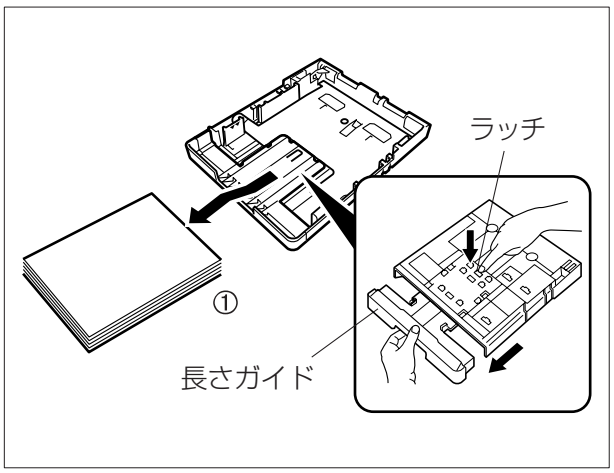
2. 記録紙がツメ（2ヵ所）の下にセットされ、記録紙最大量マークを超えていないことを確認してください。
3. 記録紙カセットには、適応サイズ以外の記録紙はセットしないでください。
4. しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏面などは使用しないでください。紙づまりの原因となります。
5. 記録紙を追加するときは、残っている記録紙を上にしてセットし直してください。いつまでも古い記録紙が残っていると、紙づまりの原因となることがあります。
6. プリント中には、記録紙カセットを引き出さないでください。紙づまりの原因となります。
7. 新しい記録紙が残ったときは、包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらないところに保管してください。
8. 記録紙は当社推奨品をご使用ください。推奨品以外の記録紙を使用されますと、記録品質への悪影響や、故障の原因となることがあります。

記録紙カセットのサイズ変更

記録紙カセットの記録紙サイズ変更のしかた

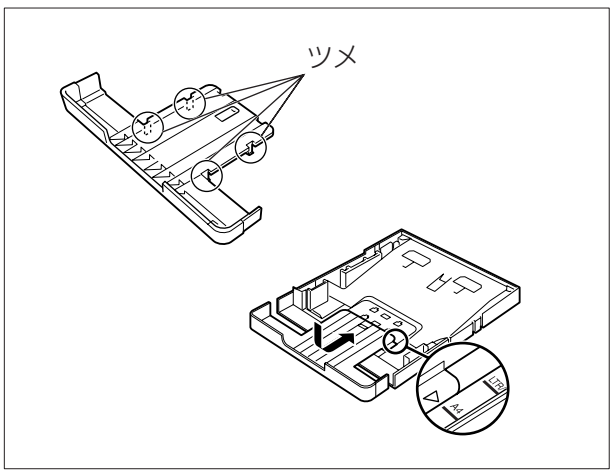
お買い求め時の記録紙カセットは A4 サイズ用に設定されています。この記録紙サイズをレターまたはリーガルサイズに変える手順は、以下のとおりです。

1



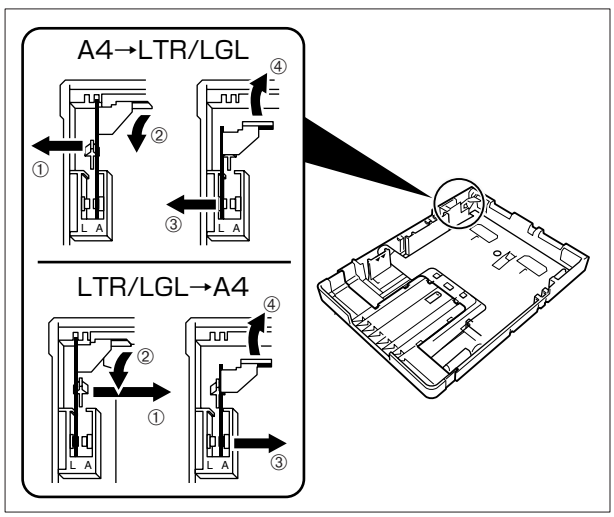
＜記録紙カセットの用紙長の調節のしかた＞

1. 記録紙カセットから記録紙を取り出し、机などの平面上でカセットを裏返します。
2. ラッチを押しながら、長さガイドを引き出します。



3. 記録紙カセットを上向きにします。長さガイドの左右のツメを使用する記録紙サイズのカセットの穴（レターまたはリーガル）に入れ、長さガイドをロックするようスライドさせます。

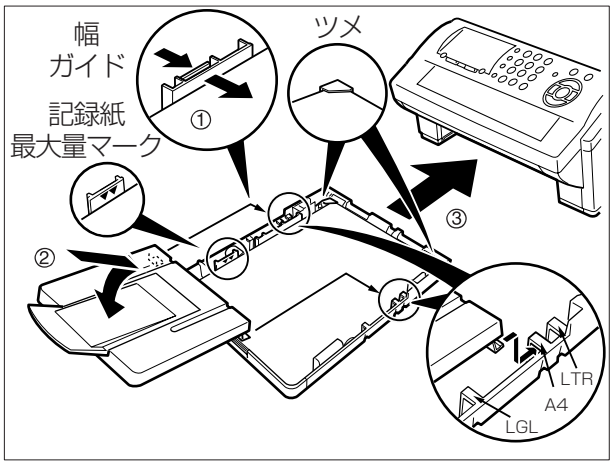
2



＜記録紙カセットの用紙幅の調節のしかた＞

1. 左方にあるツメのラッチをゆるめます。
2. ツメを引き上げて抜きます。
3. ツメの位置を LTR 側（L の刻印側）の溝に入れます。
4. ツメを下に押し、ラッチがかかるよう押し込みます。

3



1. 記録紙を記録紙カセットにセットします。幅ガイドを右方にすべらせ、記録紙の側面に軽く触れるようにさせます。記録紙はたるまないようにしてください。記録紙はカセット右側面と幅ガイドの間にぴったり収まっていることを確認してください。正しくセットされていないと、紙詰まりの原因となります。

   お願い： 記録紙が金属製のツメ（2 カ所）の下にセットされていることをご確認ください。また、**記録紙厚が記録紙最大量マークを超えないようにご注意ください。**
   セットできる枚数は約 250 枚です。

2. 記録紙カセットカバーを長さガイドに合わせます（レター（LTR）またはA4 またはリーガル（LGL））。

3. 記録紙カセットを本体に装着します。

4

システム登録の「023 用紙サイズ」はカセット内の記録紙サイズと同じに設定されていなければなりません。記録紙のサイズを変更したときには「023 用紙サイズ」の設定もそれに合わせて変更してください（☛246 ページ）。

お知らせ

1. カセット内の記録紙サイズを変更してシステム登録の「023 用紙サイズ」の変更をし忘れた場合、本商品は受信したファクスの 1 ページ目をプリントした後、プリントを停止し、「用紙サイズが合っていません」という内容のエラーメッセージを表示します。その後、記録紙のサイズ設定を自動的に設定し直し、再度 1 ページ目からのプリントを行います。

こんなときには

故障かな？と思ったら

モード	症状	原因と処置	参照ページ
送信中	原稿が送り込まれないか、または複数枚同時に送り込まれる	1. 原稿にホチキスの針やクリップが付いていないこと、また汚れや破れのないことを確認してください。 2.「セットできない原稿」に一覧表示してある原稿でないことを確認してください。リストに記載してある種類の原稿である場合は、そのコピーをとって原稿の代わりに送信してください。 3. 原稿が正しくセットされていることを確認してください。 4. 自動給紙圧を調整してください。	30 31 282
	原稿づまり	原稿がつまった場合は、エラーコード 0030、0031 がディスプレイに表示されます。	272
	済スタンプがプリントされない	1. 済スタンプの LED が点灯しているか確認してください。 2. システム登録 No.04 および No.28 の設定値を確認してください。	33 245 246
	済スタンプが薄すぎる	済スタンプを交換してください。	283
送信時コピー画質	送信した原稿に縦線が入る	お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本商品は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	281
	送信した原稿が白紙で出てくる	1. 原稿が裏向きにセットしてあることを確認してください。 2. お手元のコピーの画質を確認してください。コピーに問題がない場合、本商品は正常です。異常が発生している受信側に報告してください。コピーに問題がある場合は、原稿読取部を清掃してください。	281
受信中	記録紙切れ	記録紙がなくなった場合は、エラーコード 0010 がディスプレイに表示されます。記録紙を補充してください。	266
	記録紙づまり	記録紙がつまった場合は、エラーコード　0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。つまった記録紙を取り除いてください。	278
	記録紙が送り込まれない	記録紙カセットに記録紙がセットされていることを確認してください。記録紙のセット方法については、該当する指示に従ってください。	266
	プリント終了時に記録紙が排出されない	記録紙が本商品内部でつまっていないか確認してください。	279
	記録紙が順番に積み重ならない。最終受信ページからプリントされない	1. システム登録の「正順プリント」が「アリ」に設定してあるか確認してください。 2. 受信中にメモリーが一杯になった場合は、最初に受信したページからプリントされます。	87
	原稿自動縮小機能がはたらかない	縮小受信の設定値を確認してください。	84
	トナー切れ	トナーカートリッジのトナーがなくなった場合は、エラーコード 0041 がディスプレイに表示されます。トナーカートリッジを交換してください。	264

モード	症状	原因と処置	参照ページ
プリント時 コピー画質	受信した原稿に縦線が入る	通信管理レポート（例：ファンクション、6、1、セット、1）を出力して画質チェックを行い、本商品に異常がないか確認してください。 レポートの画質に問題がない場合、本商品は正常です。異常が発生している送信側に報告してください。 コピーに問題がある場合は、トナーカートリッジを交換してください。	252 264
	プリントが不鮮明	1. 当社指定の記録紙を使用しているか確認してください。 2. 記録紙を裏返しにしてみてください。	−−
	プリント領域内に点状や線状に抜けている箇所、または濃度が不均一な箇所がある	1. 当社指定の記録紙を使用しているか確認してください。 2. トナーカートリッジを交換してください。	289 264
	プリントがうすくなる	トナーカートリッジのトナーが切れかかっている可能性があります。トナーカートリッジを交換してください。	264
通信	発信音なし	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 電話回線を確認してください。	24
	自動受信しない	1. 電話回線の接続を確認してください。 2. 受信モードの設定値を確認してください。 3. システム登録　No.13（通信管理レポート）を「アリ」（初期値）に設定して、受信した原稿をメモリーからプリントしている場合、通信管理レポートのプリントが完了するまで自動受信は有効になりません。	24 77
	送受信ができない	ディスプレイにエラーコードが表示されます。エラーコード表を参照して原因を特定してください。	272

エラーコード

異常が発生したときに、ディスプレイにエラーコードが表示されます。下表に従って原因を特定し、処置を行ってください。

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0001	1 番目のカセットから給紙されるときに記録紙がつまる	つまった記録紙を取り除いてください。	278
0002	2 番目のカセットから給紙されるときに記録紙がつまる	つまった記録紙を取り除いてください。	278
0007	記録紙が完全に排出されない	トナーカートリッジを取り外し、つまった記録紙を取り除いてください。	279
0008	給紙されるときに記録紙カセットが引き出された	つまった記録紙を取り除き、記録紙カセットをセットしてください。	278
0010	記録紙切れ	記録紙をセットしてください。	266
0011	記録紙カセットが正しく取り付けられていない	記録紙カセットを取り付けてください。	266
0017	適正でないサイズの記録紙が記録紙カセットにセットされている	適正なサイズ（A4、レター、リーガル）の記録紙を記録紙カセットにセットしてください。	266
0030	原稿がつまる	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。 3. 自動原稿送り装置を調整してください。	280 282
0031	原稿が長すぎるか、つまっている。原稿の長さが 2m を超えている	1. 原稿を正しくセットし直してください。 2. 原稿づまりを取り除いてください。	280
0041	トナー切れ	トナーカートリッジを交換してください。	264
0043	トナーの残量が少ない		−−
0045	トナーカートリッジが取り付けられていない	トナーカートリッジを取り付けてください。	264
0060/0061	送信開閉部が開いている	送信開閉部を閉じてください。	−−
0400	初期手順の途中で、受信局が応答しなかったか、または通信エラーが発生した	1. 相手先を替えて確認してください。 2. 原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0401	中継局に受信用パスワードが必要なため、原稿を受信できない。中継局がメールボックスを持たない。中継局が送信側機器の ID 番号（ファクス番号）を要求している	中継局に確認してください。本商品の ID 番号（ファクス番号）を登録してください。	−−
0402	初期手順の途中で通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0403	中継局側にポーリング機能がない	「ポーリング = アリ」を設定するように中継局側に連絡してください。	−−
0404/0405	初期手順の途中で、通信エラーが発生した	原稿をセットし直し、再送してください。	−−
0406	送信用パスワードが一致しない。受信用パスワードが一致しない。不正な相手局からセレクト受信モードで受信した	ワンタッチまたは短縮ダイヤルのパスワードまたは電話番号を確認してください。	163 166

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0407	受信局からのページ送信済み確認信号が得られない	数分後に再送してください。	−−
0408/0409	遠隔側からのページ送信済み確認信号が判読できない	数分後に再送してください。	−−
0410	送信側による通信打切り	相手先を替えて確認してください。	−−
0411	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	95
0412	送信側からのデータが得られない	相手先を替えて確認してください。	−−
0414	ポーリング用パスワードが一致しない	ポーリング用パスワードを確認してください。	95
0415	ポーリング送信エラー	ポーリング用パスワードを確認してください。	−−
0416/0417 0418/0419	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	−−
0420/0421	受信モードにはなるが、送信側からのコマンドが受信できない	1. 相手先のダイヤル間違い。 2. 相手先を替えて確認してください。	−−
0422/0427	インタフェースに互換性がない	相手先を替えて確認してください。	−−
0430/0434	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0436/0490	受信データに含まれるエラーが多すぎる	相手先を替えて確認してください。	−−
0456	* 本商品が以下のいずれかの条件のもとで、親展原稿を受信した、または親展原稿のポーリングを要求した。 1. 親展原稿の受信に必要な空きメモリーがない。 2. 親展メールボックスが一杯である。 3. 受信した原稿をプリント中である。 * 本商品が原稿の中継を要求されている場合	1. 通信予約レポートをプリントし、その内容を確認してください。 2. 本商品がプリントを完了するまで待ってください。	120
0492/0493/ 0494	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0495	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	−−
0501/0502	内蔵V.34モデムで通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0540/0541/ 0542/0543/ 0544	送信中に通信エラーが発生した	1. 原稿をセットし直し、再送してください。 2. 相手先を替えて確認してください。	−−
0550	電話回線が切断された	相手先を替えて確認してください。	−−
0552/0553/ 0554/0555	受信中に通信エラーが発生した	相手先を替えて確認してください。	−−
0580	サブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレス送信	相手先に確認してください。	−−
0581	パスワードサブアドレス機能をもたない機器へのサブアドレスパスワード送信	相手先に確認してください。	−−
0601	ダイレクト送信中に送信開閉部が開けられた	送信開閉部を閉じ、再送してください。	−−

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0623	自動原稿送り装置に原稿がセットされていない	原稿をセットし直し、再送してください。	ーー
0630	回線使用中による再ダイヤル失敗	原稿をセットし直し、再送してください。	ーー
0631	ダイヤル中に STOP を押した	原稿をセットし直し、再送してください。	ーー
0634	相手先からの無応答による、またはダイヤル間違いによる、再ダイヤル失敗。 注：ビジートーンが検出されなかった場合、本商品は再ダイヤルを 1 回しか行いません。	電話番号を確認し、再送してください。	ーー
0638	通信中に停電が発生した	電源コードとプラグを確認してください。	22
0712	メールアドレスの誤り	登録されたメールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー
0714	LAN にログオンできない	10Base-T/100Base-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生しました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー
0715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットFAXのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ゲートウェイ IP アドレスの初期値、SMTP サーバーの IP アドレスを確認してください。	ーー
0716	指定したSMTPサーバーにログオンできない	SMTP サーバーの IP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー
0717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクが一杯の可能性あり	SMTP サーバーに障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー
0718	プリントデータ受信時のページメモリーオーバフロー。記録紙カセットの記録紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと文字サイズを確認してください。受信側で対応しているサイズと文字サイズで再送してもらうように送信側に連絡してください。	ーー
0719	LAN経由で受信したデータ形式が受信側に対応していない	以下に示すような、対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。 * TIFF-F 形式。 * 記録紙のサイズに合った画像データ	ーー
0720	POPサーバーと接続できない(POPサーバーIP アドレスの誤り)。POP サーバーのダウン	POP サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー
0721	POP サーバーに接続できない(ユーザー名またはパスワードのエラー)。	POP ユーザー名とパスワード、または APOP 設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ーー

エラーコード	内容	処置	参照ページ
0722	DHCP サーバーからのネットワークパラメーター（例：IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトのゲートウェイ IP アドレス）の取得に失敗。	1. LAN ケーブルの接続を確認してください。 2. ネットワーク管理者に問い合わせて、お手元のネットワークで DHCP が使用できるか確認してください。使用できない場合は、システム登録 No.169（DHCP クライアント）を「ナシ」に変更し、他のネットワークパラメーターを手動で設定してください。	−−
0725	DNS　サーバー接続のタイムアウト。DNS サーバーのダウン	DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POP サーバー名を確認してください。SMTP サーバー名を確認してください。	−−
0728	送信したデータ（PDF）形式が受信側に対応していない。 （PDF 形式での送信は、インターネット FAX からパソコンへの送信時のみご利用になれます）	システム登録 No.177（送信ファイルタイプ）を「TIFF」に設定して送信してください。	250
0729	SMTP サーバーとの接続時に認証（SMTP AUTHENTICATION）に失敗	SMTP AUTHENT ユーザー名とパスワードを確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	−−
0730	E メール経由でパソコンから遠隔操作で、ジャーナルを取り出せないし、またインターネットパラメーターやワンタッチ／短縮ダイヤルも登録できない	システム登録 No.158（メールリモート登録 ）が「アリ」に設定してあるか確認してください。	249
0731	中継送信要求を受けたときに手動ダイヤル用ダイアラーバッファが一杯（70 局）	予約通信終了後に中継送信要求を送信し直してもらうように送信元に連絡してください。	−−
0800/0816/0825	原稿または親展通信の中継機能をもたない機器へ出された中継要求	相手先を替えて確認してください。	−−
0815	メールボックスが一杯		170
0870	送信する原稿をメモリーに記憶しているときにメモリーオーバーフローが発生	メモリーに記憶させずに原稿を送信してください。	61

お知らせ

1. 原因を特定し、推奨する処置を実施しても、エラーコードが表示されたままになったり上記リストに記載されていないエラーコードが表示された場合は、局番なしの 113 番にお問い合わせください。
2. システム登録の「123 リルート機能」が「アリ」のときは、エラーコード先頭の 4 桁目の番号が 3 ～ 5（例：3xxx）となります。（☛247 ページ）「3」、「4」または「5」が付与される場合は、「IP 電話 - IP 電話発呼」、「IP 電話 - 一般電話発呼」または「一般電話 - 一般電話発呼」の場合によって異なります。

リモート登録時のエラーメッセージ

送信元へ送られるエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本商品より送信元へ E メールでエラーメッセージが送付されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	554 Data transfer error（broken header）	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error（broken data）	データ解析中にエラーが発生したため処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error（FAX module）	LAM モジュールとの通信中に FAX モジュールでデータ転送エラーが発生しました。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported（message/file）	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった最終受信局の電話番号が不明です。
8	554 Memory fully（FAX module）	FAX メモリーが一杯です。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リストに記載されていないエラーです。あとで再送してください。

リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、本商品より送信元へ E メールでエラーメッセージが送信されます。

	エラーメッセージ	原因と処置
1	@command ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@command」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
2	@begin コマンドがありません。	ブロック開始コマンド「@begin」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@begin」コマンドを加えて再送してください。
3	@begin ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
4	@system ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@system」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
5	@sender ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@sender」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
6	@domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
7	@program ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@program」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
8	@system コマンドがありません。	システム開始コマンド「@system」が「@system」ブロックで記述されていません。「@system」コマンドを加えて再送してください。
9	ＦＡＸ動作中のためリモート登録できません。	* ファクス通信が予約されている場合、ファクス動作終了後に再送してください。 * 予約レポートを確認し、予約がない状態にして再送してください。

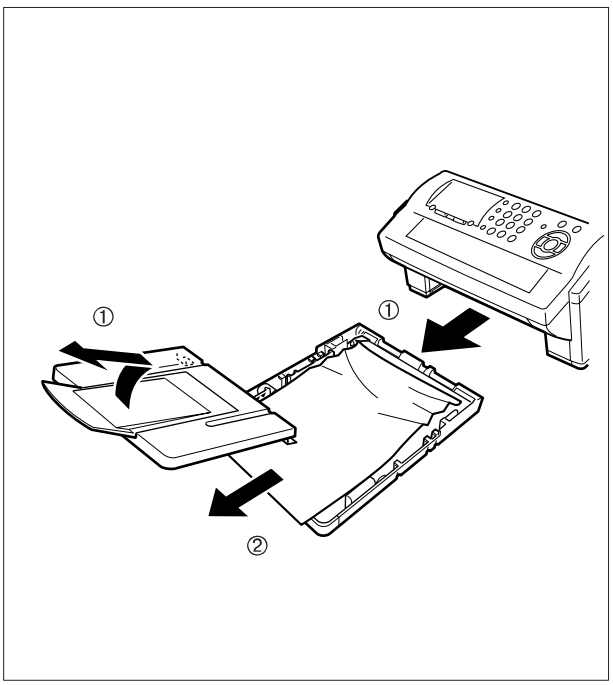
	エラーメッセージ	原因と処置
10	リモート登録パスワードチェックエラー。	パスワードを修正して再送してください。
11	リモート登録が許可されていません。	システム登録の「**158 メールリモート登録**」を「**アリ**」に設定してください。
12	Format Error:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または各宛先選択用の記述データが 1 行で完結していないため不完全となっています。修正して再送してください。
13	Warning:< エラー行 >	入力したフォーマットが正しくないか、または入力した文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
14	データが長すぎます。	宛先名、ドメイン名、送信元名、プログラム名などの文字数が最大桁数を超えています。
15	@list ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
16	@select-domain ブロックにエラーがあります。	ブロック終了コマンド「@end」が「@select-domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
17	以下のデータに上書きされました。:<(上書きされたデータ)>	データが上書きされた場合に返送されます。
18	ダイヤルインデータの登録がありません。 :< エラー行 >	設定しようとしたモデムダイヤルイン番号に該当するダイヤルが登録されていません。装置のダイヤル設定を確認してください。

記録紙がつまったとき

記録紙がつまったときは、エラーコード 0001、0002、0007、0008 のいずれかがディスプレイに表示されます。

記録紙づまりを解消するには、次の手順に従ってください（エラーコード 0001、0002 または 0008 の場合）。

1

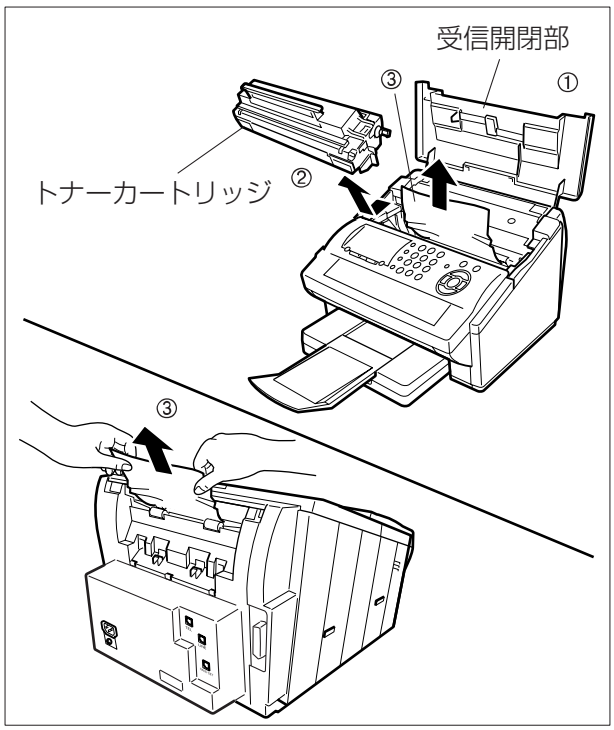


(1) 記録紙カセットを引き出し、記録紙カセットのカバーを取り外してください。

(2) つまった記録紙、またはしわのついた記録紙を取り除き、記録紙カセットに記録紙をセットし直してください。
受信開閉部を開けて再び確実に閉じて、アラームを解除してください。

記録紙づまりを取り除くには、次の手順に従ってください（エラーコード 0007 の場合）。

1



(1) 受信開閉部を開いてください。

(2) トナーカートリッジを取り外してください。

(3) つまった記録紙を取り除いてください。

注：1. つまった記録紙が本ユニット内部にある場合は受信開閉部を開けて、記録紙を取り除いてください（上図参照）。記録紙に定着していないトナーがこぼれ落ちる可能性があるため、汚れないように注意して取り除いてください。

2. つまった記録紙が本体背面にある場合は（下図参照）、記録紙トレイを取り外してから、つまった記録紙を破れないよう注意しながらゆっくりとまっすぐに引き出してください。

(4) トナーカートリッジを取り付け、受信開閉部を確実に閉じてください。

お知らせ

1. 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れたときは、紙片を機械の中に残さずにすべて取り除いてください。

2. 受信開閉部を閉めるときは、確実に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、通信やコピーができません。

原稿がつまったとき

原稿がつまったときは、エラーコード 0030 または 0031 がディスプレイに表示されます。

原稿づまりを解消するには、次の手順に従ってください。

1

(1) 送信開閉部を開けます。

(2) つまっている原稿を取り除きます。

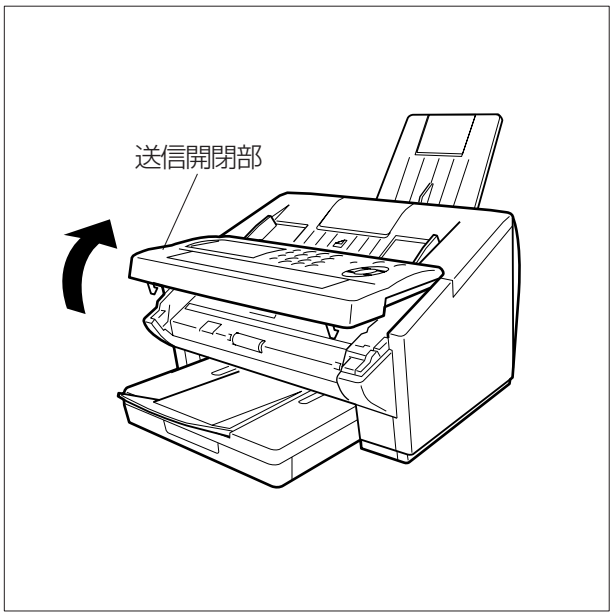
(3) 送信開閉部を確実に閉めます。

読取部のお手入れ

受信側から白紙の原稿、または黒い筋の入った原稿を受信したと報告されたときは、本商品でコピーをとって確認してください。コピーに黒い筋が入っている場合は、読取部が汚れている可能性があるためクリーニングしてください。

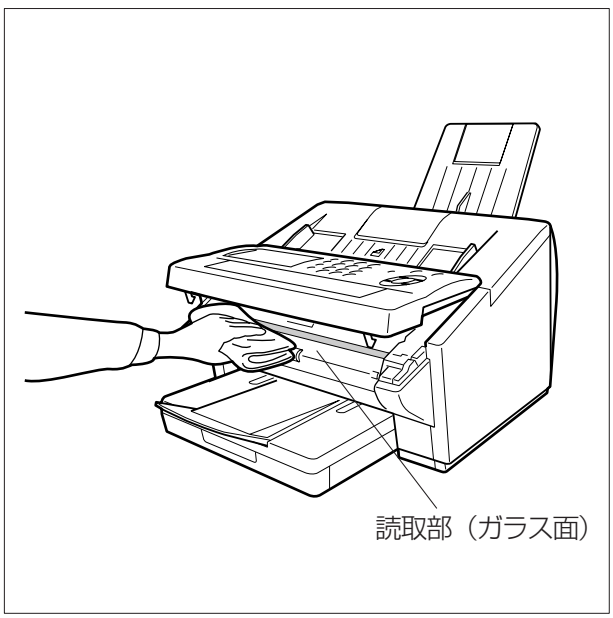
読取部のお手入れ

1



送信開閉部を開けます。

2



(1) やわらかい布かガーゼに水を含ませ、よく絞ってから、読取部（ガラス面）をやさしく拭きます。

- 読取部は傷つきやすいので、必ず清潔な布またはガーゼを使用してください。

(2) お手入れが終わったら、送信開閉部を確実に閉めます。

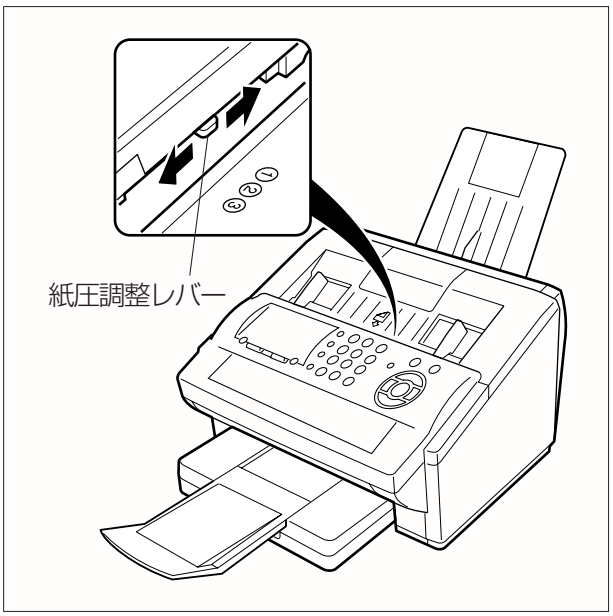
お知らせ　1. 読取部（ガラス面）に傷をつけないよう、ご注意ください。

自動原稿送り装置（ADF）の調整

原稿づまりが頻繁に起こる場合は、ADF を調整することをお薦めします。

ADF を調整するには、次の手順に従ってください。

1



原稿の厚さなどにより原稿が繰り込まれなかったときや、重なって繰り込まれるときは、自動給紙圧を調整してください。

紙圧調整レバー（青色）を、上に持ちあげながらスライドさせます。

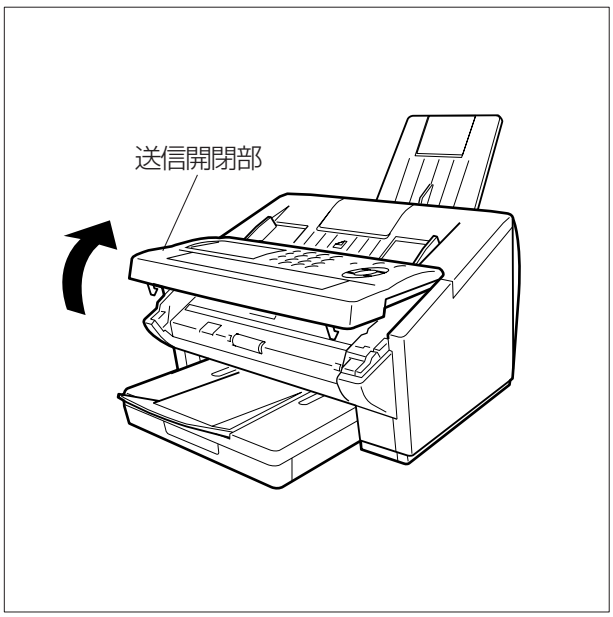
レバーの位置	こんなときには
①	原稿が繰り込まれないとき
②	標準位置（通常はここにしておきます）
③	2 枚以上の原稿が同時に繰り込まれるとき

済スタンプの交換

済スタンプにはインクが入っています。済スタンプの色が薄くなって判別しにくくなったら、新しい済スタンプに交換してください。

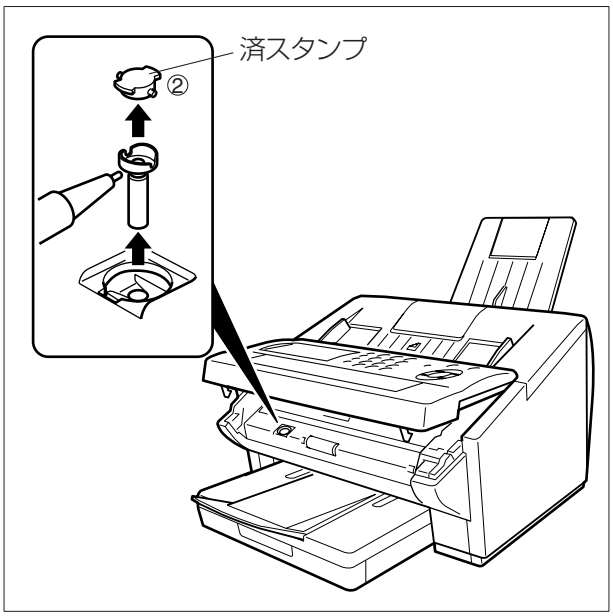
済スタンプを取り外すには、次の手順に従ってください。

1



送信開閉部を開けます。

2



(1) 済スタンプユニットを上方に引き抜いてください。

(2) 済スタンプを取り外し、新しいものと交換してください。

(3) 送信開閉部を確実に閉めます。

停電のとき

停電中は本商品のディスプレイは消えています。ファクスを送ったり受けたりすることはできません。また、オプション品のハンドセットをご利用の場合、電話をかけることはできません。

停電になったとき	相手の方とお話し中	そのまま通話できます。
	ファクス送信中	送信は中断されます。停電復旧後、もう一度送信してください。
	ファクス受信中	受信は中断されます。停電復旧後、相手の方にもう一度送信を依頼してください。
停電中	電話をかける	できません。
	電話を受ける	できます。
	ファクスを送る	できません。
	ファクスを受ける	できません。
停電復旧後	メモリーの内容	フラッシュメモリーを使用しているため、メモリーに蓄積されている送信および受信データは保持されています。
	ファクスに登録／設定した内容	フラッシュメモリーを使用しているため、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの登録内容、その他各種登録は、停電後も消えることなく保持されています。

お知らせ

1. 原稿を読み取り中に停電した場合は、読み取りは中断されます。停電復旧後、原稿が自動排紙されますので、もう一度読み取りをしてください。停電中に原稿を取り出すときは、送信開閉部を開けて、原稿を取り出してください（☛280 ページ）。ファクス送信時、原稿読み取り後のメモリー送信中に停電した場合は、停電復旧後、直ちに再送信されます。

2. 約 30 分を超える停電のときは、日付と時刻がお買い求め時の設定に戻る場合があります。日付と時刻を登録し直してください。（☛205 ページ）

3. オプション品のハンドセットをご利用の場合、停電のときはハンドセット置台の左側面にあるスイッチで呼出音量を切り替えることができます。

4. モデムダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスをご契約の電話回線におつなぎの場合、停電中に電話を受けるときはつぎの操作をしてください。
   ① 短い間隔の呼出音が鳴り終わるまで（約 6 秒）待つ。
   ② 呼出音の間隔が長くなったときに受話器をあげ話す。
   ・①の呼出音で受話器をあげてしまい「ピガー」という音が聞こえたら、すぐに受話器を置いてください。続いて電話の呼出音が鳴りますので、受話器をあげるとお話しすることができます。

並行して行える動作について

本商品はデュアルアクセス動作ができます。例えばメモリーに蓄積した原稿の送信中に次の送信予約をしたりコピーをしたりできます。

現在の動作＼同時に行える動作		メモリー送信			ダイレクト送信			ポーリング受信			受信			ポーリング送信				コピー			PCプリント
		受付	原稿読取	送信	受付	発呼	送信	受付	発呼	受信	着呼	受信	プリント	受付	原稿読取	着呼	送信	受付	原稿読取	プリント	
メモリー送信	原稿読取中	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○
	発呼中	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	送信中	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
ダイレクト送信	発呼中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○
	送信中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	○
受信	受信中	○	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○	○	○
	プリント中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	—	△
コピー	原稿読取中	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○	○	△	—	—	○	○	—	—	—	△
	プリント中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	—	△
レポート記録中		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	—	△
PC プリント		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	—	—	—	△

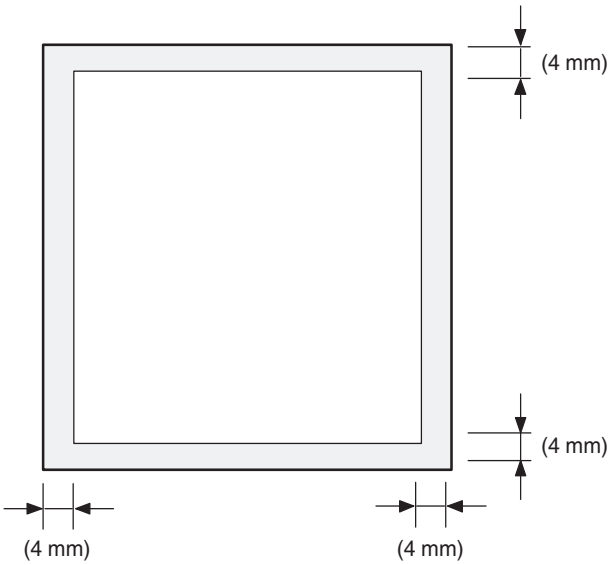
○：動作可能
—：動作不可
△：現在の動作終了までは予約状態となります。

お知らせ　1. 登録、設定の操作は並行して行うことはできません。

主な仕様

認証機器名	G3-<OFS3100>-FAX
適合回線（G3 FAX）	一般電話回線
適合規格（LAN）	IETF RFC 3965、ITU-T T.37
適合回線（LAN）	10Base-T Ethernet (IEEE 802.3)、100Base-TX Fast Ethernet (IEEE802.3u)
通信可能機種	G3（国際規格）
出力可能文字	JIS 第1 ・第2 水準
通信プロトコル（LAN）	TCP/IP、SMTP、POP3、MIME
データ形式（LAN）	RFC2301、TIFF-FX ミニマルセット Profile：TIFF-F 符号化方式：MH／MMR、原稿サイズ：A4／B4
帯域圧縮方式	MH、MR、MMR（ITU-T勧告準拠）
通信速度	2 400～33 600 bit／s
原稿サイズ	B4 ～ A5（最大：幅257 × 長さ2 000 mm、最小：幅148 × 長さ128 mm）
読取方式	CCDイメージセンサーによる平面走査
有効読取幅	252 mm（B4）208 mm（A4）
走査線密度	水平方向　　垂直方向 ふつう　8 画素／mm　×　3.85 本／mm 小さい　8 画素／mm　×　7.7 本／mm 細密　16 画素／mm　×　15.4 本／mm（補間）
記録方式	電子写真記録方式
記録紙サイズ	A4、レター、リーガル
解像度	ファクス／コピーモード　：406 × 391 dpi プリンターモード　：600 × 600 dpi
対応 OS	Windows® 98/Me/2000/XP、WindowsNT® 4.0、Windows Server™ 2003

有効記録範囲
（☛ お知らせ 1）



お知らせ

1. レターサイズまたはリーガルサイズの原稿をパソコン側から 600 dpi でプリントする場合、左右のプリントマージンは 5.5 mm になります。

主な仕様

電源	AC 100 V±10 V　50／60 Hz	
消費電力	待機時（節電モード：ON）	約9.0 W
	待機時（節電モード：OFF）	約28.5 W
	送信時	約19.0 W
	受信時	約430 W
	コピー時	約430 W
	最大	約500 W
外形寸法	約370（幅）× 474（奥行き）× 250（高さ）mm （突起部を除く）	
質量	約9 kg（消耗品とオプション品を除く）	
動作環境	温度　：5 ℃～35 ℃（記録画質保証範囲は15 ℃～25 ℃） 相対湿度：45 %～85 %（記録画質保証範囲は45 %～70 %） （ただし35 ℃のときは湿度70 %以下、湿度85 %のときは30 ℃以下）	
直流抵抗値	162 Ω	

お知らせ

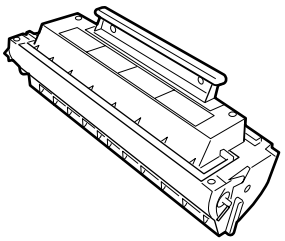
1. 一般の電話回線での最高通信速度は28 800 bit／s程度です。
2. 認証番号は、本体背面に記載しております。
3. 外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

消耗品／オプション品について

■消耗品

● **記録紙**

● **トナーカートリッジ**



● **済スタンプ**

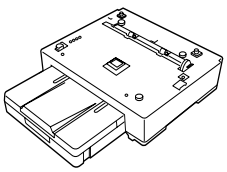
■オプション品

● **ハンドセット**

本商品で通話をすることができます。

● **増設記録紙ユニット**

増設記録紙ユニットは、最大 250 枚の記録紙をセットすることができます。



お知らせ

1. ハンドセットをご利用になるときは、システム登録の「075 オプションハンドセット」を「アリ」に設定してください。(☛247 ページ)

用語集

10Base-T/100Base-TX	イーサーネットケーブル規格の一種です。 「10/100」はバンド幅が 10/100 Mbps の意味で、このバンド幅は単一チャンネル・ベースバンドのベースとなっています。「T」は撚り（Twisted）対の意味で、この規格のケーブルは 2 対の非シールド撚り線からなります。
ADF（自動原稿送り装置）	複数枚の原稿をセットして、1 枚ずつ読取部へ送る装置です。
bit／s（BPS）	電話回線経由で送信されるデータ量の単位です。本商品は常に最大伝送速度で動作開始しますが、電話回線の状況や受信側機器の能力に応じて伝送速度を自動的に落とします。
DTMF（Dual Tone Multifrequency）	電話機のボタンの各数字を表わすさまざまな組み合わせの周波数を送り出すダイヤル呼び出し方式です。一般に、プッシュホン式ダイヤル呼び出しを指します。
ECM（Error Correction Mode）	G3 ファクス通信を行っているときに、通信エラーを訂正する機能です。
FAX/TEL 自動切替	1 つの電話回線でファクスと電話を自動で切り替えて使用できます。
FROM 選択	あらかじめプログラム登録してある 24 の送信者名、メールアドレス、または電話番号のうちの 1 つを送信前に選択することができます。
G3 モード（Group 3）	現在最も普及している、G3 規格に準拠したアナログ電話回線用のファクシミリです。
IP アドレス	インターネット上に存在するコンピューターなどの住所にあたる数列です。
ISP（Internet Service Provider）	インターネットへの接続サービスを提供する組織のことです。
ITU-T	国際電気通信連合電気通信標準化部門。国際電信電話諮問委員会（旧 C.C.I.T.T）。
ITU-T（C.C.I.T.T.）	国際電信電話諮問委員会の略称。この機構は現在、ファクシミリ互換性を保証する 4 グループの業界標準を推進しています。
ITU-T Image No.1	送信速度と機器能力との比較を可能にする業界標準原稿のことです。
LAN（Local Area Network）	オフィス、工場、大学などといった隣接エリアに限定された、データの統合および交換のためのコンピューターネットワークシステムです。
LAN 中継パスワード	LAN 中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。LAN 中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名（@ の左側）の部分と比較して、一致した場合に LAN 中継通信を行います。
MAC アドレス	装置に割り当てられるハードウェアアドレスで、MAC（メディア・アクセス・コントロール）アドレスともいいます。 MAC アドレスは設定不可能で、コロン（：）で区切られた 6 つの 16 進数からなります。 例：00:00:c0:34:f1:50
MAPI（Messaging Application Program Interface）	メッセージ送信のための Windows 標準インタフェースです。ワープロソフトや表計算ソフトなどのメニューから、編集中の文書を直接 E メールで送信するようなことが可能です。
MDN（Message Disposition Notifications）	E メールが読まれたかどうかを確認するために送信側から MDN 要求を付加して送付します。
MIME（Multipurpose Internet Mail Extension）	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、E メールの通信手順です。
POP（Post Office Protocol）	メールサーバーにアクセスして自分宛の E メールを取り出すための通信手順です。
PSTN（Public Switched Telephone Network）	公衆電話交換ネットワークを指します。相互に接続された交換機と送信施設からなるネットワークです。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）	インターネット上で E メールを送受信するための主な通信プロトコルです。
TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF（Tagged Image File Format）	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。本商品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF イメージビューワー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本商品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。
アクセスコード	第三者の不正使用を防止するため、4 桁のアクセスコードを設定できます。
宛先シート	本商品のワンタッチボタンに登録してある宛先名をプリントし、ワンタッチボタンシートの下に入れて使います。
宛先名	各ワンタッチ／短縮ダイヤル番号の登録名です。
イーサーネット	LAN 上のコンピューターおよび装置をネットワーク化する最も一般的な手段。最大 100 Mbps まで処理が可能で、ほとんどのすべてのタイプのコンピューターが対応しています。
イメージメモリー容量	原稿の各ページを記憶するために本商品が利用できるメモリーの量を意味します。ITU-T 勧告の Image No. 1 原稿を基に、読み込み可能枚数を規定しています。
インターネット	相互に接続された、TCP/IP プロトコルを使用するさまざまなネットワークの巨大な集合体。個々のネットワークは接続されて全世界をつなぐ巨大なインターネットを形成します。
イントラネット	会社内部または組織内部にある非公開のネットワーク。イントラネットでは、公開されているインターネット上同じ種類のソフトウェアを使用しますが、その用途は内部的なものに限定されます。
エラーコード	通信エラー、トラブルなど発生時に表示するコードです。
オフフックダイヤル	受話器（ハンドセット）を受話器台から外して、電話番号をダイヤルする方法です。
オンフックダイヤル	受話器（ハンドセット）を受話器台に置いたまま、またはモニターボタンを押して電話番号をダイヤルする方法です。
カバーシート	送信する原稿に添付されるファクス送付書。受信者名、発信者名、添付した原稿のページ数が記載されます。
クライアント	クライアント（端末）コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
グループダイヤル	1 つのプログラムボタンへ複数宛先を登録できます。1 回の操作で順次同報送信ができます。
固定縮小プリント	すべての着信原稿を一定の縮小率（例：75%）でプリントします。
最終宛先	LAN 中継通信時の最終送信宛先です。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置を指します。メールサーバーソフトウェアーはネットワーククライアントがメールアカウントを保有して E メールの送受信を行うことを可能にしています。
サブアドレス	着信ファクスのルーティング、転送または中継を実行するための ITU-T 勧告です。
サブアドレスパスワード	サブアドレスに対応する追加機密保護のための ITU-T 勧告です。

用語集

サブネットマスク	ネットワークIDで定義されたネットワークのサブセグメントを管理するためのマスクビット列です。
自局登録	自局登録をすることで、通信のときに相手機に自局の情報を表示できます。たとえば、ロゴ、文字 ID、日時などがあります。
システム登録リスト	本商品のシステム登録の設定値をリストにしてプリントできます。
自動縮小プリント	標準サイズの普通紙にプリントできるように、受信した原稿を自動的に縮小する方式。たとえば、B4 サイズの着信原稿を縮小して A4 サイズの記録紙にプリントします。
自動受信	ファクスが自動的に原稿を受信します。
受信側パスワード	原稿受信前に照合される 4 桁のパスワードのことです。
手動受信	着信原稿を受信するのに使用者の操作が必要なモードです。
初期送信側端末局	LAN 中継通信時の発信局です。
数字 ID	相手のディスプレイに表示させる電話番号などの情報を登録します。
済スタンプ	送信が完了したページ、またはメモリーへ読み込まれたページに済スタンプが押されます。済スタンプのオン、オフは任意に切り替えできます。
正順プリント	受信した原稿を送信した順序でプリントする機能です。
セレクト受信	ダイヤルに登録してある電話番号の下 4 桁を照合し、一致したファクスからのみ本商品が受信する機能です。
送信側パスワード	原稿送信時に照合される 4 桁のパスワードのことです。
送信予約	本商品が別の機能を実行しているときに送信予約ができます。
送達通知	送信側インターネット FAX から受信側インターネット FAX へ出されるメッセージで送達通知（MDN）要求のことです。受信側インターネット FAX は、メッセージ（E メール）を読むと送達確認メッセージを返送します。
タイマー送信	指定時刻に原稿の送信ができます。
タイマーポーリング	指定時刻にポーリング通信ができます。
ダイヤルボタン	コントロールパネルにある数字ボタンです。
ダイレクト SMTP	インターネットファクス同士がメールサーバーを経由せずにファイアーウォール（イントラネット）内で互いに直接通信を行う機能です。
短縮ダイヤル	電話番号またはメールアドレスを短縮ダイヤルに登録できます。簡単なボタン操作を行うだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。
蓄積原稿	本商品で読み込み済でメモリーに記憶されている原稿です。
中継アドレス	LAN 中継通信時に中継局を登録している 3 桁の短縮ダイヤルの番号です。
中継局	中継局では、受信した原稿を指示された宛先へ、順次同報で転送することができます。
中継送信	発信局から原稿を LAN 中継局へ送信すると、中継局はさらにその原稿を最終受信側端末局へ送信します。
中継ネットワーク	中継局経由で通信する機器のネットワークのことです。
重複プリント	縮小できないくらい大きな原稿は、約 10 mm 重ね合わせて 2 つのページに分割して自動的に出力されます。
直接ダイヤル	電話番号またはメールアドレスをダイヤルボタンまたは文字ボタンで入力して直接ダイヤルする方法です。
通信管理レポート	最新の 40 通信の結果を一覧にしてプリントできます。
低電力モード	指定時間経過後に定着器を OFF にして、待機モードのときよりも消費電力を抑えてエネルギーを節約します。

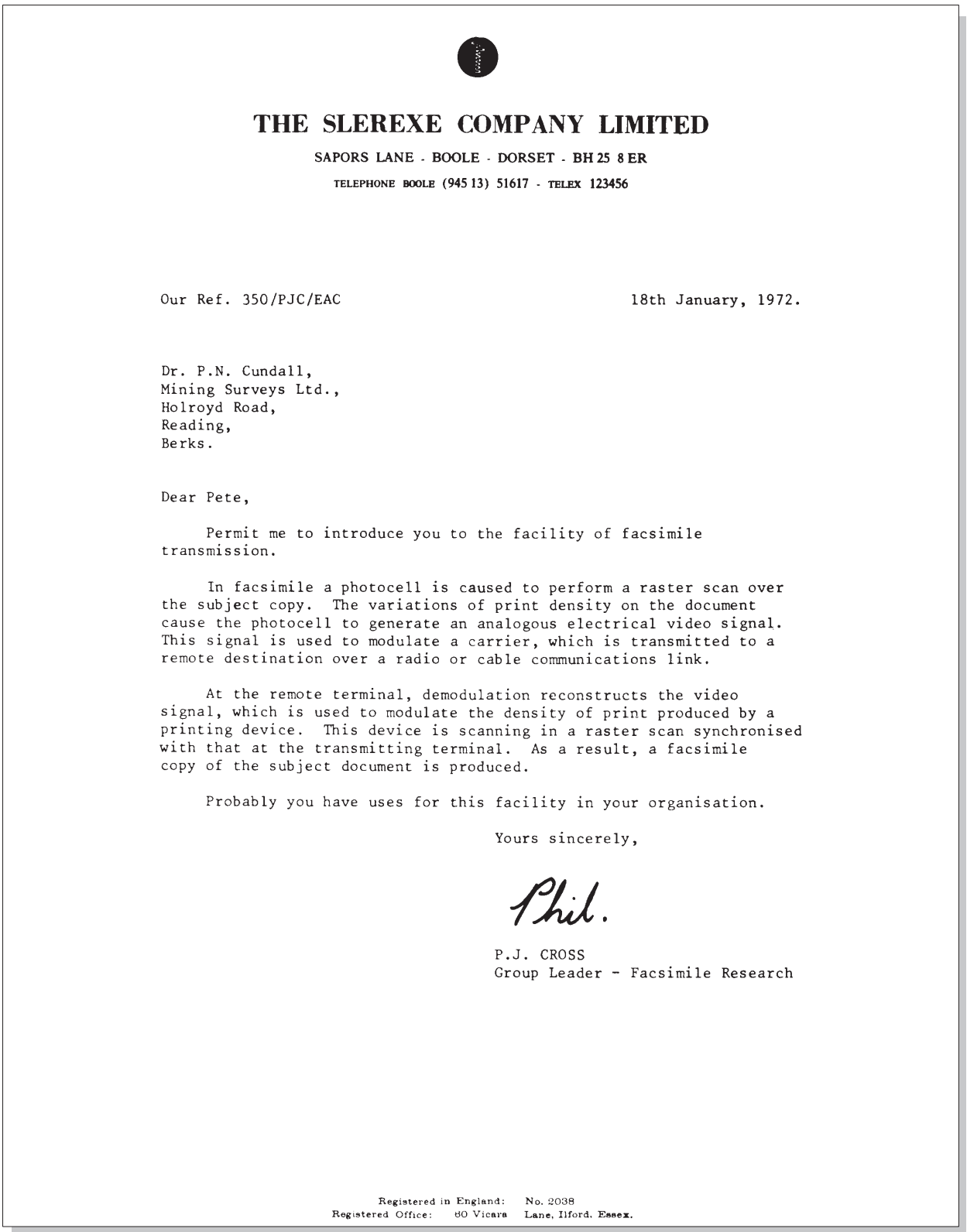
デフォルトルーター IP アドレス	ルーターのアドレスで、インターネット FAX との通信時に他のネットワークがどのルートをとったらよいか判断するときに使用します。
電話帳機能	ワンタッチまたは短縮ダイヤルに登録した宛先名を検索して、電話番号またはメールアドレスをダイヤルできます。
同報送信	プログラム登録された複数の宛先に同じ原稿を同報通信する機能。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピューターを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2台以上のコンピューターを相互に接続してリソースを共有すると、コンピューターネットワークになります。さらに 2 つ以上のコンピューターネットワークをつなぐと、インターネットが形成されます。
ネットワークアドレス	ワンタッチ／短縮番号に登録される 4 桁の固有アドレス番号で、中継ネットワーク上にある特定の端末局を識別するのに使います。
濃度	送信する原稿に合わせて読み取り明暗感度を設定できます。
パナソニックスーパースムージング	画質を向上するためのパナソニック独自の画像処理技術です。
ハーフトーン	黒から白への最大 64 階調のグレーレベルで表現できます。
ハンドシェーキング	送信側と受信側が通信するため、実際にデータを転送する前に、双方の通信方法や条件、プロトコルなどをあらかじめやり取りしておく手順のことです。
ビューモードー通信管理	通信管理レポートをプリントすることなく通信管理の簡単な内容をディスプレイに表示することができます。
ビューモードー通信予約ファイル	通信予約レポートをプリントすることなく通信予約ファイルの簡単な内容をディスプレイに表示することができます。
ファイル	メモリーを使っての送受信を行ったとき作成されます。たとえば、タイマー送信などがあります。
ファンクションボタン	各機能を使うときに押します。
符号化方式	各種機器が使用するデータ圧縮方式。本商品は、Modified Huffman（MH）、Modified Read（MR）、Modified Modified Read（MMR）符号化方式を採用しています。
プリント縮小モード	本商品にセットされた記録紙に収まるように縮小してプリントする方法です。
プログラムボタン	複雑な機能の操作をプログラムボタンに登録したり、複数の宛先を登録して、簡単なボタン操作で機能を使えます。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を超える標準が共同して TCP/IP プロトコルを構成し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
ヘッダー	送信側ファクスが送信する、また受信側ファクスが各ページの先頭にプリントする部分です。ヘッダーは、送信側ファクスの情報（日時など）を提供します。
ホスト	ネットワーク上の他のコンピューターを集中管理するコンピューターです。ホストはドメイン内で唯一のホスト名を持ちます。ホストは全ドメイン名（FQDN）の最初（左端）の部分となります。 例： 本商品のメールアドレスが　Fax@fax01.panasonic.com　であるとすると、「fax01」はホストに、「panasonic.com」はドメインに相当します。

用語集

ホームページ	ブラウザー起動時に最初に表示されるページ、あるいは会社、組織などの主要なウェブページ。
ポーリング	別のファクスから原稿を取り出す機能です。
ポーリングパスワード	登録された 4 桁の暗証番号で、ポーリングが行われている原稿に対する機密保護を有効にするのに使います。
マルチロゴ	あらかじめ設定してある 25 個のロゴのうちの 1 つを送信前に選択することができます。
メモリー送信	原稿をメモリーに読み込んでから送信します。
メモリー代行受信	記録紙またはトナーがなくなったときに着信原稿をメモリーに蓄積する機能です。
メモリー転送	指定した短縮ダイヤルの宛先へ、すべての着信ファクスを転送する機能です。
メールアドレス	E メールでデータを送受信するためのアドレスです。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されています。
メールゲートウェイ IP アドレス	メールサーバーのア ドレス。本商品はあらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行います。
メーリングリスト	あるアドレスに E メールを送り、自動的にメーリングリストに登録されている複数の人に E メールのコピーを送るためのメールアドレスです。
文字 ID	相手のディスプレイに表示させる会社名などの情報を登録します。
文字サイズ	送信する原稿の文字の大きさに合わせ、変更できます。
文字ボタン	各種登録をするときに文字または記号を入力するためのボタン。
モデム	本商品から出された信号を電話回線経由で伝送できる信号に変換する装置です。
ルーター（ゲートウェイ）	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
留守番電話機インタフェース	本商品に留守番電話機を接続してご使用できるように設定できます。
ロゴ	会社名または名前などを登録します。
ワンタッチボタン	電話番号またはメールアドレスをワンタッチに登録できます。1 つのボタン操作を行うだけで、その電話番号をすばやくダイヤルすることができます。

ITU-T Image No.1

ITU-T Image No.1 に準拠している標準原稿のサンプルです（以下のサンプルでは、縮尺が実際のものと異なっています）。



THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

Registered in England: No. 2038
Registered Office: 80 Vicara Lane, Ilford, Essex.

索引

A

ADF（自動原稿送り装置）..... 31, 282
APOP 認証 250

D

DHCP 202
DNS サーバー 249

E

E メール経由でのパラメーター設定／検索 213

F

FROM 選択機能 99
FROM 選択リスト 102

I

IP 電話サービスを使って送信する 178
ITU-T Image No.1 295

L

LAN 中継送信局 150
LAN 中継同報 144

P

POP アクセス 117
POP クライアント 190
POP サーバーからメール受信 73
POP パラメーター 73

S

SMTP 転送 188
SMTP 認証 202, 249, 250

あ

アクセスコード 129
宛先シート 242

い

一度にたくさんの相手に送る
（同報送信・順次同報送信）..... 42, 59
インターネット回線を使って受信する 71
インターネット回線を使って送信する 35
インターネット通信 194
インターネットに接続するための事前準備 ... 186
インターネットパラメーターの取り出し 217

え

エラーコード 272
エラーメール 50

お

オフフックダイヤル 63
オンフックダイヤル 64

か

外形寸法 288

き

規定サイズ以外の原稿を受信 85
記録紙カセット 268
記録紙がつまったとき 278
記録紙のセット 266

く

グループダイヤル 108

け

原稿がつまったとき 280
原稿の厚さ 29
原稿のサイズ 29
原稿のセット 31
件名の入力 103

こ

固定縮小 84
コピー 90

さ

再ダイヤル 69
サブアドレス パスワード 247

し

自局情報（インターネットパラメーター）.... 209
自局登録 205
システム登録 243
システム登録表 245
システム登録リスト 262
自動原稿送り装置（ADF）..... 282
自動縮小 84
自動ダイヤル（ワンタッチ／短縮ダイヤル）..... 234
縮小受信 84
受信時刻プリント 245
受信モード 77
受信ルーティング（受信振分け）..... 105
手動受信する 78
手動送信 63
消耗品 289
親展送信 170

す

数字 ID 208
済スタンプ 33, 283

せ

正順プリント 87
セレクト受信機能 163
セレクトドメイン 47

そ

送信ファイル タイプ 250
送信レポート 254
送達確認（MDN） 49, 141, 194, 250
送付書（カバーシート）.....136

た

タイマー送信 92
タイマーポーリング受信 94
ダイレクト IFAX 送信 195
ダイレクト送信 61
短縮ダイヤルで送る 39, 57
短縮ダイヤルの登録 236

ち

中継送信 144
中継送信レポート（通信結果レポート）.....160
中継ネットワーク 147
直接ダイヤルで送る 55
直接メールアドレスを入力して送る 37

つ

通信管理レポート 252
通信結果レポート 256
通信予約の確認と消去 120
通信予約の内容を見る 122
通信予約ファイルのプリント 126
通信予約レポート 120

て

デュアルサーバー 250
電話帳機能で送る 40, 58

と

トナーカートリッジのセット 264

ね

ネットワークスキャナー 142
ネットワークプリンター 143

の

濃度 32

は

パスワード受信 167
パスワード送信 166
パスワード通信 164
バックアップ 220, 230
発信元 206
発信元印字 245
発信元のフォーマット 245

ひ

日付と時刻 205

ふ

ファクス専用のときファクスを受ける 79
ファクス／電話自動切替のときファクスを受ける 80
ファンクション（機能）ボタン 26
ブザー音量 245
プログラム機能 108
プログラムリスト 261

ほ

ポーリング通信 95
ポーリングパスワード 95

み

未達宛先再通信の指定 128

め

メーリングリストを使う 51
メールアドレス 35
メールヘッダ表示 248
メールリモート登録 213
メモリー受信 132
メモリー送信 53
メモリー送信予約 44
メモリー代行受信 86
メモリー転送 139

も

文字 ID 207
文字サイズ 32
モデムダイヤルイン 88, 245

よ

読取部のお手入れ 281

り

リスト・レポート 252
リモート登録時のエラーメッセージ 276

る

ルーティング（受信振分け機能）.....197
留守録接続モード 82

わ

ワンタッチボタンで送る 38, 56
ワンタッチボタンの登録 234
ワンタッチ／短縮ダイヤルおよび電話帳リスト 258
ワンタッチ／短縮ダイヤルデータのリモート取り出し 228
ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録 223

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」を提供いたしております。
実費保守サービスでは故障内容によって、高額になる場合もありますので定額保守サービスのご契約をお勧めします。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月決められた料金をお支払いいただくことで、装置の定期点検、故障時の修理、定期交換部品の交換など、装置の性能維持に必要な保守サービスを行います。 ● 定額保守サービスには、サービス内容により以下のような種別があります。 • A コース： 毎月の定額料金のみで、定期点検を含む保守サービスを提供いたします。 • C コース： 定期点検を除く保守サービスを提供いたします。
実費保守サービス	● 定期交換部品の交換、故障時の修理などに要した費用をそのつどいただきます。 • お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術費用・部品代をいただきます。 • 故障内容によっては、高額になる場合もありますのでご承知願います。 ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちの場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

本商品を安心してお使いいただくために、ぜひとも定額保守 A コースのご契約を結ばれるようお願いいたします。

●故障した場合のお問い合わせは

局番なしの 113 番へご連絡ください。

●お話中調べ

局番なしの 114 番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリアでご利用のお客様
（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）
お問い合わせ先：0120-970413

■ NTT 西日本エリアでご利用のお客様
（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）
お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しております。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリアでご利用のお客様
（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）
お問い合わせ先：0120-970413

■NTT西日本エリアでご利用のお客様
（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）
お問い合わせ先：0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2005 NTTEAST・NTTWEST
本2768-2(2005.12)
G3-<OFS3100>-FAXトリセツ
F1005-1125
PJQMC0544ZB